

BIGLOBE クラウドホスティング
ユーザマニュアル

9.5 版

(2024 年 1 月 18 日)

ビッグロブ株式会社



改版履歴

版数	発行日	改訂箇所	改訂内容
1 版	2011 年 1 月		初版発行
9.5 版	2024 年 1 月 18 日		Windows Server2012 新規販売終了に伴う記載の追加、削除及び画像の更新

目次

1.	BIGLOBE クラウドホスティングとは	2
1.1.	はじめに	2
1.2.	用語の定義	2
1.3.	サービス概要	3
1.4.	サービスの特徴	3
1.5.	提供するシステム構成	5
①	標準構成	5
②	オプション構成	5
1.6.	コントロールパネルとユーザ ID	8
1.7.	サービス仕様と連携メニュー	10
1.7.1.	標準メニュー	10
①	仮想サーバ	10
②	OS	14
③	OS のライセンス契約について	16
④	ディスクパーティション標準構成	17
⑤	L7 ロードバランサ	18
⑥	インターネット接続	18
⑦	プライベート LAN	19
⑧	グローバル IP アドレス	19
⑨	Web アプリケーションファイアウォール (WAF) InfoGage SiteShell (2023 年 6 月 27 日をもって新規販売を終了しました)	20
⑩	ファイアウォール	21
⑪	イメージ共有	22
⑫	サーバイメージ持込	22
⑬	コンソール接続	23
⑭	クラウドアプリストア	23
⑮	DNS	24
⑯	ゾーン	25
1.7.2.	連携メニュー	26
①	infra-VPN サービス (2022 年 5 月 25 日をもって新規販売を終了しました)	26
②	サーバ運用支援サービス	27
③	クラウドアクセスサービス (お客様指定回線)	27
④	クラウドアクセスサービス (IPsec-VPN) (2017 年 7 月 25 日をもって新規販売を終了しました)	28
⑤	サイバー攻撃対策サービス	28
1.8.	リードタイム	29
1.9.	料金プランと課金単位	31
①	月額課金	31
②	従量課金	31
③	課金の開始	31
1.10.	責任範囲	32
①	サービスレベル目標	32
②	サービス品質保証制度 (SLA)	33
③	提供範囲	33
④	保証品質を下回った場合の対応	34
1.11.	サービス運営体制	35
1.12.	各種情報の変更/解約について	36
①	コントロールパネルのパスワード変更	36
②	コントロールパネルのパスワード再発行	38
③	会社情報・請求先情報変更申込	38
④	ご利用担当者情報・通知先メールアドレスの変更	38
⑤	ご利用担当者追加・削除申込	38
⑥	サーバ台数制限解除	38
⑦	解約申込	39
1.13.	サポートについて	40
2.	コントロールパネル操作マニュアル	43
2.1.	ログイン、ログアウトとコントロールパネルの構成	43
①	ログインとダッシュボードの表示	43
②	ダッシュボードの構成	46
③	コントロールパネルのサイトマップ	47
④	コントロールパネル操作権限について	48
⑤	ログアウト	50

2.2.	SSH 鍵の作成と秘密鍵の保存	51
2.3.	サーバの作成	54
2.3.1.	Linux サーバの作成	55
①	サーバの新規作成	55
②	OS の選択	56
③	サーバ作成(入力)	58
2.3.2.	Microsoft Windows Server サーバの作成	61
①	OS の選択	61
②	サーバ作成(入力)	62
2.3.3.	ナノモデルサーバの作成	68
2.3.4.	サーバイメージから作成	71
2.3.5.	サーバパック、プリインストールサーバの作成	78
2.4.	サーバ複製	82
2.5.	サーバ一覧	90
2.6.	サーバの設定変更とリソースの追加	92
2.6.1.	サーバリソース変更	96
①	スペック変更	96
②	ゾーン変更	99
③	料金プランの変更	101
④	基本ディスク拡張	103
2.6.2.	追加ディスク	105
①	ディスクの追加	105
②	ディスクの削除	107
③	ディスクの切断	108
④	ディスクの接続	109
⑤	ディスク一覧と料金プラン変更	110
2.6.3.	スナップショット	112
①	スナップショットの作成	112
②	スナップショットのリストア	113
③	スナップショットの削除	114
2.6.4.	ベースモデルへのアップグレード	115
2.6.5.	Red Hat サブスクリプション購入	117
2.6.6.	グローバル IP アドレス追加	119
①	CentOS、AlmaLinux 及び Red Hat Enterprise Linux の場合	119
②	Windows の場合	121
2.7.	サーバイメージ	126
2.7.1.	サーバイメージ作成	126
2.7.2.	サーバイメージ削除	128
2.7.3.	サーバイメージ詳細	129
2.7.4.	イメージ共有	130
①	イメージ共有	130
②	イメージ共有解除	132
2.8.	サーバ削除	133
2.9.	保持 IP アドレス	134
①	保持 IP アドレス確認	134
②	IP アドレス購入	135
③	保持 IP アドレス解約	136
2.10.	サーバイメージ持込	138
2.11.	コンソール接続	142
2.11.1.	コンソール用 VPN 接続 ID	142
①	コンソール用 VPN 接続 ID 作成	142
②	パスワード変更	144
2.11.2.	コンソール接続	145
2.12.	アプリケーションライセンス管理	150
①	ライセンス購入	150
②	ライセンス一覧	150
③	ライセンス解約	151
2.13.	ライセンスサーバ管理	152
①	ライセンスサーバの作成	152
②	ライセンス数の変更	156
③	ライセンスサーバへの操作	158
2.14.	ファイアウォール	159
2.14.1.	ファイアウォール購入・上限値変更	159
①	ファイアウォール購入	159
②	ファイアウォール解約	162

③	上限値変更	163
2.14.2.	グループ設定	166
①	グループ一覧	166
②	グループ作成	168
③	グループ削除	170
④	グループへサーバを追加	171
⑤	グループからサーバを削除	173
⑥	ルール追加	174
⑦	ルール削除	178
⑧	ルール変更	179
⑨	ルール並び替え	181
2.14.3.	ログ	183
2.15.	DNS	184
①	DNSゾーンの登録	184
②	DNSゾーンの解約	186
③	DNSゾーンヘレコード設定	188
2.16.	クラウド監視	189
①	クラウド監視の用語の定義	189
②	監視プラン	189
③	プラン契約/変更/解約	190
④	Mackerel エージェントのインストール	191
⑤	プロキシサーバ経由での監視	192
⑥	ご利用料金	192
2.17.	アカウント・料金	193
①	ご利用料金	193
②	ご担当者情報変更	193
③	操作ログ	195
2.18.	連携メニュー	196
2.19.	その他のメニュー	197
①	お問い合わせ	197
②	ヘルプ	197
③	クラウドアプリストア	198
2.20.	補足事項	199
2.21.	禁止事項	200
3.	別紙	203
3.1.	SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法の例	203
3.1.1.	SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法	203
3.1.2.	ログインした Linux サーバから別の Linux サーバへ SSH コマンドを使用して接続する方法	206
3.2.	追加ディスクのマウント／アンマウント	207
3.2.1.	追加ディスクのマウント手順	207
①	CentOS、AlmaLinux 及び Red Hat Enterprise Linux の場合	207
②	Windows の場合	211
3.2.2.	追加ディスクのアンマウント手順	217
3.3.	ゲスト OS カーネルアップデート	219
①	CentOS5 及び Red Hat Enterprise Linux5 の場合	219
3.4.	VMwareTools の再インストール手順	220
3.5.	Microsoft 製品ライセンス認証手順	221
3.5.1.	Windows Server の場合	221
①	Windows Server 2012 R2 (64bit) 以降の場合	221
②	Windows Server 2008 R2 (64bit) の場合	224
③	Windows Server 2008(32bit)の場合	228
3.5.2.	Microsoft Office の場合	232
3.6.	イメージ共有にて作成したサーバのルーティング情報の修正手順	233
3.7.	基本ディスク拡張後のパーティション設定について	235

1. BIGLOBEクラウドホスティングとは

1. BIGLOBE クラウドホスティングとは

1.1.はじめに

このたびは、BIGLOBE クラウドホスティングをお申し込みいただき、誠にありがとうございます。本書は、本サービスのご利用者様のための説明書兼操作マニュアルです。

1.2.用語の定義

本書で使用する用語を以下に説明いたします。

用語	説明
IaaS	Infrastructure as a Serviceの略。 仮想化技術を利用して、サーバ、CPU、メモリ、ストレージなどシステムを構成するためのインフラを、インターネット経由のサービスとして提供するもの。
仮想サーバ	1つの物理コンピュータ上に、擬似的に複数のコンピュータが稼働しているように構築された疑似サーバ。本サービスでは、お客様の設定完了から最短5分でご提供できます。
VMware	仮想サーバを実行するソフトウェア。
仮想化基盤	VMware でゲスト OS を提供するための基盤(インフラ)。 特に指定が無い場合は、VMware vSphere。
ご利用者様	本サービスをご利用いただく法人格の企業様。
ご利用担当者様	ご利用者様のうち、特にコントロールパネルにログインし、サーバを構築する方を「ご利用担当者様」とします。
コントロールパネル	ご利用担当者様自身でサーバを構築するための管理画面です。 サーバの構築のほか、各種情報の参照や連携サービスのお申し込みができます。
ユーザ ID	ご利用担当者様がコントロールパネルにログインするための ID です。本サービスへのお申し込み後、BIGLOBE から郵送させていただきます。
SSH 鍵	SSH(Secure Shell)は、サーバをリモート操作する際に、通信を暗号化して安全に処理するためのプログラムです。あらかじめ、暗号化に必要な SSH 鍵を生成し、サーバとクライアントの双方に登録する必要があります。
BHC(BIGLOBE 法人コンタクトセンター)	本サービスのお客様窓口となるヘルプデスクです。各種お問い合わせを、メールや電話およびWeb画面から受け付けます。
BHJ(BIGLOBE 法人事務センター)	各種申込書を郵送またはFAXで受け付ける窓口です。IDの発行およびIDの郵送を担当します。
東日本第3リージョン	2021年11月にサービス提供を開始したリージョンです。 東日本地域のデータセンターを利用しています。
vSphere HA	VMwareの障害対策機能の一つです。以前は、VMware HA と呼ばれていました。
業務サーバパック	BIGLOBEクラウドホスティング上で利用することができる業務パッケージソフト向けのプリインストールサーバです。 クラウドアプリストアからご購入いただけます。 複数の業務パッケージを組み合わせてご利用いただけます。

1.3. サービス概要

BIGLOBE クラウドホスティングは、IaaS 型パブリッククラウドサービスです。

堅牢性と柔軟性、可用性を兼ね備えたクラウドサービスを、日本国内のデータセンターを利用しワンストップでご提供します。お客様は、初期コストや保守運用コストを低減でき、企業情報システムの基盤となるサーバやネットワークリソースを「必要な時に、必要なだけ」ご利用いただけます。

BIGLOBE データセンター内にある VM 基盤上に用意する仮想サーバを、OS の管理者権限を含めてご提供しますので、お客様は必要なアプリケーションを任意に導入し、目的に沿ったシステム構築が可能となります。

1.4. サービスの特徴

■お客様自身でサーバ構築が可能

ブラウザ上のコントロールパネル画面を利用することで、お客様自身でサーバを構築することができます。

■最短 5 分でサーバ構築が完了

コントロールパネルから自動構築できるメニューは、最短 5 分でサーバ構築が完了します。

なお、各種連携サービスについては、コントロールパネルからお申し込みを受け、お客様のご要件を調整後、既定のリードタイムを経てご提供いたします。

■各 OS の選択が可能

仮想サーバの OS は、CentOS、AlmaLinux、RHEL (Red Hat Enterprise Linux)、Microsoft Windows Server から選択が可能です。

■管理者権限を提供

サーバ管理者権限をご提供しますので、自由に OS・ミドルウェアの設定を変更することができます。

■リソース変更が可能

用途や負荷に合わせて、CPU、メモリ、ディスクの拡張が可能です。

■各種セキュリティ対策が可能

必要に応じて、ファイアウォール、Web アプリケーションファイアウォール(WAF)(※)をご利用いただけます。
(※)クラウドアプリストアにてご提供しております。

■APIを提供

BIGLOBEクラウドホスティング上のサーバの作成や操作(起動、停止など)を行うAPIを提供します(個別申込が必要となります)。

■料金プランの選択が可能

月額課金と従量課金から、利用用途に応じた料金プランの選択が可能です。

■サーバイメージの持ち込みが可能

お客様が自社内のサーバなどを元に作成した VMware 環境のサーバイメージを BIGLOBE クラウドホスティングに持ち込むことができます。

■サービス品質保証制度(SLA)の導入

サーバの月間稼働率 99.99%を保証し、これを下回った場合はその月の利用料金の 10%を翌々月以降に減額します。

■高可用性の仮想化基盤

仮想化基盤にはヴィエムウェア社の VMware を採用しています。物理サーバに障害が起きた場合は、vSphere HA 技術により別の物理サーバ上に仮想サーバを配置し処理を継続可能なため、万一の物理サーバ故障時にも安心してご利用いただけます。(ただし再配置の際に仮想サーバの再起動が発生します。)

■クラウドアプリストアを提供

クラウドアプリストアでは業務サーバパック等のプリインストールサーバやクラウド上で業務システムを構築する際に必要なミドルウェア、運用支援ツール、業務系アプリケーションを簡単に購入できます。

■ゾーンに対応

可用性の向上や冗長化を目的として、2台以上の仮想サーバが配置されているゾーンを分離することで、物理サーバや電源が異なるハードウェアに仮想サーバを配置することができます。(但し、ストレージは共用装置となります。)

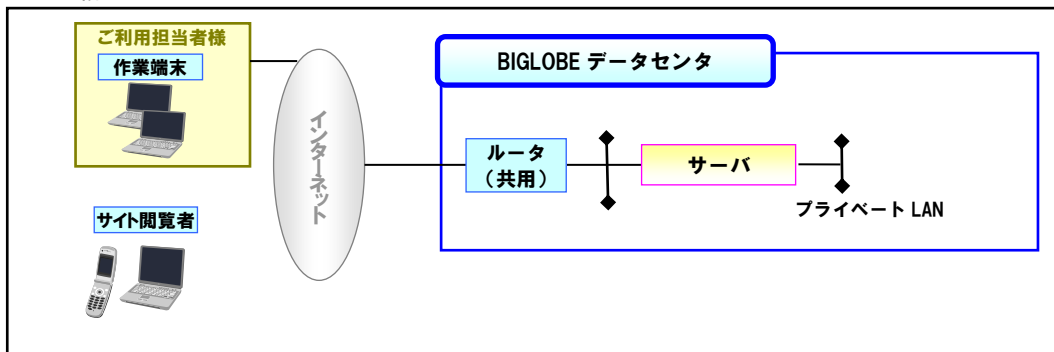
1.5.提供するシステム構成

本サービスで提供するシステム構成のラインナップは以下の通りです。

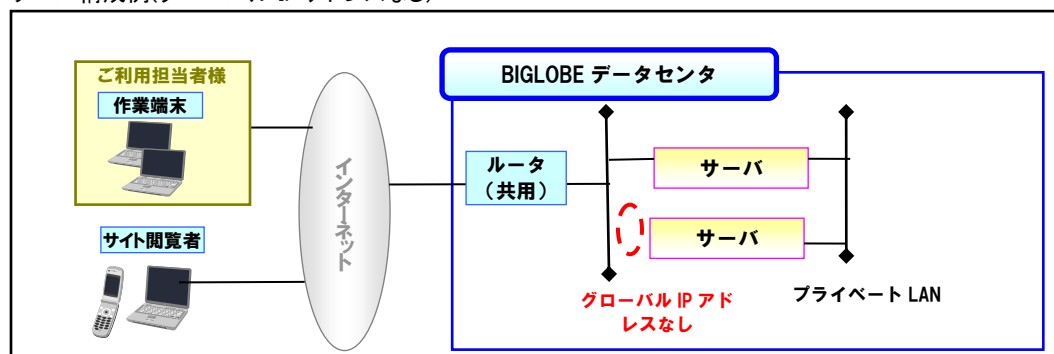
① 標準構成

コントロールパネルから最短 5 分で提供可能な構成パターンです。

サーバ構成例



サーバ構成例(グローバル IP アドレスなし)



② オプション構成

標準構成に他サービスを組み合わせた構成パターンです。以下の 5 パターンがあります。このうち、ロードバランサおよびファイアウォールはコントロールパネルから構築することができます。

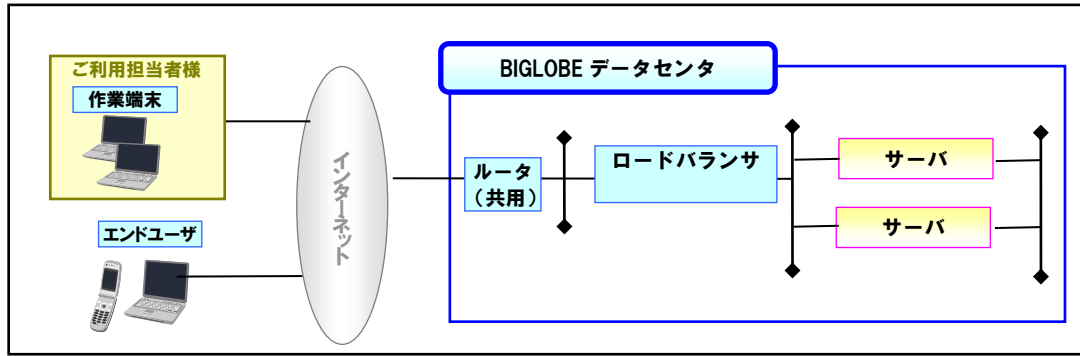
- サーバ + ロードバランサ ※3
- サーバ + ファイアウォール
- サーバ + Web アプリケーションファイアウォール(WAF) ※1
- サーバ + クラウドアクセスサービス(お客様指定回線) ※2
- サーバ + BIGLOBE クラウド VPN シリーズ ※1

※1 クラウドアプリストアから購入できます。

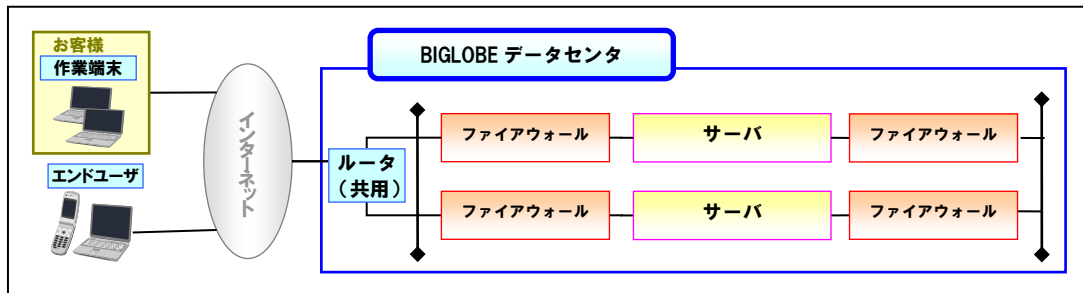
※2 連携メニューはコントロールパネルからはお問合せ/お申込みの受付のみとなります。

※3 L7 ロードバランサは、クラウドアプリストアから購入できます。

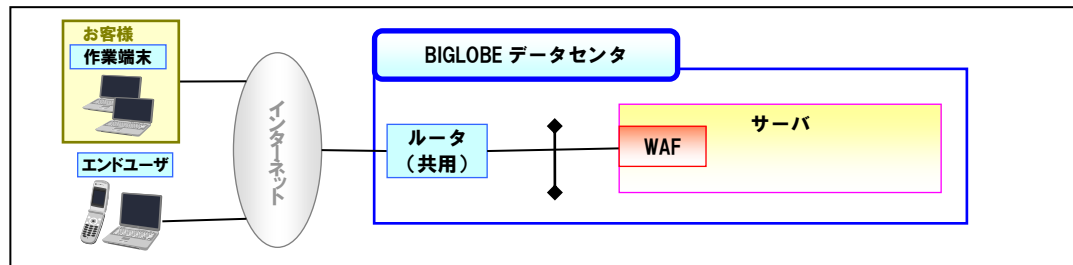
サーバ+ロードバランサ構成



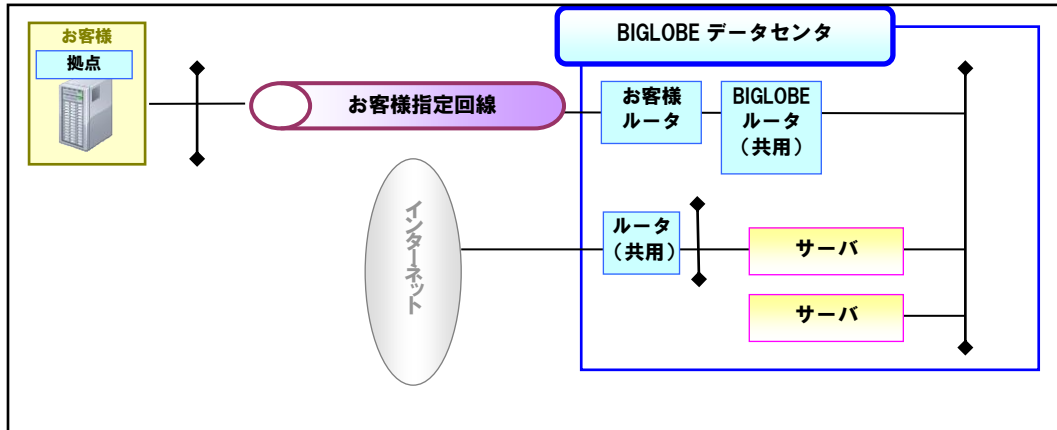
サーバ + ファイアウォール



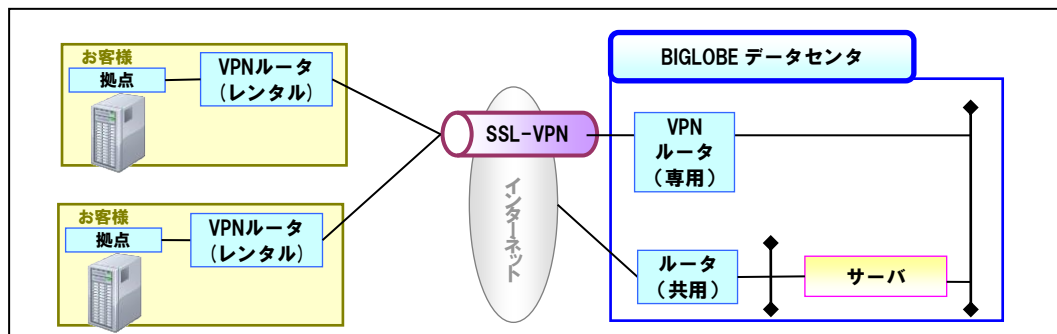
サーバ + Web アプリケーションファイアウォール(WAF)



サーバ + クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)



サーバ + BIGLOBE クラウド VPN シリーズ



1.6. コントロールパネルとユーザ ID

BIGLOBE クラウドホスティングでは、BIGLOBE が提供するコントロールパネルから、お客様自らサーバの構築、変更、削除のほか、リソースの追加、ご利用料金の確認等が可能です。
また、ヘルプデスクへのコンタクトや、連携サービスのお問合せ受付機能もあります。

【詳細は2章参照】

コントロールパネルへのログインには、お申し込みの際に BIGLOBE から郵送する「ユーザ ID」が必要です。

コントロールパネル

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/login/index.html>

コントロールパネルの動作保証環境

対応ブラウザ : Google Chrome、Mozilla Firefox

◇ダッシュボード◇

システム情報

サーバ	起動中	停止中	処理中	不明
	0	0	0	0

ご利用料金 (税別)

今月 (未確定)	料金確認
前月	
前々月	

>> [詳細](#)

お知らせ・障害情報

○お知らせ

>> [続きを見る](#)

○運用/障害情報

[こちらをご確認ください。](#)

個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 | Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2022

【コントロールパネルの操作権限について】

ご利用担当者(ユーザ ID)を追加登録する際にコントロールパネルの操作権限を指定することが出来ます。指定できる操作権限は以下の通りです。

- ・ アドミニストレータ : コントロールパネルの全ての操作が可能
- ・ オペレータ : 利用料が変動しない操作のみ可能
- ・ モニタリングユーザ : コントロールパネルでの参照のみ可能 (FW ログのダウンロードなどサーバに対する変更を伴わない操作が可能)

詳細は、「2.1 ④ コントロールパネル操作権限について」をご参照ください。

1.7. サービス仕様と連携メニュー

本章で説明するのは「東日本第3リージョン」で提供する BIGLOBE クラウドホスティングのサービス仕様となります。

1.7.1. 標準メニュー

① 仮想サーバ

BIGLOBEクラウドホスティングで提供するサーバは、VM基盤上に構築された仮想サーバです。お客様自らコントロールパネルから諸元を選択し「サーバ作成」いただきます。

東日本

「ベースモデル」、「ナノモデル」の2種類のモデルを提供します。

【ベースモデルのサーバスペック(東日本第3リージョン)】

OS	Ver	スペック			
		CPU	メモリ	ディスク	ネットワーク
Linux	CentOS 5 (64bit) ※2017年3月31日をもって新規販売を終了しました。	1vCPU (2GHz相当)	1GB	40GB	300Mbps
	CentOS 6 (64bit) ※2023年3月15日をもって新規販売を終了しました。				
	CentOS 7 (64bit)				
	AlmaLinux 8 (64bit)				
	Red Hat Enterprise Linux 5 (64bit) ※2017年3月31日をもって新規販売を終了しました。				
	Red Hat Enterprise Linux 6 (64bit) ※2023年3月15日をもって新規販売を終了しました。				
	Red Hat Enterprise Linux 7 (64bit)				
Windows	Windows Server 2008 (32bit) ※2023年3月15日をもって新規販売を終了しました。	1vCPU (2GHz相当)	2GB	40GB	300Mbps
	Windows Server 2008 R2 (64bit) ※2023年3月15日をもって新規販売を終了しました。				
	Windows Server 2012 R2 (64bit) ※2023年12月19日をもって新規販売を終了しました。				
	Windows Server 2016 (64bit)			100GB	
	Windows Server 2019 (64bit)				
Windows Server 2022 (64bit)					

- ・ サーバリソースオプションが利用できます。
CPU数、メモリ、ディスク容量、ネットワークのスペックを変更することが出来ます。スペックの詳細は、後述の【サーバリソースオプション(東日本第3リージョン)】の項をご確認ください。
- ・ AlmaLinux 8 及び Red Hat Enterprise Linux 8 は SELinux が有効のため、2vCPU 以上、2GB メモリ以上を推奨します。

【ナノモデルのサーバスペック(東日本第3リージョン)】

OS	Ver	スペック			
		CPU	メモリ	ディスク	ネットワーク
Linux	CentOS 5 (64bit) ※2017年3月31日をもって新規販売を終了しました。	1vCPU (1GHz 相当)	512MB	40GB	300Mbps
	CentOS 6 (64bit) ※2023年3月15日をもって新規販売を終了しました。				
	CentOS 7 (64bit)				

- ・スペックは上記固定です。サーバリソースオプションは利用できません。
- ・作成したサーバは、休止、スペック変更、追加ディスクの作成、サーバイメージ持込は利用できません。
- ・ナノモデルからベースモデルへアップグレードが可能です。アップグレード後はベースモデルと同一の機能が利用できます。

ベースモデルで以下のスペック変更が可能です。

【サーバリソースオプション(東日本第3リージョン)】

リソース	最大	増設単位
CPU リソース優先	—	—
CPU	8vCPU -Linux -Windows Server 2022 Standard Edition -Windows Server 2019 Standard Edition -Windows Server 2016 Standard Edition -Windows Server 2012 R2 Standard Edition -Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition 4vCPU -Windows Server 2008 R2 Standard Edition -Windows Server 2008 Standard Edition	+1vCPU ※3vCPU・5vCPU・7vCPUの割当は提供しません。
メモリ	64GB -Linux -Windows Server 2022 Standard Edition -Windows Server 2019 Standard Edition -Windows Server 2016 Standard Edition -Windows Server 2012 R2 Standard Edition -Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition 32GB -Windows Server 2008 R2 Standard Edition 4GB -Windows Server 2008 Standard Edition	+1GB(8GB まで) +4GB(8GB 以上)
基本ディスク	300GB -Windows Server 2022 Standard Edition -Windows Server 2019 Standard Edition -Windows Server 2016 Standard Edition -Windows Server 2012 R2 Standard Edition -Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition -Windows Server 2008 R2 Standard Edition -Windows Server 2008 Standard Edition	+60GB(100GB まで) +100GB(300GB まで)

ディスク D1(標準タイプ)	500GB × 8 個	+10GB(250GB まで) +50GB(250GB 以上) +200GB(300GB 以上)
----------------	-------------	--------------------------------------------------------

リソース	最大	増設単位
ディスク D2(大容量タイプ)	1500GB × 14 個	+100GB(500GB まで) +500GB(500GB 以上)
ネットワーク	1Gbps ベストエフォート	-

<CPU>

以下の注意・制限事項があります。

- ・ スペック変更する際は、サーバを停止する必要があります。
- ・ 1vCPUあたりの CPU リソース割当上限はサーバ装置の CPU 諸元に従うため、提供時期によって変動することがあります。
- ・ CPU リソース(動作周波数)はベストエフォートで提供します。
- ・ CPU リソース優先オプションはベストエフォートの CPU と比べて優先的に CPU リソースが割り当てられます。CPU リソース優先オプションは対象となるサーバのすべての vCPU に対し適用されます。

<メモリ>

以下の注意・制限事項があります。

- ・ スペック変更する際は、サーバを停止する必要があります。

<基本ディスク>

基本ディスク拡張は Windows Server が対象となります。

以下の注意・制限事項があります。

- ・ 持ち込みイメージから作成された Windows Server は対象外となります。
- ・ 基本ディスク拡張済み(基本ディスクが 300GB以上)のサーバを再度拡張することはできません。
- ・ スナップショットがある場合、基本ディスク拡張を実行できません。
- ・ 拡張した基本ディスクを縮小することはできません。

<追加ディスク>

追加ディスクは用途に応じて 2 種類(D1、D2)をご利用いただけます。

作成した追加ディスクはサーバから切断し保管しておくことが可能です。

また、切断状態の追加ディスクを任意のサーバ(OS が同一のものに限る)へ接続することも可能です。

以下の注意・制限事項があります。

- ・ ディスクを追加する際は、サーバを停止する必要があります。
- ・ 追加ディスク D2 はスナップショット対象外となります。
- ・ ディスク種別の変更(D1⇔D2)はできません。
- ・ 追加ディスクを拡張・縮小することはできません。
- ・ 1 サーバあたりの追加ディスク D1 と追加ディスク D2 の合計が 14 個を超えることはできません。

<ネットワーク>

東日本第3リージョンでは、クラウドアプリストアより「ネットワーク帯域拡張(1Gbps ベストエフォート)」ライセンスを購入することで、サーバのネットワークインターフェースの帯域を 300Mbps ベストエフォートから 1Gbps ベストエフォートへ拡張することが可能です。

帯域拡張に関する注意・制限事項は以下の通りです。詳細はクラウドアプリストアの掲載情報をご確認ください。

- ・ スペック変更する際、サーバの停止は不要です。
- ・ 1 サーバの 1 ネットワーク(グローバルネットワークもしくはプライベートネットワーク)あたり 1 ライセンスとなります。1 サーバでグローバルネットワーク、プライベートネットワーク両方拡張する場合は、2 ライセンスが必要です。
- ・ 帯域拡張を適用したサーバのイメージを元に新規サーバを作成または、帯域拡張を適用したサーバを複製しても、作成先

サーバ、複製先サーバには帯域拡張は引き継がれません。必要であれば別途購入してください。

■MAC アドレス注意・制限事項

お客さまにて仮想サーバの電源操作(電源 ON/OFF)をされた場合

VMware の仕様で、MAC アドレスが変更される可能性があります。

なお、お客様の操作による MAC アドレスを変更する(固定を含む)ことは禁止事項に該当します。

禁止事項については「2.23. 禁止事項」をご参照ください。

【モデルごとの機能別対比表】

リージョン	東日本第3リージョン			
	ベースモデル	ナノモデル	持込イメージから作成したサーバ	プリインストールサーバ
サーバ起動・停止・再起動・強制停止・強制再起動	○	○	○	○
サーバリソースオプション (基本ディスク拡張を除く)	○	×	○	○
ゾーン変更	○	○	○	○
サーバリソースオプション (基本ディスク拡張)	○ (Windows のみ)	×	×	○ (Windows のみ)
サーバの料金プラン変更	○	○	○	×
ディスク追加・削除・接続・切断	○	×	○	○
ディスクの料金プラン変更	○	×	○	○
グローバル IP アドレス追加	○	○	×	○
スナップショット 作成・削除・リストア	○	○	○	○
サーバイメージ作成	○	○	○	×
サーバ複製	○	○	○	×
サーバ削除	○	○	○	○
サーバ休止・休止解除	○	×	○	×
ベースモデルへの アップグレード	×	○	×	×
ファイアウォール	○	○	○	○

※サーバ作成時のみ指定可能

② OS **東日本**

OS は以下の中から選択いただけます。なお、初期インストールのみの対応ですので、ご提供する管理者権限で、お客様にて適宜パッチ適用等を実施ください。
 アカウントとパスワードは、お知らせした時点からお客様管理となります。パスワードは入手後、即時変更を推奨します。

【提供 OS 種別】

OS		バージョン	エディション	bit 数	東日本第3リリース
Linux	CentOS	5(※1)	-	64bit	×
		6(※2)			×
		7			○
	AlmaLinux	8			○
	Red Hat Enterprise Linux	5(※1)			×
		6(※2)			×
		7			○
		8			○
Windows	Windows Server	2008(※3)	Standard Edition	32bit	×
		2008 R2(※3)	Standard Edition	64bit	×
			Enterprise Edition		×
		2012 R2(※4)	Standard Edition		×
		2016	Standard Edition		○
		2019	Standard Edition		○
		2022	Standard Edition		○

■CentOS、AlmaLinux 及び Red Hat Enterprise Linux の注意・制限事項

- お客様がカーネルのダウングレードを行った場合は、OS 動作、及びコントロールパネルからの操作は非サポートとさせていただきます。
- yum コマンドによる kernel を含む全ての RPM パッケージの自動アップデートは ON での提供となります。
- CentOS 5、Red Hat Enterprise Linux 5 では、クラッシュダンプ用としてあらかじめ 128MB のメモリを確保しています。そのため、meminfo 等で確認した値はコントロールパネルで表示されるメモリサイズより少なく表示されます。
CentOS 6、CentOS 7、AlmaLinux 8、Red Hat Enterprise Linux 6、Red Hat Enterprise Linux 7、Red Hat Enterprise Linux 8 では、クラッシュダンプの設定が無効になっています。
- (※1)CentOS 5、Red Hat Enterprise Linux 5 は 2017 年 3 月 31 日をもって新規販売を終了しました。
- (※2)CentOS 6、Red Hat Enterprise Linux 6 は 2023 年 3 月 15 日をもって新規販売を終了しました。
- AlmaLinux 8 及び Red Hat Enterprise Linux8 は dnf-automatic で自動更新されます。

■Windows Server の注意・制限事項

- セキュリティパッチは最新のを適用し、自動アップデートは ON での提供となります。
- フルインストール(GUI 有り)での提供となります。
- Windows コンポーネントはデフォルトでインストールします。
- ご提供時の ServicePack をお客様が削除された場合は、OS 動作、及びコントロールパネルからの操作は非サポートとさせていただきます。
- (※3)Windows Server2008、Windows Server2008 R2 は 2023 年 3 月 15 日をもって新規販売を終了しました。
- (※4)Windows Server2012 R2 は 2023 年 12 月 19 日をもって新規販売を終了しました。
- Windows Server2022 の設定「Windows セキュリティ >ウイルスと脅威の防止の設定」で 2022 からの新機能「改ざん防止」はデフォルトのオフとしています。
オンにする場合、CPU・メモリの増設と合わせて実施することをご検討ください。

③ OS のライセンス契約について 東日本

OS のライセンスは以下の契約となります。ライセンスはサーバ毎に必要です。

【OS のライセンス契約について】

OS 種別	ライセンス形態
Windows Server	マイクロソフト社のライセンスアグリーメント(SPLA)ページに記載されているすべての条項が適用されます。
Red Hat Enterprise Linux	弊社より Red Hat サブスクリプションを購入した場合(※)、Red Hat Enterprise Linux 利用規約に記載されているすべての条項が適用されます。 (※)Red Hat サブスクリプション付のサーバを購入した場合または Red Hat サブスクリプションなしのサーバに Red Hat サブスクリプションを追加購入した場合 (※)Red Hat サブスクリプションなしモデルは、2015年11月4日以降、新規販売を終了いたしました。
CentOS	ライセンス不要
AlmaLinux	ライセンス不要

■Red Hat サブスクリプションの注意・制限事項

- ・ 対象となるサーバの vCPU 数により料金が異なります。
弊社では「4vCPU 以下」と「4vCPU 超」の料金メニューとなります。
- ・ 料金プランが月額の場合、CPU 数を 4vCPU 以下から 4vCPU 超に変更した月および 4vCPU 超から 4vCPU 以下に変更した月の Red Hat サブスクリプション料金は、「4vCPU 以上」と「4vCPU 超」を合計した金額となります。

④ ディスクパーティション標準構成 **東日本**

サーバ作成時のディスクパーティションは以下の構成でご提供いたします。

【Linux】

パーティション	容量
/	約 35GB
/boot	約 0.1GB
Swap	約 4GB

【Windows Server 2008 / 2012】

パーティション	容量
Cドライブ	40GB を Cドライブへ全て割り当て

※Windows Server 2008 は 2023 年 3 月 15 日をもって新規販売を終了しました。

※Windows Server 2012 は 2023 年 12 月 19 日をもって新規販売を終了しました。

【Windows Server 2016 / 2019 / 2022】

パーティション	容量
Cドライブ	100GB を Cドライブへ全て割り当て

⑤ L7 ロードバランサ **東日本**

クラウドアプリストアから L7 ロードバランサ用サーバおよびライセンスを購入することができます。L7 ロードバランサを用いて、複数のサーバに対して負荷分散をすることができます。L7 ロードバランサはグローバル/プライベート側の両方の通信に対応しております。

【ロードバランサ仕様概要】

提供内容	<ul style="list-style-type: none"> ・IPv4(グローバル/プライベート)、IPv6(グローバルのみ)を利用したレイヤ7ロードバランス ・専用(仮想アプライアンス) ・10Mbps、100Mbps、300Mbps ベストエフォート(ライセンスを選択)
バーチャル IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードバランサ 1 台あたり最大 19 バーチャル IP 設定可能 ・バーチャル IP アドレスは IP アドレス保持(L7 ロードバランサ用)で購入
負荷分散アルゴリズム	ラウンドロビン、重み付けラウンドロビン、最小接続、最速応答、最適予測
ヘルスマonitoring	パッシブ、アクティブ
セッション維持方式	IP ベース、SSL セッションベース、Cookie ベース、URL ベース(ID 埋込)
SSL アクセラレータ	SSL の復号処理、暗号処理を負荷分散対象サーバに代わり実行(クロスルート証明書に対応)
クラスタリング	2 台以上ご購入いただくことで L7 ロードバランサを冗長化することが可能

L7 ロードバランサに接続されている全てのサーバに異常が発生した場合(ヘルスチェックが異常状態になった場合)、あらかじめ設定した Sorry ページへ自動で接続(リダイレクト)させることが出来ます。

■注意・制限事項

- ・ SLA による保障はありません。
- ・ 仮想アプライアンス型であり、お客様による仮想アプライアンスサーバへのコンソールおよび SSH 接続ログインはできません。管理画面(Web-UI)へのログイン、操作のみとなります。
- ・ 詳細は、L7 ロードバランサのマニュアルをご参照ください。

⑥ インターネット接続 **東日本**

インターネットとの接続回線として、共用の大容量バックボーン回線をご提供します。サーバ作成時にグローバル IP アドレスを設定した場合、インターネット接続が可能になります。

■注意・制限事項

- ・ インターネットへの接続回線は、必要十分な帯域速度を確保していますが、ベストエフォートのため帯域速度を保証するものではありません。

⑦ プライベート LAN 東日本

サーバ同士を接続するプライベート LAN を標準で提供しています。同一契約 ID の中で作成されたサーバ間のみで通信を行うため、セキュリティが向上します。

■注意・制限事項

- ・プライベート LAN と DB サーバ接続を利用する場合、同一セグメントでの提供となります。
- ・プライベート LAN の追加・削除はできません。サーバを追加した場合は、作成済のプライベート LAN に追加されます。

⑧ グローバル IP アドレス 東日本

【サーバ】

サーバ単位にグローバル IP アドレスを標準で提供します。

「東日本第3リージョン」: IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方 (デュアルスタック)

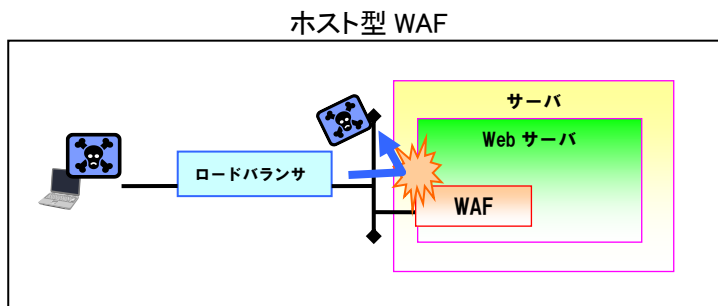
「東日本第3リージョン」では、サーバ削除時に IP アドレスを保持することができます。またサーバ用のグローバル IP アドレスを購入し、保持することも可能です。保持した IP アドレスは新規にサーバを作成する際に利用することができます。また禁止事項に抵触しない範囲において、アプリケーション上で利用することが可能です。アプリケーションへの設定はお客様にて実施いただきます。

⑨ Web アプリケーションファイアウォール (WAF) InfoCage SiteShell(2023 年 6 月 27 日をもって新規販売を終了しました) **東日本**

Web アプリケーションファイアウォール(WAF)を利用した、Web アプリケーションへのアプリケーション層の攻撃※1に対する防御を行うサービスをクラウドアプリストアにて提供します。WAFには NEC 社製「InfoCage SiteShell」を使用します。SiteShell はホスト型※2で、お客様の Web サーバにインストールする形となります。

(※1)クロスサイトスクリプティング、SQL インジェクション、OS コマンドインジェクションなど。

(※2) 以下の概念図を参照ください。



WAF には試用版と正規版があり、以下の機能差異があります。

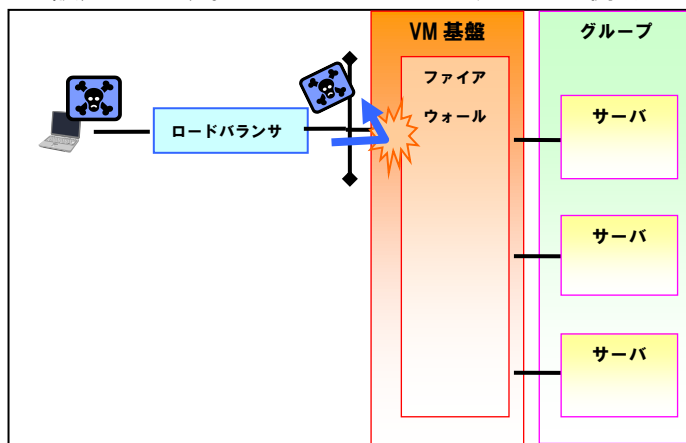
	利用方法	機能差異
WAF 試用版	クラウドアプリストアから試用版をダウンロードして自身で導入	攻撃のログの収集のみ行い、防御やシグネチャの更新はしません(WAF の効果を実感していただくための無料のサービス)
WAF 正規版 (ライセンスを登録した状態)	クラウドアプリストアからライセンスを購入後、アクティベーションを実施	防御を行いますが、バージョンアップや設定チューニングといった運用作業はお客様自身で実施していただきます

■注意・制限事項

- 1Web サーバごとに 1 ライセンスが必要となります。
- Linux 系サーバ作成時に WAF 試用版をプリインストールするオプション(セキュリティソフトオプション)は、2013 年 9 月 24 日をもって新規販売を終了しました。WAF をご利用になりたい場合は、Windows 系サーバと同様、試用版・ライセンス(有償)ともに、クラウドアプリストアよりダウンロードしてください。
- WAF の利用には Apache、IIS などの Web サービスが必要です。Web サービスは、お客様にてインストール・構築してください。
- 詳細は、WAF のマニュアルをご参照ください。

⑩ ファイアウォール 東日本

VM 基盤上で稼動する仮想ファイアウォールを提供します。コントロールパネルからルール(セキュリティポリシー)を設定でき、ルールはグループごとに設定することができます。サーバからみた送信元および送信先の通信に対してルール設定できます。インターフェースはプライベート側・グローバル側・両方を指定できます。



■注意・制限事項

- ・ファイアウォールの料金プラン(月額/従量)は適用したサーバの料金プランに準じます。料金はファイアウォールを購入するサーバ台数分必要です。グループ数・ルール数・ログ件数の上限値変更などオプションの利用料金は月額課金のみとなります。
- ・ファイアウォールのデフォルトポリシーは、BIGLOBE が提供するサービスの通信(詳細については「2.15.2 ①グループ一覧」を参照)を除く全ての通信が拒否された状態になります。
- ・ルールは Allow(許可)のみ登録できます。
- ・ログは DROP のみを表示し、ログの保管期限は最長で1年になります。
- ・ファイアウォールの購入・解約前にサーバを停止させる必要があります。
- ・スナップショットを取得している場合、購入・解約を行うとスナップショットは自動的に削除されます。

⑪ イメージ共有 東日本

作成したサーバイメージを、異なる契約 ID のユーザと共有することが出来ます。

イメージを共有するためには共有先となるお客様の契約 ID とそのお客様のユーザ ID を指定する必要があります。

共有完了の連絡は共有元にものみ送信されますので、必要に応じ共有元のお客様から共有先のお客様へ連絡をお願いします。

■注意・制限事項

- ・ 共有設定されているイメージは削除できません。
- ・ 共有されたイメージを、共有先からさらに別の契約 ID へ再共有することはできません。
- ・ 共有元もしくは共有先が共有イメージからサーバを作成している間は、共有の解除はできません(サーバ作成完了後、共有の解除が可能です)。

⑫ サーバイメージ持込 東日本

サーバイメージ持込では業務アプリケーションのインストールやサーバの設定情報など、あらかじめ自社構築していた仮想サーバ環境を、BIGLOBE クラウドホスティングに移行することができます。ガイドラインに沿って作成されたサーバイメージをコントロールパネルからアップロードし、持込イメージ※として利用することが出来ます。サーバイメージ持込を利用すると OS やアプリケーションの再構築が不要になり、移行・構築にかかる時間を大幅に短縮できます。

※持込イメージ : サーバイメージ持込を使って持ち込まれたお客様所有のサーバイメージ

■注意・制限事項

- ・ サーバイメージ持込にあたっては、「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」をご確認ください。
※サーバイメージ持込ご利用マニュアルはヘルプ画面からご参照ください。
- ・ 「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」に掲載されているガイドラインに沿ったサーバイメージをご用意ください。
- ・ サーバイメージ持込完了後は、サーバイメージ保管料が発生します。
- ・ 持込イメージを利用して作成したサーバを利用するためには、ネットワークの設定の変更が必要となります。設定変更の方法については、「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」をご参照ください。
- ・ 持ち込みイメージから作成したサーバのネットワーク設定が正しく行われるまで(ネットワークステータスが「接続中」になるまで)は、スナップショットは利用できません。
- ・ 持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用およびその結果については、お客様が一切の責任を負うものとします。
- ・ 持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。弊社ではサーバイメージ作成についてのご支援はいたしません。
- ・ 持込イメージから作成されたサーバはグローバル IP アドレスを後から追加することは出来ません。

⑬ コンソール接続 東日本

リモートデスクトップや SSH 接続を利用することなく、サーバに接続することが出来ます。コンソール接続はコントロールパネルからご利用いただけます。VPN 経由でセキュアな接続が可能です。サーバイメージ持込を利用して作成されたサーバのネットワーク設定時や、ネットワークトラブル時などにご利用いただけます。

■注意・制限事項

- ・コンソール接続に使われる VPN 接続のセッションタイムアウトは 60 分ですセッションタイムアウト時刻の 5 分前に警告ウィンドウが表示されます。

⑭ クラウドアプリストア 東日本

クラウドアプリストアでは業務サーバパック等のプリインストールサーバや BIGLOBE クラウドホスティング上で業務システムを構築する際に必要なミドルウェア、運用支援ツール、業務系アプリケーションを簡単に購入することができます。BIGLOBE クラウドホスティング上での動作確認ができている製品を提供します。ソフトウェアは月額料金でご利用いただけ、クラウドホスティングの利用料とまとめてのお支払となります。クラウドホスティング上のサーバに導入しやすいよう、次の2パターンからご購入いただけます。

1)プリインストールサーバ購入

ソフトウェアがプリインストールされたサーバをクラウドアプリストアから購入できます。購入したサーバは BIGLOBE クラウドホスティング上のサーバとして利用でき、サーバリソース等のオプションを利用することが可能です。

2)ライセンス購入

ソフトウェアのライセンスをクラウドアプリストアから購入できます。お客様にてサーバ作成およびソフトウェアのインストールを行い、購入したライセンスを設定して利用します。

■注意・制限事項

- ・購入したプリインストールサーバ・ライセンスは BIGLOBE クラウドホスティング上でのみご利用いただけます。
- ・プリインストールサーバについてはサーバ複製、サーバイメージ作成、サーバ休止は利用できません。
- ・クラウドアプリストアのご利用については別冊の「クラウドアプリストア ユーザマニュアル」(※)をご参照ください。
(※)ユーザマニュアルは、「クラウドアプリストア」の「About」に掲載されています。
- ・クラウドアプリストアで販売しているメニューのご利用条件はメニューごとに異なります。ご購入前に必ずクラウドアプリストア上にてご利用条件をご確認ください。

⑮ DNS **東日本**

お客様が保有するドメイン名を使って、BIGLOBE クラウドホスティングで作成したサーバ用の DNS 登録と、DNS 運用代行を提供するサービスです。サブドメインの登録も可能です。

- ・登録可能な DNS ゾーン登録数 : 制限なし
- ・追加可能な DNS レコード数 : 100 レコード／ゾーン
- ・追加可能な DNS レコードタイプ : A、CNAME、MX、TXT(SPF)

なお、連携メニュー「サーバ運用支援サービス(DNS 設定変更)」との相違点は別冊「DNS レコード設定 操作マニュアル」をご参照ください。

■注意・制限事項

- ・ドメイン取得機能はありません。ドメインはお客様にて取得してください。
- ・レコード設定に関しては自己責任でお願いいたします。設定情報に関するサポートは行っておりません。
- ・設定レコードにお客様が利用されているもの以外は設定しないでください。不適切な設定をされた場合、サービス利用を停止させていただく場合があります。
- ・NS レコード、PTR レコード(逆引き)、SOA レコードは設定できません。
- ・DNSSEC、レイテンシーベースルーティング(LBR)等をご提供しておりません。
- ・DNS に設定しているサーバを削除した場合、DNS の設定も併せて削除して下さい。
※自動では削除されませんので、ご注意下さい。

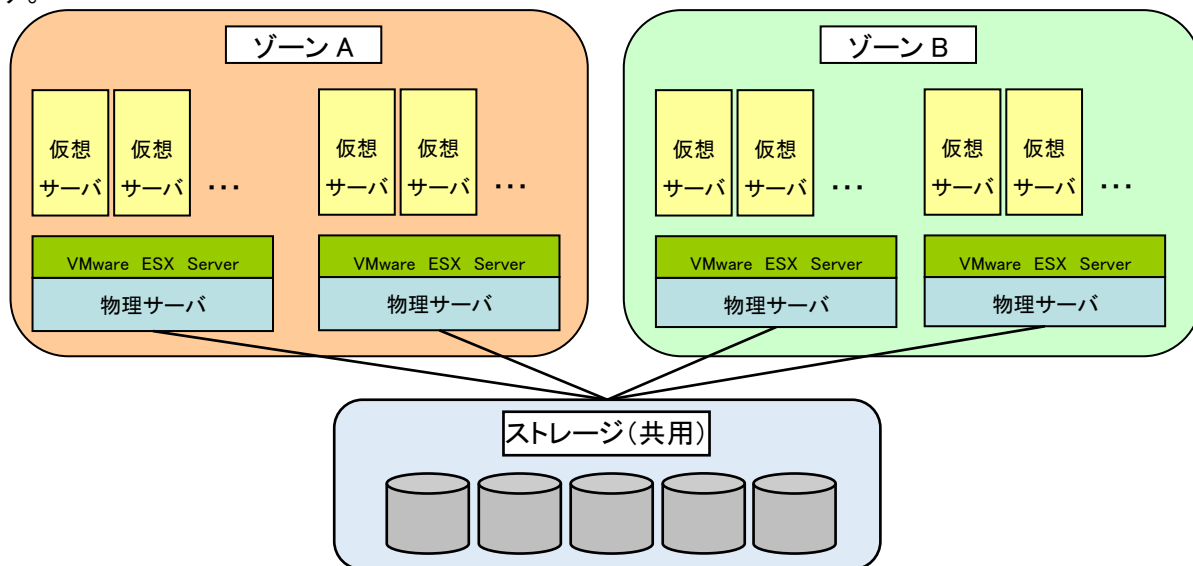
⑩ ゾーン **東日本**

サーバ作成時やサーバ作成後にゾーンを選択、変更することができます。

ゾーンを選択した場合、同一のリージョン内で物理的サーバや電源を分離したクラスタ(ゾーンA/ゾーンB)に仮想サーバを配置できます。

ゾーンを指定しない場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。

2 台以上の仮想サーバを異なるゾーンに配置することで、システムの冗長化や負荷分散を行うことが可能です。



■注意・制限事項

- ・ゾーンの選択は、サーバ作成時または、サーバステータスが「起動中」、「停止中」の場合に可能です。
- ・ストレージは共用装置となります。

1.7.2. 連携メニュー

連携メニューとはクラウドホスティングと連携し、各種機能を利用いただくオプションサービスです。コントロールパネルからお申込後、別途ヒアリングやお見積をさせていただき、ご発注後に用意させていただきます。

① infra-VPN サービス(2022年5月25日をもって新規販売を終了しました) **東日本**

お客様の PC から、サーバへの VPN リモートアクセスを「infra-VPN」で提供します。インターネットへ接続可能な PC であれば場所を問わずに利用できます。また、ソフトウェア型の VPN で、ID/パスワードによる認証を行います。

■注意・制限事項

- ・ 最低利用期間は 1 ヶ月となります。
- ・ 契約する ID 数に応じて、同時に利用できるユーザ数に上限があります。
- ・ 同じ ID を使用して複数の PC から同時に使用することはできません。
- ・ プロキシおよびファイアウォールが存在するネットワーク環境からのアクセスで、接続先制限・セッション制限・負荷分散機能を導入している場合はご利用いただけない場合があります。

② サーバ運用支援サービス **東日本**

BIGLOBE のシステム運用ノウハウを活用し、システムの監視や各種オペレーション作業を代行いたします。

- **モニタリング**: サーバやシステムの監視業務
 - ・ URL 監視
 - ・ ポート監視
 - ・ Ping 監視
 - ・ サーバリソース監視
 - ・ プロセス監視
 - ・ AP ログファイル監視 など
- **オペレーション**: お客様のご依頼に基づいた作業代行
 - ・ ドメイン代行作業
 - ・ SSL サーバ証明書取得代行
 - ・ DNS 設定変更 など

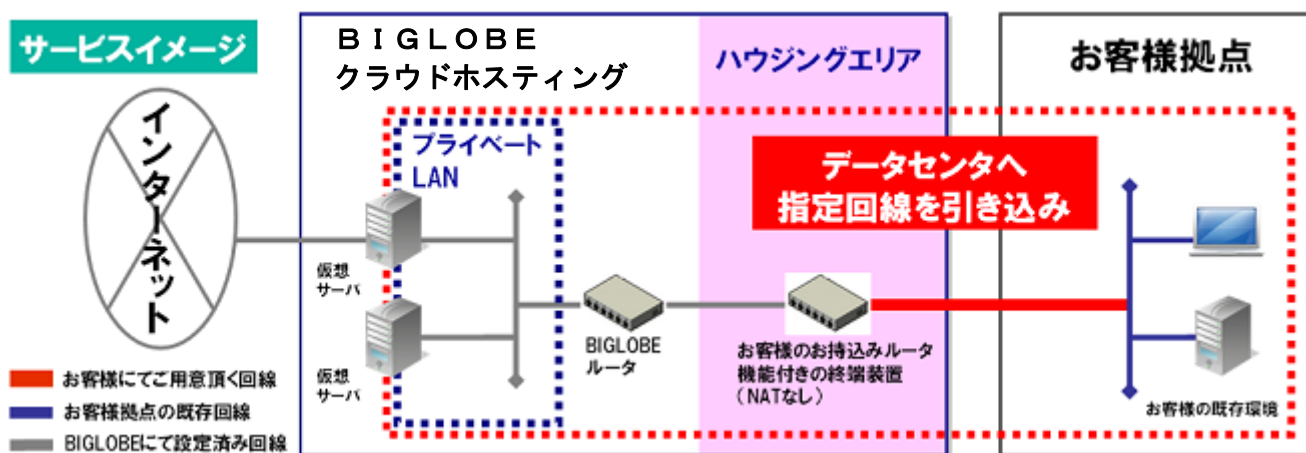
■ 注意・制限事項

- ・ 最低利用期間は 1 ヶ月となります。ご依頼内容によって別途最低利用期間を設けさせていただく場合があります。

③ クラウドアクセスサービス(お客様指定回線) **東日本**

クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)は、お客様の指定回線を BIGLOBE のデータセンタに引き込み、クラウドホスティングとお客様拠点を接続するためのデータセンタ内の専用エリアをご提供するサービスになります(回線の契約、引込手配、お支払はお客様にて実施いただきます)。

お客様にて専用線を引き込んで頂ければ、インターネットを経由せずセキュアにパブリッククラウドをご利用頂くことが可能です。また、お客様がご利用のアドレス体系をアドレス変換せずにご利用いただけます。



■ 注意・制限事項

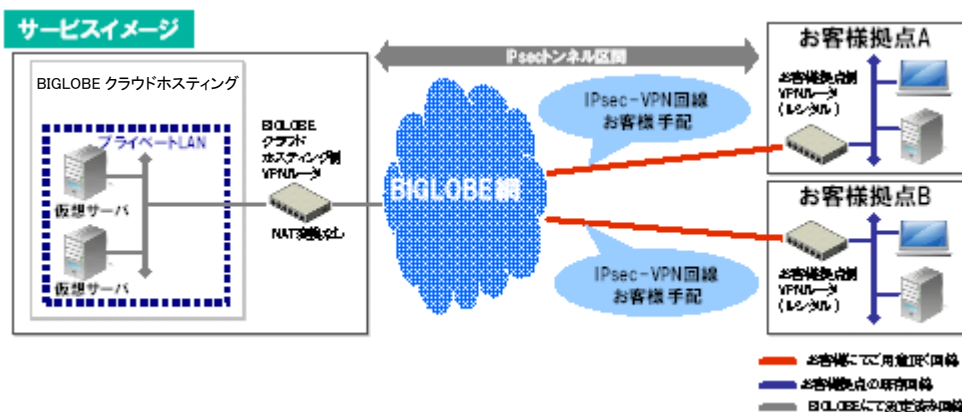
- ・ 最低利用期間は 24 ヶ月となります。期間内にクラウドホスティングサービスをご解約の場合も、本オプションの月額費用が発生します。

④ クラウドアクセスサービス (IPsec-VPN) (2017年7月25日をもって新規販売を終了しました) **東日本**

クラウドアクセスサービス(IPsec-VPN)は、BIGLOBE クラウドホスティングとお客様拠点間のセキュアな通信環境を実現する IPsec-VPN サービスを低料金でご提供いたします。

BIGLOBE クラウドホスティング側とお客様拠点間の回線はお客様にてご契約頂けます。お客様拠点側 VPN ルータは BIGLOBE がご提供いたします。お客様拠点側は、1 拠点から複数拠点まで対応可能です。

また、お客様がご利用のアドレス体系をアドレス変換せずにご利用いただけます。



オプションサービスとして IPsec-VPN 回線の契約・設置作業と、お客様拠点側 VPN ルータの設置作業を代行することも可能です。またオプションサービスをご利用の場合、回線とお客様拠点側 VPN ルータの監視作業も BIGLOBE が実施します。

■注意・制限事項

- ・ 最低利用期間は 24 ヶ月となります。期間内にクラウドホスティングサービスをご解約の場合も、本オプションの月額費用が発生します。

⑤ サイバー攻撃対策サービス **東日本**

1) クラウド型脆弱性診断/SCT SECURE クラウドスキャン

SCT SECURE クラウドスキャンは、リリースされたサービスシステムにおいて新たな脆弱性が生まれていないかを自動で定期的に診断するサービスです。

2) クラウド型 WAF/cloudbric & シマンテック クラウド型 WAF

クラウド型 WAF (cloudbric & シマンテック クラウド型 WAF) は、お客様のサービスシステムに対し、設備投資なしで WAF (Web Application Firewall) の機能を提供するサービスです。

サイバー攻撃のリスクを軽減しつつ、頻発するパッチ適用やシステムリニューアルを計画的に行えるようにし、TCO の改善に寄与します。

1.8. リードタイム

「サーバ作成」は、最短 5 分(東日本第3リージョン)で構築できます。その他のサービスについてのリードタイムは以下に記載します。

【標準メニュー リードタイム一覧】

項目	内容	東日本第3リージョン
サーバ	サーバ作成(複数台)	5分～×台数
	CPU、メモリの変更	～1分
	ゾーン変更	～1分
	基本ディスク拡張	～1分
	サーバイメージからのサーバ作成	10分～ (容量によって変わる)
	サーバ複製	10分～ (容量によって変わる)
	サーバ設定変更	5分
	サーバ削除	5分
サーバイメージ	サーバイメージ作成	10分～ (容量によって変わる)
	サーバイメージ削除	
	サーバイメージ持込	お客様のネットワーク 環境等により異なります
SSH キー	SSH キー作成	5分
	SSH キー削除	
保持 IP アドレス	IP アドレス購入(サーバ用、クラスタ用)	2分
ファイアウォール	ファイアウォール購入	1分
	ファイアウォール解約	1分
コンソール接続	コンソール用 VPN 接続 ID 作成・パスワード変更	3分
クラウド監視	監視プラン選択、監視設定	10分～

【連携メニュー リードタイム一覧】

項目	内容	東日本第3リージョン
ネットワーク	infra-VPN サービス (2022年5月25日をもって新規販売を終了しました)	ご契約完了後約 10 営業日
	クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)	ご契約完了後約 2ヶ月 ※お客様にてご用意いただく回線の手配状況によってリードタイムが異なる可能性があります。
その他	サーバ運用支援サービス	ご依頼内容によってリードタイムが異なります
	サイバー攻撃対策サービス	ご依頼内容によってリードタイムが異なります

1.9.料金プランと課金単位

BIGLOBE クラウドホスティングの料金プランには、月額課金と従量課金(※)があります。

料金プランは、ご利用担当者様がコントロールパネルから自ら変更できます。以下の点にご注意ください。

- ・変更結果は翌月から反映されます。
- ・同月に何度も料金プランを変更した場合は、最後に指定した料金プランが適用されます。

例) 10月「月額→従量」に変更した場合、11月から従量課金開始

(※)一部のメニューは従量料金に対応しておりません。

また、サーバ本体に追加するサーバリソースオプションについては以下の通りです。

- ・増設メモリや増設 CPU、CPU リソース優先は、サーバと異なる料金プランは指定できません(サーバに指定している料金プランが適用されます)。
- ・追加ディスクは、サーバと異なる料金プランを指定できます(ディスク単体で料金プランを指定することができます)。
- ・ネットワーク帯域拡張は、料金プランを選択できません(月額のみ)。

連携サービスについては、コントロールパネルからのお問合せ後、個別対応させていただきます。

① 月額課金

月単位での計算を行います。月の途中で契約/解約しても1ヶ月分の料金が発生します。

サーバのスペックを変更した場合、同月の高い方の金額を適用させていただきます。CPU は、CPU リソース追加とリソース優先を合わせて金額計算し、金額の高い方を適用します。

② 従量課金

時間単位での計算を行います。1 時間単位とし、端数は切り上げで計算させていただきます。1 秒の利用でも、1 時間分の料金が発生します(サーバ起動・停止・休止の状況にかかわらず料金が発生します)。月をまたいだ場合は、月単位で時間を区切ります。

③ 課金の開始

本サービスの課金は、ご利用担当者様がコントロールパネルからサーバの作成を完了された時点から開始されます。(ユーザIDの入手や、コントロールパネルへのログインのみでは課金されません。)当月分のご利用料金は翌月のご請求となります。

1.10. 責任範囲

BIGLOBE クラウドホスティングのサービスレベル目標値は以下としています。

このうち、月間のサーバ稼働率についてはサービス品質保証制度(SLA)に対応しています。

① サービスレベル目標

区分	項目	内容
契約	提供リードタイム	新規にサービスお申し込みの場合、お申し込みが完了してからユーザ ID の提供まで最短 3 営業日(郵送にかかる時間は含みません)。
	最低利用期間	なし。ただし、連携メニューなど個別サービスについては、別途ご確認下さい。
	解約	最終利用月の 20 日までに書面にて所定の宛先にご連絡ください。
可用性	サービス時間	24 時間 365 日(計画停止/定期保守を除く)。
信頼性	障害通知プロセス	BIGLOBE クラウドホスティング 運用/障害情報サイトに障害情報を掲載します(コントロールパネルのトップページ(ダッシュボード)から障害情報へアクセスすることが可能です)。
	サービス提供状況の報告	BIGLOBE クラウドホスティング 運用/障害情報サイトに障害情報を掲載します(初報と復旧時、その間約 1 時間程度を目安に更新)。
拡張性	カスタマイズ性	ベースモデルにオプションを追加することで、柔軟なシステム構成の構築が可能。
	外部接続性	インターネット経由。プライベート LAN を利用する連携メニューやハウジングを別途契約することによりお客様拠点との VPN 接続が可能。
データ管理	バックアップ	サーバ環境・格納データ等のバックアップはお客様にてご対応ください。
	データ消去	コントロールパネルでの「サーバ削除」「追加ディスク削除」、また本サービスの解約後、該当サーバ・ディスクのデータを完全消去します。
サポート	提供(障害対応)時間	24 時間 365 日 コントロールパネルのお問い合わせフォームから受け付けます。
	障害お問い合わせ回答時間	弊社営業日の日勤帯(9:00~12:00、13:00~17:00)
	提供(一般お問い合わせ)時間	24 時間 365 日 コントロールパネルのお問い合わせフォームから受け付けます
	一般お問い合わせ回答時間	弊社営業日の日勤帯(9:00~12:00、13:00~17:00)
セキュリティ	公的認証取得	インターネット接続 安全・安心マーク、プライバシーマーク
	通信の暗号化レベル	コントロールパネルへのアクセスは SSL で暗号化されています。

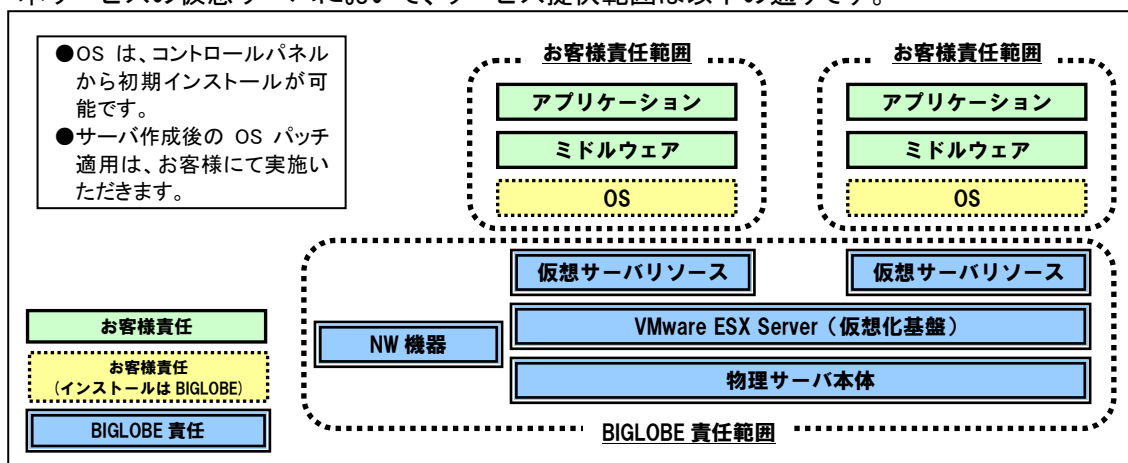
② サービス品質保証制度 (SLA)

月間のサーバ稼働率	99.99%
稼働率算出の除外項目	(1)本サービス用設備の定期メンテナンス (2)本サービス用設備の保守を緊急に行う場合などの計画停止 (3)地震、台風、洪水、津波、噴火等の自然災害、感染症の発生、戦争、内乱、暴動等の不可抗力、火災、停電 (4)行政機関または司法機関の、業務を停止する旨の命令 (5)お客様端末設備または接続サービスの不具合 (6)本サービスに接続するためのアクセス回線の不具合 (7)仮想サーバ上で動作するソフトウェア(弊社またはお客様の何れが用意したかを問わない)の不具合 (8)OSまたはドライバーの不具合 (9)ファイアウォール機能の不具合 (10)コントロールパネル画面の不具合 (11)お客様が仮想サーバに施した設定の不具合 (12)お客様の不正な操作 (13)第三者からの攻撃および不正行為 (14)本サービスの機能としての中断(フェイルオーバーにともなうサーバやネットワーク機器の再起動など) (15)弊社約款利用中止規定に掲げる事由 (16)DNSの不具合
保証品質を下回った場合の対応	当該月(99.99%を下回った月)のご利用料金の10%を減額します。

③ 提供範囲

【仮想サーバ基盤上の提供範囲について】

本サービスの仮想サーバにおいて、サービス提供範囲は以下の通りです。



④ 保証品質を下回った場合の対応

万一、月間のサーバ稼働率が 99.99%を下回った場合はお客様から申告頂き、当該月のご利用料金の10%を減額させていただきます。

■稼働率の考え方

・ 月間サーバ稼働率

月間サーバ稼働率 = (月間総稼働時間 - 累計障害時間) ÷ 月間総稼働時間 × 100
※契約単位での算出となります

・ 月間総稼働時間

月間総稼働時間 = 一日 24 時間として、当該月の日数を掛けた時間

・ 累計障害時間

以下の各号のいずれかに定める状態にあったと弊社が確認した時間をさします。

- (1) お客様が利用中のサーバ全てに電源が入らない。
- (2) お客様が利用中のサーバ全てにアクセスできない。
- (3) お客様が利用中のサーバに接続されているディスク全てに全くアクセスできない。

・ 稼働率の対象範囲

サーバ(追加 CPU、メモリ含む)及びストレージ(追加ディスク含む)を対象範囲とします。
※オプションは含みません。
※L7 ロードバランサは SLA 適用除外となります。

・ ご利用料金の対象範囲

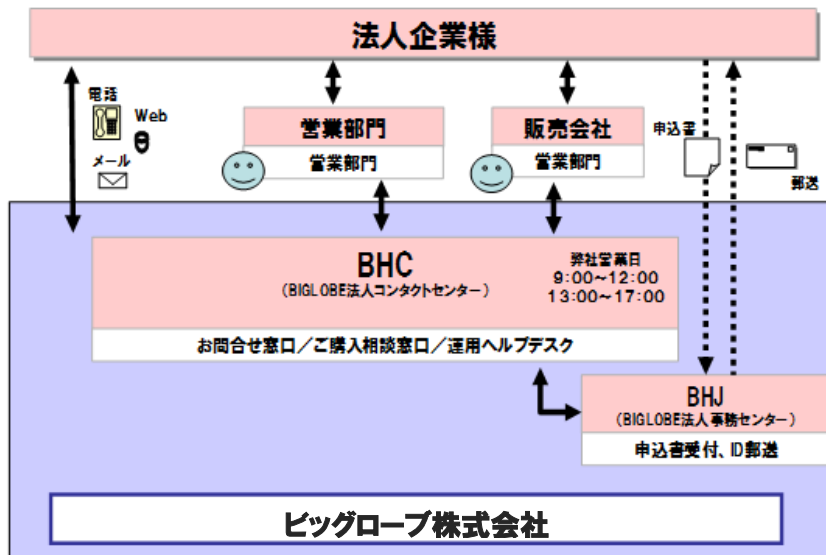
サーバ(追加 CPU、メモリ含む)及びストレージ(追加ディスク含む)を対象範囲とします。
※オプションの料金は対象となりません。

・ 対応方法

お客様から当該月の翌月 10 営業日までにご申告をお願いいたします。
その際、申告用紙、確証を BIGLOBE までご送付ください。
※当該月の翌々月のご利用料金と相殺する形で対応いたします。
※翌々月のご利用料金が減額分を下回った場合、差額の返金対応等はいたしません。

1.11. サービス運営体制

BIGLOBEクラウドホスティングの運営体制は以下のとおりです。サービスお申し込みについては、BHC(BIGLOBE法人コンタクトセンター)、営業、販売会社営業までご相談ください。ユーザIDをお渡しした後は、BHCが窓口としてお客様をサポートいたします。



1.12. 各種情報の変更／解約について

本サービスのご利用開始後、各種情報を変更される場合は以下の手続きを実施してください。

① コントロールパネルのパスワード変更

コントロールパネルのログインパスワードは以下の手順で変更が可能です。

- 以下のパスワード変更画面へアクセスします。

パスワード変更画面 URL
https://manage.office.sso.biglobe.ne.jp/member

- ログイン画面が表示されるので、ユーザ ID と現在のパスワードを入力後「ログイン」ボタンをクリックしてログインします。

- 利用者画面が表示されるので、「BIGLOBE パスワード変更」をクリックしてください。

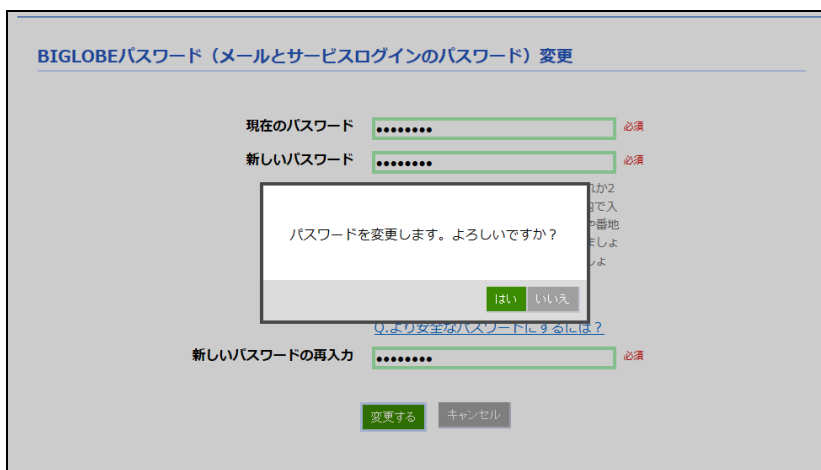
ご注意 : 「利用明細」はご利用いただけません。

4. BIGLOBE パスワード変更画面が表示されるので、現在のパスワードと新しく設定するパスワードを入力し、「変更する」ボタンをクリックします。

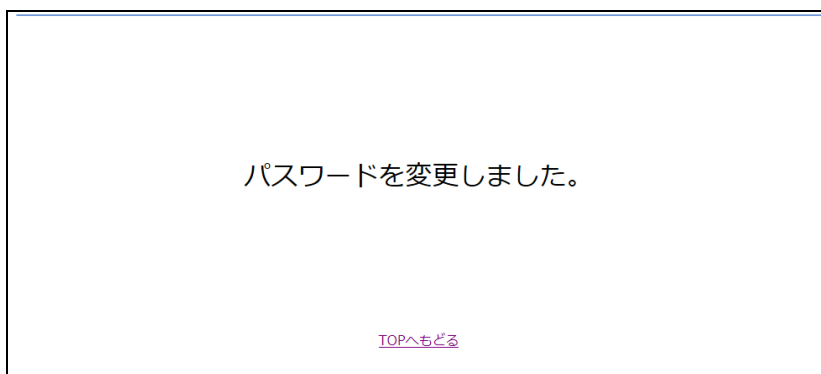
パスワードは、数字、英小文字、英大文字、記号のいずれか 2 種類以上を使用した 8 文字以上 16 文字以内で入力してください。



5. 確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。



6. パスワード変更完了メッセージが表示されます。変更は即時反映されます。



② コントロールパネルのパスワード再発行

コントロールパネルのパスワードは再発行ができません。コントロールパネルのパスワードを忘れた場合は、現在のユーザ ID を削除し、新規でユーザ ID と初期パスワードを発行いたします。（「1.12 ⑤ご利用担当者追加・削除申込」を参照）

申込書ダウンロードページ：<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html>

③ 会社情報・請求先情報変更申込

会社情報と請求先情報の変更は、「登録情報変更申込書」を記載いただく必要があります。下記 URL より変更申込書を手入力いただき、書面に記載の宛先までご返送ください。

申込書ダウンロードページ：<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html>

④ ご利用担当者情報・通知先メールアドレスの変更

既にユーザ ID をお持ちのご利用担当者様の情報（お名前、部署名、電話番号、メールアドレス）は、BIGLOBE クラウドホスティング コントロールパネルからご変更可能です。（「2.19 ② ご担当者情報変更」参照）

⑤ ご利用担当者追加・削除申込

ご利用担当者様（ユーザ ID）の追加・削除をご希望の場合は、「ご利用担当者追加・削除申込書」を記載いただく必要があります。下記 URL より申込書を手入力いただき、書面に記載の宛先までご返送ください。ご利用担当者追加の際にコントロールパネルの操作権限を指定することが出来ます。（「2.1 ④ コントロールパネル操作権限について」参照）

申込書ダウンロードページ：<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html>

⑥ サーバ台数制限解除

お申し込み時点では作成可能な最大サーバ台数は20台になっています。20台より多くのサーバ作成をご希望の場合は、コントロールパネルのお問い合わせから「サーバ台数制限解除申込書」をご要求いただき、書面に記載の宛先までご返送ください。

⑦ 解約申込

下記 URL より「解約申込書」を入手いただき、所定の宛先までご返送ください。

申込書ダウンロードページ : <https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html>

この際、以下にご留意ください。

◇BIGLOBE クラウドホスティングご解約について

- ・ 解約予定月(=利用最終月)の 20 日までに、BIGLOBE まで解約申込書を提出いただく必要があります。連携メニューもお申込いただいている場合は下記「◇連携メニューご解約について」もご参照ください。
- ・ ご利用のシステム環境は、利用最終月末日までにご利用担当者様自らコントロールパネルから完全に削除いただく必要があります。万一削除いただけない場合、BIGLOBE が解約日以降に強制削除いたしますのでご了承ください。
- ・ 解約申込書の到着後、弊社 BHC からお客様へ、ご利用状況等を確認させていただく場合があります。
- ・ 利用最終月末日をもってご利用担当者様のユーザ ID は無効となります。(コントロールパネルへのログインができなくなります。)

◇連携メニューご解約について

- ・ 連携メニューをご解約される際は解約予定月(=利用最終月)の前月 15 日までに解約の意思表示(※)をお願いいたします。
(※)サービス用解約申込書の提出が必要となる場合もあるため、早めに法人コンタクトセンターまでご連絡ください。
- ・ BIGLOBE クラウドホスティング連携メニューは、月額課金のため、日割清算や従量課金には対応しておりません。ご利用開始初月およびご利用最終月についても、月額費用の満額でのご請求となります。
- ・ 最低利用期間に満たない期間でのご解約が発生した場合は、期間満了までの料金を一括請求させていただきますので、あらかじめご了承ください。
「IPSec コネクトサービス」は、最低利用期間を6ヶ月としています。
「クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)」および「クラウドアクセスサービス(IPsec-VPN)」は、最低利用期間を24ヶ月としています。
「サーバ運用支援サービス」はサービス内容によって最低利用期間を設けてある場合があるため、別途ご確認ください。
「Web ホスティング DB サーバ」の最低利用期間につきましては別途取り交わす契約書を確認ください。
- ・ 各サービスの注意制限事項は、サービスごとのご紹介資料を参照ください。

1.13. サポートについて

「ユーザ ID」を入手いただいたあとは、お客様からのご質問は、基本的にコントロールパネルの「お問い合わせ」から受付させていただきます。お問い合わせの受付は 24 時間 365 日行っておりますが、回答は弊社営業日の 9:00～12:00、13:00～17:00 とさせていただきます。

ご契約後のサポート窓口
<p>◆ お問い合わせフォームによるご質問／お問い合わせ コントロールパネルにログインし、「お問い合わせ」からアクセスください。</p> <p>◆ コントロールパネルにアクセスできない場合 BIGLOBE 法人コンタクトセンター(弊社営業日 9:00～12:00、13:00～17:00)</p> <p>0120-20-5644</p>

弊社に起因すると思われる BIGLOBE クラウドホスティングサービスの不具合・障害が発生していることを確認された場合のお問い合わせ窓口は下記のとおりです。

弊社の不具合・障害に関するお問い合わせ
<p>◆ メールでのお問い合わせ</p> <p>incident@bch.biglobe.ne.jp</p> <p>◆ 電話でのお問い合わせ クラウドホスティング障害受付センター</p> <p>03-6479-5501</p>

不具合・障害に関するお問い合わせの際には以下の情報をご連絡ください。

- 契約 ID
- 貴社名
- ご担当者名
- サーバ名
- 状況：復旧済み / 障害発生中
- 発生日時
- 発生頻度
- サーバへの接続：可能/不可能
- 再起動：実施済み/未実施/不可
- 強制再起動：実施済み/未実施/不可
- 直近のサーバ設定変更作業：有/無
- 事象詳細：
 - (例)コントロールパネルで、〇〇の操作後に事象発生
 - (例)サーバにログインして、〇〇の操作後に事象発生
 - (例)特に操作は行っておらず、事象が自然発生

■注意・制限事項

いただいたメールに対しすぐに返信できない場合がありますが、ご了承ください。

不具合を弊社にて確認・対応中の場合は、BIGLOBE クラウドホスティング運用／障害情報サイト (<https://help.cloudhosting.biglobe.ne.jp/info/index.php/メインページ>)にて情報掲載させていただきます。

OS 以上の保守・運用につきましては、お客様の責任範囲のためお客様にて切り分けを実施してください。

サーバに通常ログインできない場合はコンソール接続もお試ください。

回答は、ご連絡先メールアドレスへ送信します。

迷惑メールフィルタの設定によっては、当社より送信するメールが届かない場合があります。

メールが届かない場合は、迷惑メールフィルタの設定をご確認ください。

このページから送信される個人情報は、サービスのお問い合わせの回答以外には利用いたしません。

当社の個人情報保護方針につきましては BIGLOBE 個人情報保護ポリシーにて記載しておりますので、ご確認ください。

弊社営業時間外(平日夜間 17:00-9:00 および休日)にお問い合わせいただいた際の対応範囲は、「サーバに接続できない」または「コントロールパネルのログイン画面に接続できない」場合で弊社が再現可能な不具合・障害に限ります。それ以外の場合には、翌営業日以降の対応となります。

【ご利用担当者様の誤操作により、ロックアウト、消失・紛失した環境の復旧について】

ご利用担当者様作業によって、以下例に記載の場合には、BIGLOBE では、復旧作業にはご対応できません。サーバの再作成等によって、作成し直すよう、お願い致します。

<例>

- ・サーバにログインできない。
- ・サーバやデータを削除してしまった。
- ・SSH 鍵やパスワードを紛失した。
- ・本サービスで必要なコンポーネント (VMware-Tools など) を削除してしまった。

2. コントロールパネル 操作マニュアル

2. コントロールパネル操作マニュアル

本章では、BIGLOBE クラウドホスティングのユーザ ID を送付されたお客様のご利用担当者様にコントロールパネルをご利用いただくための操作方法をご説明いたします。

また、本操作マニュアル以外にも下記の FAQ サイトをご参照ください。

※BIGLOBE クラウドホスティング よくあるご質問 <https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/faq/index.html>

2.1. ログイン、ログアウトとコントロールパネルの構成

① ログインとダッシュボードの表示

コントロールパネルへは、以下の URL からアクセスします。「ユーザ ID」とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックすると、ダッシュボード画面が表示されます。

※初期パスワードは、速やかに変更ください。

(パスワード変更方法 <https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/faq/faq219.html>)

コントロールパネルのスタートページ

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/login/index.html>

ナビ

スタート
ページ

ログイン
画面

ダッシュ
ボード

※ブラウザのお気に入りにはスタートページを登録してください。

◇ログイン◇

ログイン


ユーザIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押してください。

ユーザID

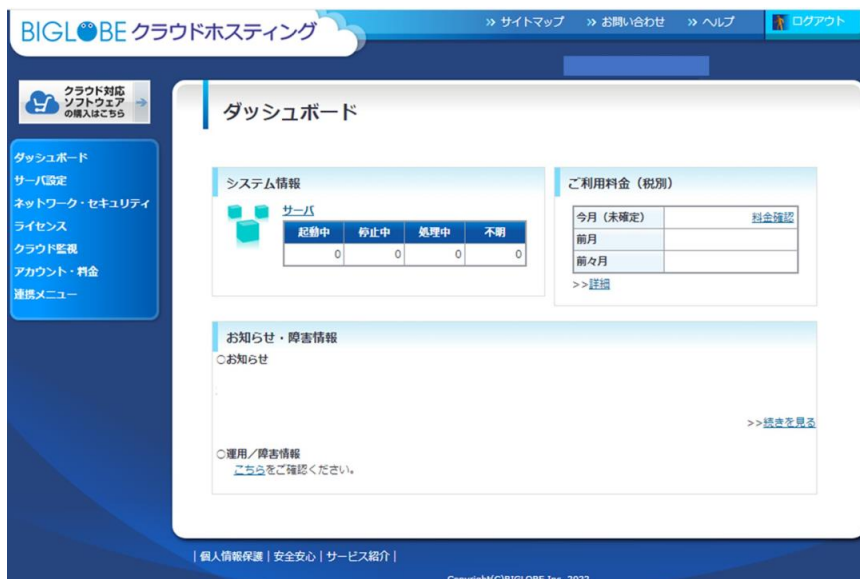
パスワード

ログイン

ユーザIDをお持ちでない場合は[こちら](#)からお申し込みください。
ユーザIDまたはパスワードを忘れてしまった場合は[こちら](#)からお問い合わせください。



◇ダッシュボード◇



3 回連続で誤ったユーザ ID・パスワード入力を行った場合、「画像認証ログイン」を行う必要があります。画像認証ログイン画面上に画像表示された数字、及びユーザ ID・パスワードを入力後にログインボタンをクリックしてください。認証成功後にダッシュボード画面が表示されます。

◇画像認証ログイン◇



【ご注意】

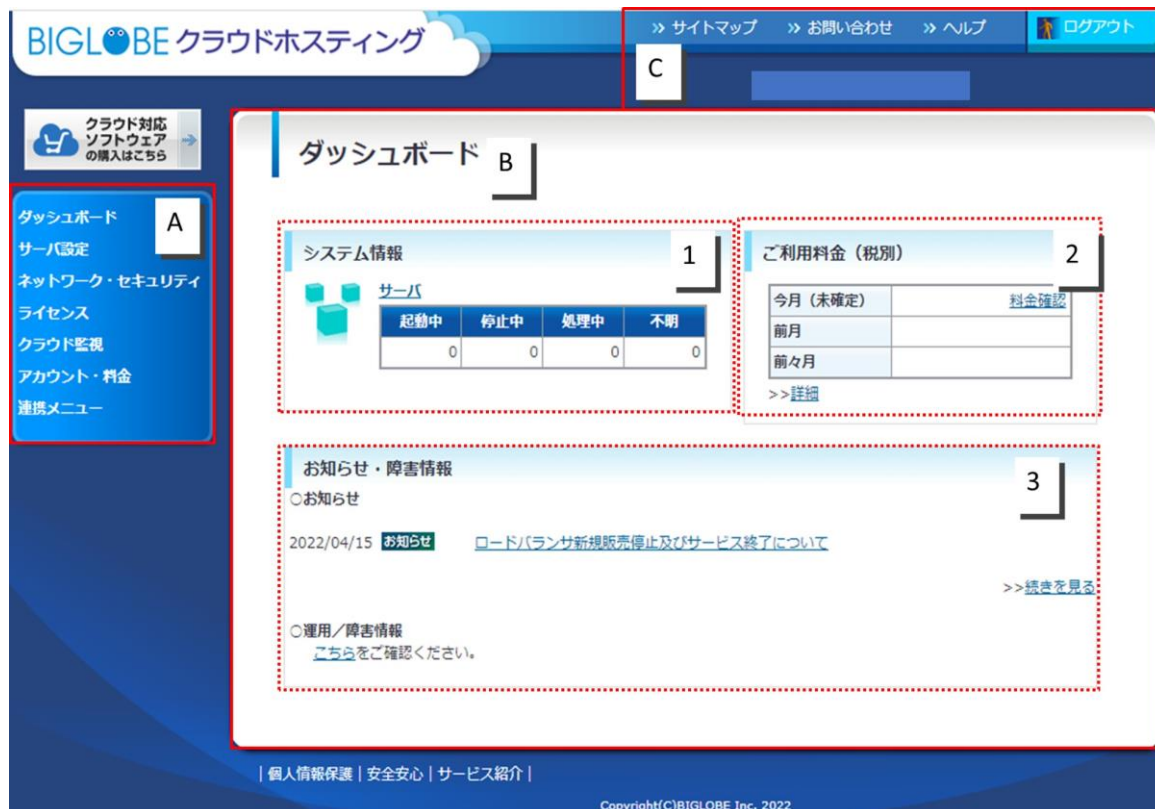
- ・ ログインしてから30分の間、画面移動を伴う操作がない場合は自動的にログアウトされます。
- ・ お気に入りには「Bookmark用ページ」を設定してください。ログイン画面のURLをお気に入りに追加した場合、お気に入りからログイン画面は表示されません。

-
- ・同一端末で異なるユーザ ID にて多重ログインした場合、先にログインしたユーザ ID のセッションは、後からログインしたユーザ ID のセッションに上書きされます。
 - ・画像認証の数字が読み取れない場合は、「別の画像を表示」をクリックし、異なる数字を確認することができます。
-

② ダッシュボードの構成

ダッシュボードからは、以下のような情報にアクセスいただくことができます。

◇ダッシュボード◇



	エリア名	説明
A	ナビゲーションエリア	各種機能メニューへアクセスするメニュー一覧です。
B	コンテンツ表示エリア	各機能メニューに従い、情報を表示するエリアです。
	1. システム情報	現在ご提供中のシステムの稼働状況を表示します。
	サーバ	作成済みのサーバの稼働状況を表示します。
	2. ご利用料金	今月を含む過去3ヶ月の利用料金が表示されます。さらに「料金確認」をクリックすると、利用明細を確認いただけます。
	3. お知らせ・障害情報	BIGLOBE からの通知を表示します。
	お知らせ	お知らせや、メンテナンス予告を表示します。
	運用／障害情報	クリックすると現在の障害情報が表示されます。
C	サポートエリア	お客様へのサポートの機能エリアです。ログインしている担当者のリージョンと会社名を確認できます。
	サイトマップ	サイトの機能マップを表示します。
	お問い合わせ	お問い合わせフォームを表示します。本サービスに関するご質問の受付窓口となります。
	ヘルプ	ご利用担当者様用のユーザマニュアル(本書)などをダウンロードいただけます。
	ログアウト	コントロールパネルからログアウトします。

③ コントロールパネルのサイトマップ

		※○であっても以下に記載されている機能の一部は利用できません。	東日本 第3リー ジョン
ト	ダッシュボード	システム情報参照、お知らせ・障害情報告知、利用料金表示	○
ト	サーバ設定		
ト	サーバ作成	サーバ作成(ベースモデル・ナノモデル)、サーバイメージから作成、クラウドアプリストアのリンク	○
ト	サーバー一覧	作成済みサーバの確認、サーバの起動・停止・再起動、コンソール接続	○
ト	サーバ詳細	サーバの起動・停止・再起動・強制再起動・強制停止、リソースの追加変更、ディスクの追加・削除・切断・接続、ゾーン変更、基本ディスク拡張、課金設定の変更、IP アドレスの確認、グローバル IP アドレス追加、スナップショットの作成/リストア、サーバの削除、サーバ複製、サーバイメージの作成、サーバ休止	○
ト	サーバイメージ一覧	作成済みサーバイメージの確認、サーバイメージからサーバを作成、サーバイメージの削除	○
ト	サーバイメージ詳細	サーバイメージの共有・共有解除、共有先の確認	○
ト	サーバイメージ持込	サーバイメージのアップロード	○
ト	ディスク一覧	切断済みの追加ディスクの確認、ディスクの課金設定の変更、ディスクの削除	○
ト	IP アドレス保持一覧	保持 IP アドレスの確認・解約・購入	○
ト	ネットワーク・セキュリティ		
ト	ファイアウォール		
ト	ファイアウォール購入・上限値変更	ファイアウォール購入・解約、グループ数・ルール数・ログ件数上限値変更	○
ト	グループ一覧	作成済みグループの確認、グループ作成	○
ト	グループ詳細	サーバをグループに追加・削除、グループ削除、ルール設定(Inbound/Outbound)	○
ト	ログ参照	ログ参照、ログダウンロード	○
ト	DNS	DNS ゾーン登録、DNS レコードの設定	○
ト	SSH 鍵	SSH 鍵の作成とダウンロード、鍵の削除	○
ト	ライセンス		
ト	ライセンス一覧	クラウドアプリストアで購入したライセンスの詳細確認、解約	○
ト	ライセンスサーバー一覧	リモートデスクトップ接続(RDS)ライセンス数の変更	○
ト	クラウド監視	監視プランの契約、監視画面へのリンク(外部サービス)	○
ト	アカウント・料金		
ト	ご利用料金	利用料金の確認とcsvダウンロード	○
ト	ご担当者情報	契約情報の確認と利用企業担当者様の情報変更	○
ト	商品別通知先一覧	商品別のアラーム通気先情報の変更	○
ト	コンソール用 VPN 接続 ID	コンソール用 VPN 接続 ID の作成、パスワードの変更	○
ト	操作ログ	コントロールパネルの操作ログの参照	
ト	連携メニュー	各種連携サービスの問合せフォーム	○
ト	サイトマップ		
ト	お問い合わせ	BIGLOBE 法人コンタクトセンターへのお問い合わせフォーム	○
ト	ヘルプ	ユーザマニュアル、FAQ	○
ト	ログアウト		
ト	クラウドアプリストア	クラウドアプリストアのリンク	○

④ コントロールパネル操作権限について

ご利用担当者(ユーザID)を追加する際にコントロールパネルの操作権限を指定することが出来ます。
 ご利用担当者の追加方法については「1.12 ⑤ご利用担当者追加・削除申込」を参照ください。

コントロールパネル操作権限

- ・ アドミニストレータ : コントロールパネルの全ての操作が可能
- ・ オペレータ : 利用料が変動しない操作のみ可能
- ・ モニタリングユーザ : サーバに対する変更を伴わない操作のみ可能

各操作権限で利用できる機能は以下の通りです。

【操作権限ごとの機能対応表】

A: アドミニストレータ O: オペレータ M: モニタリングユーザ

画面名	機能・操作名	東日本第3リージョン		
		A	O	M
ダッシュボード	参照	○	○	○
サーバ作成	新規作成、利用	○	×	×
	サーバイメージからサーバ作成	○	×	×
サーバ一覧	参照	○	○	○
	サーバ起動・停止・再起動	○	○	×
	コンソール接続	○	○	×
サーバ詳細	参照	○	○	○
	サーバ起動・停止・再起動・強制停止・強制再起動	○	○	×
	サーバメモ更新	○	×	×
	サーバリソースオプションの利用	○	×	×
	ゾーン変更	○	○	×
	サーバ・ディスク料金プラン変更	○	×	×
	基本ディスク拡張	○	×	×
	ディスク追加/削除	○	×	×
	ディスク接続/切断	○	○	×
	スナップショット作成/削除/リストア	○	○	×
	グローバル IP アドレス追加	○	×	×
	サーバイメージ作成・サーバ複製	○	×	×
	サーバ休止・休止解除	○	×	×
サーバ削除	○	×	×	
サーバイメージ一覧	参照	○	○	○
サーバイメージ詳細	参照	○	○	○
	サーバイメージメモ変更	○	×	×
	サーバイメージ共有・共有解除	○	×	×
	サーバイメージ削除	○	×	×
サーバイメージ持込	サーバイメージ持込	○	×	×
ディスク一覧	参照	○	○	○
	ディスク削除	○	×	×
保持 IP アドレス一覧	参照	○	○	○
	IP アドレス購入・解約	○	×	×
ファイアウォール購入	参照	○	○	○
	ファイアウォール購入・解約	○	×	×
	ファイアウォールグループ数・ルール数・ログ件数変更	○	×	×

画面名	機能・操作名	東日本第3リージョン		
		A	O	M
ファイアウォールグループ一覧	参照	○	○	○
	ファイアウォールグループ作成・削除	○	○	×
ファイアウォールグループ詳細	参照	○	○	○
	ファイアウォールグループメモ変更	○	○	×
	ファイアウォールグループへのサーバ追加・削除、ルール追加・削除	○	○	×
ファイアウォールログ参照	ファイアウォールログ参照・ダウンロード	○	○	○
DNS	ゾーン登録・削除、レコード設定	○	×	×
SSH 鍵一覧	参照	○	○	○
	SSH 鍵作成・削除	○	×	×
ライセンス一覧	参照・ライセンス詳細・ライセンス番号表示	○	○	○
	ライセンスメモ編集	○	×	×
	ライセンス解約	○	×	×
ライセンスサーバー一覧	ライセンス数の変更	○	×	×
クラウド監視	監視プラン変更、外部サービスへのリンク	○	×	×
ご利用料金	参照・ダウンロード	○	○	○
ご担当者情報	参照・変更	○	○	○
商品別通知先一覧	参照・変更	○	○	○
操作ログ	参照	○	○	○
コンソール用 VPN 接続 ID	参照	○	○	○
	新規作成	○	○	×
各連携メニュー申込	参照	○	×	×
お問い合わせ・サイトマップ・ヘルプ	参照	○	○	○
クラウドアプリストア	利用	○	×	×

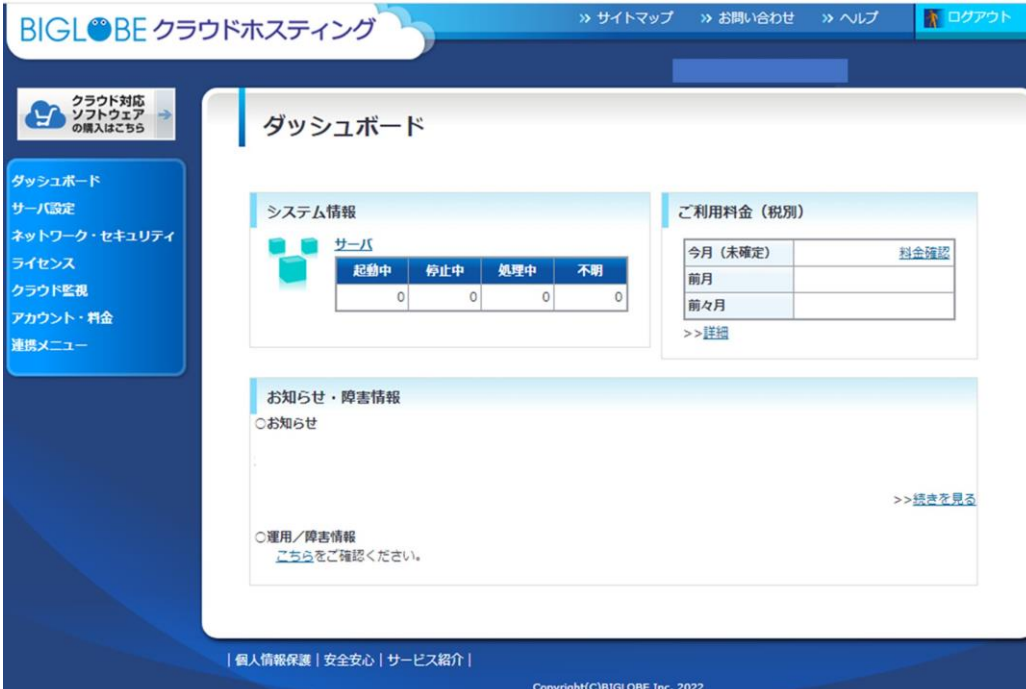
【ご注意】

- ・ 操作権限の変更はできません。操作権限の異なるIDをご希望の場合はユーザIDの追加申込をしてください。
 - ・ 2013年9月24日以前に払いだされたユーザIDは、全て「アドミニストレータ」権限です。
 - ・ 2013年9月25日以降に払いだされたユーザIDは、以下の通りです。
 - ご契約時に払いだされるユーザID:「アドミニストレータ」権限
 - 追加するユーザID: 追加申込時に指定した権限
 - ・ 契約時に払いだされたユーザIDは削除できません。
-

⑤ ログアウト

コントロールパネル画面右上のログアウトをクリックすることでログアウトできます。ログアウト画面表示 5 秒後に自動的にログイン画面にリダイレクトします。

◇ダッシュボード◇



ダッシュボード

システム情報

サーバ

起動中	停止中	処理中	不明
0	0	0	0

ご利用料金 (税別)

今月 (未確定)	料金確認
前月	
前々月	

>> [詳細](#)

お知らせ・障害情報

○お知らせ

>> [続きを見る](#)

○運用/障害情報

[こちらをご確認ください。](#)

個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 | Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2022

◇ログアウト◇



ログアウトしました

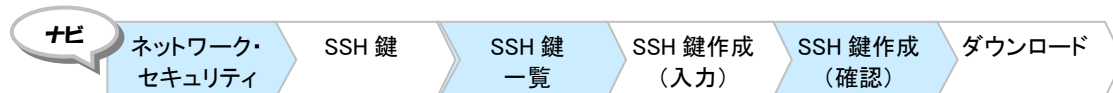
ご利用ありがとうございました。またのご利用をお待ちしております。
5秒後にログイン画面へリダイレクトします。

[ログインへ戻る](#)

2.2. SSH 鍵の作成と秘密鍵の保存

Linux サーバ(Red Hat Enterprise Linux、CentOS、AlmaLinux)を作成する場合、サーバの作成に先立ち、SSH 鍵の作成が必要です。1台のサーバに鍵は1つしか設定できません。また、サーバに設定した SSH 鍵はコントロールパネルからは変更できません。

なお、この作業は Windows サーバを作成する場合は不要です。



◇SSH 鍵一覧◇

「SSH 鍵名」、「パズフレーズ」、「パズフレーズ(確認)」を入力し、「確認画面へ」をクリックします。

◇SSH 鍵作成(入力)◇

【ご注意】

各項目は以下の入力ルールに従ってください。

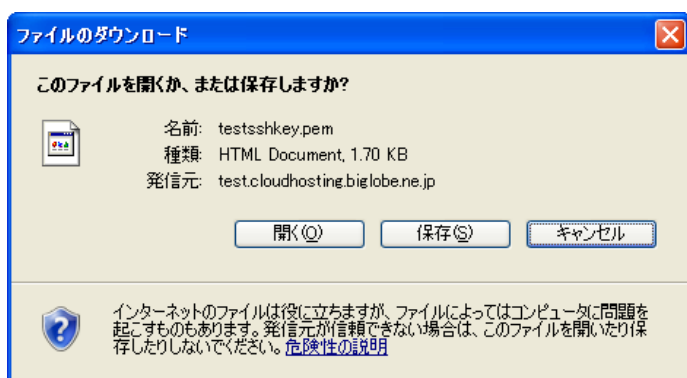
- ・ SSH 鍵 : 半角英数字 最大 32 桁
- ・ パズフレーズ : 半角英数記号 6 桁以上 32 桁

※パズフレーズに次の文字は使用できません。

<> " & '

「ダウンロードへ進む」ボタンをクリックすると、「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されるので、「*.pem」ファイルを操作中の端末の任意のフォルダに保存します。

◇SSH 鍵作成(確認)◇

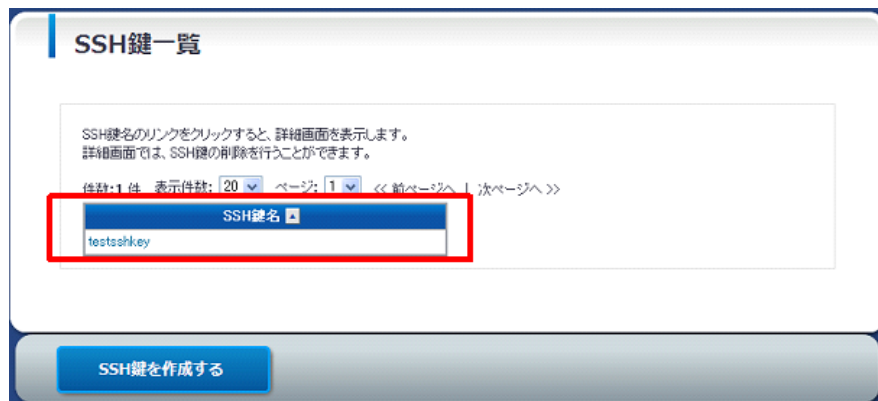


※ダウンロードした SSH 鍵を接続クライアントに登録する方法は、「3.1. SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法の例」をご参考ください。

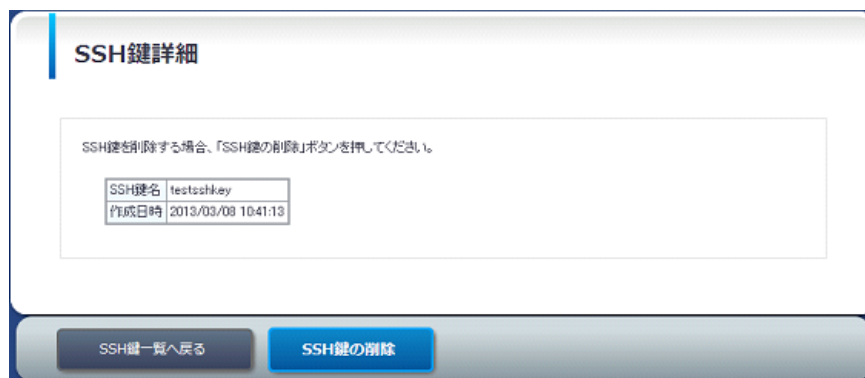


SSH 鍵一覧の鍵名をクリックすると、詳細情報を表示します。この鍵が不要な場合は、この画面から削除も可能です。

◇SSH 鍵一覧◇



◇SSH 鍵詳細◇



2.3. サーバの作成

サーバの作成には、「サーバ作成(業務サーバパック、プリインストールサーバ)」と「サーバ作成(ベースモデル/ナノモデル)」と「サーバイメージから作成」、「サーバ複製」の4種類の方法があります。

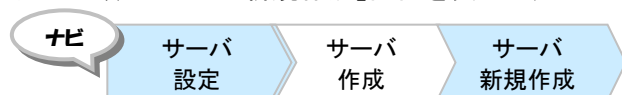
作成方法	説明
サーバ作成 (業務サーバパック、プリインストールサーバ)	クラウドアプリストアへ画面移動します。 クラウドアプリストア上では、プリインストールサーバ(業務サーバパック等)購入等を行う事ができます。 クラウドアプリストアのご利用については別冊の「クラウドアプリストア ユーザマニュアル」(※)をご参照ください。 (※)ユーザマニュアルは、「クラウドアプリストア」の「About」に掲載されています。
サーバ作成 (ベースモデル)	サーバ(ベースモデル)の種類ごとに1つずつ項目を指定して作成します。
サーバ作成 (ナノモデル)	サーバ(ナノモデル)を選択し、1つずつ項目を指定して作成します。 以下の制約があります。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ OSはCentOSのみとなります。 ▪ スペックは固定となります。サーバリソースオプションはご利用いただけません。 ▪ ナノモデルで作成したサーバは、サーバ休止、サーバイメージ持込をご利用いただけません。
サーバイメージから作成	事前に作成して保存しておいたサーバイメージからサーバを作成します。 サーバイメージの作成方法は「2.7.1 サーバイメージ作成」をご覧ください。 以下の制約があります。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
サーバ複製	既存サーバの複製をします。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。

2.3.1. Linux サーバの作成

以下に Linux サーバ (Red Hat Enterprise Linux、CentOS、AlmaLinux) 作成手順を解説します。CentOS と AlmaLinux と Red Hat Enterprise Linux は、同様の手順でサーバ作成が可能です。

① サーバの新規作成

以下の順で「サーバ新規作成」画面を表示し、「サーバ作成」で「作成する」をクリックします。



◇サーバ新規作成◇

サーバ新規作成

サーバ作成方法を「サーバ作成」または「サーバイメージから作成」から選択し、「作成する」ボタンを押してください。

サーバ作成

■業務サーバパック、プリインストールサーバ
業務サーバパックを含むプリインストールサーバを作成する場合はこちらを選択してください。
※クラウドストアのプリインストールサーバ一覧に移動します。

■ベースモデル
最小構成1vCPU (2GHz)、メモリ (Linux: 1GB、Windows: 2GB)、ディスク (40GB) からスペックを自由にカスタマイズできるサーバです。
OS: CentOS、Red Hat Enterprise Linux、Windows Server
月額料金: ¥9,000~

■ナノモデル
1vCPU (1GHz)、メモリ (512MB)、ディスク (40GB) 固定スペックでご提供するサーバです。
OS: CentOS
月額料金: ¥4,500

作成する

作成する

作成する

サーバイメージから作成

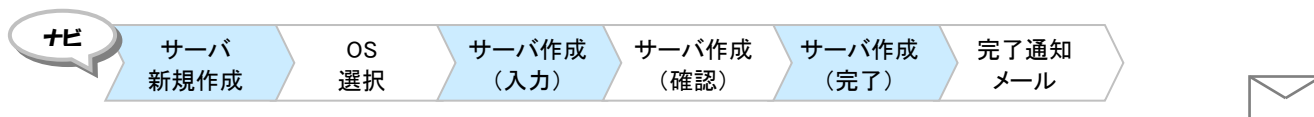
image

サーバイメージからサーバを作成する場合はこちらを選択してください。

作成する

② OS の選択

サーバの新規作成画面で「作成する」をクリックすると、OS の選択画面が表示されます。
9種類から選択いただけます。



■ Red Hat Enterprise Linux を作成する場合

OS の選択画面で「Red Hat Enterprise Linux サブスクリプション付」を指定します。事前に SSH 鍵が作成されている必要があります。

■ CentOS を作成する場合

OS の選択画面で「CentOS」を指定します。事前に SSH 鍵が作成されている必要があります。

■ AlmaLinux を作成する場合

OS の選択画面で「AlmaLinux」を指定します。事前に SSH 鍵が作成されている必要があります。
◇OS 選択◇ Red Hat Enterprise Linux 7 サブスクリプション付 を作成する場合



【ご注意】

- Red Hat サブスクリプションなしサーバは、作成後にRed Hat サブスクリプションを追加購入することができます。詳細は「2.6 サーバの設定変更とリソースの追加」をご参照ください。
- Red Hat サブスクリプション付サーバは、Red Hat サブスクリプションを設定した状態で提供いたします。お客様での設定作業は不要です。
- 定期的なRed Hat サブスクリプションの契約更新作業は不要です。ただし、弊社より設定変更依頼があった際にはご対応をお願いいたします。
- Red Hatサブスクリプションなしサーバの新規販売は2015年11月4日をもって終了しました。

OS 選択後、購入にあたっての注意事項が表示されます。
よく内容をご確認の上、「次へ」ボタンで作成画面に進んでください。

<Red Hat Enterprise Linux サブスクリプション付 を購入した場合>



<Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションなし を購入した場合>



③ サーバ作成(入力)

以下のサーバ作成画面が表示されるので、必要な情報を登録します。右枠の「ご利用料金」欄は、項目を選択する都度、現在選択しているメニューの料金を反映します。

◇サーバ作成(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	CPU	○	CPU の個数を、1vCPU～8vCPU の何れかから選択します。個数を増やすと追加料金が加算されます。
3	CPU タイプ	○	「ベストエフォート型」「リソース優先型」(追加料金)の何れかを選択します。
4	メモリ	○	メモリの容量を 1～64GB から選択します。容量に応じて追加料金が加算されます。
5	ディスク		40GB 固定で表示されます。増設が必要な場合は、サーバ作成後にディスクを追加します。
6	SSH 鍵	○	作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。
7	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
8	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。

			※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
9	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
10	料金プラン	<input type="radio"/>	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。
11	台数	<input type="radio"/>	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2ケタ)を付与します。 ※サーバ名が12文字以上ある場合、連番を付与して13文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
12	確認欄	<input type="radio"/>	前画面の記載内容を確認し選択します。

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスを付与しない場合は、インターネット網を通じたアクセス(SSH、リモートデスクトップ)はできません。そのためお客様管理の既存の別サーバ(グローバルIPアドレス付与)、コンソール接続、プライベートLANを利用する連携メニュー経由からのみアクセスできます。
- ・Red Hat サブスクリプション付サーバの場合、vCPU数によってライセンス欄に表示される名称及び料金が異なります。
 - 1, 2, 4vCPU : Red Hat サブスクリプション (4vCPU以下)
 - 6, 8vCPU : Red Hat サブスクリプション (4vCPU超)
- Red Hat サブスクリプションなしサーバの場合、ライセンス欄には“なし”と表示されます。
- ・AlmaLinux 8及びRed Hat Enterprise Linux 8はSELinuxが有効のため、2vCPU以上、2GBメモリ以上を推奨します。

「確認画面へ」をクリックすると指定内容の確認画面を表示します。「実行する」をクリックすると、サーバ作成が開始されます。

◇サーバ作成(確認)◇

サーバ作成(確認)

入力 確認 完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サーバ(作成が完了した時点から)料金が発生します。

OS	Red Hat Enterprise Linux
ライセンス	Red Hat サブスクリプション (4vCPU以下)
サーバ名	
CPU	1vCPU
CPUタイプ	<input checked="" type="radio"/> ベストエフォート型 <input type="radio"/> リソース優先型
メモリ	1GB
ディスク	40GB
SSH鍵	
IPアドレス	新規取得
ゾーン	指定しない
メモ	
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量
台数	1
確認欄	■前画面の注意事項および利用規約を確認しました。

ご利用料金 (税別)

月次費用: _____
 一時費用: _____
 ※別途消費税を申し受けます。

戻る 実行する

「サーバ作成(受付完了)」画面が表示されます。作成完了後、「通知先メールアドレス」として登録されたメールアドレスに、完了通知メールが届きます。

「サーバー一覧へ」をクリックすると、作成したサーバ情報が確認できます。(「2.6 サーバの設定変更とリソースの追加」参照)

◇サーバ作成(受付完了)◇



◇完了通知メール◇

BIGLOBEクラウドホスティングのご利用ありがとうございます。
下記のサーバ作成が完了しました。

■サーバ
 :サーバ名 :
 : O S : Red Hat Enterprise Linux
 : ライセンス : Red Hat サブスクリプション (4vCPU以下)
 : C P U : 1vCPU (ベストエフォート型)
 : メモリ : 1GB
 : ディスク : 40GB
 : S S H 鍵 :
 : IPアドレス : 新規取得 (グローバルIPアドレスあり)
 : ソーン : 指定しない
 : メ モ :
 :
 : サーバ台数 : 1
 :
 : 料金プラン : 月額
 :
 : 作成日時 : ※課金の開始時点となります。

■サーバのIPアドレスはコントロールパネル「サーバ(詳細)」にて確認することができます。
<https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/>

※作成されたサーバの IP アドレスは、「2.6 サーバの設定変更とリソースの追加」で説明する画面から参照します。

※コンソール接続を利用して Linux サーバにログインするには、root のパスワード入力が必要となります。BIGLOBE クラウドホスティングで提供するサーバは root の初期パスワードを通知しておりません。サーバ作成時に指定した SSH 鍵を使用して SSH 接続を行い、root パスワードを変更してください。

※CentOS 6(※) および Red Hat Enterprise Linux6(※)について、ネットワーク設定に不具合が生じる場合がありますので、以下のパッケージを削除しないでください。

- route6_check
- device_mod

※CentOS 6(※) および Red Hat Enterprise Linux 6(※)について、ネットワーク設定に不具合が生じる場合がありますので、以下のシンボリックリンクを削除しないでください。

/etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules -> /dev/null

(※) CentOS 6 および Red Hat Enterprise Linux 6 は 2023 年 3 月 15 日をもって新規販売を終了しました。

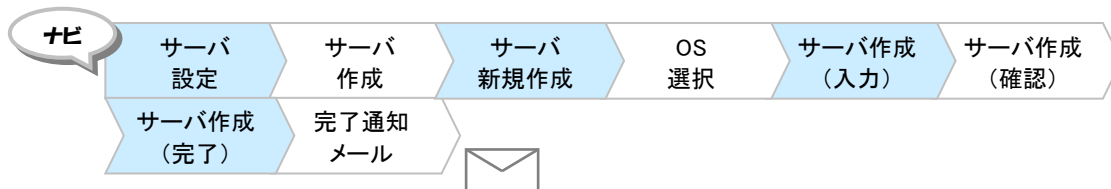
※CentOS 7、AlmaLinux 8 及び Red Hat Enterprise Linux7/8 について、ネットワーク設定に不具合が生じる場合がありますので、以下のパッケージを削除しないでください。

- route_add
- device_mod7

2.3.2. Microsoft Windows Server サーバの作成

LinuxOS と同様の手順で、サーバ作成が可能です。ただし、「SSH 鍵」項目はありません。

① OS の選択



OS の選択画面で任意の OS を指定します。

◇OS 選択◇



② サーバ作成(入力)

◇Windows Server 2016 / 2019 / 2022 のサーバ作成(入力)◇

サーバ作成(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
必須印は、入力が必要な項目です。

OS	Windows Server 2019 (64bit)	構成内容 OS : Windows Server 2019 (64bit) エディション : Standard Edition CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 2GB ディスク : 100GB 料金プラン : 月額 台数 : 1
必須 エディション	<input checked="" type="radio"/> Standard Edition	
必須 サーバ名	<input type="text"/> (半角英数4~13文字、先頭は英字のみ) ※サーバ名は作成後変更できません。	
必須 CPU	<input type="text" value="1vCPU"/>	
必須 CPUタイプ	<input checked="" type="radio"/> ベストエフォート型 <input type="radio"/> リソース優先型	
必須 メモリ	<input type="text" value="2GB"/>	
ディスク	100GB (固定)	
必須 IPアドレス	<input type="text" value="新規取得"/> <input type="text" value="▼"/> ※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。	
必須 ゾーン	<input type="text" value="指定しない"/> <input type="text" value="▼"/> ※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。	
必須 ユーザー名	<input type="text"/> サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド(.)またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内 (半角) の文字列を指定でき、次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 */ ¥ [] ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。	
必須 パスワード	<input type="text"/> パスワード強度 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは10文字以上、127文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ1文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > * & ^ ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。	
必須 パスワード(再入力)	<input type="text"/> 確認のため、もう一度パスワードを入力してください。	
メモ	<input type="text"/> (全角32文字以内)	
必須 料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量	
必須 台数	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="▼"/> ※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。	

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	エディション	○	Standard Edition のみとなります。
2	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
3	CPU	○	CPU の個数を、1vCPU~8vCPU の何れかから選択します。個数を増やすと追加料金が加算されます。
4	CPU タイプ	○	「ベストエフォート型」「リソース優先型」(追加料金)の何れかを選択します。
5	メモリ	○	メモリの容量を 1~64GB から選択します。容量に応じて追加料金が加算されます。
6	ディスク		ディスクは 100GB 固定で表示されます。増設が必要な場合は、サーバ作成後にディスクを追加します。
7	IP アドレス	○	新規取得/新規取得(グローバル IP アドレスなし)/保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)/保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
8	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。 ※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
9	ユーザー名	○	サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名 またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド (.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内(半角)の文字列を指定でき、 次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。
10	パスワード	○	サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3 文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは 10 文字以上、127 文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。
11	パスワード(再入力)	○	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
12	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
13	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。
14	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2ケタ)を付与します。 ※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。

◇サーバ作成(確認)◇

サーバ作成(確認)

入力
確認
完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サーバ作成が完了した時点から料金が発生します。

OS	Windows Server 2019 (64bit)
エディション	●Standard Edition
サーバ名	test2
CPU	1vCPU
CPUタイプ	●ベストエフォート型 ○リソース優先型
メモリ	2GB
ディスク	100GB
IPアドレス	新規取得
ゾーン	指定しない
ユーザー名	jyo3dayo
パスワード	*****
メモ	
料金プラン	●月額 ○従量
台数	1

ご利用料金(税別) 月次費用: ¥14,600/月
 一時費用: ¥0
 ※別途消費税を申し受けます。

◀ 戻る
実行する ▶

◇サーバ作成(受付完了)◇

サーバ作成(受付完了)

入力
確認
完了

ご利用ありがとうございます。
サーバ作成を受け付けました。

作成が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

サーバ一覧へ

【ご注意】



- ・グローバルIPアドレスを付与しない場合は、インターネット網を通じたアクセス(SSH、リモートデスクトップ)はできません。そのためお客様管理の既存の別サーバ(グローバルIPアドレス付与)、コンソール接続、プライベートLANを利用する連携メニュー経由からのみアクセスできます。

Windows Server のサーバ作成が完了すると、下記のような完了通知メールが届きます。
サーバの IP アドレスは、「サーバー一覧-サーバ詳細」から確認できます。

◇Windows Server 2016 / 2019 / 2022 の完了通知メール◇



BIGLOBEクラウドホスティングのご利用ありがとうございます。
下記のサーバ作成が完了しました。

■サーバ
:サーバ名 : 
: O S : Windows Server 2016 (64bit)
: エディション : Standard Edition
: CPU : 1vCPU (ベストエフォート型)
: メモリ : 2GB
: ディスク : 100GB
: IPアドレス : 新規取得 (グローバルIPアドレスあり)
: ゾーン : 指定しない
: メモ :
:
:サーバ台数 : 1
:
:料金プラン: 月額
:
:作成日時:  ※課金の開始時点となります。

■サーバのIPアドレスはコントロールパネル「サーバ詳細」にて確認することができます。
<https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/>

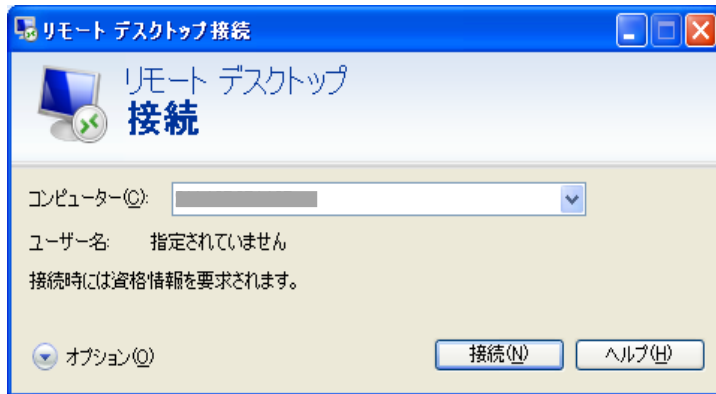
このメールはシステムによる自動応答です。
ご質問等はコントロールパネル「お問い合わせ」をご利用ください。
よろしくお願いいたします。

Administrator のアカウントは無効化されています。
サーバログイン時は、サーバ作成時に設定したユーザー名 / パスワードでログインします。

Administrator のパスワード変更は、確認したパスワードを利用して、サーバにログイン後、OS 上で行う必要があります。

サーバに接続する際は、Windows の「リモートデスクトップ接続」でコンピュータ名にグローバル IP アドレスを入力します。

◇リモートデスクトップ接続画面◇

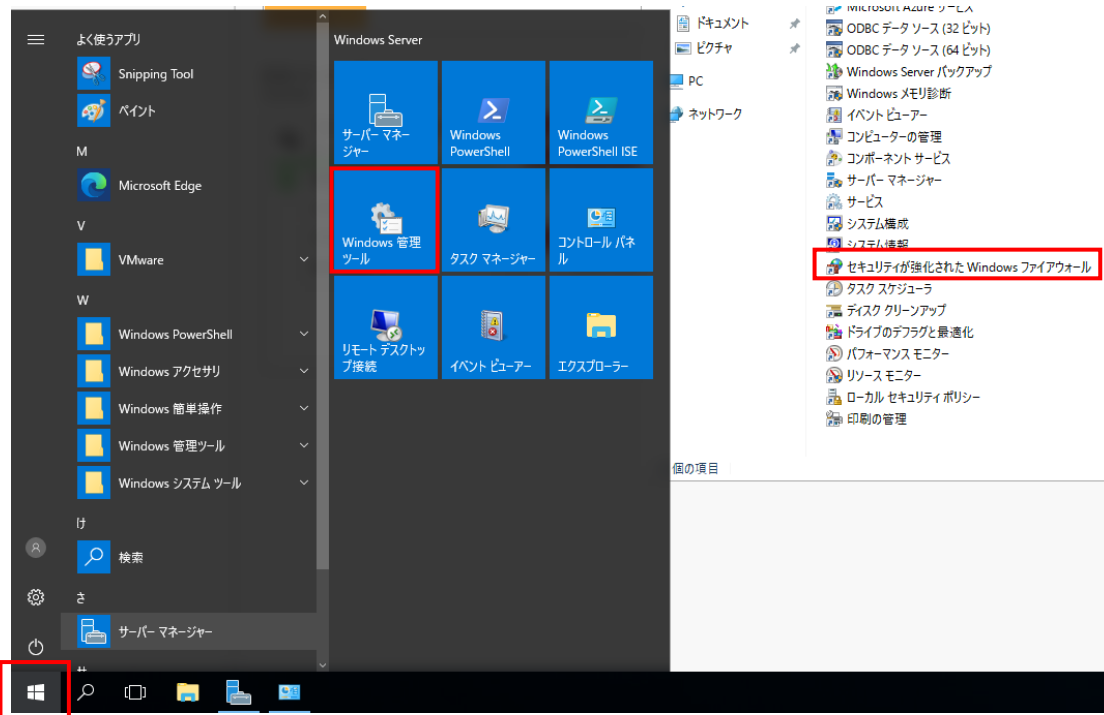


【リモートデスクトップのスコープ定義(推奨)】

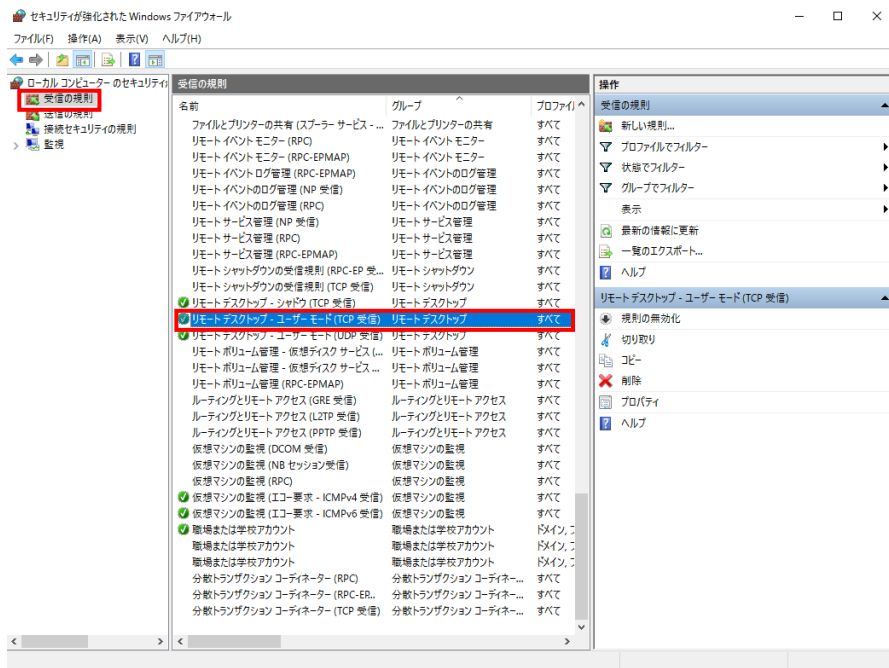
初期設定のままリモートデスクトップ接続をお使いになれますが、より強固なセキュリティを確保するため、以下の設定を行うことを強く推奨します。

※本作業実施前に「2.6.3④スナップショットの作成」を行ってください。

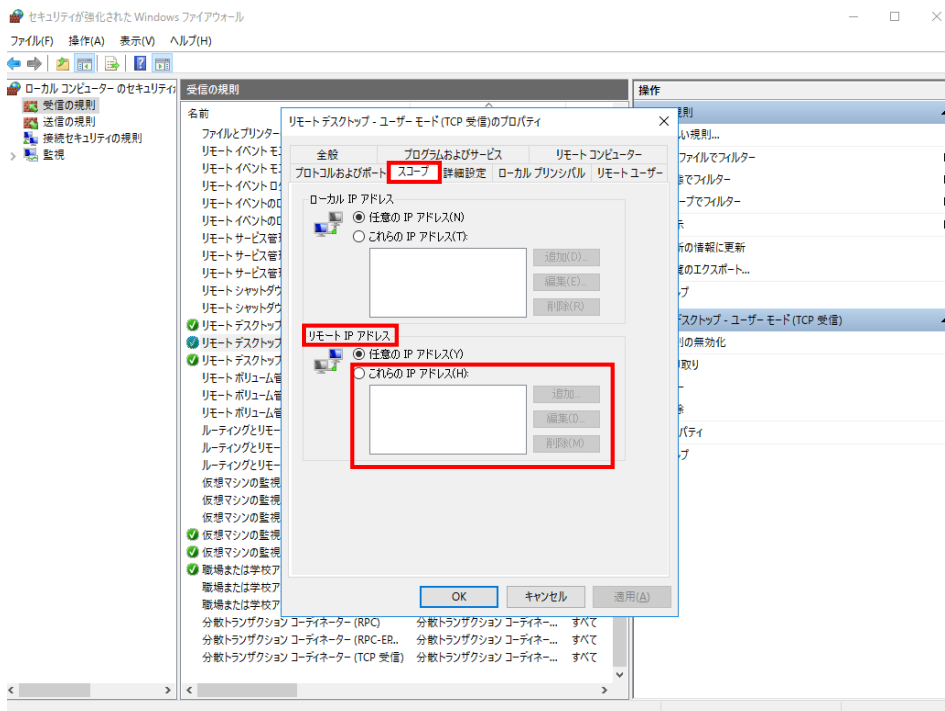
1. 作成した Windows Server にリモートデスクトップ接続でログインします。
2. 「スタートメニュー」をクリックし、「管理ツール」の「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」をクリックします。



3. 「受信の規則」を開き「リモートデスクトップ(TCP 受信)」をダブルクリックで開きます。



4. 「リモートデスクトップ(TCP 受信)のプロパティ」の「スコープ」タブを開き、「リモート IP アドレス」で「これらの IP アドレス」を選択し、追加ボタンから許可する IP アドレスを追加してください。

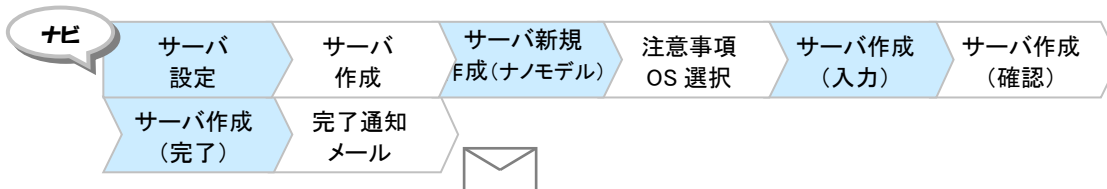


【ご注意】

- 追加するIPアドレスは、ご利用者様(企業)のグローバルIPアドレスを指定してください。ご利用担当者様の端末のIPアドレスがグローバルIPアドレスでない場合、端末のIPアドレスを指定すると、サーバに接続できなくなります。
※本設定はインターネット経由でリモートデスクトップ接続をご利用の場合に限ります

2.3.3. ナノモデルサーバの作成

ベースモデルより低スペックなサーバを作成します。OS は CentOS のみ、CPU、メモリ、ディスクも固定となります。ナノモデルとして作成したサーバは、休止、サーバリソースオプション、サーバイメージ持込はご利用いただけません。ナノモデルからベースモデルへのアップグレード方法は「2.6.4 ベースモデルへのアップグレード」をご覧ください。



◇サーバ新規作成◇

◇OS の選択 (ナノモデル) 注意事項◇

◇サーバ作成(ナノモデル)(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	CPU		「1vCPU」固定で表示されます。
3	CPU タイプ		「ベストエフォート型」固定で表示されます。
4	メモリ		「512MB」固定で表示されます。
5	ディスク		「40GB」固定で表示されます。
6	SSH 鍵	○	作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。
7	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
8	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。 ※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
9	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
10	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。
11	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2ケタ)を付与します。 ※サーバ名が12文字以上ある場合、連番を付与して13文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。

◇サーバ作成(ナノモデル)(確認)◇

サーバ作成(ナノモデル)(確認)

入力
確認
完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サーバ作成が完了した時点から料金が発生します。

OS	CentOS 7 (64bit)
サーバ名	
CPU	1vCPU (固定)
CPUタイプ	ベストエフォート型 (固定)
メモリ	512MB (固定)
ディスク	40GB (固定)
SSH鍵	
IPアドレス	新規取得
ゾーン	指定しない
メモ	
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量
台数	1

ご利用料金 (税別)

月次費用:	
一時費用:	
※別途消費税を申し受けます。	

← 戻る
実行する →

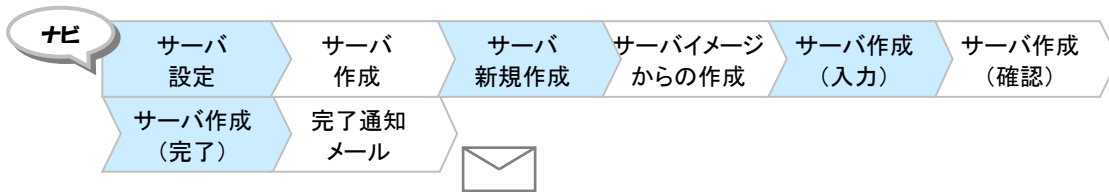
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、サーバ作成が開始されます。
サーバの作成結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスを付与しない場合は、インターネット網を通じたアクセス(SSH、リモートデスクトップ)はできません。そのためお客様管理の既存の別サーバ(グローバルIPアドレス付与)、コンソール接続、プライベートLANを利用する連携メニュー経由からのみアクセスできます。
-

2.3.4. サーバイメージから作成

サーバイメージからサーバを作成します。本機能を使用するには事前に「2.7.1 サーバイメージ作成」が完了している必要があります。



◇サーバ新規作成◇

サーバ新規作成

サーバ作成方法を「サーバ作成」または「サーバイメージから作成」から選択し、「作成する」ボタンを押してください。

サーバ作成

■業務サーバパック、プリインストールサーバ
業務サーバパックを含むプリインストールサーバを作成する場合はこちらを選択してください。
※クラウドアプリストアのプリインストールサーバ一覧に移動します。

■ベースモデル
最小構成1vCPU (2GHz)、メモリ (Linux: 1GB、Windows: 2GB)、ディスク (40GB) からスペックを自由にカスタマイズできるサーバです。
OS: CentOS、Red Hat Enterprise Linux、Windows Server
月額料金: ¥9,000~

■ナノモデル
1vCPU (1GHz)、メモリ (512MB)、ディスク (40GB) 固定スペックでご提供するサーバです。
OS: CentOS
月額料金: ¥4,500

作成する

作成する

作成する

サーバイメージから作成

サーバイメージからサーバを作成する場合はこちらを選択してください。

作成する

◇Windows Server 2008 / 2016 / 2019 / 2022 のサーバ作成(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
3	SSH 鍵		作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。BIGLOBE から提供するサーバイメージを利用する場合のみ指定可能です。Windows の場合は設定できません。
4	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
5	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
6	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
7	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2 ケタ)を付与します。※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
8	サーバイメージ名	○	利用するサーバイメージ名を選択します。

◇Windows Server 2012（管理者権限のユーザーを追加する）のサーバ作成(入力)◇

サーバ作成(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

必須印は、入力が必要な項目です。

必須	サーバ名	<input style="width: 95%;" type="text"/> (半角英数4~13文字、先頭は英字のみ) <small>※サーバ名は作成後変更できません。</small>
必須	IPアドレス	<input style="width: 95%;" type="text"/> 新規取得 <small>※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。</small>
	SSH鍵	<input type="text" value="(選択不可)"/>
必須	ゾーン	<input type="text" value="指定しない"/> <small>※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。</small>
必須	管理者権限のユーザー追加	<input checked="" type="radio"/> 管理者権限のユーザーを追加する <input type="radio"/> 管理者権限のユーザーを追加しない <small>※サーバイメージに管理者権限ユーザーがAdministrator以外存在しない場合、「管理者権限のユーザーを追加する」を選択してください。詳細はマニュアルを参照してください。</small>
必須	ユーザー名	<input style="width: 95%;" type="text"/> <small>サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド(.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内 (半角) の文字列を指定でき、次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 * / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。</small>
必須	パスワード	<input style="width: 95%;" type="password"/> パスワード強度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <small>サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは10文字以上、127文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ1文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' * ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。</small>
必須	パスワード(再入力)	<input style="width: 95%;" type="password"/> <small>確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</small>
	メモ	<input style="width: 95%;" type="text"/> (全角32文字以内)
必須	料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量 <small>※ベースサーバと追加ディスクは異なる料金プランを設定することはできません。</small>
必須	台数	<input type="text" value="1"/> <small>※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。</small>
▼利用するサーバイメージ		
必須	サーバイメージ名	<input style="width: 95%;" type="text"/>
	作成元サーバ名	<input style="width: 95%;" type="text"/>
	OS	Windows Server 2012 R2 (64bit) Standard Edition
	ライセンス	Services Provider License Agreement (SPLA)
	グローバルIPアドレス	<input style="width: 95%;" type="text"/>
	ゾーン	指定しない

構成内容	
料金プラン	: 月額
台数	: 1
OS	: Windows Server 2012 R2 (64bit) Standard Edition
ライセンス	: Services Provider License Agreement (SPLA)
CPU	: 1vCPU ベストエフォート型
メモリ	: 2GB
基本ディスク	: 40GB
基本ディスク拡張	: なし
追加ディスク	: なし

ご利用料金 (税別)	
月次費用	: ¥ 12,200/月
一時費用	: ¥ 0

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。 <u>サーバ作成後、この項目は変更できません。</u>
2	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
3	SSH 鍵		作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。BIGLOBE から提供するサーバイメージを利用する場合のみ指定可能です。 Windows の場合は設定できません。
4	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
5	管理者権限のユーザー追加	○	「管理者権限のユーザーを追加する」 「管理者権限のユーザーを追加しない」から選択します。
6	ユーザー名	○	サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名 またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド (.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内(半角)の文字列を指定でき、 次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 "/ ¥ [] ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。
7	パスワード	○	サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3 文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは 10 文字以上、127 文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。
8	パスワード(再入力)	○	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
9	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
10	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。 料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
11	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2 ケタ)を付与します。 ※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
12	サーバイメージ名	○	利用するサーバイメージ名を選択します。

◇Windows Server 2012（管理者権限のユーザーを追加しない）のサーバ作成(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
3	SSH 鍵		作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。BIGLOBE から提供するサーバイメージを利用する場合のみ指定可能です。Windows の場合は設定できません。
4	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
5	管理者権限のユーザー追加	○	「管理者権限のユーザーを追加する」「管理者権限のユーザーを追加しない」から選択します。
6	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
7	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
8	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2ケタ)を付与します。※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
9	サーバイメージ名	○	利用するサーバイメージ名を選択します。

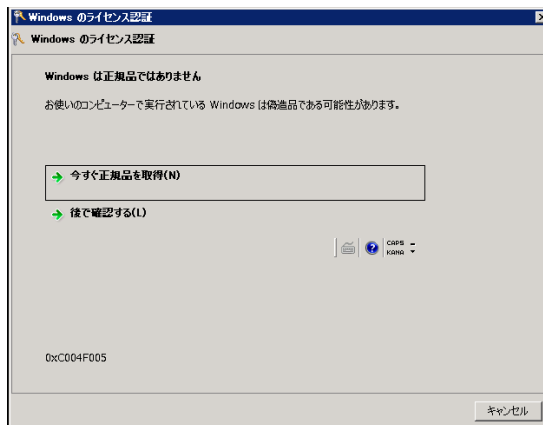
◇サーバ作成(確認)◇



「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバ作成が開始されます。
サーバの作成結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスなしのWindowsのサーバイメージからサーバを作成した場合、作成後のサーバはライセンス認証が自動で行われません。また以下のメッセージが表示される場合があります。その場合は「別紙3.6 Windowsライセンス電話認証手順」を参照し、お客様にてライセンス認証を行ってください。



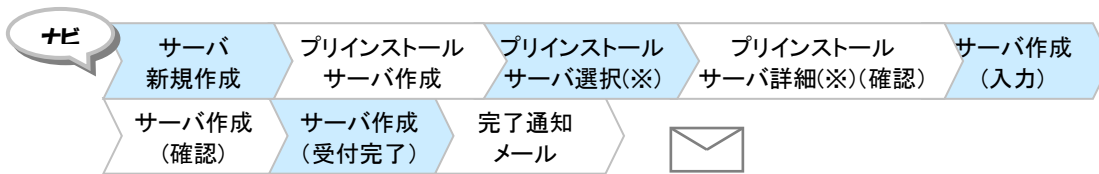
- ・Windows2008 のサーバイメージからサーバを作成した場合、作成後のサーバのAdministratorのログインパスワードは完了通知メールに記載されているURLより参照してください。
- ・以下のすべての条件を満たすサーバイメージからサーバを作成する場合、Administratorアカウント（パスワード含む）が初期化されるため、コンソール接続にてAdministrator のパスワードを設定するまで、リモートデスクトップ接続ができません。
 - 「2018年7月24日以前に作成したWindows2012サーバ」から作成したサーバイメージ
 - リモートデスクトップ接続が可能なユーザーが Administrator のみ
 - 「管理者権限のユーザーを追加しない」を選択してサーバ作成
- ・イメージから作成されたサーバに入っているアプリケーションのライセンスは、お客様で管理ください。
- ・以下のすべての条件を満たすサーバイメージからサーバを作成する場合、グローバルIPアドレスを割り当てることはできません。
 - 「2011年10月25日以前に作成したサーバ」から作成したサーバイメージ
 - 「グローバルIPアドレスなしのサーバ」から作成したサーバイメージ

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスありのサーバイメージからサーバを作成する場合、「新規取得(グローバルIPアドレスなし)」「保持IPアドレス(プライベートIPアドレス)」は選択できません。
- ・共有イメージから作成したサーバは共有元と共有先のご契約時期の組み合わせによって、ルーティング情報の修正が必要となります。詳細は巻末別紙「3.7. イメージ共有にて作成したサーバのルーティング情報の修正手順」を参照してください。
- ・システム準備ツール(Sysprep)にてサポートしていない役割が構成されたWindows Serverはサーバイメージからサーバ作成を行うことができません。以下Microsoft社の情報提供サイトをご参照ください。
(参考URL: [https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd744581\(v=ws.10\)](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd744581(v=ws.10))) 情報提供サイトにて「サポートされていません」となっている「サーバの役割」が構成されたサーバは、サーバイメージからサーバ作成を行うことができません。
- ・グローバルIPアドレスを付与しない場合は、インターネット網を通じたアクセス(SSH、リモートデスクトップ)はできません。そのためお客様管理の既存の別サーバ(グローバルIPアドレス付与)、コンソール接続、プライベートLANを利用する連携メニュー経由からのみアクセスできます。
- ・Windowsのサーバイメージからサーバを作成した場合、以下の項目が再設定されます。なお、持込イメージからサーバを作成した場合は、(★)を付けた項目以外は再設定されません。
 - Administratorパスワード(★)
 - Administratorユーザプロファイル(★)
プロファイルに関連するデスクトップ情報等も再設定(初期化)されます。
 - IPアドレス :
IPv4プライベートアドレス・マスク・ゲートウェイ
IPv4グローバルアドレス・マスク・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)／
IPv6グローバルアドレス・マスク・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)
 - IPv6 RA : 無効に設定する
 - DNS設定 : BIGLOBEのDNS サーバ
 - NTP設定 : 状態:有効／BIGLOBEのNTP サーバ
 - タイムゾーン : 東京
 - コンピュータ名 : コントロールパネルで設定したサーバ名(★)
 - 所有者名 : BIGLOBE
 - 組織名 : BIGLOBE
 - NetBIOS: 無効に設定
 - WindowsUpdateサービス: 有効に設定
 - プロダクトID
 - アクティベーション(グローバルIPアドレスありの場合)
- ・Linuxのサーバイメージからサーバを作成した場合、以下の項目が再設定されます。なお、持込イメージからサーバを作成した場合は、すべての項目を保持します。
 - IPアドレス :
IPv4プライベートアドレス・マスク・ゲートウェイ
IPv4グローバルアドレス・マスク・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)／
IPv6グローバルアドレス・プレフィックス・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)
 - DNS設定 : BIGLOBEのDNS サーバ
 - ホスト名 : コントロールパネルで設定したサーバ名
 - ドメイン名 : localhost
- ・Cent OS 7、AlmaLinux 8及びRed Hat Enterprise Linux 7/8のサーバイメージからサーバを作成した場合、以下の項目が再設定されます。なお、持込イメージからサーバ作成した場合は、すべての項目を保持します。
- ・ -各NIC へ割り当てられている firewalld のゾーン設定 : defaultゾーンRed Hat サブスクリプションの有無はサーバイメージ作成元サーバのRed Hat サブスクリプションの有無を継承します。
- ・大容量のディスクを含むサーバイメージからサーバを作成する場合、サーバ作成完了までにお時間を要することがあります。

2.3.5. サーバパック、プリインストールサーバの作成

業務パッケージソフト向けのプリインストールサーバをクラウドアプリストアから作成します。



(※)部分はクラウドアプリストアでの操作となります。クラウドアプリストアのご利用方法については別冊「クラウドアプリストア ユーザマニュアル」の「2.4.1. プリインストールサーバを購入する場合」をご参照ください。

◇サーバ新規作成◇

サーバ新規作成

サーバ作成方法を「サーバ作成」または「サーバイメージから作成」から選択し、「作成する」ボタンを押してください。

サーバ作成

■業務サーバパック、プリインストールサーバ
業務サーバパックを含むプリインストールサーバを作成する場合はこちらを選択してください。
※クラウドアプリストアのプリインストールサーバ一覧に移動します。

■ベースモデル
最小構成1vCPU (2GHz)、メモリ (Linux : 1GB、Windows : 2GB)、ディスク (40GB) からスペックを自由にカスタマイズできるサーバです。
OS : CentOS, Red Hat Enterprise Linux, Windows Server
月額料金 : ¥9,000~

■ナノモデル
1vCPU (1GHz)、メモリ (512MB)、ディスク (40GB) 固定スペックでご提供するサーバです。
OS : CentOS
月額料金 : ¥4,500

作成する

作成する

作成する

サーバイメージから作成

image → Server

サーバイメージからサーバを作成する場合はこちらを選択してください。

作成する

◇サーバ作成(入力)◇

サーバ作成(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
必須印は、入力必須の項目です。

製品名	業務サーバ/バック ベーシック NB6	
必須 サーバ名	<input type="text"/>	(半角英数4~13文字、先頭は英字のみ) ※サーバ名は作成後変更できません。
必須 IPアドレス	新規取得 <input type="button" value="▼"/>	※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。
SSH鍵	<input type="text" value="(選択不可)"/>	
ゾーン	<input type="text" value="指定しない"/>	※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。
必須 ユーザー名	<input type="text"/>	サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピュータの他のユーザー名 またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド(.)またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内 (半角) の文字列を指定でき、 次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 * / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。
必須 パスワード	<input type="password"/>	パスワード強度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは10文字以上、127文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ1文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。	
必須 パスワード(再入力)	<input type="password"/>	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
メモ	<input type="text"/>	
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量	
必須 台数	<input type="text" value="1"/>	※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。
必須 確認	<input type="checkbox"/> 利用規約・利用条件を確認しました。 ※当社は本サービスの提供にあたりお客様から収集した個人情報を、本サービスを提供する目的のためにその対象事業者に対して提供します。 ※利用規約・利用条件はクラウドアプリストア利用規約(ご利用者向け)、及び製品詳細ページに掲載の利用規約・利用条件にてご確認ください。	

構成内容

料金プラン	: 月額
台数	: 1
OS	: Windows Server 2019 (64bit) Standard Edition
CPU	: 1vCPU ベストエフォート型
メモリ	: 2GB
基本ディスク	: 100GB
基本ディスク拡張	: なし
追加ディスク	: なし
製品パッケージ	: Windows Server RDS ライセンス: 1

ご利用料金 (税別)

月次費用	: ¥ 15,650/月
一時費用	: ¥ 0

確認画面へ >>

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	製品名		選択したプリインストールサーバの名称
2	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
3	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
4	SSH 鍵		設定不要のため、選択できません。
5	ゾーン		「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。 ※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
6	ユーザー名	○	サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名 またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド (.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内(半角)の文字列を指定でき、 次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。
7	パスワード	○	サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3 文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは 10 文字以上、127 文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。
8	パスワード(再入力)	○	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
9	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
10	料金プラン		「月額」料金固定のため、選択できません。
11	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2 ケタ)を付与します。 ※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
12	確認欄	○	ライセンスサーバは、クラウドアプリストアで提供しているため、利用規約・利用条件に同意いただく必要があります。利用規約・利用条件はクラウドアプリストアから確認してください。

◇サーバ作成(確認)◇

サーバ作成(確認)

入力
確認
完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サーバ作成が完了した時点から料金が発生します。

製品名	業務サーババックベーシック NB6
サーバ名	XXXXXXXXXX
IPアドレス	新規取得
SSH鍵	(未選択)
ゾーン	指定しない
ユーザー名	XXXXXXXXXX
パスワード	XXXXXXXXXX
メモ	
料金プラン	●月額 ○従量
台数	1
確認欄	■利用規約・利用条件を確認しました。

ご利用料金 (税別)	月次費用：¥15,250/月 一時費用：¥0 ※別途消費税を申し受けます。
------------	---------------------------------------------

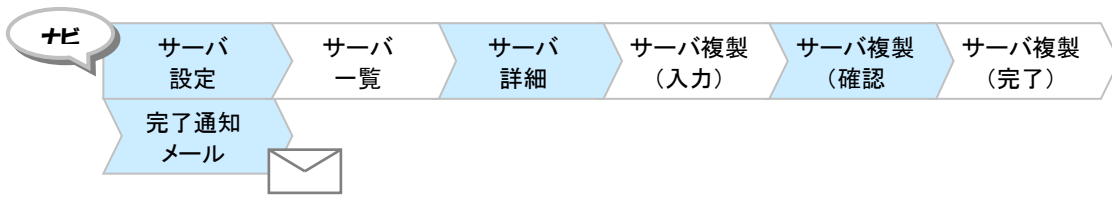
◀ 戻る
実行する ▶

【ご注意】

- ・クラウドアプリストアから購入したプリインストールサーバはサーバ複製、サーバイメージ作成、サーバ休止はご利用いただけません。

2.4. サーバ複製

既存のサーバの複製ができます。指定したサーバと同じスペック(CPU、メモリ、ディスク)のサーバを作成します。



◇サーバ詳細◇

サーバイメージ

サーバ複製

サーバイメージ作成

※サーバが「起動中」の場合のみ実行可能です。本操作によりサーバを停止後、サーバイメージ作成を実行します。

サーバ複製

※サーバが「起動中」の場合のみ実行可能です。本操作によりサーバを停止後、サーバ複製を実行します。

サーバ削除

サーバ削除

※サーバが「停止中」の場合のみ、サーバ削除を実行できます。

サーバ停止 停止解除

※サーバが「停止中」の場合のみ、サーバ停止を実行できます。
※料金プランが「従量」または「月額(翌月より従量に変更)」の場合のみサーバ停止を実行できます。
※デフォルトでは「サーバ停止」をご利用いただけません。

サーバ一覧へ

◇Windows Server 2008 / 2016 / 2019 / 2022 のサーバ複製(入力)◇

サーバ複製(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
必須 印は、入力が必要な項目です。

必須 サーバ名	(半角英数字4~13文字、先頭は英字のみ) ※サーバ名は作成後変更できません。	構成内容 料金プラン : 月額 台数 : 1 OS : Windows Server 2008 (32bit) Standard Edition ライセンス : Services Provider License Agreement (SPLA) CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 2GB 基本ディスク : 40GB 基本ディスク拡張 : なし 追加ディスク : なし
必須 IP アドレス	[新規取得(グローバルIPアドレスなし)] ※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。	
必須 ゾーン	[指定しない] ※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。	
メモ	(全角32文字以内)	
必須 料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量 ※ベースサーバと追加ディスクは異なる料金プランを設定することはできません。	
必須 台数	1 ※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。	
▼複製元のサーバ情報		
サーバ名		
OS	Windows Server 2008 (32bit) Standard Edition	
ライセンス	Services Provider License Agreement (SPLA)	
CPU	1vCPU	
CPUタイプ	ベストエフォート型	
メモリ	2GB	
基本ディスク	40GB	
基本ディスク拡張	なし	
追加ディスク	なし	
SSH鍵		
初期インストールオプション		
セキュリティティフト		
グローバルIPアドレス	なし	
ゾーン	指定しない	
メモ		
複製元サーバ料金プラン	月額	

ご利用料金 (税別)
 月次費用 : ¥12,000/月
 一時費用 : ¥0

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
3	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。Oracle サーバを冗長化構成とする場合、ゾーンをわけて、ご指定ください。 ※ベースモデル(Oracle 用)サーバの場合、サーバ作成後は変更できません。 ※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
4	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
5	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。 料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
6	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2 ケタ)を付与します。 ※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。

◇Windows Server 2012（管理者権限のユーザーを追加する）のサーバ複製(入力)◇

サーバ複製(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
※印は、入力が必要な項目です。

※ サーバ名	<input style="width: 90%;" type="text"/> (半角英数4~13文字、先頭は英字のみ) ※サーバ名は作成後変更できません。	構成内容 料金プラン : 月額 台数 : 1 OS : Windows Server 2012 R2 (64bit) Standard Edition ライセンス : Services Provider License Agreement (SPLA) CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 2GB 基本ディスク : 40GB 基本ディスク拡張 : なし 追加ディスク : なし
※ IPアドレス	新規取得 ※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。	
※ ゾーン	指定しない ※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。	
※ 管理者権限のユーザー追加	<input checked="" type="radio"/> 管理者権限のユーザーを追加する <input type="radio"/> 管理者権限のユーザーを追加しない ※複製元のサーバに管理者権限ユーザーがAdministrator以外存在しない場合、「管理者権限のユーザーを追加する」を選択してください。 詳細はマニュアルを参照してください。	
※ ユーザー名	<input style="width: 90%;" type="text"/> サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド(.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内 (半角) の文字列を指定でき、次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 " / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。	
※ パスワード	<input style="width: 90%;" type="password"/> パスワード強度 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは10文字以上、127文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ1文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。	ご利用料金 (税別) 月次費用 : ¥ 12,200 / 月 一時費用 : ¥ 0
※ パスワード(再入力)	<input style="width: 90%;" type="password"/> 確認のため、もう一度パスワードを入力してください。	
メモ	<input style="width: 90%;" type="text"/> (全角32文字以内)	
※ 料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量 ※ベースサーバと追加ディスクは異なる料金プランを設定することはできません。	
※ 台数	1 ※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。	
▼複製元のサーバ情報		
サーバ名	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
OS	Windows Server 2012 R2 (64bit) Standard Edition	
メモ	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
複製元サーバ料金プラン	月額	

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
3	SSH 鍵		作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。BIGLOBE から提供するサーバイメージを利用する場合のみ指定可能です。 Windows の場合は設定できません。
4	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
5	管理者権限のユーザー追加	○	「管理者権限のユーザーを追加する」 「管理者権限のユーザーを追加しない」から選択します。
6	ユーザー名	○	サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名 またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド (.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内(半角)の文字列を指定でき、 次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。
7	パスワード	○	サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3 文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは 10 文字以上、127 文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。
8	パスワード(再入力)	○	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
9	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
10	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。 料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
11	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2 ケタ)を付与します。 ※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
12	サーバイメージ名	○	利用するサーバイメージ名を選択します。

◇Windows Server 2012（管理者権限のユーザーを追加しない）のサーバ複製（入力）◇

サーバ複製(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
※印は、入力が必要な項目です。

※ サーバ名	<input type="text" value=""/> <small>※サーバ名は作成後変更できません。</small>	構成内容 料金プラン : 月額 台数 : 1 OS : Windows Server 2012 R2 (64bit) Standard Edition ライセンス : Services Provider License Agreement (SPLA) CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 2GB 基本ディスク : 40GB 基本ディスク拡張 : なし 追加ディスク : なし
※ IPアドレス	<input type="text" value=""/> <small>※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。</small>	
※ ゾーン	<input type="text" value=""/> <small>※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。</small>	
※ 管理者権限のユーザー追加	<input type="radio"/> 管理者権限のユーザーを追加する <input checked="" type="radio"/> 管理者権限のユーザーを追加しない <small>※複製元のサーバに管理者権限ユーザーがAdministrator以外存在しない場合、「管理者権限のユーザーを追加する」を選択してください。詳細はマニュアルを参照してください。</small>	
メモ	<input type="text" value=""/> (全角32文字以内)	
※ 料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量 <small>※ベースサーバと追加ディスクは異なる料金プランを設定することはできません。</small>	
※ 台数	<input type="text" value="1"/> <small>※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。</small>	

▼複製元のサーバ情報

サーバ名	
OS	Windows Server 2012 R2 (64bit) Standard Edition
ライセンス	Services Provider License Agreement (SPLA)
CPU	1vCPU
CPUタイプ	ベストエフォート型
メモリ	2GB

ご利用料金 (税別)

月次費用 : ¥12,000/月
 一時費用 : ¥0

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。サーバ作成後、この項目は変更できません。
2	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
3	SSH 鍵		作成するサーバに公開鍵としてセットする SSH 鍵を指定します。BIGLOBE から提供するサーバイメージを利用する場合のみ指定可能です。Windows の場合は設定できません。
4	ゾーン	○	「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。
5	管理者権限のユーザー追加	○	「管理者権限のユーザーを追加する」 「管理者権限のユーザーを追加しない」から選択します。
6	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
7	料金プラン	○	料金プランを「月額」「従量」の何れかで指定します。課金の詳細は、「1.9 料金プランと課金単位」を参照ください。料金プラン(月額または従量)はサーバと追加ディスクで同一となります。
8	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2ケタ)を付与します。※サーバ名が12文字以上ある場合、連番を付与して13文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
9	サーバイメージ名	○	利用するサーバイメージ名を選択します。

◇サーバ複製(確認)◇

サーバ複製(確認)

入力
確認
完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サーバ複製が完了した時点から料金が発生します。

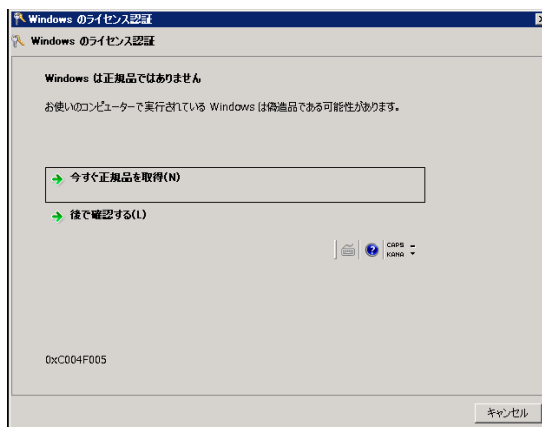
サーバ名	
IPアドレス	新規取得(グローバルIPアドレスなし)
ゾーン	指定しない
メモ	
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量
台数	1
▼複製元のサーバ情報	
サーバ名	
OS	Windows Server 2008 (32bit) Standard Edition
ライセンス	Services Provider License Agreement (SPLA)
CPU	1vCPU
CPUタイプ	ベストエフォート型
メモリ	2GB
基本ディスク	40GB
基本ディスク拡張	なし
追加ディスク	なし
SSH鍵	
初期インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	なし
ゾーン	指定しない
メモ	
複製元サーバ料金プラン	月額
ご利用料金(税別)	月次費用: ¥12,000/月 一時費用: ¥0 ※別途消費税を申し受けます。

◀ 戻る
実行する ▶

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバ複製が開始されます。
サーバの複製結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・サーバ複製は複製元となるサーバが「起動中」の場合のみ実行可能です。
- ・複製元サーバのVMwareToolsが削除されている場合、または起動されない設定となっている場合は、サーバ複製は出来ません。
- ・グローバルIPアドレスなしのWindowsサーバを複製した場合、複製後のサーバはライセンス認証が自動で行われません。また以下のメッセージが表示される場合があります。その場合は「付録3.6 Windowsライセンス電話認証手順」を参照し、お客様にてライセンス認証を行ってください。



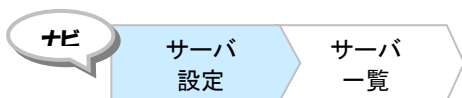
- ・Windows2008 のサーバを複製した場合、複製後のサーバのAdministratorのログインパスワードは完了通知メールに記載されているURLを参照してください。
- ・以下のすべての条件を満たすサーバからサーバ複製をする場合、Administratorアカウント（パスワード含む）が初期化されるため、コンソール接続にてAdministrator のパスワードを設定するまで、リモートデスクトップ接続ができません。
 - 「2018年7月24日以前に作成したWindows2012サーバ」から作成したサーバ
 - リモートデスクトップ接続が可能なユーザーが Administrator のみ
 - 「管理者権限のユーザーを追加しない」を選択してサーバ複製
- ・2011年10月25日以前にグローバルIPアドレスを割り当てずに作成したサーバを複製する場合、グローバルIPアドレスを割り当てることは出来ません。
- ・複製されたサーバに入っているアプリケーションのライセンスは、お客様で管理ください。
- ・システム準備ツール(Sysprep)にてサポートしていない役割が構成されたWindowsServerはサーバ複製を行うことができません。Microsoft社の情報提供サイトをご参照ください。
(参考URL : [https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd744581\(v=ws.10\)](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd744581(v=ws.10))) 情報提供サイトにて「サポートされていません」となっている「サーバの役割」が構成されたサーバは、サーバ複製を行うことができません。
- ・グローバルIPアドレスを付与しない場合は、インターネット網を通じたアクセス(SSH、リモートデスクトップ)はできません。そのためお客様管理の既存の別サーバ(グローバルIPアドレス付与)、コンソール接続、プライベートLANを利用する連携メニュー経由からのみアクセスできます。

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスありで作成したサーバを複製する場合、「新規取得(グローバルIPアドレスなし)」「保持IPアドレス(プライベートIPアドレス)」は選択できません。
 - ・複製元サーバを停止後にサーバ複製を実行します。複製が完了するまでサーバをご利用いただくことが出来ません。サーバ複製完了後、複製元サーバを起動します。
 - ・Windowsのサーバイメージからサーバを作成した場合、以下の項目が再設定されます。
 - Administratorパスワード
 - Administratorユーザプロファイル
プロファイルに関連するデスクトップ情報等も再設定(初期化)されます。
 - IPアドレス :
IPv4プライベートアドレス・マスク・ゲートウェイ
IPv4グローバルアドレス・マスク・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)／
IPv6グローバルアドレス・マスク・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)
 - IPv6 RA :無効に設定する
 - DNS設定 :BIGLOBEのDNS サーバ
 - NTP設定 :状態:有効／BIGLOBEのNTP サーバ
 - タイムゾーン :東京
 - コンピュータ名 :コントロールパネルで設定したサーバ名
 - 所有者名 :BIGLOBE
 - 組織名 :BIGLOBE
 - NetBIOS:無効に設定
 - WindowsUpdateサービス:有効に設定
 - プロダクトID
 - アクティベーション(グローバルIPアドレスありの場合)
 - ・Linuxのサーバイメージからサーバを作成した場合、以下の項目が再設定されます。
 - IPアドレス :
IPv4プライベートアドレス・マスク・ゲートウェイ
IPv4グローバルアドレス・マスク・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)／
IPv6グローバルアドレス・プレフィックス・ゲートウェイ(グローバルIPアドレスありの場合)
 - DNS設定 :BIGLOBEのDNS サーバ
 - ホスト名 :コントロールパネルで設定したサーバ名
 - ドメイン名 :localhost
 - ・Cent OS 7、AlmaLinux 8及びRed Hat Enterprise Linux 7/8のサーバイメージからサーバを作成した場合、以下の項目が再設定されます。なお、持込イメージからサーバ作成した場合は、すべての項目を保持します。
 - ・各NIC へ割り当てられている firewalld のゾーン設定 :defaultゾーンRed Hat サブスクリプションの有無は複製元サーバのRed Hat サブスクリプションの有無を継承します。
 - ・大容量のディスクをご利用の場合、複製完了までにお時間を要することがあります。
-

2.5. サーバー一覧

現在作成されているサーバを一覧表示し、サーバごとの詳細確認やサーバの起動・停止の指定が可能です。なお、作成中のサーバはサーバー一覧の先頭に表示されます。



◇サーバー一覧◇



【リージョン】

サーバー一覧の左項目にサーバが收容されているリージョンが表示されます。「東3」は「東日本第3リージョン」になります。

【サーバ名】

サーバ名をクリックするとサーバ詳細画面を表示します。詳細画面については、次章「2.6 サーバの設定変更とリソースの追加」をご参照ください。

【ステータス】

作成されているサーバの現在のステータスが表示されます。

- ・起動中 : サーバの電源がパワーオンの状態です。
- ・停止中 : サーバの電源がパワーオフの状態です。
- ・処理中 : 設定変更などの処理が行われている状態です。
- ・休止中 : サーバが休止している状態です。
- ・不明 : サーバのステータスがコントロールパネルで検出できない状態です。

※最新のステータスを確認するにはステータス更新ボタンをクリックしてください。

※ステータスは、通電状態を表すもので OS が正常稼働しているかどうかを表示するものではありません(起動中=通電 ON、停止中=通電 OFF)。

OS が正常稼働しているかどうかは、お客様側でサーバにログインして確認していただく必要があります。

※停止中と休止中は以下の違いがあります。

- ナノモデルやクラウドアプリストアで購入したサーバは「停止」できますが「休止」できません。
- 従量課金の休止プランを適用できるのは「休止」のみです。「停止」の場合は適用されません。

【操作】起動／停止／再起動

ボタンを押すと、作成されているサーバの現在のステータス変更が可能です。

- ・ステータス「起動中」に操作「停止」をクリックすると、サーバが停止します。
- ・ステータス「起動中」に操作「再起動」をクリックすると、サーバが再起動します。
- ・ステータス「停止中」に操作「起動」をクリックすると、サーバが起動します。

【コンソール】

ボタンを押すと、作成されているサーバに対しコンソール接続が行えます。

コンソール接続の利用方法については「2.11 コンソール接続」をご参照ください。

2.6. サーバの設定変更とリソースの追加

サーバの詳細画面から、現在のサーバの設定情報を表示し、設定の変更やリソースの追加、サーバの起動/停止、サーバの削除、スナップショットの作成、サーバイメージの作成、サーバ複製などが可能です。



◇サーバ詳細◇

サーバ詳細

サーバの詳細情報です。サーバの各種操作を行うことができます。

サーバ名		A
サーバステータス	▶ 起動中	ステータス更新
ネットワークステータス (グローバル)	▶ 切断中	
ネットワークステータス (プライベート)	▶ 接続中	
ZFS	<input checked="" type="checkbox"/>	
モデル		
製品名		
製品パッケージ		

サーバ起動 サーバ停止
強制停止 サーバ再起動
強制再起動

サーバ情報 C

OS	CentOS 7 (64bit)
エディション	なし
CPU	1vCPU(ベストエフォート型)
メモリ	512MB
基本ディスク	40GB
SSH鍵	
初期インストールオプション	
セキュリティレベル	
グローバルIPアドレス	なし
リージョン	東日本第1リージョン
ゾーン	指定なし
サーバ作成日時	
料金プラン	月額

※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

[スペック変更](#) [ゾーン変更](#) [料金プラン変更](#)

追加ディスク D

ディスク名	種別	容量	課金単位	操作
追加ディスクはありません。				

※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

[ディスク追加](#)

ディスクを接続します。
※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。

[ディスク接続](#)

ネットワーク情報 E

グローバルIPアドレス(IPv4)	
グローバルIPアドレス(IPv6)	
プライベートIPアドレス	

グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。
※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。
※サーバが「起動中」の場合のみ、グローバルIPアドレスの追加を実行できます。

[グローバルIPアドレス追加](#)

スナップショット F

作成済みのスナップショットはありません。

※追加ディスクの場合はスナップショットの対象外です。
※サーバが「停止中」の場合のみ、スナップショットの作成を実行できます。

[作成](#) [削除](#) [リストア](#)

サーバイメージ G

サーバイメージ作成

※サーバが「起動中」の場合のみ実行可能です。本操作によりサーバを停止後、サーバイメージを作成を行います。

サーバ複製 H

サーバ複製

※サーバが「起動中」の場合のみ実行可能です。本操作によりサーバを停止後、サーバ複製を行います。

サーバ削除 I

サーバ削除

※サーバが「停止中」の場合のみ、サーバ削除を実行できます。

サーバ停止 J

サーバ「停止」/「停止解除」

※サーバが「停止中」の場合のみ、サーバ停止を実行できます。
※料金プランが「従量」または「月額(翌月より従量に変更)」の場合のみサーバ「停止」を実行できます。
※「モデル」では「サーバ」停止をご利用いただけません。

ベースモデルへのアップグレード K

nanoモデルからベースモデルへサーバをアップグレードします。

アップグレード

※サーバが「停止中」の場合のみ、アップグレードを実行できます。

[サーバ一覧へ](#)

【サーバ詳細画面の作業】

	指定項目	説明
A	サーバ詳細情報	<p>・サーバステータス:サーバの現在のステータスを表示します。</p> <p>・ネットワークステータス:サーバの NIC 接続状態(グローバル側/プライベート側)を表示します。</p> <p>【ステータスの種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続中: NIC が接続されている状態です。 ・ 切断中: NIC が切断されている状態です。 <p>・製品パッケージ:クラウドアプリストアから購入したプリインストールサーバの製品パッケージ名が表示されます。</p>
B	サーバの起動/停止/再起動/強制停止/強制再起動	<p>サーバの起動、停止、再起動を実行できます。またトラブルにより停止・再起動が行えなくなったサーバに強制停止、強制再起動を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステータス「起動中」に操作「停止」をクリックすると、サーバが停止します。※本機能は、サーバ上で VMware-Tools が動作していないと正常に動作しません(詳細は別紙をご確認ください)。 ・ ステータス「起動中」に操作「再起動」をクリックすると、サーバが再起動します。 ・ ステータス「停止中」に操作「起動」をクリックすると、サーバが起動します。 ・ ステータス「起動中」に操作「強制停止」をクリックすると、強制的にサーバの電源を切ります。 ・ ステータス「起動中」に操作「強制再起動」をクリックすると、強制的にサーバが再起動します。 <p>※強制停止、強制再起動は、OS のシャットダウンを行うものではありません。仮想サーバの電源ボタンを OFF にするのと同等の動作です。シャットダウン処理が必要な場合、OS 上から適切な手順を実施してください。</p>
C	スペック変更	<p>CPU 個数、メモリ容量、CPU タイプが変更できます。</p> <p>※本機能ご利用時は、サーバを「停止中」にしてください。</p> <p>※変更完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p> <p>※スナップショットを取得している場合、スペック変更は行えません。</p>
	ゾーン変更	<p>「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。</p> <p>※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます。</p>
	料金プラン変更	<p>月額課金、従量課金を変更できます。</p> <p>※クラウドアプリストアから購入したサーバは月額課金のみです。</p>
	サブスクリプション購入 (Red Hat Enterprise Linux サーバで Red Hat サブスクリプションなしの場合のみ表示)	<p>Red Hat サブスクリプションなしのサーバの場合、Red Hat サブスクリプションを購入して適用することが可能です。</p> <p>対象サーバでの Red Hat サブスクリプション設定方法は、Red Hat サブスクリプション購入時に送付される完了メールに記載されている URL をご確認ください。</p>
	基本ディスク拡張 (Windows Server の場合のみ表示)	<p>Windows Server の場合、基本ディスクを拡張することが可能です。</p> <p>※拡張完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p> <p>※持ち込みイメージから作成された Windows Server は対象外です。</p> <p>※基本ディスク拡張済み(基本ディスクが 300GB 以上)のサーバを再度拡張することはできません。</p> <p>※スナップショットがある場合、基本ディスク拡張を実行できません。</p> <p>※拡張した基本ディスクを縮小することはできません。</p>

	指定項目	説明
D	ディスクの追加、削除、切断、接続、ディスク単位の料金プラン変更	<p>ディスクの追加／削除／切断／接続／ディスク単位の料金プラン変更が指定できます。</p> <p>ディスク追加ではディスク名を指定し、増設する容量を指定します。「D1(標準タイプ)」最大 8 個、「D2(大容量タイプ)」最大 14 個まで増設できます。</p> <p>※D1(標準タイプ)とD2(大容量タイプ)の合計が 14 個を超えることはできません。</p> <p>ディスクの切断／接続ではサーバから追加ディスクを切断・保管できます。また別のサーバ(OS が同一種別のものに限り)へ接続することが出来ます。</p> <p>※本機能ご利用時は、サーバを「停止中」にしてください。</p> <p>※ディスクの追加、削除、切断、接続完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p> <p>※スナップショットを取得している場合、ディスクの追加、削除、切断、接続を行うとスナップショットは自動的に削除されます。</p>
E	IP アドレスの参照／グローバル IP アドレス追加	<p>割り振られた IP アドレスについて以下の3種を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IPv4 アドレス ・ IPv6 アドレス ・ プライベートアドレス <p>グローバル IP アドレスが割り当てられていないサーバにグローバル IP アドレスを割り当てる事が出来ます。</p> <p>※本機能ご利用時は、サーバを「起動中」にしてください。</p> <p>※CentOS、AlmaLinux 及び、Red Hat Enterprise Linux の場合、グローバル IP アドレスを追加後はサーバを再起動します。</p> <p>※Windows の場合、グローバル IP アドレス追加後、お客様にてサーバの設定変更が必要になります。設定変更は「2.6.6 グローバル IP アドレス追加」をご参照ください。</p> <p>※スナップショットを取得している場合、グローバル IP アドレスを追加するとスナップショットは自動的に削除されます。</p> <p>※完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p>
F	スナップショット	<p>スナップショットの作成とリストアが可能です。</p> <p>スナップショット実行直前のサーバ環境に復元するための機能で、バックアップ用途ではありません。</p> <p>保存期間は 3 日です(3 日を経過するとスナップショットが自動削除されます)。</p> <p>リストアを実行すると、スナップショットを作成した当時のサーバ環境が復元されます。その際、サーバ環境は上書きされ、リストアする前の状態に戻す事は出来ません。</p> <p>操作方法は「2.6.3 スナップショット」をご参照ください。</p> <p>※本機能ご利用時は、サーバを「停止中」にしてください。</p> <p>※再作成した場合、既存のスナップショットは上書きされます。</p> <p>※作成完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p>
G	サーバイメージ	<p>サーバイメージの作成が可能です。</p> <p>※本機能ご利用時は、サーバを「起動中」にしてください。ただし、イメージ取得中はサーバが停止します。サーバイメージ作成完了後サーバは自動的に起動します。</p> <p>※完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p>
H	サーバ複製	<p>サーバ複製が可能です。既存のサーバを、環境設定などもそのままに複製します。</p> <p>操作方法は「2.4. サーバ複製」をご覧ください。</p> <p>※本機能ご利用時は、サーバを「起動中」にしてください。ただし、複製中はサーバが停止します。サーバ複製完了後サーバは自動的に起動します。</p> <p>※完了後、完了通知メールが自動発信されます。</p>

	指定項目	説明
I	サーバの削除	作成したサーバが、指定と同時に削除されます。接続している追加したディスクも同時に削除されます。 <u>※本機能ご利用時は、サーバを「停止中」にしてください。</u> ※完了後、完了通知メールが自動発信されます。 ※月額課金の場合、サーバ削除後も、当月分の料金は発生します。
J	サーバ休止／休止解除	サーバの休止、休止解除が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ステータス「停止中」に操作「休止」ボタンをクリックすると、サーバが休止します。休止中はサーバ料金が割引になります。休止解除以外のあらゆる機能がご利用いただけません。 ・ステータス「休止中」に操作「休止解除」ボタンをクリックすると、サーバが休止解除します。 <u>※サーバを「休止解除」した場合は、「停止中」となります。</u> <u>※料金プランが「従量」または「翌月から従量」予約中のサーバのみ「休止」できます。</u> <u>※料金プランが「月額」または「翌月から月額」予約中のサーバは「サーバ休止」をご利用いただけません。</u>
K	ベースモデルへのアップグレード(ナノモデルサーバのみ表示)	ナノモデルからベースモデルへサーバをアップグレードします。 ※サーバが「停止中」の場合のみ、アップグレードを実行できます。 ※スナップショットを取得している場合、ベースモデルへサーバのアップグレードを行うとスナップショットは自動的に削除されます。

【ご注意】

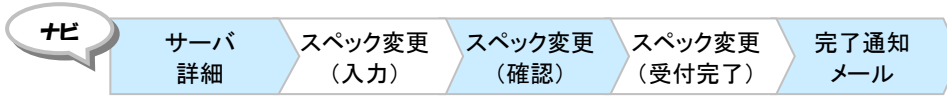
- ・作成、起動、再起動時操作直後、サーバのステータスが起動中に変化しても、サーバにアクセスできない場合があります。その場合は、しばらく時間をおいてから、再度アクセスしてください。
 - ・サーバ休止はサーバ詳細画面から行ってください。サーバにログインしてシャットダウンを行ってもサーバ休止にはなりません。
 - ・2011年10月25日以前にグローバルIPアドレスを割り当てずに作成したサーバは、グローバルIPアドレスの追加を行うことはできません。
 - ・ナノモデルで作成したサーバは、サーバ休止、サーバリソースオプション、サーバイメージ持込をご利用いただけません。
 - ・サーバ休止／休止解除を実行時には通知メールが送信されません。
 - ・従量料金プランでのご利用料金は、総稼動時間のうち起動時間を優先して算出するため、休止を設定したタイミングによっては休止料金の対象となる休止時間が変動する場合があります。
-

2.6.1. サーバリソース変更

ご利用状況に応じて、サーバのスペック変更や料金プランの変更、基本ディスク拡張、Red Hat サブスクリプションの購入が可能です。

① スペック変更

サーバのスペック変更を行います。



◇スペック変更(入力)◇

サーバ変更(スペック)(入力)

入力
確認
完了

サーバのスペック (CPU、メモリ) を変更します。
各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
<ご注意>
※作成済みのスナップショットがある場合、スペック変更が完了した時点でスナップショットが自動的に削除されます。
スペック変更完了後、必要に応じてスナップショットを再度作成してください。
※ご利用料金が変更前より低額となる場合、変更後のご利用料金は翌月からの適用となります。

※ 必須印は、入力が必要な項目です。

OS	Windows Server 2022 (64bit)	構成内容 OS : Windows S erver 2022 (64bit) エディション : Standard E dition CPU : 1vCPU ベストエフ ォート型 メモリ : 2GB 基本ディスク : 100GB 基本ディスク拡張 : なし 製品パッケージ : なし 料金プラン : 月額
エディション	Standard Edition	
サーバ名		
必須 CPU	1vCPU	
必須 CPUタイプ	<input checked="" type="radio"/> ベストエフォート型 <input type="radio"/> リソース優先型	
必須 メモリ	2GB	
基本ディスク	100GB	
基本ディスク拡張	なし	
グローバルIP	あり	
料金プラン	月額	

ご利用料金 (税別)
 月次費用 :
 一時費用 :

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶▶

◇スペック変更(確認)◇

サーバ変更(スペック)(確認)

入力
確認
完了

変更内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

OS	Windows Server 2022 (64bit)
エディション	Standard Edition
サーバ名	
CPU	1vCPU
CPUタイプ	<input checked="" type="radio"/> ベストエフォート型 <input type="radio"/> リソース優先型
メモリ	2GB
基本ディスク	100GB
基本ディスク拡張	なし
グローバルIP	あり
メモ	
料金プラン	月額

ご利用料金 (税別)
 月次費用 :
 一時費用 :
 ※別途消費税を申し受けます。

◀ 戻る
実行する ▶▶

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、スペック変更が開始されます。
スペック変更結果(成功、失敗)はメールで通知されます。
スペック変更後はサーバ詳細画面より詳細を確認することができます。

◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク	
OS	CentOS 7 (64bit)	ディスク名	種別
エディション	なし	容量	課金単位
CPU	1vCPU(ベストエフォート型)	操作	
メモリ	512MB	追加ディスクはありません。	
基本ディスク	40GB	※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。	
SSH鍵		ディスク追加	
初期インストールオプション		ディスクを接続します。	
セキュリティソフト		※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。	
グローバルIPアドレス	なし	ディスク接続	
リージョン	東日本第1リージョン		
ゾーン	指定しない		
サーバ作成日時			
料金プラン	月額		

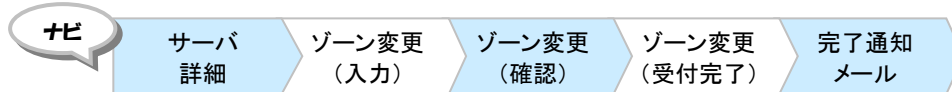
※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

【ご注意】

- CPU個数、メモリ容量、CPUタイプが変更できます。
利用できるスペック上限はOS種別により異なります、詳細は仮想サーバを参照ください。
- 本機能ご利用時は、サーバを「停止中」にしてください。
- スナップショットを取得している場合、スペック変更は行えません。

② ゾーン変更

サーバのゾーンを変更します。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク				
OS	CentOS 7 (64bit)	ディスク名	種別	容量	課金単位	操作
エディション	なし	追加ディスクはありません。				
CPU	1vCPU(ベストエフォート型)	※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。				
メモリ	512MB	ディスク追加				
基本ディスク	40GB	ディスクを接続します。				
SSH鍵		※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。				
初期インストールオプション		ディスク接続				
セキュリティソフト						
グローバルIPアドレス	なし					
リージョン	東日本第1リージョン					
ゾーン	指定しない					
サーバ作成日時						
料金プラン	月額					

※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

[スペック変更](#)
[ゾーン変更](#)
[料金プラン変更](#)

◇ゾーン変更(入力)◇

ゾーン変更(入力)

入力
確認
完了

サーバのゾーンを変更します。
各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

※ 必須項目は、入力が必要な項目です。

サーバ名	
※ 必須 ゾーン	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;"> 指定しない ▼ </div> <small>※ゾーン名を指定したサーバとゾーン名を指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。</small>

← 前画面へ戻る
確認画面へ →

◇ゾーン変更(確認)◇

ゾーン変更(確認)

入力 確認 完了

変更内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

サーバ名	
ゾーン	指定しない

< 戻る 実行する >

◇ゾーン変更(受付完了)◇

ゾーン変更(受付完了)

入力 確認 完了

サーバのゾーン変更を完了しました。

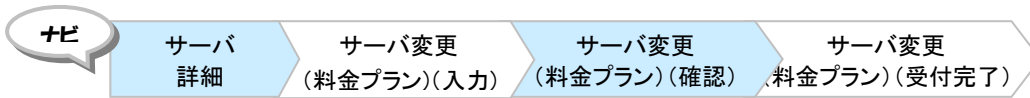
変更が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

サーバ(詳細)へ戻る

「実行する」ボタンクリック後、受付完了画面が表示され、ゾーンが変更されます。

③ 料金プランの変更

サーバの料金プランを変更できます。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク	
OS		ディスク名	種別
エディション		容量	課金単位
CPU		操作	
メモリ		追加ディスクはありません。	
基本ディスク		※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。	
SSH鍵		ディスク追加	
初期インストールオプション		ディスクを接続します。	
セキュリティソフト		※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。	
グローバルIPアドレス		ディスク接続	
リージョン			
ゾーン			
サーバ作成日時			
料金プラン	月額		
<small>※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。</small>			
スペック変更 ゾーン変更 料金プラン変更			

◇サーバ変更(料金プラン)(入力)◇

入力
確認
完了

料金プランを選択し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
 ※料金プランの変更は翌月からの適用となります。
※ 必須項目は、入力が必要な項目です。

OS	Red Hat Enterprise Linux
ライセンス	なし
サーバ名	
CPU	1vCPU
CPUタイプ	ベストエフォート型
メモリ	1GB
基本ディスク	40GB
SSH鍵	
初期インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	あり
IP	
必須 料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量

構成内容

OS : Red Hat Enterprise Linux
 ライセンス : なし
 CPU : 1vCPU
 CPUタイプ : ベストエフォート型
 メモリ : 1GB
 基本ディスク : 40GB
 料金プラン : 月額

ご利用料金 (税別)

前画面へ戻る
確認画面へ

◇サーバ変更(料金プラン)(確認)◇

サーバ変更(料金プラン)(確認)

入力 確認 完了

変更内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

OS	Red Hat Enterprise Linux
ライセンス	なし
サーバ名	
CPU	1vCPU
CPUタイプ	ベストエフォート型
メモリ	1GB
基本ディスク	40GB
SSH鍵	
初期インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	あり
メモ	
料金プラン	<input type="radio"/> 月額 <input checked="" type="radio"/> 従量
ご利用料金(税別)	¥19/時 ※別途消費税を申し受けます。

戻る 実行する

◇サーバ変更(料金プラン)(受付完了)◇

サーバ変更(料金プラン)(受付完了)

入力 確認 完了

サーバの料金プラン変更を受け付けました。

サーバ詳細へ戻る

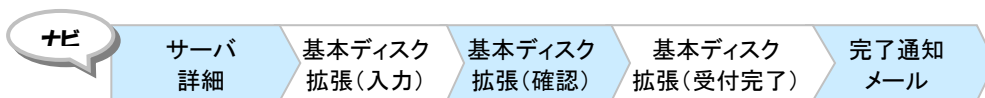
「実行する」ボタンクリック後、受付完了画面が表示され、料金プランが変更されます。

【ご注意】

- ・ 月額課金、従量課金を変更できます。
- ・ 料金プラン変更の適用は翌月からの適用となります。
- ・ クラウドアプリストアから購入したサーバは月額課金のみです。

④ 基本ディスク拡張

Windows Server の基本ディスクを拡張することができます。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク				
OS	Windows Server 2022 (64bit)	ディスク名	種別	容量	課金単位	操作
エディション	Standard Edition	追加ディスクはありません。				
CPU	1vCPU (ベストエフォート型)	※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。				
メモリ	2GB	ディスク追加				
基本ディスク	100GB	ディスクを接続します。				
基本ディスク拡張	なし	※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。				
SSH鍵		ディスク接続				
初期インストールオプション						
セキュリティソフト						
グローバルIPアドレス	あり					
リージョン						
ゾーン	指定しない					
サーバ作成日時						
料金プラン	月額					
※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。						
スペック変更 ゾーン変更 料金プラン変更						
基本ディスク拡張						

◇基本ディスク拡張(入力)◇

基本ディスク拡張(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
※印は、入力必須の項目です。

OS	Windows Server 2022 (64bit)	構成内容 OS : Windows Server 2022 (64bit) エディション : Standard Edition CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 2GB 基本ディスク : 100GB 基本ディスク拡張 : 100GB 製品パッケージ : なし 料金プラン : 月額
エディション	Standard Edition	
サーバ名		
CPU	1vCPU	
CPUタイプ	ベストエフォート型	
メモリ	2GB	
基本ディスク	100GB	
※ 基本ディスク拡張	100GB	
グローバルIPアドレス	あり	
メモ		
料金プラン	月額	ご利用料金 (税別) 月次費用 : ¥20,460/月 一時費用 : ¥0
※ 注意事項確認	<input checked="" type="checkbox"/> 注意事項を確認しました。 ・一度拡張したディスクは、縮小できません。 ・ディスク拡張完了後、お客様にてOS機能を使ってパーティション拡張操作を行ってください。	

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶▶

◇基本ディスク拡張(確認)◇

基本ディスク拡張(確認)

入力 → **確認** → 完了

内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

OS	Windows Server 2022 (64bit)
エディション	Standard Edition
サーバ名	
CPU	1vCPU
CPUタイプ	バストエフォート型
メモリ	2GB
基本ディスク	100GB
基本ディスク拡張	100GB
グローバルIPアドレス	あり
メモ	
料金プラン	月額
注意事項確認	■注意事項を確認しました。

ご利用料金 (税別)	月次費用: ¥20,460/月 一時費用: ¥0 ※別途消費税を申し受けます。
------------	-----------------------------------------------

◀ 戻る 実行する ▶

◇基本ディスク拡張(受付完了)◇

基本ディスク拡張(受付完了)

入力 → 確認 → **完了**

サーバの基本ディスク拡張を受け付けました。

基本ディスク拡張が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。
基本ディスク拡張が完了後、お客様にてOS機能を使ってパーティション拡張操作を行ってください。

サーバ(詳細へ戻る)

「実行する」ボタンをクリック後、受付完了画面が表示され、基本ディスク拡張が開始されます。
基本ディスクの拡張結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

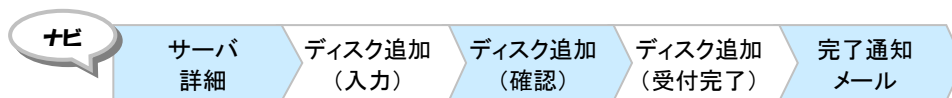
- ・基本ディスク拡張はWindows Serverが対象となります。
- ・持ち込みイメージから作成された Windows Server は対象外となります。
- ・基本ディスク拡張済み(基本ディスクが 300GB以上)のサーバを再度拡張することはできません。
- ・スナップショットがある場合、基本ディスク拡張を実行できません。
- ・拡張した基本ディスクを縮小することはできません。
- ・基本ディスク拡張完了後のパーティション拡張は「3.8. 基本ディスク拡張後のパーティション設定について」を参照し、お客様にて行ってください。

2.6.2. 追加ディスク

データの増加や用途に応じて、ディスクの追加が可能です。追加ディスクは、データを維持したままサーバから切断、後日任意のサーバ(OS 種別が同じサーバ)へ接続できるので、サーバが不要な期間はディスクのみ保管し、サーバは削除するなど計画的/経済的な運用が可能です。

① ディスクの追加

ディスクの追加を行います。



◇ディスク追加(入力)◇

ディスク追加(入力)

入力 確認 完了

ディスクの追加を行います。
各項目を入力し、「確定済へ」ボタンを押してください。
<ご注意>
※追加されたディスクは、パーティションの拡張や作成などOS上の作業を行っていただくことが必要となります。
※追加するディスク容量を超過することはできません。
※作成済みのスナップショットがある場合、ディスク追加が完了した時点でスナップショットが自動的に削除されます。ディスク追加後は、必要に応じてスナップショットを再度作成してください。
※※ 印は、入力が必要な項目です。

ディスク名	(非英数字半角)	ご利用料金(税別)
ディスク種別	<input checked="" type="radio"/> D1(標準タイプ) <input type="radio"/> D2(大容量タイプ)	¥400/月
ディスク容量	10GB	
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量	

前画面へ戻る 確定済へ

◇ディスク追加(確認)◇

ディスク追加(確認)

入力 確認 完了

追加内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

ディスク名	disk 1
ディスク種別	<input checked="" type="radio"/> D1(標準タイプ) <input type="radio"/> D2(大容量タイプ)
ディスク容量	10GB
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量
ご利用料金(税別)	月次費用: ¥400/月 一時費用: ¥0 ※別途消費税を申し受けます。

戻る 実行する

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、ディスクの追加が開始されます。ディスクの追加結果(成功、失敗)はメールで通知されます。追加されたディスクはサーバ詳細画面より詳細を確認することが出来ます。

◇サーバ詳細◇

サーバ情報
追加ディスク

OS	
エディション	
CPU	
メモリ	
基本ディスク	
SSH鍵	
初期インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	
リージョン	
ゾーン	
サーバ作成日時	
料金プラン	

※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

スペック変更
ゾーン変更
料金プラン変更

ディスク名	種類	容量	課金単位	操作
disk1	D1	10GB	月額 >料金プランの変更	切断 削除

※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

ディスク追加

ディスクを接続します。
※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。

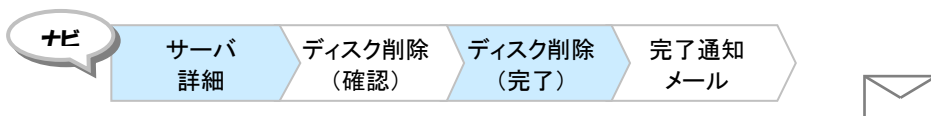
ディスク接続

【ご注意】

- ・追加したディスクをOSに認識させるためには、ディスクのマウント設定が必要です。設定方法は「3.2.1. 追加ディスクのマウント手順」をご参考ください。
- ・スナップショットを取得している場合、ディスクを追加するとスナップショットは自動的に削除されます。
- ・コントロールパネル上に表示されるディスク名とOS上のディスク名は異なります。
- ・サーバ作成時のディスク容量と増設したディスクの容量は変更できません。
- ・追加できるディスクはD1(標準タイプ)最大8個、D2(大容量タイプ)最大14個までです。
- ・ディスク種類の変更は出来ません(D1⇄D2)
- ・ディスク名は以下の入力ルールに従ってください。
 - ディスク名 :半角32文字以内
- ・Windows Serverで追加ディスクをフォーマットする際は必ず「クイック フォーマットする(P)」にチェックをつけて行ってください。クイックフォーマットを選択しないと、ディスク領域が適正に割り当てられない場合があります。
- ・追加したディスク容量をディスク単位で変更(増加・削減)することはできません。

② ディスクの削除

追加したディスクは、「サーバ詳細」画面から削除できます。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク				
OS		ディスク名	種別	容量	課金単位	操作
エディション		disk1	D1	10GB	月額 >料金プランの変更	切断 削除
CPU		※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。				ディスク追加
メモリ		ディスクを接続します。				ディスク接続
基本ディスク		※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。				
SSH鍵		※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。				
初期インストールオプション		[スペック変更] [ゾーン変更] [料金プラン変更]				
セキュリティソフト						
グローバルIPアドレス						
リージョン						
ゾーン						
サーバ作成日時						
料金プラン						

◇ディスク削除(確認)◇

ディスク削除(確認)

確認 完了

本操作は取り消すことができません。ご注意ください。
 ※削除対象ディスクをサーバに接続時にマウントしないよう設定した後、本操作を実行してください。
 ※削除したディスクのデータは消去されます。
 ※料金プランが月額の場合、当月分まで料金が発生します。

ディスクの削除を実行してよろしいですか？

実行する >>

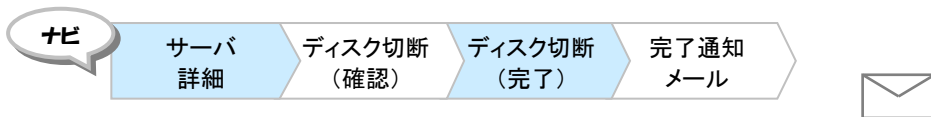
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、ディスク削除が開始されます。
 ディスクの削除結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・サーバ起動中はディスクの追加や削除はできません。サーバ停止後、ディスクの追加・削除を行ってください。
- ・スナップショットを取得している場合、追加したディスクを削除するとスナップショットは自動的に削除されます。
- ・ディスク削除を行う場合には、必ずディスクマウント解除や自動マウント設定解除後にディスク削除を行ってください。
- ・ディスクの削除・追加を繰り返し行った結果、仮想マシンのSCSI-IDが一定数を超過すると新たにディスクの追加・接続が行えなくなります。本事象を防止するためBIGLOBE側からメンテナンス作業のご協力を依頼する場合があります。

③ ディスクの切断

ディスクをサーバから切断して保管しておくことができます。
 切断中のディスクは料金プランの変更、ディスクの削除、サーバへの接続が可能です。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク				
OS		ディスク名	種別	容量	課金単位	操作
エディション		disk1	D1	10GB	月額 >料金プランの変更	切断 削除
CPU		※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。				
メモリ		ディスク追加				
基本ディスク		ディスクを接続します。				
SSH鍵		※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。				
初期インストールオプション		ディスク接続				
セキュリティソフト						
グローバルIPアドレス						
リージョン						
ゾーン						
サーバ作成日時						
料金プラン						
※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。						
スペック変更 ゾーン変更 料金プラン変更						

◇ディスク切断(確認)◇

ディスク切断(確認)

確認
完了

サーバからディスクを切断します。
 内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

※ディスク切断前にサーバ上でのマウント解除を行ってください。マウントしたままディスク切断を実行すると、サーバの起動に失敗する場合があります。

※作成済みのスナップショットがある場合、ディスク追加が完了した時点でスナップショットが自動的に削除されます。ディスク追加完了後、必要に応じてスナップショットを再度作成してください。

ディスク名	disk1
ディスク種別	D1(標準タイプ)
ディスクサイズ	10GB
料金プラン	月額

戻る <
実行する >>

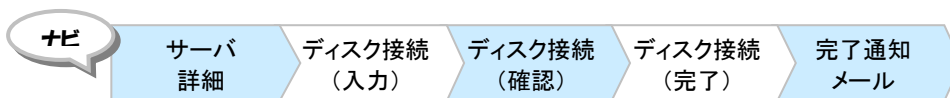
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、ディスクの切断が開始されます。
 ディスクの切断結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・サーバ起動中はディスクの切断はできません。サーバ停止後、ディスクの切断を行ってください。
- ・スナップショットを取得している場合、ディスクを切断するとスナップショットは自動的に削除されます。
- ・ディスクの切断・接続を繰り返し行った結果、仮想マシンのSCSI-IDが一定数を超過すると新たにディスクの追加・接続が行えなくなります。本事象を防止するためBIGLOBE側からメンテナンス作業のご協力を依頼する場合があります。

④ ディスクの接続

切断し保管している追加ディスクを任意のサーバに接続することができます。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク				
OS		ディスク名	種別	容量	課金単位	操作
エディション		追加ディスクはありません。				
CPU		※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。				
メモリ						ディスク追加
基本ディスク		ディスクを接続します。				
SSH鍵		※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。				ディスク接続
初期インストールオプション						
セキュリティソフト						
グローバルIPアドレス						
リージョン						

◇ディスク接続(入力)◇

ディスク接続(入力)

入力
確認
完了

追加ディスクの接続を行います。
各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
必須印は、入力が必要な項目です。

必須 ディスク名	disk1 ▾
ディスク種別	D1(標準タイプ)
ディスクサイズ	10GB
料金プラン	月額

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

◇ディスク接続(確認)◇

ディスク接続(確認)

入力
確認
完了

内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

ディスク名	disk1
ディスク種別	D1(標準タイプ)
ディスクサイズ	10GB
料金プラン	月額

◀ 戻る
実行する ▶

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、ディスク接続が開始されます。
ディスクの接続結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・サーバ起動中はディスクの接続はできません。サーバ停止後、ディスクの接続を行ってください。
- ・スナップショットを取得している場合、ディスクを接続するとスナップショットは自動的に削除されます。
- ・接続できるサーバはOSが同一種別のサーバに限ります。
- ・接続先サーバの追加ディスクの上限数に達していた場合、接続できません。
- ・ディスクの切断・接続を繰り返し行った結果、仮想マシンのSCSI-IDが一定数を超過すると新たにディスクの追加・接続が行えなくなります。本事象を防止するため、BIGLOBE側からメンテナンス作業のご協力を依頼する場合がございます。

⑤ ディスク一覧と料金プラン変更

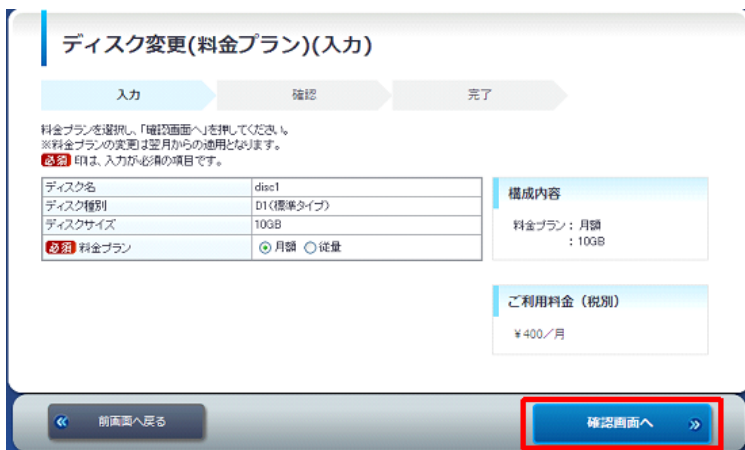
サーバから切断されたディスクの一覧が確認できます。切断中のディスクの料金プランの変更(月額/従量)や削除が行えます。



◇ディスク一覧◇



◇ディスク変更(料金プラン)(入力)◇



◇ディスク変更(料金プラン)(確認)◇

ディスク変更(料金プラン)(確認)

入力 → 確認 → 完了

変更内容を確認し、「実行する」ボタンをクリックしてください。

ディスク名	disc1
ディスク種別	D1(標準タイプ)
ディスクサイズ	10GB
料金プラン	○月額 ●従量
ご利用料金(税別)	¥1,100/月 ※ご利用量超過料を申し受けます。

戻る 実行する

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、料金プランの変更が開始されます。
料金プランの変更結果はディスク一覧に反映されます。

◇ディスク一覧◇

ディスク一覧

サーバに接続されていないディスクの一覧です。
料金プランの変更とディスクの削除を行うことができます。

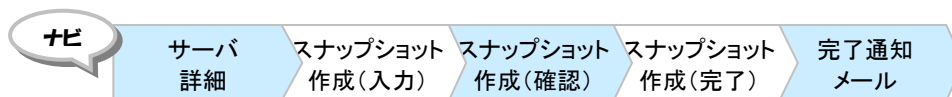
件数: 1 件 表示件数: 20 件 ページ: 1 << 前ページへ | 次ページへ >>

ディスク名	ディスク種別	ディスクサイズ	対応OS	料金プラン	操作
disc1	D1(標準タイプ)	10GB	Windows	月額(翌月より従量に変更) 変更	削除

2.6.3. スナップショット

① スナップショットの作成

スナップショットの作成ができます。



◇サーバ詳細◇

ネットワーク情報	スナップショット						
<table border="1"> <tr><td>グローバルIPアドレス(IPv4)</td><td></td></tr> <tr><td>グローバルIPアドレス(IPv6)</td><td></td></tr> <tr><td>プライベートIPアドレス</td><td></td></tr> </table> <p>グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。 ※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。 ※サーバが「起動中」の場合のみ、グローバルIPアドレスの追加を実行できます。</p> <p>グローバルIPアドレス追加</p>	グローバルIPアドレス(IPv4)		グローバルIPアドレス(IPv6)		プライベートIPアドレス		<p>作成済みのスナップショットはありません。</p> <p>※追加ディスクはスナップショットの対象外です。 ※サーバが「停止中」の場合のみ、スナップショットの作成を実行できます。</p> <p>作成 削除 リストア</p>
グローバルIPアドレス(IPv4)							
グローバルIPアドレス(IPv6)							
プライベートIPアドレス							

◇スナップショット作成(入力)◇

スナップショット作成(入力)

入力 確認 完了

現時点のサーバ状態をスナップショットとして保存します。
※既に作成済みのスナップショットがある場合、上書き更新されます。
※ 必須項目は、入力が必要な項目です。

サーバ名	manuaWin2008
メモ	(全角32文字以内)

◀ 前画面へ戻る 確認画面へ ▶

◇スナップショット作成(確認)◇

スナップショット作成(確認)

入力 確認 完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

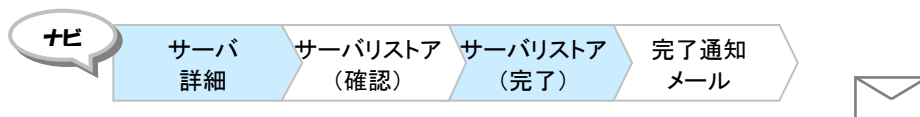
サーバ名	manuaWin2008
メモ	

◀ 戻る 実行する ▶

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、スナップショットの作成が開始されます。
スナップショット作成結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

② スナップショットのリストア

スナップショットのリストアが出来ます。リストアを実行すると、サーバの設定がスナップショット作成時の状態に戻るので十分な注意が必要です。



◇サーバ詳細◇

ネットワーク情報	スナップショット												
<table border="1"> <tr><td>グローバルIPアドレス(IPv4)</td><td></td></tr> <tr><td>グローバルIPアドレス(IPv6)</td><td></td></tr> <tr><td>プライベートIPアドレス</td><td></td></tr> </table> <p>グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。 ※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。 ※サーバが「起動中」の場合のみ、グローバルIPアドレスの追加を実行できます。</p> <p>グローバルIPアドレス追加</p>	グローバルIPアドレス(IPv4)		グローバルIPアドレス(IPv6)		プライベートIPアドレス		<table border="1"> <tr><td>作成日時</td><td>2014/12/10 11:19:09</td></tr> <tr><td>保存期限</td><td>2015/01/10 10:30:00</td></tr> <tr><td>メモ</td><td></td></tr> </table> <p>※追加ディスクD2はスナップショットの対象外です。 ※サーバが「停止中」の場合のみ、スナップショットの作成を実行できます。</p> <p>作成 削除 リストア</p>	作成日時	2014/12/10 11:19:09	保存期限	2015/01/10 10:30:00	メモ	
グローバルIPアドレス(IPv4)													
グローバルIPアドレス(IPv6)													
プライベートIPアドレス													
作成日時	2014/12/10 11:19:09												
保存期限	2015/01/10 10:30:00												
メモ													

◇サーバリストア(確認)◇

サーバリストア(確認)

確認
完了

スナップショット取得時の状態にサーバを復元します。
 本作業は取り消すことができません。ご注意ください。
 ※作成済のスナップショットは、リストア完了後に削除されます。

リストアを実行してよろしいですか？

← 戻る
実行する →

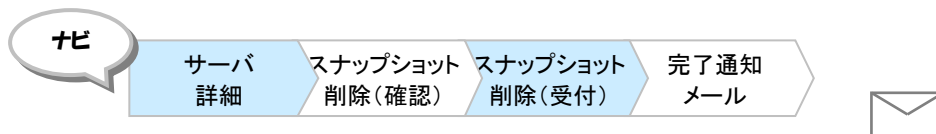
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、サーバリストアが開始されます。サーバリストア結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・ スナップショットの対象はサーバ作成時の基本ディスク及び追加ディスクD1です。追加ディスクD2は対象外です。
- ・ 以下の場合、スナップショットは削除されます。
 - スナップショット作成から3日経過した場合
 - リストアを行った場合
 - サーバ削除した場合
 - ディスク追加、削除、切断、接続した場合
 - ナノモデルからベースモデルへアップグレードした場合
 - ファイアウォールの購入、解約
 - グローバルIPアドレスが割り当てられていないサーバにグローバルIPアドレスを割り当てた場合
 - 仮想化基盤のメンテナンスを実施する場合 ※事前にお客様へメールでお知らせいたします。
- ・ スナップショットを取得しているサーバはスペック変更を行えません。
- ・ スナップショットの保存は1世代のみです。

③ スナップショットの削除

スナップショットの削除が出来ます。



◇サーバ詳細◇

ネットワーク情報	スナップショット
グローバルIPアドレス(IPv4)	作成日時
グローバルIPアドレス(IPv6)	保存期限
プライベートIPアドレス	メモ
グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。 ※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。 ※サーバが「起動中」の場合のみ、グローバルIPアドレスの追加を実行できます。	※追加ディスク02はスナップショットの対象外です。 ※サーバが「停止中」の場合のみ、スナップショットの作成を実行できます。
<input type="button" value="グローバルIPアドレス追加"/>	<input type="button" value="作成"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="リストア"/>

◇スナップショット削除(確認)◇

スナップショット削除(確認)

確認
完了

本操作は取り消すことができません。ご注意ください。
スナップショットの削除を実行してよろしいですか？

← 戻る
実行する >

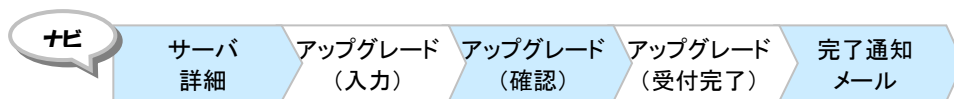
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、スナップショット削除が開始されます。
スナップショット削除の結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- スナップショットの削除は、スナップショット作成時点からのファイルシステムの変更点が多いほど、削除完了までに時間がかかります(目安: 10GBの変更につき最大20分程度)。このため、スナップショットは長期保存せず、短期的なシステム保全にのみ利用することを推奨します。

2.6.4. ベースモデルへのアップグレード

ナノモデルからベースモデルへアップグレードします。本機能はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。




◇サーバ詳細◇

ベースモデルへのアップグレード

ナノモデルからベースモデルへサーバをアップグレードします。

※サーバが「停止中」の場合のみ、アップグレードを実行できます。



◇アップグレード(入力)◇

アップグレード(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

OS	CentOS	構成内容
サーバ名	nano	
CPU	1vCPU	OS : CentOS
CPUタイプ	ベストエフォート型	CPU : 1vCPU
メモリ	1GB	メモリ : 1GB
ディスク	40GB	ディスク : 40GB
SSH鍵	testsshkey	料金プラン: 月額
初期インストールオプション	Apache2.2, Tomcat5.5, MySQL5.0	ご利用料金(税別)
セキュリティソフト	Webアプリケーションファイアウォール(WAF) InfoCage SiteShield	
グローバルIPアドレス	毎月	
メモ	<input type="text" value=""/>	
料金プラン	月額	

← 前画面へ戻る
確認画面へ >>

◇アップグレード(確認)◇

アップグレード(入力)

入力
確認
完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

OS	CentOS
サーバ名	
CPU	1vCPU
CPUタイプ	ベストエフォート型
メモリ	1GB
ディスク	40GB
SSH鍵	
初期インストールオプション	Apache22, Tomcat55, MySQL50
セキュリティソフト	Webアプリケーションファイアウォール(WAF) InfoCase SiteShield
グローバルIPアドレス	専有
メモ	<input style="width: 80%;" type="text"/> (全角32文字以内)
料金プラン	月額

構成内容	
OS	: CentOS 5 (64bit)
CPU	: 1vCPU ベストエフォート型
メモリ	: 1GB
ディスク	: 40GB
料金プラン	: 月額

ご利用料金 (税別)

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

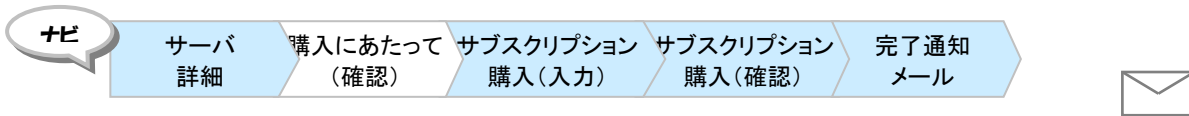
「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバのアップグレードが開始されます。
サーバアップグレード結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・スナップショットを取得している場合、サーバのアップグレードを行うとスナップショットは自動的に削除されます。
-

2.6.5. Red Hat サブスクリプション購入

Red Hat サブスクリプションなしのサーバの場合、Red Hat サブスクリプションを購入して適用することが可能です。



◇サーバ詳細◇

サーバ情報		追加ディスク	
OS	Red Hat Enterprise Linux	ディスク名	種別 容量 課金単位 操作
エディション	なし	追加ディスクはありません。	
ライセンス	なし	※追加ディスクの操作はサーバが「停止中」の場合のみ実行できます。	
CPU	1vCPU(ベストエフォート型)	ディスク追加	
メモリ	1GB	ディスクを接続します。	
基本ディスク	40GB	※接続可能なディスクはディスク一覧で確認できます。	
SSH鍵		ディスク接続	
初期インストールオプション			
セキュリティテンプレート			
グローバルIPアドレス	あり		
リージョン			
ゾーン	指定しない		
サーバ作成日時			
料金プラン	月額		

※CPU、メモリのスペック変更は、サーバが「停止中」の場合のみ実行できます。

Red Hat サブスクリプションなし(ライセンス欄が“なし”)のサーバの場合、サブスクリプション購入ボタンが有効になります。

◇Red Hat Enterprise Linux ソフトウェアサブスクリプション購入にあたって(確認)◇

Red Hat Enterprise Linuxソフトウェアサブスクリプション購入にあたって

- サブスクリプション申し込み時(サブスクリプション付ベースモデルの場合、サーバ利用申し込み時と同時となります)に、RHEL利用規約への同意が必要となります。
- サブスクリプションを適用したサーバを削除するまで、サブスクリプションは継続的に有効であり、有効期限・更新はありません。
- 一度サーバに適用したサブスクリプションは、他のサーバへ適用することはできません。
- サブスクリプションの契約者として「法人名」「住所」「メールアドレス」を毎月BIGLOBEからRed Hat社へ送信します。
- パッケージは、BIGLOBEのネットワーク上に構築されたRHUI(Red Hat Update Infrastructure)より取得できます。
- 4vCPU以下のサーバと、4vCPU以上のサーバではサブスクリプション料金が異なります。
 - サーバの料金プランにて月額を選択した際、vCPU数の変更によりサブスクリプション料金が加算される場合があります。
 - 4vCPU以下→4vCPU以上へ変更
 - 4vCPU以上→4vCPU以下へ変更
 - 2) どちらの場合も、vCPUを変更した月のサブスクリプション料金は、4vCPU以下の料金と4vCPU以上の料金を合算した金額が適用されます。
- Red Hat サブスクリプション契約

Red Hat サブスクリプション契約

レッドハット ソフトウェア サブスクリプション契約 (クラウドでのエンドユーザー用)

レッドハット ソフトウェアまたはサービスのインストール、実行または使用前に、このレッドハット ソフトウェア サブスクリプション契約（「契約」）をよくお読みください。レッドハット ソフトウェアまたはサービスをインストール、実行または使用する前に、お客様はこの契約に同意したものとみなされます。お客様がある団体の代理として行動している場合は、お客様はその団体の代理として本契約を締結していることを表明します。本契約の条件に同意されない場合は、レッドハット ソフトウェアおよび/あるいはサービスをインストール、実行または使用しないでください。

本契約は、Red Hat, Inc.（「レッドハット」）と、ポータルでの使用を目的としてサービス プロバイダーからレッドハット ソフトウェアまたはサービスを購入した個人または団体（「お客様」または「あなた」）の間のものです。

1. 背景と定義

1.1 契約の背景。お客様は、ポータルでの使用を目的として、サービス プロバイダーからレッドハット ソフトウェアおよび本サービスのアクセス権を購入されました。本契約は、お客様とサービス プロバイダーの間の契約に含まれる商標に加え、お客様によるポータル内での本ソフトウェアの使用に関してレッドハットがお客様へ本ソフトウェアと本サービスを提供するにあたっての契約条件を構成します。レッドハットは、(a) サービス プロバイダーの行動、(b) サービス プロバイダーの提供する追加の義務、条件または保証、あるいは (c) お客様とサービス プロバイダーの間の契約においてサービス プロバイダーが提供する製品および/あるいは

Red Hat サブスクリプション購入にあたっての注意事項が記載されていますので必ずご確認ください。

◇サブスクリプション購入(入力)◇

サブスクリプション購入(入力)

入力 確認 完了

サブスクリプションを購入します。
ご利用規約をご確認いただき、確認欄のチェックボックスにチェックし、「確認画面へ」ボタンを押してください。
必須 必須、入力が必須の項目です。

ライセンス	Red Hat サブスクリプション(4vCPU以下)	構成内容 ライセンス : Red Hat サブスクリプション(4vCPU以下) OS : Red Hat Enterprise Linux CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 1GB ディスク : 40GB 製品/パッケージ: 料金プラン : 月額
必須 確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> 前画面の注意事項および利用規約を確認しました。	
▼サーバ情報		
OS	Red Hat Enterprise Linux	ご利用料金(税別) 月次費用: 一時費用:
サーバ名		
CPU	1vCPU	
CPUタイプ	ベストエフォート型	
メモリ	1GB	
ディスク	40GB	
SSH鍵		
初期インストールオプション		
セキュリティソフト		
グローバルIPアドレス	あり	
メモ		
料金プラン	月額	

前画面へ戻る **確認画面へ**

対象サーバの vCPU 数により自動的に Red Hat サブスクリプションが選択され、ライセンス欄に表示されます。

- 1, 2, 4vCPU : Red Hat サブスクリプション (4vCPU以下)
- 6vCPU : Red Hat サブスクリプション (4vCPU超)

◇サブスクリプション購入(確認)◇

サブスクリプション購入(確認)

入力 確認 完了

内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サブスクリプション購入が完了した時点から料金が発生します。

ライセンス	Red Hat サブスクリプション(4vCPU以下)	構成内容 ライセンス : Red Hat サブスクリプション(4vCPU以下) OS : Red Hat Enterprise Linux CPU : 1vCPU ベストエフォート型 メモリ : 1GB ディスク : 40GB 製品/パッケージ: 料金プラン : 月額
確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> 前画面の注意事項および利用規約を確認しました。	
▼サーバ情報		
OS	Red Hat Enterprise Linux	ご利用料金(税別) 月次費用: 一時費用: ※別途消費税を申し受けます。
サーバ名		
CPU	1vCPU	
CPUタイプ	ベストエフォート型	
メモリ	1GB	
ディスク	40GB	
SSH鍵		
初期インストールオプション		
セキュリティソフト		
グローバルIPアドレス	あり	
メモ		
料金プラン	月額	

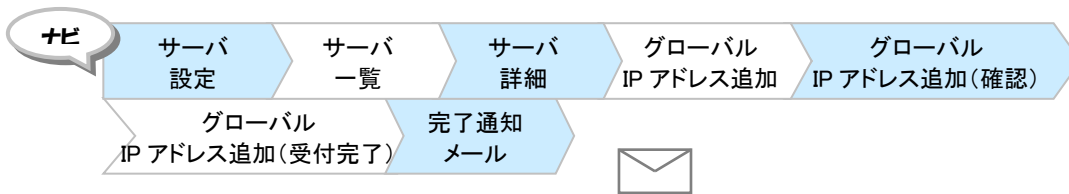
戻る **実行する**

「実行する」ボタンをクリックすると、Red Hat サブスクリプションの購入が実行されます。結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

購入後、Red Hat サブスクリプションの設定が必要です。設定方法は購入成功時の通知メールに記載されている URL をご確認ください。

2.6.6. グローバル IP アドレス追加

グローバル IP アドレスがない場合のみ、新規にグローバル IP アドレスを取得します。



① CentOS、AlmaLinux 及び Red Hat Enterprise Linux の場合

◇サーバ詳細◇

ネットワーク情報

グローバルIPアドレス(IPv4)	
グローバルIPアドレス(IPv6)	
プライベートIPアドレス	

グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。
 ※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。

Web ページからのメッセージ ×

? グローバルIPアドレスの追加を実行します。
 グローバルIPアドレスを追加後はサーバを再起動します。
 再起動中はサーバへのアクセスが切断されますので
 監視を設定している場合は、必要に応じて事前に停止してください。

グローバルIPアドレスの追加を実行してよろしいですか？

◇グローバル IP アドレス追加(確認)◇

グローバルIPアドレス追加(確認)

確認
完了

サーバにグローバルIPアドレスを追加します。
以下の注意事項を確認の上、「実行する」ボタンを押してください。

<ご注意>
※グローバルIPアドレスを追加後はサーバを再起動します。
再起動中はサーバへのアクセスが切断されますので監視を設定している場合は、必要に応じて事前に停止してください。

◀ 戻る
実行する ▶▶

「実行する」ボタンをクリック後、グローバル IP アドレスの追加が開始されます。
グローバル IP アドレス追加結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

◇グローバル IP アドレス追加(受付完了)◇

グローバルIPアドレス追加(受付完了)

確認
完了

グローバルIPアドレスの追加を受け付けました。

変更が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

サーバ詳細へ戻る

追加されたグローバル IP アドレスはサーバ詳細画面より確認することができます。

◇サーバ詳細◇

ネットワーク情報

グローバルIPアドレス(IPv4)	
グローバルIPアドレス(IPv6)	
プライベートIPアドレス	

グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。
※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。

グローバルIPアドレス追加

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスを追加後はサーバを再起動します。
再起動中はサーバへのアクセスが切断されますので監視設定(クラウド監視等)している場合は、必要に応じて事前に停止してください。

② Windows の場合

◇サーバ詳細◇

ネットワーク情報	
グローバルIPアドレス(IPv4)	
グローバルIPアドレス(IPv6)	
プライベートIPアドレス	

グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。
※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。

グローバルIPアドレス追加

Web ページからのメッセージ ×

? グローバルIPアドレスの追加を実行します。
Windowsサーバの場合、ネットワーク設定の変更が必要となります。
設定変更の方法については、ユーザマニュアル（グローバルIPアドレス追加）をご参照ください。

グローバルIPアドレスの追加を実行してよろしいですか？

◇グローバル IP アドレス追加(確認)◇

グローバルIPアドレス追加(確認)

確認

完了

サーバにグローバルIPアドレスを追加します。
以下の注意事項を確認の上、「実行する」ボタンを押してください。

※OSがWindowsの場合は、ネットワークの設定変更が必要となります。
設定変更の方法については、ユーザマニュアル(グローバルIPアドレス追加)をご参照ください。

← 戻る
実行する >>

「実行する」ボタンをクリック後、グローバル IP アドレスの追加が開始されます。
グローバル IP アドレス追加結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

◇グローバル IP アドレス追加(受付完了)◇

グローバルIPアドレス追加(受付完了)

確認

完了

グローバルIPアドレスの追加を受け付けました。

IPアドレスの払出しが完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

[サーバ詳細へ戻る](#)

追加されたグローバル IP アドレスはサーバ詳細画面より確認することができます。
Windows の場合、グローバル IP アドレスが追加されただけでは
ネットワークステータス(グローバル)は「接続中」となりますが
お客様にてサーバのネットワーク設定を変更するまで通信できません。

◇サーバ詳細◇

サーバの詳細情報です。サーバの各種操作を行うことができます。

サーバ名		
サーバステータス	▶ 起動中	ステータス更新
ネットワークステータス (グローバル)	◀▶ 接続中	
ネットワークステータス (プライベート)	◀▶ 接続中	
VMware Toolsステータス	正常	
メモ	メモ	
モデル	ベースモデル	
製品名		
製品パッケージ		

[サーバ起動](#)

[サーバ停止
強制停止](#)

[サーバ再起動
強制再起動](#)

ネットワーク情報

グローバルIPアドレス(IPv4)	
グローバルIPアドレス(IPv6)	
プライベートIPアドレス	

グローバルIPアドレスを新規に取得し追加します。
※グローバルIPアドレスがない場合のみ実行できます。

[グローバルIPアドレス追加](#)

【ご注意】

- ・グローバルIPアドレスが追加された後に、お客様にてサーバのネットワーク設定変更が必要となります。
- ・ネットワーク設定完了後、コントロールパネルからのサーバの停止／起動が必要になります。(再起動は不可)

※ネットワーク設定手順

Windows サーバの場合、グローバル IP アドレスを追加しただけではサーバのネットワーク情報の設定が行われません。お客様にてネットワークの設定変更作業が必要になります。

コンソール接続機能を利用し、ネットワーク設定を行ってください。

※コンソール接続のご利用方法については「2.11.コンソール接続」をご参照ください。

追加されたグローバル IP アドレスの範囲によって設定するネットワーク情報がことなります。

ネットワーク情報につきましては、[サーバイメージ持込マニュアル](#)「7.ネットワーク設定手順」をご参照ください。

※コントロールパネルにログインする必要があります。

1. コントロールパネル>ネットワークとインターネット>ネットワーク接続

のグローバル側のネットワークデバイスを有効にします。

※OS のバージョンにより、ネットワークデバイスの表示は異なります。

※Windows Server 2012 は 2023 年 12 月 19 日をもって新規販売を終了しました。

※Windows Server 2008 は 2023 年 3 月 15 日をもって新規販売を終了しました。

- Windows Server 2022:Ethernet1
- Windows Server 2019:Ethernet1
- Windows Server 2016:Ethernet1
- Windows Server 2012:イーサネット 2
- Windows Server 2008:ローカル エリア接続 2

2. 有効にしたネットワークデバイスのプロパティを開きます。

3. インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティを開きます。

① 下記項目を、追加されたグローバル IP アドレスを元に入力し、OK をクリックします。

- ・ IP アドレス
- ・ サブネット マスク
- ・ デフォルト ゲートウェイ
- ・ 優先 DNS サーバー
- ・ 代替 DNS サーバー

インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I):

サブネット マスク(U):

デフォルトゲートウェイ(D):

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P):

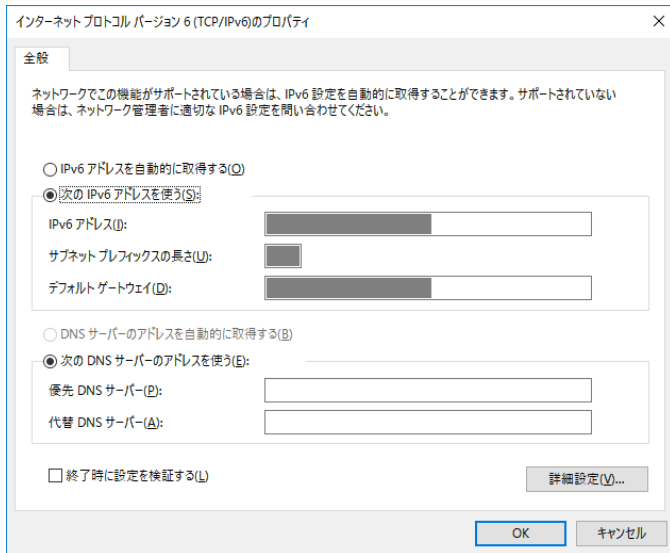
代替 DNS サーバー(A):

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

4. インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6) のプロパティを開きます。
 - ① 下記項目を、追加されたグローバル IP アドレスを元に入力し、OK をクリックします。
 - ・ IPv6 アドレス
 - ・ サブネットプレフィックスの長さ
 - ・ デフォルトゲートウェイ

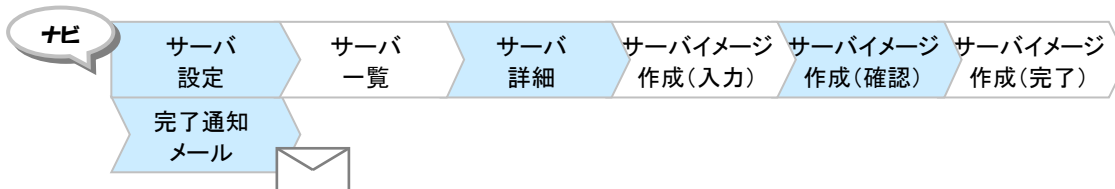


5. サーバからサインアウトします。
6. コントロールパネルからサーバを停止し、停止完了後に起動します。(再起動は不可)
7. 設定が正しく完了した場合、グローバル IP アドレスでの通信が可能となります。
※通信が可能かはお客様にてご確認ください。(リモートデスクトップ接続 (RDS) 等)

2.7. サーバイメージ

2.7.1. サーバイメージ作成

既存のサーバをイメージ化して保存しておくことができます。サーバイメージからサーバを作成する方法は「2.3.4 サーバイメージから作成」をご覧ください。



◇サーバイメージ作成◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバイメージ名	○	サーバイメージ名を入力します。 半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。 <u>サーバイメージ作成後、この項目は変更できません。</u>
2	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。

◇サーバイメージ作成(確認)◇

サーバイメージ作成(確認)

入力 確認 完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンをクリックしてください。

サーバイメージ名	Image
メモ	
保管容量(料金区分)	100GB
料金プラン	従量
▼作成元サーバ情報	
サーバ名	manualWin2008
OS	Windows Server 2008 R2 (64bit) Standard Edition
CPU	1xCPU
CPUタイプ	ベストエフォート型
メモリ	2GB
ディスク	基本40GB
SSH権限	
初期インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	あり
メモ	
イメージ作成元サーバ料金プラン	月額
ご利用料金(税別)	¥4/時 ※別途消費税を申し受けます。

戻る 実行する

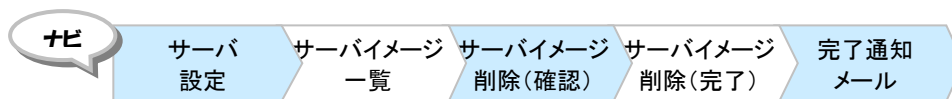
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、サーバイメージ作成が開始されます。
サーバイメージ作成結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・サーバイメージ作成は作成元となるサーバが「起動中」の場合のみ実行可能です。
サーバイメージ作成元サーバのVMwareToolsが削除されている場合、または起動されない設定となっている場合は、サーバイメージは作成出来ません。
- ・サーバイメージには追加ディスクD1(標準タイプ)、D2(大容量タイプ)も含まれます。
- ・作成元サーバを停止後にサーバイメージ作成を実行します。サーバイメージ作成が完了するまでサーバをご利用いただくことが出来ません。サーバイメージ作成後に作成元サーバを起動します。
大容量のディスクをご利用の場合、イメージ作成完了までにお時間を要することがあります。

2.7.2. サーバイメージ削除

保存しているサーバイメージを選択して削除することができます。



◇サーバイメージ一覧◇

サーバイメージの一覧です。

件数: 1 件 表示件数: 20 ページ: 1 << 前ページへ | 次ページへ >> ステータス更新

イメージ名	種別	OS	メモ	作成日	操作
Image	ユーザイメージ	Windows Server 2008 R2 (64bit)		2013/03/08 16:37:06	サーバ作成

◇サーバイメージ削除(確認)◇

サーバイメージ削除(確認)

確認 完了

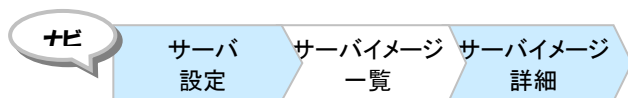
サーバイメージ削除を実行してよろしいですか?

戻る 実行する

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバイメージの削除が開始されます。サーバイメージ削除結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

2.7.3. サーバイメージ詳細

サーバイメージの詳細が確認できます。イメージ共有が行われているイメージの場合は共有先の一覧が表示されます。



◇サーバイメージ詳細◇

サーバイメージ詳細

サーバイメージの詳細情報です。

サーバイメージ名	image
メモ	<input type="checkbox"/>
モデル	ベースモデル

作成元サーバ情報

OS	Windows Server 2008 R2 (64 bit)
エディション	Standard Edition
CPU	1xCPU(ベストエフォート型)
メモリ	2GB
ディスク	40GB
SSH鍵	
初回インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	あり

追加ディスク

ディスク名	種別	容量
追加ディスクはありません。		

イメージ共有

共有先宛ID	共有先法人名	操作
[Redacted]	[Redacted]	<input type="button" value="共有解除"/> <input type="button" value="共有設定"/>

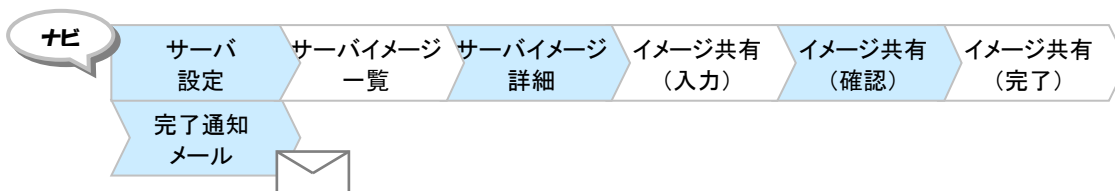
2.7.4. イメージ共有

作成したサーバイメージを異なる契約 ID のユーザと共有することができます。

イメージを共有するためには共有先となるお客様の契約 ID とそのお客様のユーザ ID を指定する必要があります。共有完了の連絡は共有元のみ送信されますので、必要に応じ共有元のお客様から共有先のお客様へ連絡をお願いします。

① イメージ共有

サーバイメージを共有します。なお SSH 鍵はユーザ間で受け渡しを行ってください。



◇サーバイメージ詳細◇

サーバイメージ詳細

サーバイメージの詳細情報です。

サーバイメージ名	Image
メモ	<input type="checkbox"/>
モデル	ベースモデル

作成元サーバ情報

OS	Windows Server 2008 R2 (64 bit)
エディション	Standard Edition
CPU	1vCPU(ベストエフォート型)
メモリ	2GB
ディスク	40GB
SSH鍵	
初期インストールオプション	
セキュリティソフト	
グローバルIPアドレス	あり

追加ディスク

ディスク名	種別	容量
追加ディスクはありません。		

イメージ共有

共有先契約ID	共有先法人名	操作
共有先はありません。		
<input type="button" value="共有設定"/>		

◇イメージ共有(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	契約 ID	○	サーバイメージ共有先の契約 ID を入力します。数字 12 文字で入力します。
2	ユーザ ID	○	サーバイメージ共有先のユーザ ID を入力します。半角英数字 8 文字で入力します。

◇イメージ共有(確認)◇

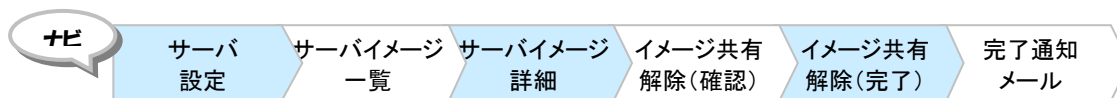
「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバイメージの共有が開始されます。
サーバイメージ共有結果(成功、失敗)は共有元にメールで通知されます。

【ご注意】

- 共有設定がされているイメージは削除できません。
- 共有元もしくは共有先が共有イメージからサーバを作成している間は、共有の解除はできません(サーバ作成完了後、共有の解除が可能です)。
- 共有されたイメージを、共有先からさらに別の契約IDへ再共有することはできません。
- 共有先で共有イメージを削除した場合、共有は解除されますが、共有元のイメージは削除されません。
- 共有イメージから作成したサーバは共有元と共有先のご契約時期の組み合わせによって、ルーティング情報の修正が必要となります。詳細は巻末別紙「3.7. イメージ共有にて作成したサーバのルーティング情報の修正手順」を参照してください。

② イメージ共有解除

サーバイメージの共有を解除します。本機能は共有元のユーザのみ操作できます。



◇サーバイメージ詳細◇

サーバイメージの詳細情報です。

サーバイメージ名: Image
 モデル: ベースモデル

作成元サーバ情報		追加ディスク	
項目	値	ディスク名	容量
OS	Windows Server 2008 R2 64 bit	追加ディスクはありません。	
エディション	Standard Edition		
CPU	1xCPU(ベストエフォート型)		
メモリ	2GB		
ディスク	40GB		
SSD			
初期インストールオプション			
セキュリティシナリオ			
グローバルアドレス	なし		

共有解除 (共有元ユーザのみ)

共有解除

共有設定

サーバイメージ一覧へ

◇イメージ共有解除(確認)◇

イメージ共有解除(確認)

確認 → 完了

本操作は取り返すことができません。ご注意ください。
 サーバイメージの共有解除を実行してよろしいですか？

戻る

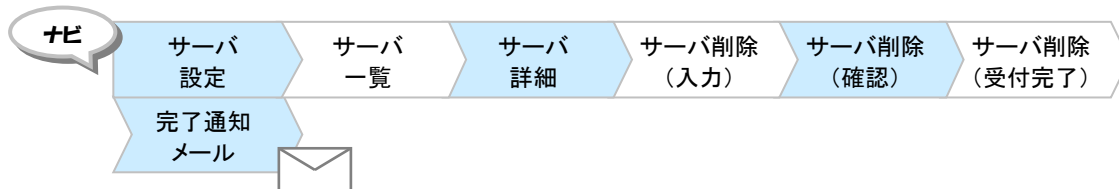
実行する

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバイメージの共有解除が開始されます。サーバイメージ共有解除結果(成功、失敗)は共有元にメールで通知されます。

2.8. サーバ削除

作成したサーバを削除します。実行と同時に削除されるため十分な注意が必要です。また、削除したサーバを復元することはできません。

サーバのグローバルIPアドレス(IPv4/IPv6)、プライベートIPアドレスを保持する場合は、「保持する」を選択し「確認画面へ」ボタンを押してください。



◇サーバ削除(入力)◇

◇サーバ削除(確認)◇

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、サーバ削除が開始されます。

サーバの削除結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・ 購入したライセンスはサーバ削除と連動して削除されません。別途ライセンス一覧からご解約ください。
- ・ ファイアウォール購入済サーバを削除する場合、ファイアウォールも同時に解約します。ファイアウォール購入済サーバが0台になった場合、グループ上限値、ルール上限値、ログ件数条件値はデフォルトに戻ります。
- ・ 保持するIPアドレスは現在サーバに設定されているアドレスです。グローバルIPアドレスを持つサーバの場合はグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスがセットで保持されます。どちらか片方のIPアドレスのみを保持することはできません。
- ・ DNSにサーバのIPアドレスを設定されている場合には、サーバ削除時に該当IPアドレスの設定(Aレコード等)の削除も併せてお願いいたします。

2.9. 保持 IP アドレス

① 保持 IP アドレス確認

現在保持している IP アドレスの一覧が表示されます。

◇IPアドレス保持一覧◇



IP 種別	説明	保持される IP アドレスの種類	保持方法
サーバ用	サーバ用の IP アドレスです。サーバの新規作成時にサーバのグローバル IP アドレスとして指定することが可能です。また禁止事項に抵触しない範囲において、お客様のアプリケーション上で利用することが可能です。	<ul style="list-style-type: none"> グローバル IP アドレス (IPv4) グローバル IP アドレス (IPv6) プライベート IP アドレス ※グローバル IP アドレスなしのサーバ削除時に保持したサーバ用 IP アドレスはプライベート IP アドレスのみになります。	<ul style="list-style-type: none"> サーバ削除時に IP アドレス保持を指定 新規購入
クラスタ用	クラスタ用のバーチャル IP アドレスです。クラスタリングソフト等を構成する際に仮想 IP アドレスとして利用可能です。クラスタリングソフトの設定等についてはサポート対象外となります。	<ul style="list-style-type: none"> バーチャル IP アドレス (DB クラスタ構築用のプライベート IP アドレスとして利用可能) 	<ul style="list-style-type: none"> 新規購入
L7ロードバランサ用	L7 ロードバランサ用のバーチャル IP アドレスです。複数のロードバランサを用いて冗長化する場合には、バーチャル IP アドレスを共通の IP アドレスとしてトラフィック IP グループに設定することが可能です。	<ul style="list-style-type: none"> グローバル IP アドレス (IPv4) グローバル IP アドレス (IPv6) プライベート IP アドレス (L7 ロードバランサのバーチャル IP アドレスとして利用可能) 	<ul style="list-style-type: none"> L7 ロードバランサ削除時に IP アドレス保持を指定 新規購入

② IP アドレス購入

サーバ用、クラスタ用、L7 ロードバランサ用 IP アドレスの購入ができます。



IP アドレス保持一覧画面の「新規購入」ボタンをクリックします。

◇IPアドレス保持一覧◇

◇IPアドレス購入(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	IP 種別	○	購入する IP 種別を「サーバ用」「クラスタ用」「L7 ロードバランサ用」から選択します。

◇IPアドレス購入(確認)◇

IPアドレス購入(確認)

入力
確認
完了

購入内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

IP種別	<input checked="" type="radio"/> サーバ用 <input type="radio"/> クラスタ用 <input type="radio"/> L7ロードバランサ用
ご利用料金(税別)	月次費用: ¥500/月 一時費用: ¥0 ※別途消費税を申し受けます。

← 戻る
実行する >>

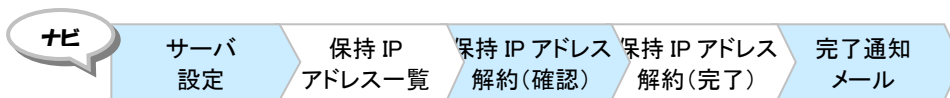
「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、IP アドレスの購入が開始されます。
 IP アドレス購入結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・ IPアドレスを新規購入するにはサーバが一台以上作成されている必要があります。
- ・ L7ロードバランサ用保持IPアドレス(L7ロードバランサ本体との合計)の制限数は20です。
- ・ サーバのネットワークインターフェースのIPアドレス変更は禁止事項となっています。
- ・ 禁止事項については「2.23. 禁止事項」をご参照ください。

③ 保持 IP アドレス解約

「解約」ボタンから保持している IP アドレスを解約することができます。



◇IP アドレス保持一覧◇

IPアドレス保持一覧

IPアドレス保持の種類	
サーバ用	クラウドホスティングのサーバで利用可能。
クラスタ用	クラスタリングソフト等を構成する際に仮想IPアドレスとして利用可能。クラスタリングソフトの設定等についてはサポート対象外となります。2012年3月15日以降にご契約いただいたお客様のみ利用可能。
L7ロードバランサ用	L7ロードバランサ(クラウドアプリストア)で利用可能。

件数: 1件 表示件数: 20 ページ: 1 << 前ページへ | 次ページへ >>

IP種別	グローバル IP アドレス(IPv4)	グローバル IP アドレス(IPv6)	プライベート IP アドレス	バーチャル IP アドレス	操作
サーバ用					削除

新規購入

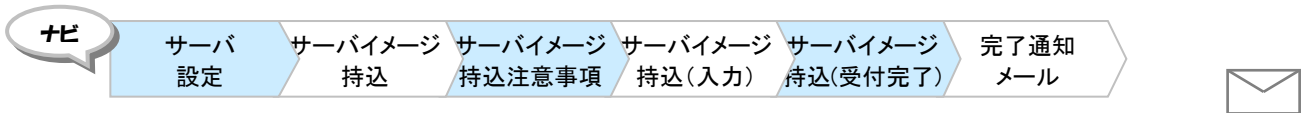
◇保持 IP アドレス解約(確認)◇

IP種別	IPアドレス
グローバルIPアドレスIPv4	
グローバルIPアドレスIPv6	
プライベートIPアドレス	
パブリックIPアドレス	

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、保持 IP アドレスの解約が開始されます。
保持 IP アドレス解約結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

2.10. サーバイメージ持込

ガイドラインに沿って作成したサーバイメージを持込イメージとして登録することが出来ます。
サーバイメージ持込手順については別冊「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」を参照の上、設定してください。



◇サーバイメージ持込 注意事項◇

サーバイメージ持込 注意事項

- ・サーバイメージの持込にあたっては、サーバイメージ持込ご利用マニュアルをご確認ください。
※サーバイメージ持込ご利用マニュアルはヘルプ画面からご参照ください。
- ・ガイドラインに沿ったイメージファイルをご用意ください。ガイドラインに準拠していないイメージは持ち込みできません。
- ・サーバイメージ持込完了後は、イメージ保管料が発生します。
- ・持込イメージを利用して作成したサーバを利用するためには、ネットワークの設定の変更が必要となります。
設定変更の方法については、サーバイメージ持込ご利用マニュアルをご参照ください。
- ・持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用およびその結果については、お客様が一切の責任を負うものとします。
- ・持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。また、弊社ではサーバイメージ作成についてのご支援はいたしません。
- ・Internet Explorer、Microsoft Edgeのアップロード容量上限はOSの種別に関わりなくの4GBまでです。
- ・各OSのサーバイメージ持込容量上限は以下の通りです。
 - 容量上限 40GB まで
 - ・CentOS 7(64bit)
 - ・AlmaLinux 8(64bit)
 - ・Red Hat Enterprise Linux 7 (64bit)
 - ・Red Hat Enterprise Linux 8 (64bit)
 - 容量上限 100GB まで
 - ・Windows Server 2016 (64bit) Standard Edition
 - ・Windows Server 2019 (64bit) Standard Edition
 - ・Windows Server 2022 (64bit) Standard Edition

確認して次へ >>

◇サーバイメージ持込(入力)◇

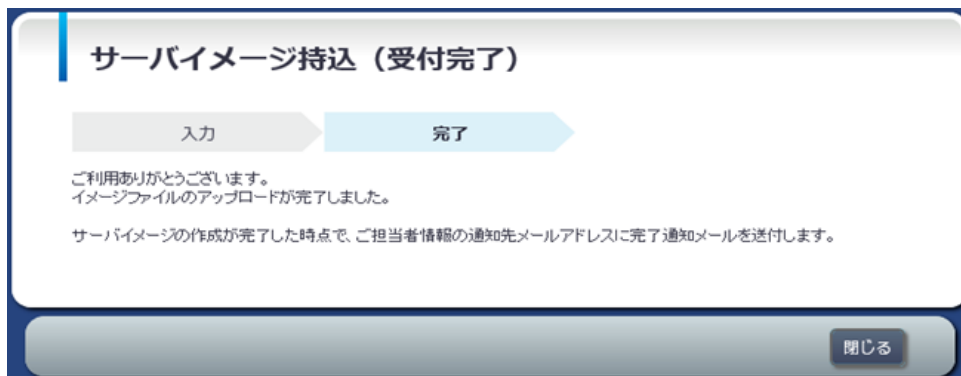
【設定項目について】

No	項目	必須	説明
▼コントロールパネル認証情報			
1	ユーザ ID	○	コントロールパネルのユーザ ID を入力します。
2	パスワード	○	コントロールパネルへのログインパスワードを入力します。
▼持込イメージ情報			
3	イメージ名	○	コントロールパネルに表示するイメージ名を指定します。 半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。 <u>サーバイメージ作成後、この項目は変更できません。</u>
4	OS 種別	○	イメージファイルと同じ OS を指定してください。
5	イメージファイル名	○	アップロードするイメージファイル(拡張子「.ova」の OVF ファイル)を指定してください。2バイト文字、Windows でファイル名として許容できない文字は使用できません。
6	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
7	確認欄	○	「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」に掲載のガイドラインを確認し、チェックボックスにチェックを入れてください。

「実行する」ボタンクリック後、アップロードの状況がプログレスバーで表示されます。アップロード完了後、完了画面が表示されます。

アップロード中は**絶対にブラウザを閉じないでください。**

◇サーバイメージ持込(受付完了)◇



アップロード完了後、自動でサーバイメージ一覧への登録処理が行われます。

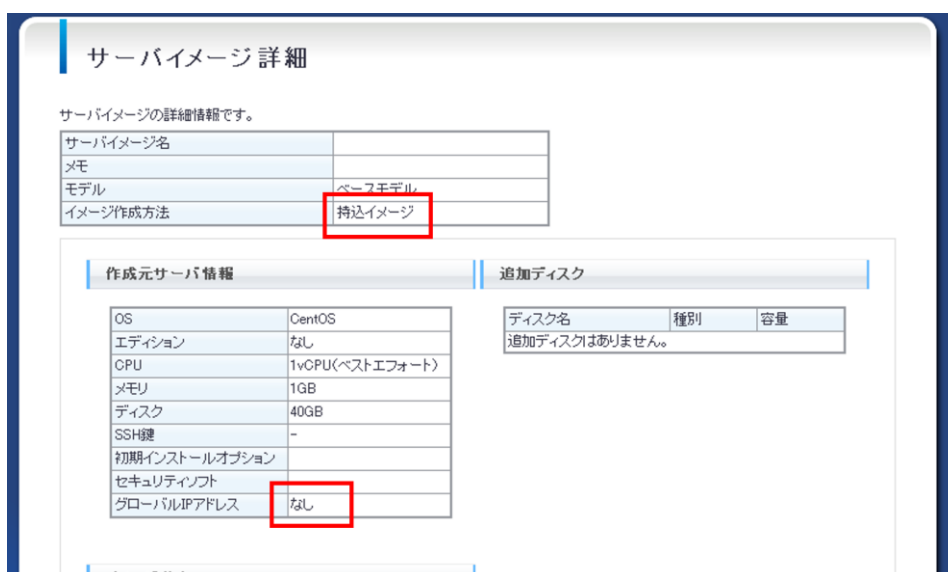
※アップロードにかかる時間はお客様の環境により異なります。

※アップロード完了後からサーバイメージ一覧登録までかかる時間は 10GB の場合、30 分程度です。

登録処理結果(成功、失敗)はメールで通知されます。成功した場合はメールに記載されている時刻から、イメージ保管料の課金開始となります。

アップロードしたサーバイメージはサーバイメージ詳細画面から確認することができます。

◇サーバイメージ詳細◇



サーバイメージ持込で持ち込まれたサーバイメージは「持込イメージ」として登録されます。

またグローバルIPアドレスは「なし」として登録されますが、サーバ作成時にグローバルIPアドレスを割り当てることが出来ます。必要に応じて持込イメージからサーバ作成時にグローバルIPアドレスの新規取得を指定してください。

【ご注意】

- ・ サーバイメージの持込にあたっては、「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」をご確認ください。
※サーバイメージ持込ご利用マニュアルはヘルプ画面からご参照ください。
 - ・ 「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」に掲載されているガイドラインに沿ったサーバイメージをご用意ください。
 - ・ サーバイメージ持込対応ブラウザは以下の通りです。
 - Google Chrome、Mozilla Firefox
 - ・ サーバイメージ持込完了後は、サーバイメージ保管料が発生します。
 - ・ 持込イメージを利用して作成したサーバを利用するためには、ネットワークの設定の変更が必要となります。設定変更の方法については、「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」をご参照ください。
 - ・ 持ち込みイメージから作成したサーバのネットワーク設定が正しく行われるまで(ネットワークステータスが「接続中」になるまで)は、スナップショットは利用できません。
 - ・ 持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用およびその結果については、お客様が一切の責任を負うものとします。
 - ・ 持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。また、弊社ではサーバイメージ作成についてのご支援はいたしません。
 - ・ Microsoft Edgeのアップロード容量上限はOSの種別に関わりなくの4GBまでです。
 - ・ 各OSのサーバイメージ持込容量上限は以下の通りです。
 - 容量上限 40GB まで
 - ・ CentOS 7(64bit)
 - ・ AlmaLinux 8(64bit)
 - ・ Red Hat Enterprise Linux 7 (64bit)
 - ・ Red Hat Enterprise Linux 8(64bit)
 - 容量上限 100GB まで
 - ・ Windows Server 2016 (64bit) Standard Edition
 - ・ Windows Server 2019 (64bit) Standard Edition
 - ・ Windows Server 2022 (64bit) Standard Edition
 - ・ サーバイメージの構成に不備があった際は、エラーメールが送信される場合があります。「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」別紙「サーバイメージ持込 エラーコード一覧」を参照してください。
 - ・ サーバイメージのアップロードにかかる時間はお客さまのインターネット環境に依存します。アップロードが完了するまでブラウザを閉じたり、PCの電源を切らないようにしてください。
 - ・ Windows Serverを持ち込んだ際のライセンスはSPLAライセンスに変更されます。SPLAライセンスとは、マイクロソフトのソフトウェア製品を利用するお客様の代わりに、BIGLOBEがライセンスを取得し、サービスを提供するためのライセンスです。
 - ・ サーバイメージ内に不要なデータは含めないで下さい。サーバイメージに含まれるデータに起因する障害、データの流出はお客様の責任にて対応いただきます。
-

2.11. コンソール接続

リモートデスクトップや SSH 接続を利用することなく、サーバに接続することが出来ます。VPN 経由でセキュアな接続が可能です。サーバイメージ持込を利用して作成されたサーバのネットワーク設定時や、ネットワークトラブル時などにご利用いただけます。

2.11.1. コンソール用 VPN 接続 ID

コンソール接続に必要な VPN 接続 ID の作成およびパスワードの変更が行えます。この ID はコンソール用 VPN の接続に使用します。ユーザ ID1つにつき、コンソール用 VPN 接続 ID を 1 つまで作成できます。コンソール用 VPN 接続 ID は作成後、削除することが出来ません。

※パスワードは 30 日を目安に定期的に変更することを強く推奨します。

① コンソール用 VPN 接続 ID 作成



◇コンソール用 VPN 接続 ID 設定◇

コンソール用VPN接続ID設定

コンソールを利用するためのVPN接続IDを設定画面です。
「新規設定」ボタンから作成してください。

コンソール用VPN接続ID	ステータス	操作
コンソール用VPN接続IDは設定されていません。		

新規設定

◇コンソール用 VPN 接続 ID 設定(入力)◇

コンソール用VPN接続ID設定(入力)

入力 完了

コンソールを利用するためのIDを設定します。
パスワードを入力し、「設定する」ボタンを押してください。

必須 印は、入力が必要な項目です。

必須 パスワード (半角6~32文字)

必須 パスワード (確認) (半角6~32文字)

※パスワードに使用できる文字は次の通りです。
 ・アルファベット (a-z, A-Z)
 ・数字 (0-9)
 ・記号 (! # \$ % () * + - . / : ; = ? @ [\] ^ _ ` { | })

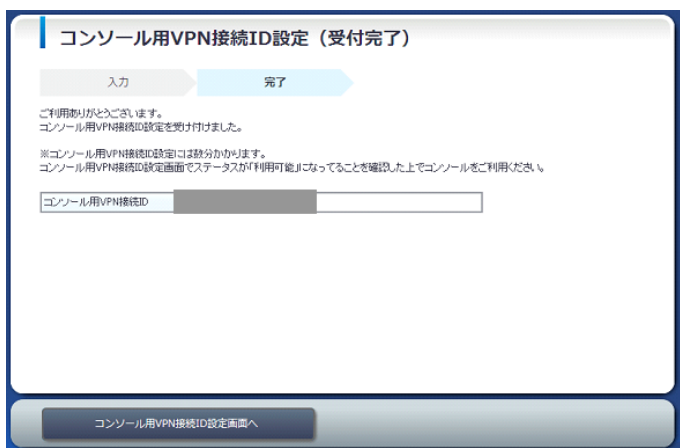
◀ 前画面へ戻る **設定する** ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	パスワード	○	コンソール用 VPN 接続 ID のパスワードを入力します。 ※パスワードに使用できる文字は次の通りです。 ・アルファベット(a-z,A-Z) ・数字(0-9) ・記号(! # \$ % () * + - . / : ; = ? @ [¥] ^ _ ` { })
2	パスワード(確認)	○	確認のため同一のコンソール用 VPN 接続 ID のパスワードを入力します。

「設定する」ボタンをクリックするとコンソール用 VPN 接続 ID 作成が実行されます。

◇コンソール用 VPN 接続 ID 設定(受付完了)◇



コンソール用 VPN 接続 ID 設定画面でステータスが「利用可能」になっていることを確認した上でコンソールをご利用ください。

◇コンソール用 VPN 接続 ID 設定◇



【ご注意】

- ・コンソール用VPN接続IDの作成・パスワードの変更設定後、利用可能になるまでは最大3分かかる場合があります。

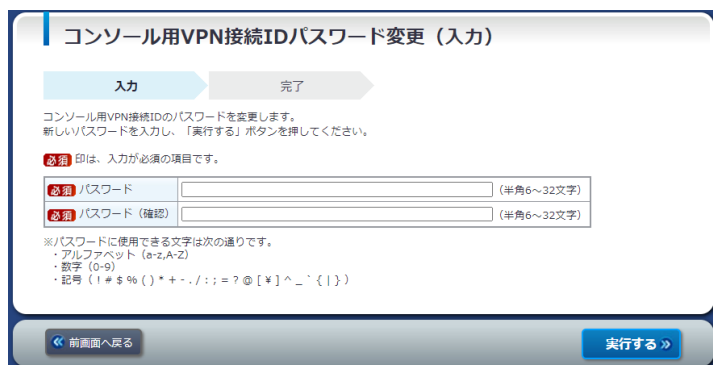
② パスワード変更



◇コンソール用 VPN 接続 ID 設定◇



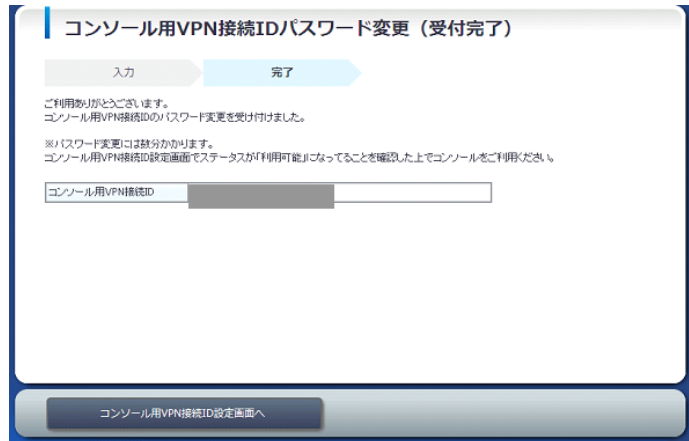
◇コンソール用 VPN 接続 ID パスワード変更(入力)◇



【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	パスワード	○	コンソール用 VPN 接続 ID のパスワードを入力します。 ※パスワードに使用できる文字は次の通りです。 ・アルファベット(a-z,A-Z) ・数字(0-9) ・記号(! # \$ % () * + - . / : ; = ? @ [¥] ^ _ ` { })
2	パスワード(確認)	○	確認のため同一のコンソール用 VPN 接続 ID のパスワードを入力します。

◇コンソール用 VPN 接続 ID パスワード変更(受付完了)◇



2.11.2. コンソール接続

コンソール接続を行います。



サーバの「コンソール」アイコンをクリックします。

◇サーバー一覧◇



◇VPN 接続◇

コンソール接続

VPN接続

コンソール接続はVPN経由で通信を行います。
「VPN接続」ボタンをクリックし、VPN接続を行った上で、コンソール接続に進んでください。
VPN接続時のID/パスワードは[コンソール用VPN接続ID設定](#)で設定したコンソール用VPN接続IDを使用してください。
※VPN接続は60分後に自動切断されます。

[VPN接続](#)

コンソール接続

「コンソール接続」ボタンをクリックするとVMware Remote Consoleの起動確認ダイアログが表示されます。
VMware Remote Consoleの起動確認ダイアログで「VMware Remote Console を開く」をクリックすると、VMware Remote Consoleが起動します。
VMware Remote Consoleがご利用PCにインストールされていない場合、VMware Remote Consoleの起動確認ダイアログは表示されません。

※VMware社のVMware Remote Consoleをご利用PCにインストールする必要があります。
下記リンクよりVMware Remote Consoleをダウンロードし、インストールしてください。
・ [VMware Remote Console\(12.0.2\) ダウンロード](#)

現在、VMware Remote Consoleの最新バージョンは、12.0.2です。(2022/08/23 公開)
上記バージョン以外については動作保証できません。
上記バージョンより古いバージョンをご利用可能の方は、本バージョンを再インストールしてください。

[コンソール接続](#)

コンソール接続は VPN 経由で通信を行います。
「VPN 接続」ボタンをクリックするとコンソール用 VPN 接続画面が起動します。
コンソール用 VPN の接続手順については別冊「コンソール用 VPN ご利用ガイド」をご覧ください。

◇コンソール用 VPN 接続◇

コンソール用VPN接続

コンソール用ID	<input type="text"/>	コンソール用ID及びパスワードを入力し、
パスワード	<input type="password"/>	サインインボタンを押してログインして下さい。
<input type="button" value="サインイン"/>		

コンソール用 VPN 接続後、「コンソール接続」ボタンをクリックしてコンソール接続を行います。

◇コンソール接続◇

コンソール接続

VPN接続

コンソール接続はVPN経由で通信を行います。
「VPN接続」ボタンをクリックし、VPN接続を行った上で、コンソール接続に進んでください。
VPN接続時のID/パスワードはコンソール用VPN接続ID設定で設定したコンソール用VPN接続IDを使用してください。
※VPN接続は60分後に自動切断されます。

コンソール接続

「コンソール接続」ボタンをクリックするとVMware Remote Consoleの起動確認ダイアログが表示されます。
VMware Remote Consoleの起動確認ダイアログで「VMware Remote Console を開く」をクリックすると、VMware Remote Consoleが起動します。
VMware Remote Consoleがご利用PCにインストールされていない場合、VMware Remote Consoleの起動確認ダイアログは表示されません。

※VMware社のVMware Remote Consoleをご利用PCにインストールする必要があります。
下記リンクよりVMware Remote Consoleをダウンロードし、インストールしてください。
・[VMware Remote Console\(12.0.2\)ダウンロード](#)

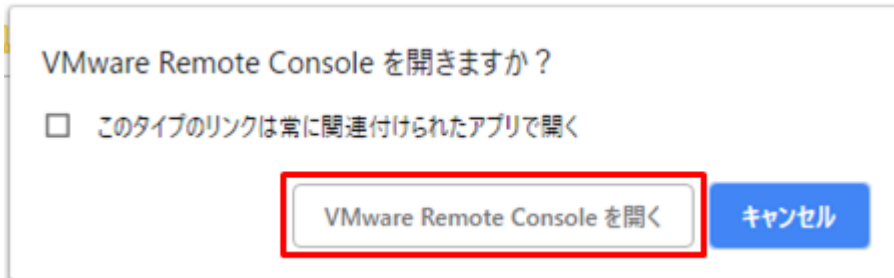
現在、VMware Remote Consoleの最新バージョンは、12.0.2です。(2022/08/23 公開)
上記バージョン以外については動作保証できません。
上記バージョンより古いバージョンをご利用可能の方は、本バージョンを再インストールしてください。

※初回のみ VMware 社の vmrc プラグインをご利用 PC にインストールする必要があります。
コンソール接続画面のリンクから vmware-vmrc をダウンロードし、インストールしてください。
インストール時にブラウザを閉じる必要があります。

「コンソール接続」ボタンをクリックすると VMware Remote Console の起動確認ダイアログが表示されます。
※ブラウザごとに起動ダイアログが異なりますので、下記をご参照ください。

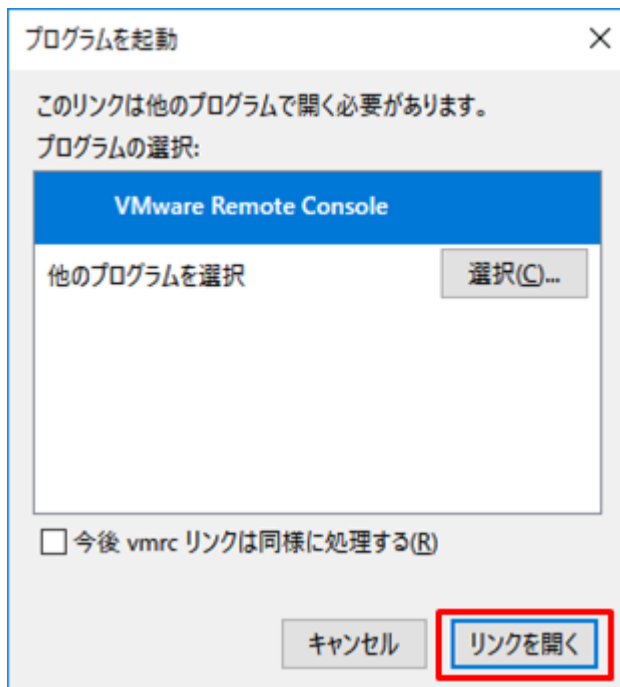
◇Google Chrome の場合

「VMware Remote Console を開く」をクリックします。



◇Mozilla Firefox の場合

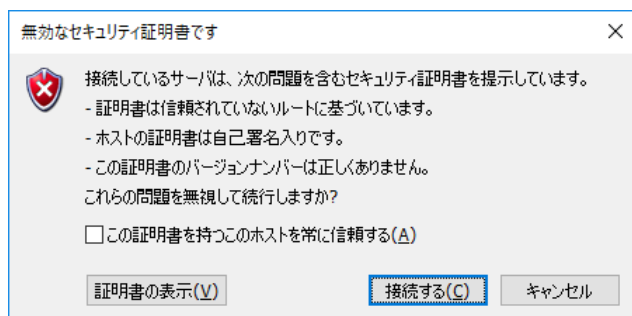
「リンクを開く」をクリックします。



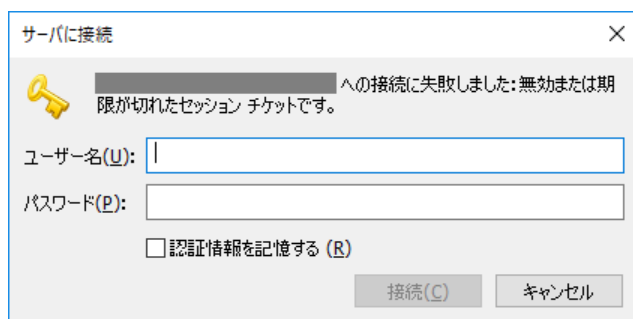
【ご注意】

- ・コンソール接続時は以下の環境を利用して接続してください。
 - Google Chrome、Mozilla Firefox
- ・コンソール接続に使われるVPN接続のセッションタイムアウトは60分です。セッションタイムアウト時刻の5分前に警告ウィンドウが表示されます。
- ・コンソール接続を利用してLinuxサーバにログインするには、rootのパスワード入力が必要となります。BIGLOBEクラウドホスティングで提供するサーバはrootの初期パスワードを通知しておりません。サーバ作成時に指定したSSH鍵を使用してSSH接続を行い、rootパスワードを変更してください。
- ・サーバイメージ持込で作成したLinux系サーバのrootのパスワードは、持込イメージの作成元サーバと同じです。
- ・VMRCの動作サポート対象OSは「Windows 7」「Windows 8.1」「Windows 10」です。
- ・VMRCからsuspendは実行できません。
- ・コンソール用VPN接続IDはパスワードを3回間違えるとロックがかかります。その場合はコンソール用VPN接続IDのパスワード変更を行ってください。
- ・VMRCにログインする際に、以下のメッセージが出る場合があります。

この場合は「接続する」ボタンをクリックしてください。



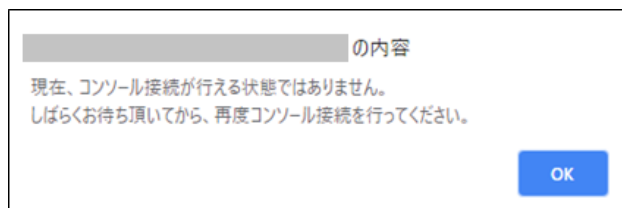
この場合は「キャンセル」ボタンをクリックして、再度コンソール接続ボタンを押してください。



- ・コンソール接続は前回の接続開始から 3 分以内に再度接続した場合、エラーメッセージが表示され、接続することができません。前回の接続から 3 分以上経過後に再度コンソール接続を行ってください。また複数のサーバにコンソール接続を行う場合も、3 分以上間隔をあけてから実行してください。

エラー画面 例)

- コンソール接続ボタンクリック後のエラー



2.12. アプリケーションライセンス管理

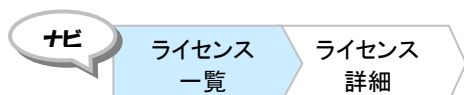
クラウドアプリストアで購入したソフトウェアのライセンスの管理を行います。

① ライセンス購入

ライセンス購入はクラウドアプリストアから行います。購入方法については別冊「クラウドアプリストア ユーザマニュアル」をご参照ください。

② ライセンス一覧

購入したライセンス番号はライセンス一覧より確認できます。



◇ライセンス一覧◇

ライセンス一覧

クラウドアプリストアから購入したライセンス商品の一覧の確認と、利用を終了するアプリケーションの解約を実行できます。
同じライセンス商品名のみ、複数同時解約可能です。

また、製品名をクリックすると、製品の詳細画面を表示します。
製品の詳細画面では、製品のご利用方法やマニュアルなどを確認できます。

[ステータス更新](#)

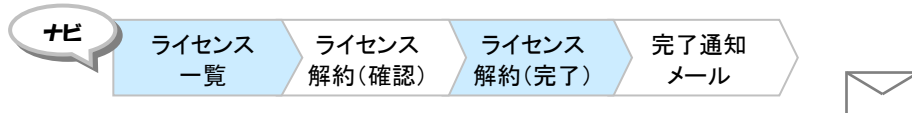
件数: 3件 表示件数: ページ: << 前ページへ | 次ページへ >>

製品名	ライセンス番号	購入日	メモ	解約
100MBライセンス (100MBライセンス)	提供済	2017/07/25		<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Microsoft SQL Server インスタンス追加		2017/09/06		<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
BIGLOBEクラウドバックアップ(100GB)	なし(契約状況)	2017/11/20		<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

[選択したライセンスを解約](#)

③ ライセンス解約

ライセンスを解約します。解約するライセンス番号のチェックボックスにチェックを入れ、「選択したライセンスを解約する」をクリックします。同じ製品名のライセンスは一度に複数個、解約をすることが可能です。異なる製品名のライセンスは、一度に解約することはできません。



◇ライセンス一覧◇

クラウドアプリストアから購入したライセンス商品の一覧の確認と、利用を終了するアプリケーションの解約を
実行できます。
同じライセンス商品名のみ、複数同時解約可能です。

また、製品名をクリックすると、製品の詳細画面を表示します。
製品の詳細画面では、製品のご利用方法やマニュアルなどを確認できます。

ステータス更新

件数: 4 件 表示件数: 20 ページ: 1 << 前ページへ | 次ページへ >>

製品名	ライセンス番号	購入日	メモ	解約
1.TD-ドットインストール (100Mbpsライセンス)	提供済	2017/07/25		<input checked="" type="checkbox"/>
Microsoft SQL Server 2017/09/06		2017/09/06		<input checked="" type="checkbox"/>
BIGLOBEクラウドバックアップ (10GB)	なし (契約済)	2017/11/20		<input checked="" type="checkbox"/>
InfoCam_SiteShell (Windows)		2018/04/16		<input type="checkbox"/>

選択したライセンスを解約

◇ライセンス解約(確認)◇

ライセンス解約(確認)

確認 完了

解約するライセンスを確認し、「実行する」ボタンを押してください。

- 一部容量の解約
残り量の合計ストレージ容量以上ご利用、いただいている場合、ライセンス解除できません。
- 全解約
現在取得しているバックアップデータ、およびAcronisアカウントについては即時削除されます。

製品名	ライセンス番号	購入日	メモ
BIGLOBEクラウドバックアップ (10GB)		2017/11/20	

戻る 実行する >>

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、ライセンスの解約が行われます。ライセンス解約結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

ライセンス解約(完了)

確認 完了

ライセンスの解約を受け付けました。
本ライセンスを利用していたソフトウェアのアンインストールや設定の削除は自動で行われません。
お客様にて手動にてアンインストール、削除を行ってください。

解約処理完了後、通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

ライセンス一覧へ

2.13. ライセンスサーバ管理

リモートデスクトップ接続(RDS)ライセンスサーバ(※)とリモートデスクトップ接続ライセンスをご提供します。ライセンスサーバはクラウドアプリストアより購入します。

【ご注意】

リモートデスクトップ環境を利用するには、クライアントが接続するサーバ(RDセッションホストサーバ)に設定が必要です。ただし、BIGLOBEクラウドホスティングでは、設定手順等のサポートはしておりません。マイクロソフト社から提供されている情報等をご確認いただき、お客様にてご対応いただけますようお願いいたします。

なお、マイクロソフト社の個別サポートが必要な場合は、別途有料にて対応させていただきます。

<ご参考>

RDセッションホストサーバに必要な設定には主に以下の項目があります。設定手順の詳細はお客様にてご確認ください。

- (1) RDセッションホストの役割サービスをインストールする
- (2) RDセッションホストサーバ上のライセンス設定を構成する
 - ・リモートデスクトップライセンスモードを「接続ユーザ数」に指定する
 - ・使用するライセンスサーバのアドレスまたはサーバ名を指定する
 - ※ライセンスサーバの作成手順は「①ライセンスサーバの作成」をご参照ください。
- (3) RDセッションホストサーバへのリモート接続を許可するユーザを構成する

① ライセンスサーバの作成

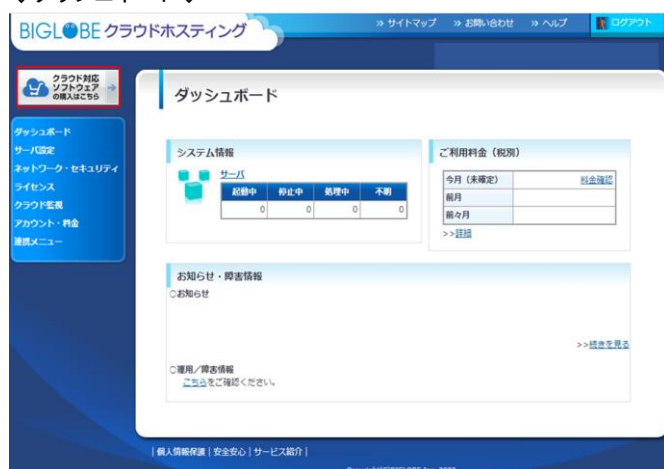
クラウドアプリストアよりライセンスサーバを作成します。



(※)部分はクラウドアプリストアでの操作となります。操作詳細は「クラウドアプリストア ユーザマニュアル」を参照してください。

ダッシュボードからクラウドアプリストア画面に進み、「業務サーバパック ベーシック NB6」を購入します。

◇ダッシュボード◇



◇サーバ作成(入力)◇

サーバ作成(入力)

入力

確認

完了

各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

必須印は、入力が必要な項目です。

製品名	業務サーババック ベーシック NB6	
必須 サーバ名	<input style="width: 100%;" type="text"/> (半角英数4~13文字、先頭は英字のみ) <small>※サーバ名は作成後変更できません。</small>	
必須 IPアドレス	<input style="width: 100%;" type="text"/> 新規取得 <small>※保持IPアドレスは、「グローバルIPアドレス(v4) / グローバルIPアドレス(v6) / プライベートIPアドレス(v4)」のフォーマットで表示されます。</small>	
SSH鍵	<input style="width: 100%;" type="text"/> (選択不可)	
ゾーン	<input style="width: 100%;" type="text"/> 指定しない <small>※ゾーンAを指定したサーバとゾーンBを指定したサーバは、異なる物理ホストに配置されます。</small>	
必須 ユーザー名	<input style="width: 100%;" type="text"/> <small>サーバにログインするユーザー名を入力してください。 <small>※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 <small>例) Administrator, Guest, 等 <small>※ピリオド(.)またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 <small>※ユーザー名には20文字以内(半角)の文字列を指定でき、次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 <small>" / ¥ [; : = , + * ? < > @ <small>※サーバ名と同じ文字は使用できません。</small> </small></small></small></small></small></small>	
必須 パスワード	<input style="width: 100%;" type="text"/> <small>パスワード強度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></small> <small>サーバにログインするパスワードを入力してください。 <small>※ユーザー名に含まれる、3文字以上連続する文字列を使用できません。 <small>※長さは10文字以上、127文字以下にしてください。 <small>※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ1文字以上含めてください。 <small>※次の文字は使用できません。 <small>< > " & ' <small>※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。</small> </small></small></small></small></small></small>	
必須 パスワード(再入力)	<input style="width: 100%;" type="text"/> <small>確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</small>	
メモ	<input style="width: 100%;" type="text"/> (全角32文字以内)	
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量	
必須 台数	<input style="width: 100%;" type="text"/> 1 <small>※複数台指定した場合、サーバ名の末尾に連番を付与して作成します。</small>	
必須 確認欄	<input type="checkbox"/> 利用規約・利用条件を確認しました。 <small>※当社は本サービスの提供にあたりお客様から収集した個人情報を、本サービスを提供する目的のためにその対象事業者に対して提供します。 <small>※利用規約・利用条件はクラウドアプリストア利用規約(ご利用者向け)、及び製品詳細ページに掲載の利用規約・利用条件にてご確認ください。</small> </small>	

構成内容

料金プラン	: 月額
台数	: 1
OS	: Windows Server 2019 (64bit) Standard Edition
CPU	: 1vCPU ベストエフォート型
メモリ	: 2GB
基本ディスク	: 100GB
基本ディスク拡張	: なし
追加ディスク	: なし
製品パッケージ	: Windows Server RDS ライセンス: 1

ご利用料金(税別)

月次費用	: ¥15,650/月
一時費用	: ¥0

[確認画面へ >>](#)

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	製品名		業務サーバパック ベーシック NB6
2	サーバ名	○	サーバ名を入力します。初期構築時のホスト名となります。半角英数字 4 文字以上、13 文字以下とし、記号(ハイフン、アンダーバー等)は使用できません。先頭は英字のみ使用できます。 <u>サーバ作成後、この項目は変更できません。</u>
3	IP アドレス	○	新規取得／新規取得(グローバル IP アドレスなし)／保持 IP アドレス(グローバル IP アドレス・プライベート IP アドレス)／保持 IP アドレス(プライベート IP アドレス)から選択してください。保持 IP アドレスは、サーバ設定→保持 IP アドレス一覧に IP アドレスが存在する場合のみ選択可能です。
4	SSH 鍵		設定不要のため、選択できません。
5	ゾーン		「指定しない」「ゾーンA」「ゾーンB」から選択します。 ※「指定しない」を選択した場合、システムによって「ゾーン A」「ゾーン B」のどちらかにサーバが配置されます
6	ユーザー名	○	サーバにログインするユーザー名を入力してください。 ※管理の対象となっているコンピューターの他のユーザー名 またはグループ名と同じユーザー名は使用できません。 例) Administrator, Guest, 等 ※ピリオド (.) またはスペースだけのユーザー名は指定できません。 ※ユーザー名には 20 文字以内 (半角) の文字列を指定でき、 次の文字を除く任意の大文字または小文字を使用できます。 "/ ¥ [] ; = , + * ? < > @ ※サーバ名と同じ文字は使用できません。
7	パスワード	○	サーバにログインするパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に含まれる、3 文字以上連続する文字列を使用できません。 ※長さは 10 文字以上、127 文字以下にしてください。 ※英大文字、英小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上含めてください。 ※次の文字は使用できません。 < > " & ' ※パスワード強度が「弱」の文字は使用できません。
8	パスワード(再入力)	○	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
9	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。
10	料金プラン		「月額」料金固定のため、選択できません。
11	台数	○	作成するサーバの台数を指定できます。最大 20 台まで指定できます。複数台指定した場合、お客様指定のサーバ名末尾に連番(2 ケタ)を付与します。 ※サーバ名が 12 文字以上ある場合、連番を付与して 13 文字に収まるようサーバ名の末尾文字が削除されます。
12	確認欄	○	ライセンスサーバは、クラウドアプリストアで提供しているため、利用規約・利用条件に同意いただく必要があります。利用規約・利用条件はクラウドアプリストアから確認してください。

【ご注意】

- ・購入すると、RDSライセンス 1 の状態でライセンスサーバが作成されます。必要なライセンスは、「2.13 ② ライセンス数の変更」を確認の上、変更してください。

「確認画面へ」をクリックすると指定内容の確認画面を表示します。「実行する」をクリックすると、サーバ作成が開始されます。

◇サーバ作成(確認)◇

サーバ作成(確認)

入力
確認
完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
※サーバ(作成が完了した時点)から料金が発生します。

製品名	業務サーババック ベーシック NB6
サーバ名	LServer01
IPアドレス	新規取得
SSH鍵	(未選択)
ゾーン	指定しない
ユーザー名	test
パスワード	*****
メモ	RDSライセンスサーバ
料金プラン	<input checked="" type="radio"/> 月額 <input type="radio"/> 従量
台数	1
確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> 利用規約・利用条件を確認しました。

ご利用料金 (税別)	月次費用：¥15,650/月 一時費用：¥0 ※別途消費税を申し受けます。
------------	---------------------------------------------

◀ 戻る
実行する ▶

◇サーバ作成(受付完了)◇

サーバ作成(受付完了)

入力
確認
完了

ご利用ありがとうございます。
サーバ(作成)を受け付けました。

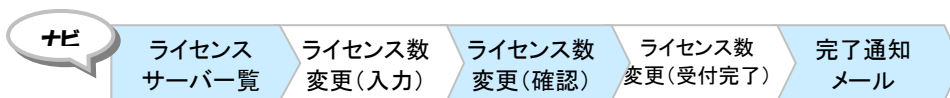
作成が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

サーバー一覧へ

| 個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 |
Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2014

② ライセンス数の変更

ライセンス数を変更することができます。



◇ライセンスサーバー一覧◇

◇ライセンス数変更(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	ライセンス数(変更後)	○	ライセンス数を半角数字 1~300 で入力します。

「確認画面へ」をクリックすると指定内容の確認画面を表示します。「実行する」をクリックすると、ライセンス数変更の受付が行われます。

◇ライセンス数変更(確認)◇

ライセンス数変更 (確認)

入力
確認
完了

変更内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。
当月のライセンス数は、月末最終日の日付が替わるタイミングで確定します。

サーバ名	LServer01
ライセンス名	Windows Server RDSライセンス
ライセンス数(変更前)	1
ライセンス数(変更後)	300
ご利用料金(税別)	¥180,000/月 ※別途消費税を申し受けます。

← 戻る
実行する >

| 個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 |

Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2014

◇ライセンス数変更(受付完了)◇

ライセンス数変更 (受付完了)

入力
確認
完了

ライセンス数の変更を完了しました。
変更が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

ライセンスサーバー一覧

| 個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 |

Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2014

【ご注意】

- ・ 1台のRDSライセンスサーバへに登録可能なRDSライセンス数は300までです。リモートデスクトップ接続を301人以上でご利用いただく場合は、複数台のRDSライセンスサーバでシステムを構築してください。
- ・ ライセンス数の変更は当月内であれば何度でも可能です。
- ・ 当月のライセンス数は、月末最終日の日付が替わるタイミングで確定します。
- ・ 月末の最終日まで当月ご利用されたライセンス数(総利用者数)を入力していただきますようお願いいたします。
ご入力いただいた数値がマイクロソフト社への申告数となります
- ・ 毎月20日にライセンス数確認メールを送信します。本メールはログインしている利用者だけではなく、契約IDに紐づいた利用者全員に送付されます。ライセンスサーバを利用している場合、本メールの配信を停止することはできません。

③ ライセンスサーバへの操作

ライセンスサーバはスペック変更、サーバ削除等を行うことが可能です。

手順は「2.6 サーバの設定変更とリソースの追加」「2.8 サーバ削除」の章をご参照ください。

【ご注意】

- ・ライセンスサーバを削除すると、ライセンス数を変更できなくなります。
 - ・サーバ複製、サーバイメージ作成、サーバ休止オプションをご利用いただけません。
 - ・ライセンスサーバのライセンス数は、スナップショットの操作と連動しないため、リストアを実施しても、最後に登録した数値が表示されます。
-

2.14. ファイアウォール

仮想ファイアウォールを設定します。

以下の手順でサーバにファイアウォールを適用できます。

- ①ファイアウォールを適用するサーバを停止します。
- ②ファイアウォールを購入し、サーバに適用します。(2.14.1①ファイアウォール購入 参照)
- ③ファイアウォールグループを作成します。(2.14.2②グループ作成 参照)
- ④作成したファイアウォールグループに①のサーバを追加します。(2.14.2④グループへサーバを追加 参照)
- ⑤ファイアウォールグループに通信許可ルールを設定します。(2.14.2⑥ルール追加 参照)

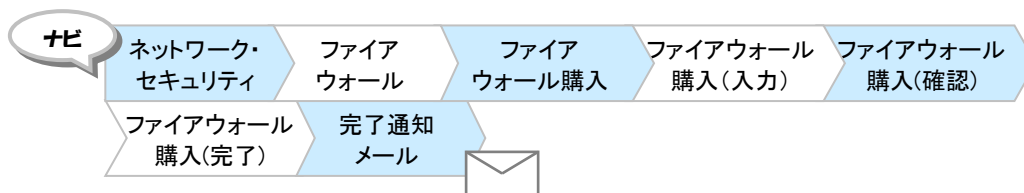
2.14.1. ファイアウォール購入・上限値変更

ファイアウォールの購入と、グループ数とルール数、ログ件数の上限値を変更することができます。

① ファイアウォール購入

ファイアウォールを購入し、サーバに適用します。

なお、ファイアウォールを利用するにあたっては、ファイアウォールを購入後、グループとルールの作成、グループへのサーバ追加を行っていただく必要があります。



◇ファイアウォール◇

ファイアウォール

ファイアウォールを利用するにあたっては、ファイアウォールを購入後、グループとルールの作成、グループへのサーバ追加を行っていただく必要があります。

Firewall Version : 2.0

ファイアウォール購入・上限値変更

ファイアウォールの購入と、グループ数とルール数、ログ参照の上限値を変更することができます。

[購入画面へ](#)

ファイアウォール設定

グループの作成とグループへのルール作成、サーバの追加が行えます。

[設定画面へ](#)

ログ参照

ファイアウォールのログ参照やダウンロードが行えます。

[ログ参照](#)

「新規購入」ボタンをクリックします。

◇ファイアウォール購入◇

ファイアウォール購入

右下の「新規購入」ボタンから、サーバ毎にファイアウォールをご購入いただけます。
ファイアウォールを購入または解約する場合は、事前にサーバを停止いただく必要があります。

ファイアウォール購入

ファイアウォールを購入済のサーバを表示します。

[表示更新](#)

件数: 0 件 表示件数: 20 ページ: << 前ページへ | 次ページへ >>

サーバ名	操作
運用済のサーバはありません。	

ファイアウォール上限値変更

ファイアウォールの上限値を表示します。操作メニューから変更可能です。

設定対象	現在の上限値	操作
グループ	10	上限値変更
ルール	40	上限値変更
ログ件数	10000	上限値変更

<< 前画面へ戻る
新規購入

◇ファイアウォール購入(入力)◇

ファイアウォール購入(入力)

入力
確認
完了

ファイアウォールを利用するサーバと、所属するグループを指定します。
所属するグループは後から追加、削除することも可能です。
内容を確認後、「確認画面へ」を押してください。

【必ずご確認ください】
 ※ファイアウォールの料金プラン(月額/従量)は、サーバの料金プランと同一になります。
 ※DefaultGroupを選択した場合、RDP/SSH接続が任意の接続元から許可されます。
 接続元を制限したい場合には、DefaultGroupを選択せずに、個別のルールを作成してください。

必須 印は、入力が必要な項目です。

必須 サーバ名	template ▼	ご利用料金 (税別) 月次費用 : 一時費用 :
グループ	<input type="checkbox"/> DefaultGroup	

<< 前画面へ戻る
確認画面へ >>

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	ファイアウォールを購入するサーバを選択します。
2	グループ		ファイアウォール購入後、DefaultGroup に追加する場合はチェックを入れます。 ・チェックあり: Linuxの場合SSHが、Windowsの場合リモートデスクトップが許可されたグループへ自動的に追加されます。 ・チェックなし: ルールを設定し、グループに追加するまで全ての通信が拒否されます。

◇ファイアウォール購入(確認)◇

ファイアウォール購入(確認)

← 入力
確認
完了 →

ファイアウォールを購入します。
内容を確認後、「実行する」ボタンを押してください。

サーバ名	template
グループ	<input type="checkbox"/> DefaultGroup

ご利用料金(税別)	月次費用： 一時費用： <small>※別途消費税を申し受けます。</small>
-----------	-------------------------------------------------

← 戻る
実行する →

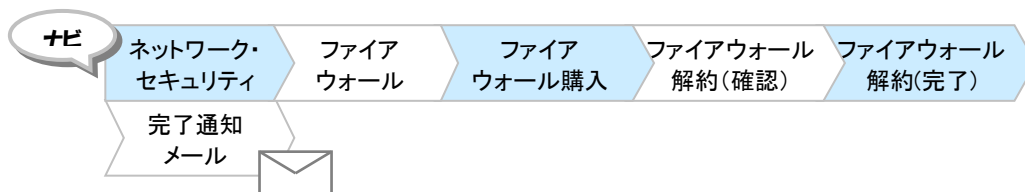
「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、ファイアウォール購入が開始されます。
ファイアウォール購入結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・ファイアウォールを適用可能なサーバが 1 台も作成されていない場合、ファイアウォールを購入できません。
 - ・ファイアウォール購入時に DefaultGroup をチェックしない場合、BIGLOBE が提供するサービスの通信(詳細については「2.15.2 ①グループ一覧」を参照)を除く全ての通信が拒否された状態になります。
 - ・DefaultGroup にチェックを入れることによって許可される通信は IPv4 のみとなります。IPv6 の通信を許可したい場合は別途ルールを作成してください。
 - ・ファイアウォールの料金プラン(月額/従量)は、サーバの料金プランと同一になります。サーバの料金プランを変更された場合、ファイアウォールの料金プランも変更となります。
 - ・ファイアウォール購入前にサーバを停止する必要があります。
 - ・スナップショットを取得している場合、ファイアウォールを購入するとスナップショットは自動的に削除されます。
 - ・通信が発生していない状態が 12 時間続いた場合は、その通信は破棄される仕様となっております。
-

② ファイアウォール解約

ファイアウォールを解約します。



ファイアウォールを解約するサーバ名の横にある「解約」ボタンをクリックします。

◇ファイアウォール購入◇

ファイアウォール購入

右下の「新規購入」ボタンから、サーバ毎にファイアウォールをご購入いただけます。
ファイアウォールを購入または解約する場合は、事前にサーバを停止いただく必要があります。

ファイアウォール購入

ファイアウォールを購入済のサーバを表示します。

[表示更新](#)

件数: 1 件 表示件数: 20 ▼ ページ: 1 ▼ << 前ページへ | 次ページへ >>

サーバ名	操作
template	解約

ファイアウォール上限値変更

ファイアウォールの上限値を表示します。操作メニューから変更可能です。

設定対象	現在の上限値	操作
グループ	10	上限値変更
ルール	40	上限値変更
ログ件数	10000	上限値変更

◀ 前画面へ戻る
新規購入

◇ファイアウォール解約(確認)◇

ファイアウォール解約(確認)

確認
完了

本操作は取り消すことができません。ご注意ください。
<ご注意>
※ファイアウォールをすべて解約された場合、お客様が設定されたグループ、ルール、ログファイル及び「ファイアウォール上限値設定」にて変更された上限値がすべて削除されます。
※ログファイルは「ログ参照」画面から必要に応じてダウンロードをお願いします。

ファイアウォールの解約を実行してよろしいですか？

サーバ名	template
------	----------

◀ 戻る
実行する ▶

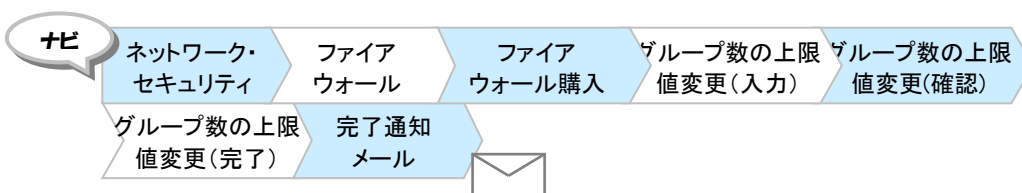
「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、ファイアウォール解約が開始されます。
ファイアウォール解約結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

【ご注意】

- ・ファイアウォール購入済サーバを削除した場合、ファイアウォールも自動的に解約されます。
- ・ファイアウォール購入済のサーバが 0 台になった場合、グループ数上限値、ルール数上限値、ログ件数上限値はデフォルトに戻ります。
- ・ファイアウォール解約前にサーバを停止する必要があります。
- ・スナップショットを取得している場合、ファイアウォールを解約するとスナップショットは自動的に削除されます。
- ・解約するサーバがルールに設定されている場合、ファイアウォールを解約できません。解約するサーバが設定されているルールを削除する必要があります。

③ 上限値変更

ファイアウォールのグループ数とルール数、ログ件数の上限値を変更することができます。



◇ファイアウォール購入◇

ファイアウォール購入

右下の「新規購入」ボタンから、サーバ毎にファイアウォールをご購入いただけます。
ファイアウォールを購入または解約する場合は、事前にサーバを停止いただく必要があります。

ファイアウォール購入

ファイアウォールを購入済のサーバを表示します。

件数: 1 件 表示件数: ページ: << 前ページへ | 次ページへ >>

サーバ名	操作
template	<input type="button" value="解約"/>

ファイアウォール上限値変更

ファイアウォールの上限値を表示します。操作メニューから変更可能です。

設定対象	現在の上限値	操作
グループ	10	<input style="border: 2px solid red;" type="button" value="上限値変更"/>
ルール	40	<input type="button" value="上限値変更"/>
ログ件数	10000	<input type="button" value="上限値変更"/>

<< 前画面へ戻る
新規購入

◇グループ数の上限値変更(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	変更後の上限値	○	変更後のグループ数の上限を 10～20 の間で選択します。(10 刻み)。デフォルトは 10 です。

◇グループ数の上限値変更(確認)◇

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、上限値設定変更が開始されます。
 上限値設定変更結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

同様にルール数およびログ件数の上限値を変更することができます。

◇ルール数の上限値変更(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	変更後の上限値	○	変更後のルール数の上限を 40～200 の間で選択します(10 刻み)。デフォルトは 40 です。 ※ルール数は全グループに含まれるルールの合計です(DefaultGroup のルールを除く)。

◇ログ件数の上限値変更(入力)◇

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	変更後の上限値	○	変更後のログ件数の上限を以下の 4 つから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10000(デフォルト) ・ 100000 ・ 200000 ・ 300000

【ご注意】

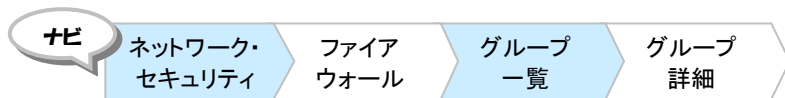
- ・ ファイアウォール購入済のサーバが 0 台になった場合、グループ数上限値、ルール数上限値、ログ件数上限値はデフォルトに戻ります。
- ・ DefaultGroup はグループ数のカウントに含まれません。また DefaultGroup に設定されているルール 9 件はルール数のカウントに含まれません。
- ・ 上限値を現在の値より下げた場合、変更後のご利用料金は翌月からの適用となります。

2.14.2. グループ設定

グループの作成とグループへのルール作成、サーバの追加が行えます。

① グループ一覧

作成したグループの一覧を表示します。グループ名をクリックするとグループの詳細情報(ルール、グループに所属するサーバを一覧表示する)を表示します。



◇ファイアウォール◇



以下の DefaultGroup にはあらかじめリモートデスクトップ接続 (Windows の場合) や SSH (Linux の場合) でのアクセスが可能なルールが設定されています。

グループ名	送信元	送信先	送信先 サービス/ポート番号
BIGLOBE DefaultGroup	仮想サーバ	BIGLOBE の NTP サーバ	123/udp
BIGLOBE DefaultGroup	仮想サーバ	BIGLOBE の DNS サーバ	53/tcp, 53/udp
BIGLOBE DefaultGroup	仮想サーバ	BIGLOBE 提供プロキシサーバ (yum, mackerel, acronis)	80/tcp
BIGLOBE DefaultGroup	仮想サーバ	コントロールパネル API	443/tcp
BIGLOBE DefaultGroup	Infra-VPN	L7 ロードバランサのプライベート IP アドレス	9070/tcp,9090/tcp
DefaultGroup (Linux)	Any (IPv4 のみ)	DefaultGroup (Linux)	22/tcp
DefaultGroup (Windows)	Any (IPv4 のみ)	DefaultGroup (Windows)	3389/tcp

- ※BIGLOBE DefaultGroup はファイアウォール購入と同時に仮想サーバに適用されます。
- ※DefaultGroup (Linux)、DefaultGroup (Windows) はファイアウォール購入時に DefaultGroup にチェックを入れるか、グループにサーバ追加することで適用されます。
- ※DefaultGroup にチェックを入れることによって許可される通信は IPv4 のみとなります。
- リモートデスクトップ接続や SSH で IPv6 の通信を許可したい場合は別途ルールを作成してください。
- ※DefaultGroup に対して以下の操作を行うことは出来ません。

- ・ グループの削除
- ・ ルールの追加・削除

◇グループ一覧◇

グループ一覧

ファイアウォールを設定するグループの一覧です。
 グループ名のリンクをクリックすると、詳細画面を表示します。
 詳細画面では、グループに対して各種設定や操作を行うことができます。

件数: 3 件 表示件数: 20 ページ: 1 << 前ページへ | 次ページへ >>

グループ種別	グループ名	インターフェース	ルール数	メモ
システム	BIGLOBE DefaultGroup	グローバルプライベート	7	
システム	DefaultGroup(Linux)	グローバルプライベート	1	
システム	DefaultGroup(Windows)	グローバルプライベート	1	

<< 前画面へ戻る
グループを作成する

◇グループ詳細◇

グループ詳細

グループの詳細情報です。
 グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	merusGroup
インターフェース	グローバルプライベート
メモ	<input type="checkbox"/>

```

            graph TD
                S1[サーバ] -- 送信元 --> R[グローバル]
                R -- 送信先 --> S2[サーバ]
                S1 -- 送信元 --> FW1[FW]
                FW1 -- 送信先 --> R
                R -- 送信元 --> FW2[FW]
                FW2 -- 送信先 --> S2
            
```

ルール一覧 (許可する通信)

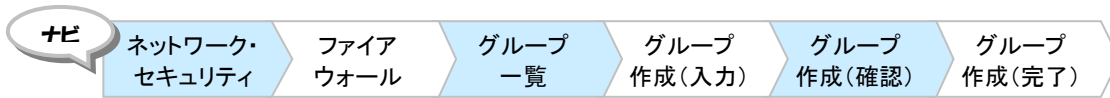
番号	送信元 [送信元種別]	送信先 [送信先種別]	サービス/ポート番号	操作
作成済みのルールはありません。				

サーバ一覧

サーバ名	操作
所属しているサーバはありません。	

② グループ作成

グループを作成します。



「グループを作成する」ボタンをクリックします。

◇グループ一覧◇

グループ一覧

ファイアウォールを設定するグループの一覧です。
 グループ名のリンクをクリックすると、詳細画面を表示します。
 詳細画面では、グループに対して各種設定や操作を行うことができます。

件数: 3 件 表示件数: 20 ▼ ページ: 1 ▼ << 前ページへ | 次ページへ >>

グループ種別	グループ名	インターフェース	ルール数	メモ
システム	BIGLOBE DefaultGroup	グローバル/プライベート	7	
システム	DefaultGroup(Linux)	グローバル/プライベート	1	
システム	DefaultGroup(Windows)	グローバル/プライベート	1	

前画面へ戻る
グループを作成する

◇グループ作成(入力)◇

グループ作成(入力)

入力
確認
完了

グループを作成します。
 内容を確認後、「確認画面へ」を押してください。
必須 印は、入力が必要な項目です。

必須 グループ名	<input type="text"/>	(半角英数20文字以内、先頭は英字のみ)
必須 インターフェース	<input type="text" value="グローバル/プライベート"/>	
メモ	<input type="text"/>	(全角32文字以内)

前画面へ戻る
確認画面へ

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	グループ名	○	ファイアウォールのグループ名を設定します。 半角英数20文字以内、先頭は英字のみ設定できます。
2	インターフェース	○	インターフェースを以下の3種類から選択します。 ・グローバル ・プライベート ・グローバル/プライベート (グローバル側、プライベート側に共通のルールを定義できます)
3	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。

◇グループ作成(確認)◇

グループ作成(確認)

入力 確認 完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

グループ名	manualGroup
インターフェース	グローバル/プライベート
作成	<input type="checkbox"/>

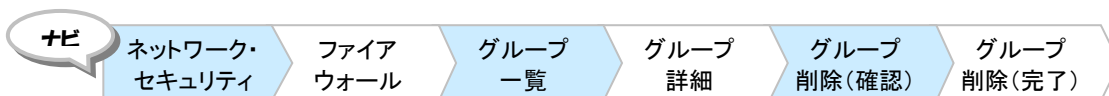
<< 戻る

実行する >>

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、グループが作成されます。

③ グループ削除

グループを削除します。



削除するグループのグループ詳細画面から「グループを削除する」ボタンをクリックします。

◇グループ詳細◇

グループの詳細情報です。
グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	Group02
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="text"/>

グループを削除する

ルール一覧 (許可する通信)

作成済みのルールはありません。

サーバー一覧

サーバー名	操作
所属しているサーバーはありません。	

グループ一覧へ

◇グループ削除(確認)◇

グループ削除(確認)

確認 完了

グループ削除を実行してよろしいですか？

グループ名

戻る 実行する

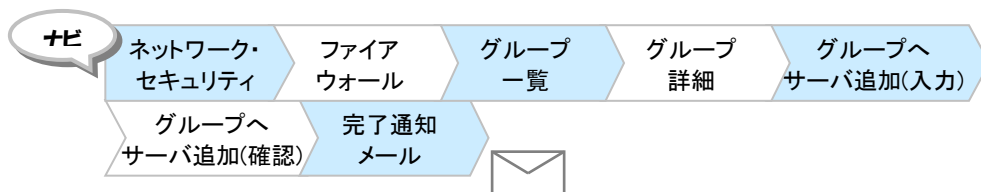
「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、グループが削除されます。

【ご注意】

- ・ファイアウォール購入サーバが0台になった場合、作成済のグループも削除されます。

④ グループへサーバを追加

作成したグループにサーバを追加します。



サーバを追加するグループのグループ詳細画面から「サーバ追加」ボタンをクリックします。

◇グループ詳細◇

グループ詳細

グループの詳細情報です。グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	group01
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="text"/>

[グループを削除する](#)

ルール一覧 (許可する通信)

[ルール追加](#)

作成済みのルールはありません。

サーバー一覧

サーバー名	操作
所属しているサーバーはありません。	

[サーバー追加](#)

[グループ一覧へ](#)

◇グループへサーバ追加(入力)◇

グループへサーバ追加(入力)

入力
確認
完了

グループへサーバを追加します。ファイアウォールを購入済みのサーバのみ追加可能です。内容を確認後、「確認画面へ」を押してください。
必須 印は、入力が必要な項目です。

必須 サーバ名

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	サーバ名	○	グループへ追加するサーバ(ファイアウォール購入済サーバ)を指定します。

◇グループへサーバ追加(確認)◇

グループへサーバ追加(確認)

入力 確認 完了

グループへ追加するサーバを確認し、「実行する」ボタンを押してください。

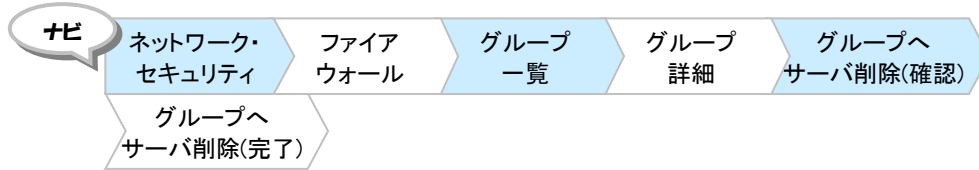
サーバ名

戻る 実行する

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、グループへサーバが追加されます。

⑤ グループからサーバを削除

グループからサーバを削除する場合は以下の操作を行います。

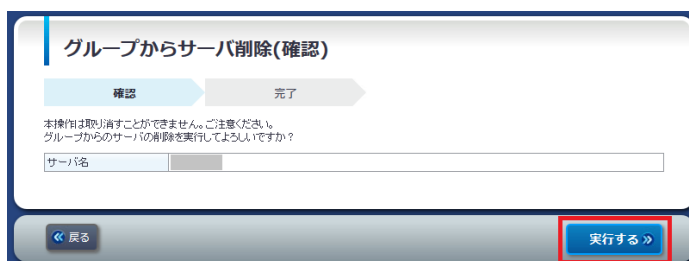


グループのグループ詳細画面にて削除するサーバ名の横にある「削除」ボタンをクリックします。

◇グループ詳細◇



◇グループからサーバ削除(確認)◇

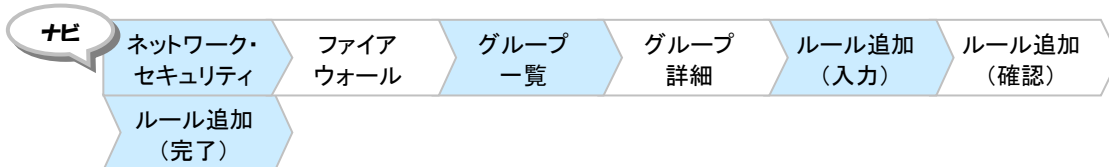


「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、グループからサーバが削除されます。

⑥ ルール追加

グループに Allow(許可)のルールを定義できます。ルールはサーバに対しての送信元および送信先の通信に対して設定できます。

ルールは以下の手順で追加します。



ルールを追加するグループの詳細画面にて「ルール追加」ボタンをクリックします。

◇グループ詳細◇

グループ詳細

グループの詳細情報です。
グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	group01
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="checkbox"/>

ルール一覧 (許可する通信)

作成済みのルールはありません。

サーバー一覧

サーバー名	操作
所属しているサーバはありません。	

◇ルール追加(入力)◇

ルール追加(入力)

入力
確認
完了

グループへ適用するルールを追加します。
内容を確認後、「確認画面へ」を押してください。
必須印は、入力が必要な項目です。

グループ名	group01	
必須 IPバージョン	<input checked="" type="radio"/> IPv4 <input type="radio"/> IPv6	
▼送信元		
必須 種別	グループ	
グループ	group01	
▼送信先		
必須 種別	グループ	
グループ	group01	
必須 サービス/ポート番号	<input checked="" type="radio"/> サービス <input type="radio"/> ポート番号/プロトコル	
サービス	WAF-console	
▼その他		
メモ		

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	IPバージョン	○	IPv4 か IPv6 を選択します。
▼送信元			
1	種別	○	送信元の種別を以下の 6 種類から選択し、選択した種別を指定します。 ※Any を除く ・グループ ・サーバ ・IPアドレス(範囲指定) ・IPアドレス(CIDR) ・Any
▼送信先			
1	種別	○	送信先の種別を以下の 5 種類から選択し、選択した種別を指定します。 ※Any を除く ・グループ ・サーバ ・IPアドレス(範囲指定) ・IPアドレス(CIDR) ・Any
2	サービス/ポート番号	○	プロトコルの種別を以下の 2 種類から指定します。 ・サービス ・プロトコル/宛先ポート
3	サービス		サービスを選択します。 ※選択できるサービスリストは次の表をご参照ください。
4	プロトコル		TCP/UDP どちらかを選択します。
5	ポート番号		ポート番号を指定します。
▼その他			
1	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。

◇ルール追加(確認)◇

ルール追加(確認)

入力 → 確認 → 完了

作成内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

グループ名	group01
IPバージョン	<input checked="" type="radio"/> IPv4 <input type="radio"/> IPv6
▼送信元	
種別	グループ
グループ	group01
▼送信先	
種別	グループ
グループ	group01
サービス/ポート番号	<input type="radio"/> サービス <input checked="" type="radio"/> ポート番号/プロトコル
プロトコル	TCP
ポート番号	22
▼その他	
メモ	

戻る 実行する

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、ルールが追加されます。

選択できるサービスは以下の通りです。

【サービスリスト】

プロトコル名	TCP/UDP	ポート番号	備考
WAF-console	TCP	31106	
WAF-service	TCP	9434	
ah	-	-	IPv4のみ
dns	UDP	53	
esp	-	-	
ftp	TCP	21	
http	TCP	80	
https	TCP	443	
icmp(ping)	-	-	IPv4のみ
icmpv6(ping)	-	-	IPv6のみ
ms-rdp	TCP	3389	
ms-rpc(tcp)	TCP	135	
ms-rpc(udp)	UDP	135	
mysql	TCP	3306	
snmp	UDP	161	
ssh	TCP	22	

【ご注意】

- ・ ルールは Allow(許可)のみ設定できます。
- ・ 送信元種別および送信先種別に「グループ」または「サーバ」を指定してルールを作成した場合、指定した「グループ」または「サーバ」を削除した際に、作成したルールも連動して削除されます。
- ・ 仮想ファイアウォール作成(購入)直後は、BIGLOBE が提供するサービスの通信(詳細については「2.15.2 ①グループ一覧」を参照)を除く全ての通信が拒否された状態になります。

仮想ファイアウォール作成と同時に BIGLOBE DefaultGroup が仮想サーバに適用されるため、別途ルール追加する必要はありません。

- ・ 動的ポートを利用するプロトコルを利用する場合、FTP サービス、MS-RPC サービスのみステートフルインスペクションが有効となります。その他のサービスで動的ポートを利用される場合、明示的に必要なポートを許可していただく必要があります。

FTP サービス、MS-RPC サービスは、以下の手順でルールを作成することによりステートフルインスペクション機能が有効となります。

- ・ FTP サービス

コントロールパネルのファイアウォール設定画面

プロトコル>サービスにて指定する場合

- ・ FTP(21/tcp)

- ・ MS-RPC サービス

コントロールパネルのファイアウォール設定画面

プロトコル>ポート番号にて指定する場合

- ・ 135/tcp → MS-RPC/tcp

- ・ 135/udp → MS-RPC/udp

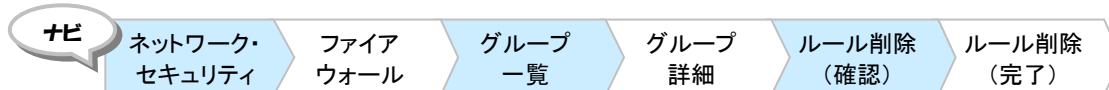
※ポート番号を範囲指定した場合は、ステートフルインスペクションが有効となりません。ご注意ください。

※動的ポートを利用するプロトコルについての内容は 2016 年 5 月 11 日以降に実施されたファイアウォール基盤のリニューアルに伴うものです。

- ・ 通信が発生していない状態が 12 時間続いた場合は、その通信は破棄される仕様となっております。
 - ・ サービスリストから選択できる「icmp(ping)」および「icmpv6(ping)」は ping(エコー要求、エコー応答)を許可するものであり、すべての ICMP タイプを許可するものではありません。
-

⑦ ルール削除

作成したルールは以下の手順で削除できます。



削除するルールの右上にある「削除」ボタンをクリックします。

◇グループ詳細◇

グループ詳細

グループの詳細情報です。グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	group01
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="text"/>

ルール一覧 (許可する通信)

☰をクリックしてドラッグ&ドロップした後に「ルール並替確定」ボタンを押すと、ルールの順番を変更できます。

ルール1		<input type="button" value="変更"/>	<input type="button" value="削除"/>
IPバージョン	IPv4		
送信元 [送信元種別]	group01 [グループ]		
送信先 [送信先種別]	group01 [グループ]		
送信先サービス /ポート番号	ssh(22/TCP)		
メモ	<input type="text"/>		

◇ルール削除(確認)◇

ルール削除(確認)

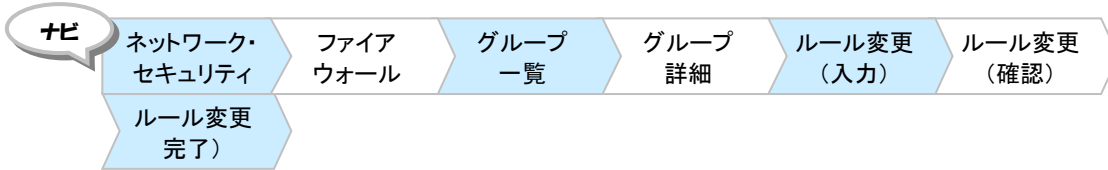
本操作は取り消すことができません。ご注意ください。
ルール削除を実行してよろしいですか？

グループ名	group01
IPバージョン	IPv4
▼送信元	
種別	グループ
グループ	group01
▼送信先	
種別	グループ
グループ	group01
サービス/ポート番号	サービス
サービス	ssh
▼その他	
メモ	<input type="text"/>

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、ルールが削除されます。

⑧ ルール変更

作成したルールは以下の手順で変更できます。



変更するルールの右上にある「変更」ボタンをクリックします。

◇グループ詳細◇

グループ詳細

グループの詳細情報です。
グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	group01
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="text"/>

ルール一覧 (許可する通信)

☰をクリックしてドラッグ&ドロップした後に「ルール並替確定」ボタンを押すと、ルールの順番を変更できます。

ルール1	操作
IPバージョン: IPv4	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>
送信元 [送信元種別]: group01 [グループ]	
送信先 [送信先種別]: Any	
送信先サービス/ポート番号: http(80/TCP)	
メモ	<input type="text"/>

サーバー一覧

サーバー名	操作
template	<input type="button" value="削除"/>

◇ルール変更(入力)◇

ルール変更(入力)

入力
確認
完了

グループへ適用するルールを変更します。
各項目を入力し、「確認画面へ」を押してください。
必須印は、入力が必要な項目です。

グループ名	group01
必須 IPバージョン	<input checked="" type="radio"/> IPv4 <input type="radio"/> IPv6
▼送信元	
必須 種別	グループ
グループ	group01
▼送信先	
必須 種別	Any
必須 サービス/ポート番号	<input checked="" type="radio"/> サービス <input type="radio"/> ポート番号/プロトコル
サービス	http
▼その他	
メモ	<input style="width: 90%;" type="text"/> (全角32文字以内)

← 前画面へ戻る
確認画面へ →

【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	IPバージョン	○	IPv4 か IPv6 を選択します。
▼送信元			
1	種別	○	送信元の種別を以下の 6 種類から選択し、選択した種別を指定します。 ※Any を除く ・グループ ・サーバ ・IPアドレス(範囲指定) ・IPアドレス(CIDR) ・Any
▼送信先			
1	種別	○	送信先の種別を以下の 5 種類から選択し、選択した種別を指定します。 ※Any を除く ・グループ ・サーバ ・IPアドレス(範囲指定) ・IPアドレス(CIDR) ・Any
2	サービス/ポート番号	○	プロトコルの種別を以下の 2 種類から指定します。 ・サービス ・プロトコル/宛先ポート
3	サービス		サービスを選択します。 ※選択できるサービスリストは次の表をご参照ください。
4	プロトコル		TCP/UDP どちらかを選択します。
5	ポート番号		ポート番号を指定します。
▼その他			
1	メモ		必要に応じて備考情報を入力できます。

◇ルール変更(確認)◇

ルール変更(確認)

入力 → 確認 → 完了

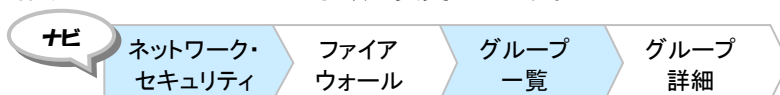
変更内容を確認し、「実行する」ボタンを押してください。

グループ名	group01
IPバージョン	<input checked="" type="radio"/> IPv4 <input type="radio"/> IPv6
▼送信元	
種別	グループ
グループ	group01
▼送信先	
種別	Any
サービス/ポート番号	<input checked="" type="radio"/> サービス <input type="radio"/> ポート番号/プロトコル
サービス	https
▼その他	
メモ	

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、ルールが変更されます。

⑨ ルール並び替え

作成したルールは以下の手順で変更できます。



並び変えたいルールの左上にある「」をクリックしてドラッグ&ドロップします。

◇グループ詳細◇

グループ詳細

グループの詳細情報です。
グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	group01
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="text"/>

ルール一覧 (許可する通信)

☰をクリックしてドラッグ&ドロップした後に「ルール並替確定」ボタンを押すと、ルールの順番を変更できます。

ルール1	変更	削除
IPバージョン	IPv4	
送信元 [送信元種別]	group01 [グループ]	
送信先 [送信先種別]	Any	
送信先サービス /ポート番号	https(443/TCP)	
メモ	<input type="text"/>	<input type="button" value="メモ"/>

ルール2	変更	削除
IPバージョン	IPv4	
送信元 [送信元種別]	group01 [グループ]	
送信先 [送信先種別]	Any	
送信先サービス /ポート番号	http(80/TCP)	
メモ	<input type="text"/>	<input type="button" value="メモ"/>

◇グループ詳細◇ ※並替後

グループ詳細

グループの詳細情報です。
グループの各種操作を行うことができます。

グループ種別	ユーザ
グループ名	group01
インターフェース	グローバル/プライベート
メモ	<input type="text"/>

ルール一覧 (許可する通信)

☰をクリックしてドラッグ&ドロップした後に「ルール並替確定」ボタンを押すと、ルールの順番を変更できます。

ルール2	変更	削除
IPバージョン	IPv4	
送信元 [送信元種別]	group01 [グループ]	
送信先 [送信先種別]	Any	
送信先サービス /ポート番号	http(80/TCP)	
メモ	<input type="text"/>	<input type="button" value="メモ"/>

ルール1	変更	削除
IPバージョン	IPv4	
送信元 [送信元種別]	group01 [グループ]	
送信先 [送信先種別]	Any	
送信先サービス /ポート番号	https(443/TCP)	
メモ	<input type="text"/>	<input type="button" value="メモ"/>

「ルール並替確定」ボタンクリック後、変更した並び順が確定されます。

2.14.3. ログ

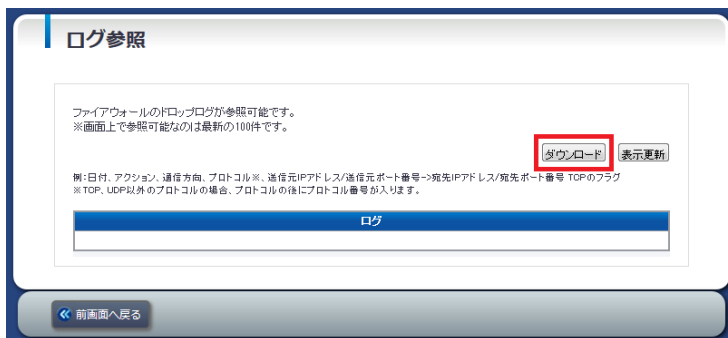
ファイアウォールのドロップログ参照やダウンロードが行えます。



◇ファイアウォール◇



◇ログ参照◇



画面には最新のログ 100 件が表示されます。

「ダウンロード」ボタンをクリックするとログ件数の上限分までログがダウンロード出来ます。

【ご注意】

- ・ ログの保管期限は1年間です。
- ・ ログは DROP のみとなります。
- ・ 特定のポートについては特殊な条件下(リフレクター攻撃の踏み台にされる等)でログが大量に出力されるため、現在 DROP はしますがログに出力されません。
(ファイアウォールのルールに定義(許可)した場合、他のルールと同様に通信は可能となります。)
※現在ログに出力されないポート番号: 389/udp
- ・ ログはファイアウォールを購入しているサーバ全てについて一括表示されます。
- ・ ログ上限値を超過したログ、保管期限を超過したログは自動削除されるため、必要に応じてログダウンロードを実施してください。
- ・ 同一の宛先 IP アドレスに対して、1 秒あたり 30 件以上のログがある場合、参照可能なログは 1 件となります。
- ・ 同一の送信元 IP アドレスに対して、1 秒あたり 30 件以上のログがある場合、参照可能なログは 1 件となります。

2.15. DNS

お客様で保有している DNS ゾーンに対して、DNS のレコードを追加・変更・削除することができます。

① DNS ゾーンの登録

DNS ゾーンを登録します。



◇DNS ゾーン一覧◇



◇DNSゾーン登録(入力)◇

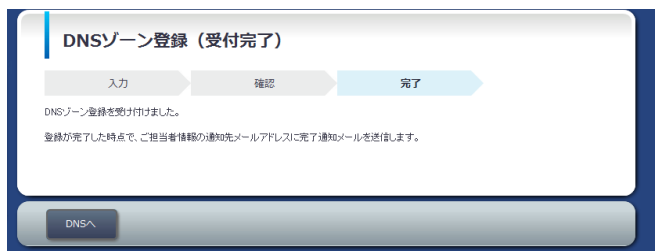
【設定項目について】

No	項目	必須	説明
1	DNSゾーン名	○	<p>DNSゾーン名を入力します。利用可能なゾーンの命名規則は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用可能な文字 : 半角英数字(A~Z, 0~9)とハイフン(-)、ドット(.) <p>ただし、以下の条件は利用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> —先頭または末尾にハイフン(-)、ドット(.) —ハイフン(-)、ドット(.)の連続使用 <ul style="list-style-type: none"> ・使用可能な文字数 : 3~26文字 <p>ゾーン名の途中にドット(.)が1つ以上存在する必要があります。</p> <p>なお、「利用可能なゾーン名」ボタンをクリックした後に表示される画面でも命名規則をご確認いただけます。</p> <p>DNSゾーン作成後、この項目は変更できません。</p>
2	ユーザID	自動	ゾーンを作成したユーザIDが自動的に表示されます。
3	メモ		<p>必要に応じて備考情報を入力できます。</p> <p>DNSゾーン作成後、この項目は変更できません。</p>

◇DNSゾーン登録(確認)◇

「実行する」ボタンクリック後、完了画面が表示され、DNSゾーンの登録が開始されます。
DNSゾーン登録結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

◇DNSゾーン登録(受付完了)◇

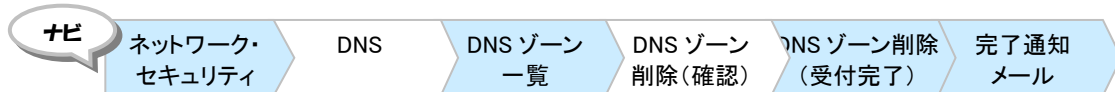


【ご注意】

大文字・小文字が混在したゾーン名を登録した場合、コントロールパネルの DNS ゾーン一覧にはそのまま表示されますが、DNS レコード設定画面では、大文字はすべて小文字に変換されて表示されます。

② DNS ゾーンの解約

登録している DNS ゾーンを削除することができます。



◇DNSゾーン一覧◇



◇DNSゾーン削除(確認)◇

DNSゾーン削除 (確認)	
確認	完了
削除内容を確認し、「実行する」ボタンをクリックしてください。	
ドメイン名	
担当者ID	
ゾネ	
戻る	実行する

「実行する」ボタンをクリック後、完了画面が表示され、DNSゾーンの解約が開始されます。
DNSゾーン解約結果(成功、失敗)はメールで通知されます。

◇DNSゾーン削除(受付完了)◇

DNSゾーン削除 (受付完了)	
確認	完了
DNSゾーン削除を受け付けました。	
削除が完了した時点で、ご担当者情報の通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。	
DNSへ	

③ DNS ゾーンレコード設定

DNS ゾーンへのレコード追加やレコード情報の確認、変更、削除を行うことができます。
 本機能は DNS ゾーンが1つ以上登録されている場合のみ実行できます。また、設定操作画面は別ウィンドウとして表示されます。DNS ゾーンへのレコード追加や、レコード情報の確認、変更、削除等の操作については、別冊「DNS レコード設定 操作マニュアル」をご参照ください。

◇DNS ゾーンレコード設定◇



◇レコード設定画面 DNS 設定◇



【ご注意】

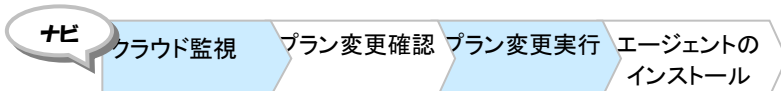
- ・現在ログイン中のユーザIDで登録したDNSゾーンに対してのみレコード設定が可能です。

2.16. クラウド監視

クラウド監視は「株式会社はてな」が提供する Mackerel(マカレル)監視サービスを BIGLOBE の特別なプランでご利用いただく事ができます。

コントロールパネルの[クラウド監視]メニューでは、クラウド監視を利用する為の監視プランに関する手続き(契約/変更/解約)を行う事ができます。

監視プランをご契約後、すぐにご利用いただく事ができます。



① クラウド監視の用語の定義

2.18 クラウド監視で限定的に使用する用語を以下に説明します。

No	項目説明	説明
1	監視プラン	クラウド監視を利用する為の監視プラン BIGLOBE クラウドホスティングとして下記の2種類があります。 ・BIGLOBE クラウド監視 Lite プラン ・BIGLOBE クラウド監視 Standard プラン ※詳細は、後述の『②監視プラン』の参照
2	Mackerel エージェント	監視対象のホストに対してインストールするプログラムです。 インストールする事で、監視に必要な情報を Mackerel へ一定間隔(1分)毎に送信します。 ダウンロードは Mackerel にログイン後に行う事ができます。 ※BIGLOBE クラウドホスティングで提供する一部の仮想サーバには、既存インストールされております。 利用(API キーを埋め込む)しない限り課金対象にはなりません。 ・Linux 系サーバ(既インストール) ・Windows サーバ(未インストール)
3	監視画面	Mackerel へログイン後、監視画面で監視対象のホストのリソース情報等を確認する事ができます。
4	監視設定	監視画面上で設定する監視ルール(例: CPU/メモリ等の閾値)

② 監視プラン

Mackerel の監視を開始する手順(エージェントのインストール)や用語の解説及び操作/設定方法等については Mackerel の HP をご参照下さい。(https://mackerel.io/ja/)

プラン名称	プラン概要												
BIGLOBE クラウド監視 Lite プラン	<p><監視機能></p> <p>死活監視、CPU 使用率監視、メモリ使用率監視、ディスク容量監視の他プラグインをインストールする事で、プロセス監視、ポート監視等も行う事が可能です。</p> <p><備考></p> <p>Standard プランから Lite プランへの変更はできません。</p> <table border="1"> <tr> <td>ホスト数</td> <td>無制限</td> </tr> <tr> <td>ホストメトリック</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>サービスメトリック</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>監視項目数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>外形監視項目数 (URL 監視)</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>監視ログ保有期間</td> <td>3ヶ月</td> </tr> </table>	ホスト数	無制限	ホストメトリック	200	サービスメトリック	5	監視項目数	10	外形監視項目数 (URL 監視)	不可	監視ログ保有期間	3ヶ月
ホスト数	無制限												
ホストメトリック	200												
サービスメトリック	5												
監視項目数	10												
外形監視項目数 (URL 監視)	不可												
監視ログ保有期間	3ヶ月												
BIGLOBE クラウド監視 Standard プラン	<監視機能>												

	死活監視、CPU 使用率監視、メモリ使用率監視、ディスク容量監視 外形監視(URL 監視)の他、プラグインをインストールする事で、 プロセス監視、ポート監視等も行う事が可能です。 <備考> Standard プランから Lite プランへの変更はできません。 最低利用料金として 1 ホスト分の利用料金が発生します。	
	ホスト数	無制限
	ホストメトリック	200
	サービスマトリック	200
	監視項目数	100
	外形監視項目数 (URL 監視)	20
	監視ログ保有期間	460 日

③ プラン契約/変更/解約

◇BIGLOBE クラウド監視◇



No	項目説明	説明
1	BIGLOBE クラウド監視 (Mackerel)へログイン	外部サービス(Mackerel)のログイン画面が表示されます。 Mackerel の監視を開始する手順(エージェントのインストール)や用語の解説及び操作/設定方法等については、Mackerel へログインしてご確認下さい。
2	現在ご利用中のプラン	現在契約しているプラン名が表示されます。 ※クラウド監視を未契約な状態では[契約なし]と表示されます。 ※BIGLOBE クラウド監視 Standard プランを解約した月は[BIGLOBE クラウド監視 Standard プラン(解約予約中)]と表示されます。
3	変更後のプラン	現在選択可能な監視プランが表示されます。 クラウド監視を行う場合は、下記 2 つのプランから選択してください。 ・BIGLOBE クラウド監視 Lite プラン ・BIGLOBE クラウド監視 Standard プラン 監視プランを解約する場合は、下記プランを選択してください。 ・契約なし
4	プラン変更	プラン変更(確認)画面へ遷移します。

◇BIGLOBE クラウド監視 プラン変更(確認)◇

BIGLOBEクラウド監視 プラン変更(確認)

確認
完了

変更後のプランと利用規約・利用条件を確認いただき、「前画面の注意事項および利用規約を確認しました。」にチェックを入れた後、「プラン変更実行」ボタンを押してください。

※本操作は取り消すことができません。

現在ご利用中のプラン	契約なし
変更後のプラン	BIGLOBEクラウド監視 Liteプラン(¥900/月)
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 監視を有効化するには監視対象サーバにキーを設定する必要があります。監視が有効化された時点で課金開始となります。 ● ご利用料金画面に表示されるBIGLOBEクラウド監視の料金は前月の利用時間に応じて請求いたします。 ● 解約月の請求について <ul style="list-style-type: none"> ● クラウド監視プランマニュアルをご確認ください。 ● 解約申込は取消できません。再度ご利用される場合は再契約が必要です。 ● 解約申込が完了次第、監視設定は破棄されます。 ● 解約月に再契約する場合 <ul style="list-style-type: none"> ● Standardプランは、解約月に再契約する事はできません。 ● BIGLOBEクラウド監視を再契約の際は、再度、監視設定が必要となります。 ● BIGLOBEクラウド監視を解約後、いずれかのプランを再契約した場合は、監視を利用する全てのサーバのキーの入れ替えが必要です。キーの入れ替えは、Mackerelのヘルプをご確認ください。 <p><input type="checkbox"/> 前画面の利用規約および注意事項を確認しました。</p>

◀ 戻る
プラン変更実行 ▶

No	項目説明	説明
1	プラン変更実行	変更後のプランへ変更します。 ※この処理は取消す事ができませんのでご注意ください ※処理実行時に、Mackerel アカウントの作成等の為、コントロールパネルの担当者情報として登録されているメールアドレスをはてな社に連携いたします。

◇BIGLOBE クラウド監視 プラン変更(完了)◇

この処理の後、Mackerel.io から担当者様のメールアドレスにメールが送られてきます。

BIGLOBEクラウド監視 プラン変更(完了)

確認
完了

BIGLOBEクラウド監視プランの変更を受け付けました。
変更処理完了後、通知先メールアドレスに完了通知メールを送信します。

BIGLOBEクラウド監視へ

④ Mackerel エージェントのインストール

Mackerel の HP をご参照下さい。(<https://mackerel.io/ja/>)

⑤ プロキシサーバ経由での監視

◇設定方法◇

設定方法は、Mackerel のホームページを参照してください。

URL: <https://mackerel.io/ja/docs/>

◇クラウド監視用のプロキシサーバ情報◇

プロキシサーバ: 10.249.45.47

◇注意事項◇

Mackerel の設定で IP アドレス制限をされた場合、プロキシサーバ経由での監視はご利用いただけません。

理由: BIGLOBE プロキシサーバのグローバル IP は非公開の為

⑥ ご利用料金

別紙: クラウド監視プランマニュアルをご参照下さい。

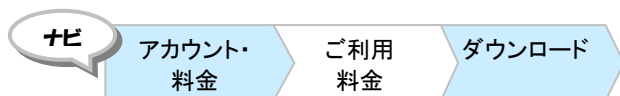
-
- Mackerel に関する用語の解説、操作/設定方法は、<https://mackerel.io/ja/>をご参照下さい。
 - Mackerel に関するサービス仕様は、提供元の株式会社はてな社に依存します。
 - クラウド監視を解約した場合は、監視の監視設定は破棄されます。
-

2.17. アカウント・料金

ご利用担当者様のメールアドレスの変更や、利用料金の確認、コントロールパネルの操作ログを参照することができます。

① ご利用料金

現在の契約内容と、毎月の料金が確認できます。また、この情報を csv 形式でダウンロードも可能です。



◇ご利用料金◇

ご利用料金

2013年3月のご利用明細 2013年3月分 (合計) : ¥109,412 (税別)

一時費用

項目	単価	数量	合計
一時費用(税別)			
¥0			

月次費用

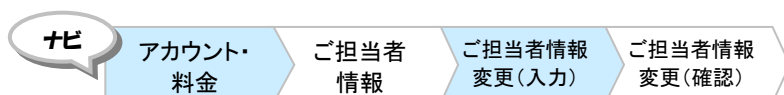
項目	単価	数量	合計
(内容が隠されています)			

ダウンロード

なお、料金プランが従量課金の場合、数量には稼働時間が表示されます。

② ご担当者情報変更

ご担当者情報を確認するとともに、ご担当者情報を変更できます。完了通知メールの受取先(通知先メールアドレス)の変更も、本画面から可能です。



◇ご担当者情報◇

ご担当者情報

ご担当者情報を変更する場合は「ご担当者情報変更」ボタンをクリックしてください。

■会社名

会社名	
契約ID	

■ご担当者情報

部署名	
ご氏名	
電話番号	
通知先メールアドレス	

ご担当者情報変更

個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 |

Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2021

◇ご担当者情報変更(入力)◇

ご担当者情報変更(入力)

各項目に入力をして、「確認する」ボタンを押してください。

必須印は、入力が必要な項目です。

■会社名

会社名	
-----	--

■ご担当者情報

部署名	<input type="text"/>	(全角40文字以内)
必須 ご氏名	<input type="text"/>	(全角50文字以内)
必須 電話番号	<input type="text"/>	(半角15文字以内)
必須 通知先メールアドレス	<input type="text"/>	(半角64文字以内)

確認する >>

個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 |

【項目について】

No	項目	必須	説明
1	部署名		部署名を入力します。
2	ご氏名	○	氏名を入力します。
3	電話番号	○	電話番号を入力します。本電話番号に弊社からご連絡する場合があります。
4	通知先メールアドレス	○	メールアドレスを入力します。本メールアドレス宛に以下のメールが配信されます。 ・コントロールパネルで実行した作業の完了通知メール ・メンテナンス通知 ・弊社からの連絡

【ご注意】

- ・会社名や請求先情報の変更はコントロールパネルでは対応しておりません。「お問い合わせ」フォームから、「情報変更のため、変更申込書を希望」とのご依頼をお願いします。
- ・通知先メールアドレスを変更する場合、メールアドレス変更後に入力したメールアドレスにメールが届き、そのメールに記載されている URL で認証するとメールアドレスが変更されます

③ 操作ログ

コントロールパネルの操作履歴が参照できます。参照できる操作は以下があります。

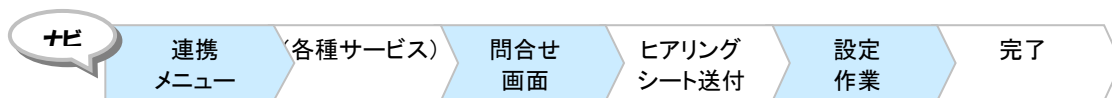
◇操作ログ◇



種別	ログ出力される操作
ログイン	ログイン
SSH 鍵	SSH 鍵作成／削除
サーバ操作	サーバ起動／停止／再起動／強制再起動／強制電源断
サーバ作成	サーバ作成／スペック変更／削除／料金プラン変更／基本ディスク拡張／ディスク追加／ディスク削除／ディスク切断／ディスク接続／ディスクの料金プラン変更／アップグレード(ナノモデル)／Red Hat サブスクリプション購入
サーバ複製	サーバ複製
サーバイメージ	サーバイメージ作成／サーバイメージ削除／サーバイメージ共有／サーバイメージ共有解除／サーバイメージ持込
サーバ休止	休止開始／休止終了
スナップショット	スナップショットの作成／削除／リストア
DNS	DNS ゾーンの登録／削除
クラウド監視	プラン変更
ライセンス	ライセンス購入／ライセンス解約／ライセンス数変更
IP アドレス	サーバ変更(グローバル IP アドレス追加)／保持 IP アドレス購入(サーバ用)(クラスタ用)(L7 ロードバランサ用)／保持 IP アドレス解約(サーバ用)(クラスタ用)(L7 ロードバランサ用)
ファイアウォール	ファイアウォール購入／ファイアウォール解約／ファイアウォールグループ作成／ファイアウォールグループ削除／ファイアウォールルール追加／ファイアウォールルール削除／ファイアウォールグループへのサーバ追加／ファイアウォールグループからサーバ削除／ファイアウォールグループ数変更／ファイアウォールルール数変更／ファイアウォールログ件数変更
コンソール用 VPN 接続 ID	コンソール用 VPN 接続 ID 設定／コンソール用 VPN 接続 ID パスワード変更

2.18. 連携メニュー

各種関連サービスのお問合せが可能です。これらのサービスは、別途詳細をお客様と調整後、手動で環境構築し、完了時に担当者からご連絡いたします。



(参考)クラウドアクセスサービス(お客様指定回線) 画面

クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)

クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)とは、お客様の環境とBIGLOBEクラウドホスティング間をセキュアな通信で接続することができるサービスです。
お客様のプライベートアドレス体系をアドレス変換せずにご利用いただけるため、お客様の環境の延長としてクラウド上のサーバを利用することが可能です。

■資料ダウンロード
サービスのご紹介資料をダウンロードできます。
お問い合わせ/お申し込みは「問合せ画面へ」ボタンを押してください。
[クラウドアクセスサービス/お客様指定回線のご紹介](#)

[問合せ画面へ](#)

(参考)クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)(入力)

クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)(入力)

入力
確認
完了

クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)の問合せを行います。
各項目を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

入力フォームには半角カタカナと環境依存文字は使用しないでください。
※印は、入力必須の項目です。

サービス名	クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)
※ 担当者氏名	<input type="text" value=""/> (全角50文字以内)
※ ご連絡先メールアドレス	<input type="text" value=""/> (半角64文字以内)
※ お問い合わせ内容	会社名: 部署名: 電話番号: 種別: 1.見解依頼 2.お問い合わせ (該当する種別を選択) 内容: <input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/>

(全角2000文字以内)

◀ 前画面へ戻る
確認画面へ ▶

2.19. その他のメニュー

① お問い合わせ

各種のご質問やご依頼、調査指示等は、「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
BHC (BIGLOBE 法人コンタクトセンター) から、ご返信させていただきます。
なお、調査依頼の場合は対象のサーバ名や IP アドレス等の情報をご記載ください。

お問い合わせフォーム(入力)

お問い合わせ内容を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。

※よくあるご質問に掲載された情報で解決する場合がございます。
お問い合わせの前にご確認ください。 > [よくあるご質問](#)

※17時以降のお問い合わせは翌営業日以降の回答となります。

※入力フォームは最大半角カタカナと標準依存文字列は使用しないでください。
必須 印は、入力が必要な項目です。

必須 ID	<input type="text"/>	
必須 お問い合わせ件名	<input type="text"/>	<半角82文字以内>
必須 ご担当者氏名	<input type="text"/>	<半角50文字以内>
必須 ご連絡先メールアドレス	<input type="text"/>	<半角64文字以内>
必須 お問い合わせ内容	貴社名： 部署名： 電話番号： 内容： <input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	

※当社の不具合・障害に関するお問い合わせ
当社に起因すると思われるBIGLOBEクラウドホスティングサービスの不具合・障害が発生していることで確認された場合は
bch=incident@biglobe.co.jp宛に以下の情報を添えてメールにてご連絡ください。

- ・ID
- ・貴社名
- ・ご担当氏名
- ・ご利用サービス名
- ・不具合/障害の現象

いただいたメールにこれまでに返信できない場合がありますが、ご了承ください。
不具合を当社にて確認・対応中の場合は、こちらの特設ページにて情報掲載させていただきます。

※注意事項

- ・お問い合わせ内容のご回答は、ご連絡先メールアドレスへご返信します。
送付メールアドレスの誤りによっては、弊社より送信するメールが届かない場合があります。
メールが届かない場合は、送付メールアドレスの設定をご確認ください。
- ・このページから送信される個人情報、サービスのお問い合わせの回答以外には利用いたしません。
弊社の個人情報保護方針につきましてはBIGLOBE個人情報保護ポリシーにて記載しておりますので、ご確認ください。

※備考

- ・ご担当者氏名及びメールアドレス変更の場合は、こちらで修正下さい。

[確認画面へ](#) >>

② ヘルプ

BIGLOBE クラウドホスティングユーザマニュアル(本書)の最新版をダウンロードいただくことができます。

③ クラウドアプリストア

ダッシュボードの上部にある「クラウドアプリストア」ボタンをクリックすると、クラウドアプリストアへアクセスすることができます。クラウドアプリストアのご利用方法については別冊「クラウドアプリストア ユーザマニュアル」をご参照ください。

◇ダッシュボード◇

ダッシュボード

システム情報

サーバ

起動中	停止中	処理中	不明
0	0	0	0

ご利用料金 (税別)

今月 (未確定)	料金確認
前月	
前々月	

>> [詳細](#)

お知らせ・障害情報

○お知らせ

>> [続きを見る](#)

○運用/障害情報
[こちらをご確認ください。](#)

個人情報保護 | 安全安心 | サービス紹介 |

Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2022

【ご注意】

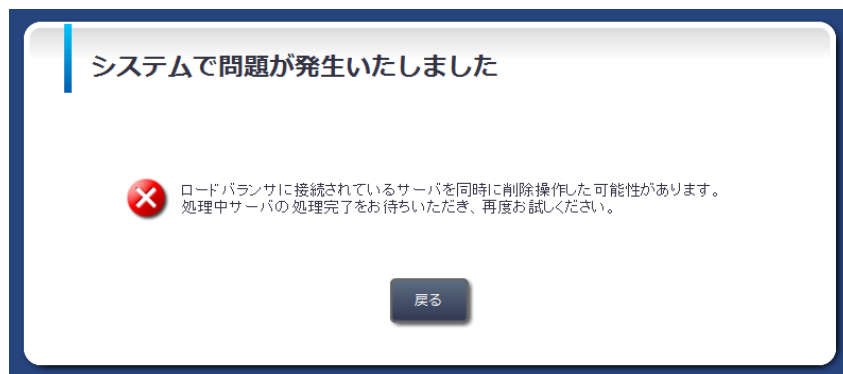
- ・クラウドアプリストアから購入したプリインストールサーバはサーバ複製、サーバイメージ作成、サーバ休止はご利用いただけません。

2.20. 補足事項

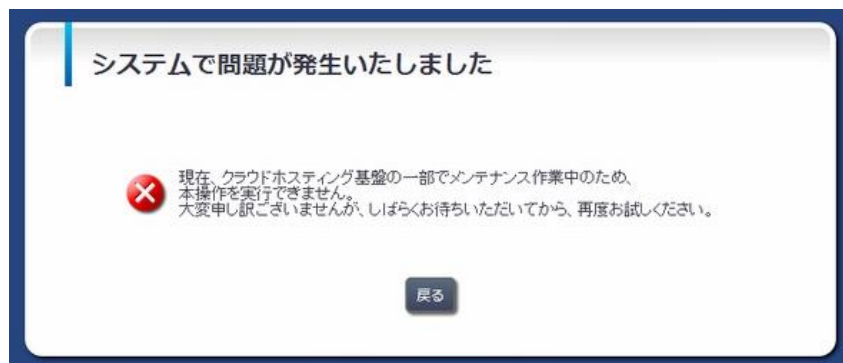
- (1) 作成されたサーバ等を削除された場合、復旧することはできません。
- (2) コントロールパネル上のサーバ等の名称は、それぞれお客様環境下(コントロールパネル契約 ID 毎)において同一のものは設定できません。
- (3) Linux のランレベルは 3, 5 のみサポートしています。
- (4) vSphereHA により仮想サーバを自動再起動する場合があります。
- (5) 全ての Linux 系 OS で Perl のインストールが必須になります。
- (6) コントロールパネル操作中に以下のメッセージが表示される場合があります。表示内容に従い、再操作してください。

■メッセージ例

◇サーバ削除時に表示されるメッセージ◇



◇一部基盤メンテナンス時のメッセージ◇



2.21. 禁止事項

本サービスでは以下の行為を禁止しております。

- (1) サーバ作成時に提供した IP アドレスおよびネットワーク定義の変更 (※1)
- (2) サーバ OS の再インストールおよび提供 OS 以外の種類・バージョンのインストール
- (3) 作成したサーバ上で VMware 等の仮想化ソフトウェアを動作させる行為
- (4) 本サービスで必要なコンポーネント(VMware-Tools)の削除、停止、操作および設定変更
※ただし当社推奨バージョンへのバージョンアップは可能
- (5) 不特定多数の第三者が利用でき且つ攻撃手段として転用できるサービスの構築 (※2)

(※1)ネットワーク定義の変更としては以下の内容が禁止事項となります。

- ①IP アドレス変更・削除・追加
例外：クラウドアクセスサービス、BIGLOBE クラウド VPN サービスを利用する場合を除く
- ②ネットマスク変更
- ③デフォルトゲートウェイ変更・削除
- ④スタティックルート追加
例外：クラウドアクセスサービス、BIGLOBE クラウド VPN サービスを利用する場合を除く
- ⑤BIGLOBE にて追加した OS の Firewall ポリシー変更 (Windows Firewall、iptables、firewalld)
詳細は下記の補足事項を参照
- ⑥ソフトウェア VPN 製品の導入 (例：PacketiX VPN、OpenVPN 等)
例外：IP Address 設定を変更しない製品に限り導入可能
- ⑦OS の機能を利用したソフトウェア VPN の利用
例外：IP Address 設定を変更しない製品に限り利用可能
- ⑧DHCP Client の無効化
- ⑨NTP サーバのアドレス削除
例外：NTP サーバの個別設定変更は可能
- ⑩MAC アドレス変更
- ⑪サーバのネットワークインターフェースの停止、無効化
例外：BIGLOBE クラウド VPN サービスを利用する場合を除く
- ⑫ (CentOS 6、Red Hat Enterprise Linux 6(※)対象)「device_mod」パッケージ削除
- ⑬ (CentOS 6、Red Hat Enterprise Linux 6(※)対象)以下のシンボリックリンクの削除
「/etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules -> /dev/null」
- ⑭プライベートネットワーク-グローバルネットワーク間のブリッジ(L2)接続
- ⑮ (CentOS 6、Red Hat Enterprise Linux 6(※)対象)「route6_check」パッケージの削除
- ⑯ (CentOS 7、AlmaLinux 8、Red Hat Enterprise Linux 7/8 対象)「route_add」パッケージの削除
- ⑰ (CentOS 7、AlmaLinux 8、Red Hat Enterprise Linux 7/8 対象)「device_mod7」パッケージの削除
- ⑱設定済のリポジトリ設定の削除
- ⑲VRRP の利用禁止<具体的な禁止操作例>
 - ◆ Linux
 - /etc/sysconfig/network IPV6_AUTOCONF=no 左記の行の変更禁止
 - /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0, ifcfg-eth1 ファイル全体の変更禁止
 - /etc/default/grub 内の GRUB_CMDLINE_LINUX の行の末尾にある
"net.ifnames=0 biosdevname=0" 部分の削除を禁止

◆ Windows

- “ローカルエリア接続” “ローカルエリア接続 2” の IP アドレス 変更禁止

※ただしサーバイメージ持込後、及びグローバル IP アドレス追加後のネットワーク設定を行う場合は除きます。

(※2)以下のサービス・アプリケーションをサーバ上で動作させることを禁止します。

- ①オープンリゾルバ(再帰的な問い合わせを受け付ける DNS 設定)
- ②オープンリレーメールサーバ(メールの第三者中継機能)
- ③公開プロキシサーバ 等

補足:サーバのアクセス制御について

作成直後のサーバには、OS 標準の iptables、firewalld、TCP Wrapper、Windows ファイアウォールに以下のインバウンドアクセスが許可されています。新規設定追加・既存設定変更は可能です。ただし、既存設定を変更した場合、一部弊社サービスを利用できません。変更による影響を確認された上でお客様責任にて実施してください。

◆ Linux5,6 系

設定先	初期状態の許可設定		拒否・変更による影響
	ポート/プロトコル	アドレス	
iptables	TCP22 番 (SSH)		
	IP50、51 番		IPSec が利用できなくなる場合があります。
	ICMP		
	ループバック		Linux システム通信で利用しているため、OS の動作が異常になる場合があります。

◆ Linux7,8 系

設定先	初期状態の許可設定		拒否・変更による影響
	サービス	アドレス	
firewalld	SSH		
	IPSec		IPSec が利用できなくなる場合があります。
	ICMP		
	ループバック		Linux システム通信で利用しているため、OS の動作が異常になる場合があります。

◆ Windows

設定先	初期状態の許可設定		拒否・変更による影響
	ポート/プロトコル	アドレス	
Windows	TCP3389 番 (RDP)		
ファイアウォール	ICMPv4/ICMPv6		

卷末 別紙

3. 別紙

3.1. SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法の例

作成した SSH 鍵「*.pem」は、クライアントパソコンにインストールした SSH 対応アプリケーションで「秘密鍵」として登録し、サーバへ接続します。「*.pem」ファイルのダウンロードは、1度しか行えないので、必ずバックアップをとり、大切に保管してください。また、鍵作成時に指定したパスフレーズは、鍵の登録時、およびサーバ接続時に必要なので、忘れないようご注意ください。

SSH 接続方法は以下をご参考ください。

- ※ 以下は、ssh 接続用ソフト「PuTTY」による手順です。
- ※ Linux に root でログインする場合、root パスワードの入力が必要となります。BIGLOBE クラウドホスティングで提供するサーバは root の初期パスワードを通知しておりません。サーバ作成時に指定した SSH 鍵を使用して SSH 接続を行い、root パスワードを変更してください。

3.1.1. SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法

- ① ssh 接続用ソフト(PuTTY)をインストールする。複数のアプリケーションファイルがセットアップされる。
- ② 「puttygen.exe (PuTTY 鍵生成)」を実行する。
- ③ Conversions(変換)を指定し、保存した*.pem ファイルをインポートする。
- ④ ダッシュボードで指定した「パスフレーズ」を入力する。
- ⑤ 「Save private key」(秘密鍵の保存)をクリックし、適当な名前を付けて任意の path に保存する。
拡張子「.ppk」のファイルが作成される。(図1)
- ⑥ 「PuTTY.exe」を起動し、「セッション」に作成したサーバの IP アドレスを(図2)、「接続データ」でユーザ名に root を(図3)、「SSH-認証」で⑤で保存した「*.ppk」ファイルを(図4)指定し、接続する。
- ⑦ パスワードを聞いてくるので、ssh 鍵作成時に指定したパスフレーズを指定する。(図5)

図1

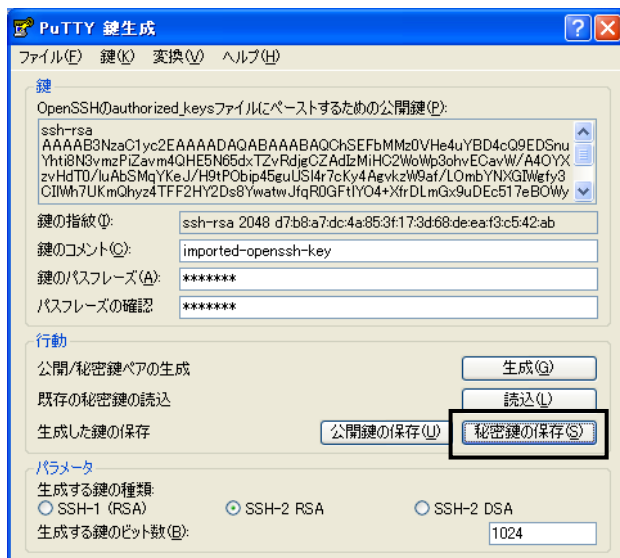


図2

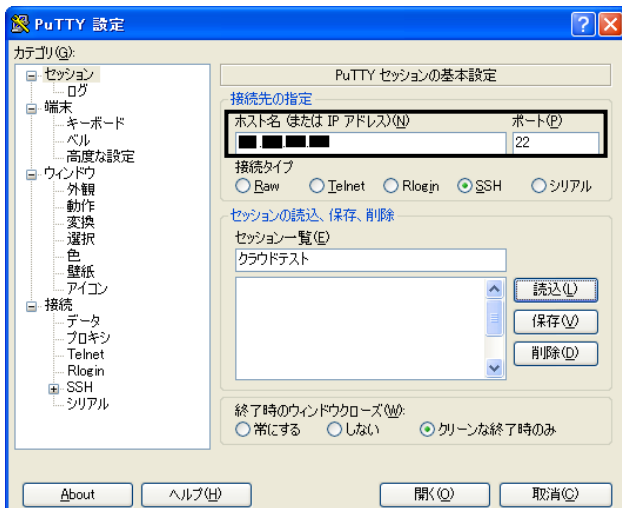


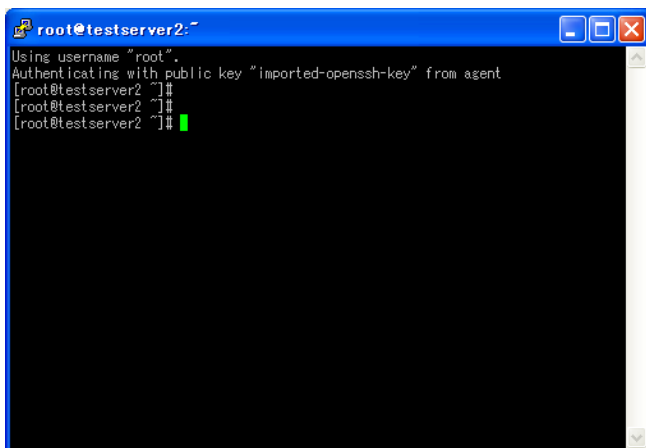
図3



図4



図5



※ Putty のダウンロード

<https://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/latest.html>

3.1.2. ログインした Linux サーバから別の Linux サーバへ SSH コマンドを使用して接続する方法

- ① はじめにログインするサーバ(以下ログイン元サーバ)および、ログイン元サーバから接続するサーバ(以下ログイン先サーバ)について「3.1.1. SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法」の①～⑤を実施する。
- ② 「pageant.exe」を起動し、「Add Key」をクリックしてログイン先サーバの「*.ppk」ファイルを追加する(図6)。
- ③ 「PuTTY.exe」を起動し、ログイン元サーバに対して「3.1.1. SSH 鍵の作成と Linux サーバへの接続方法」の⑥⑦と同様の設定を行う。この際、「エージェントフォワーディングを認める」にチェックを入れて、接続する(図7)。
- ④ SSH コマンドでログイン先サーバの IP アドレスを指定し、接続する。(図8)

図6

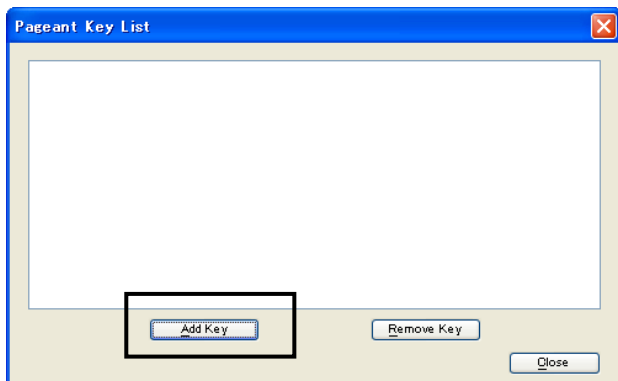


図7

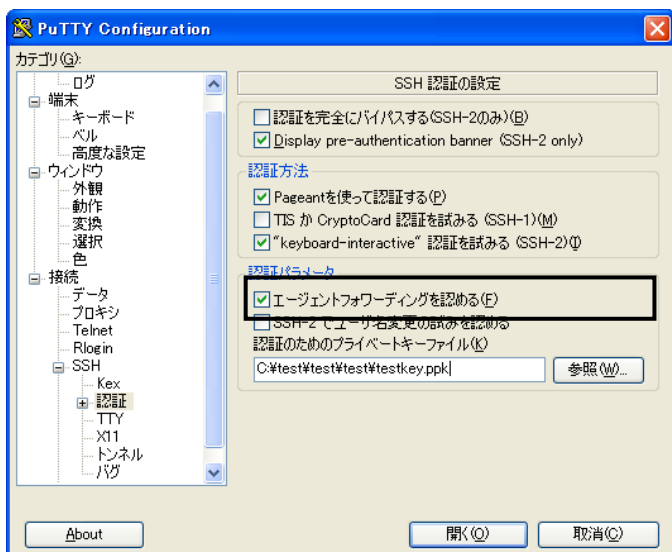
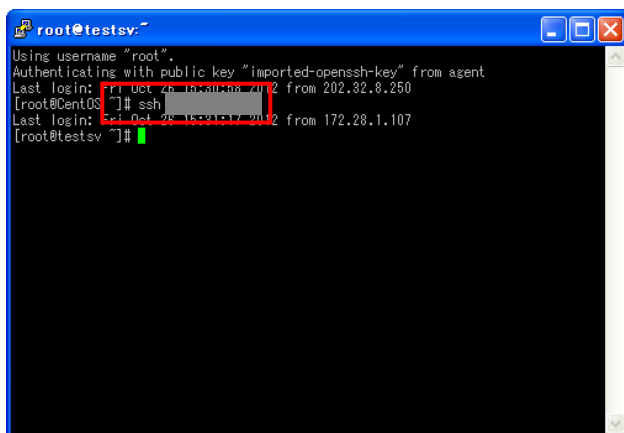


図8



3.2. 追加ディスクのマウント／アンマウント

3.2.1. 追加ディスクのマウント手順

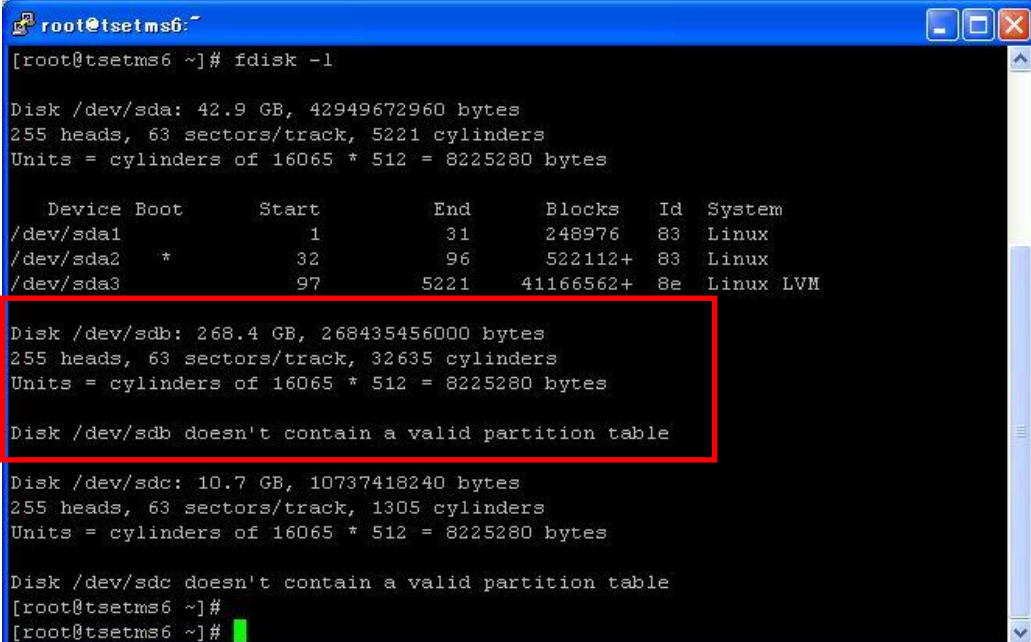
コントロールパネルから追加したディスクは、パーティションの拡張や作成など OS 上の作業を行ってから利用可能となります。以下手順を参考の上、設定作業を行ってください。

※本手順では、一例として fdisk を使用して、パーティションを作成しています。

① CentOS、AlmaLinux 及び Red Hat Enterprise Linux の場合

1. 追加を行ったサーバを起動し、ログインします。
2. ディスク情報を表示します。この例では追加したディスクは /dev/sdb として認識されています。

```
# fdisk -l
```



```
root@tsetms6:~# fdisk -l
```

Device	Boot	Start	End	Blocks	Id	System
/dev/sda1		1	31	248976	83	Linux
/dev/sda2	*	32	96	522112+	83	Linux
/dev/sda3		97	5221	41166562+	8e	Linux LVM

```
Disk /dev/sdb: 268.4 GB, 268435456000 bytes
255 heads, 63 sectors/track, 32635 cylinders
Units = cylinders of 16065 * 512 = 8225280 bytes

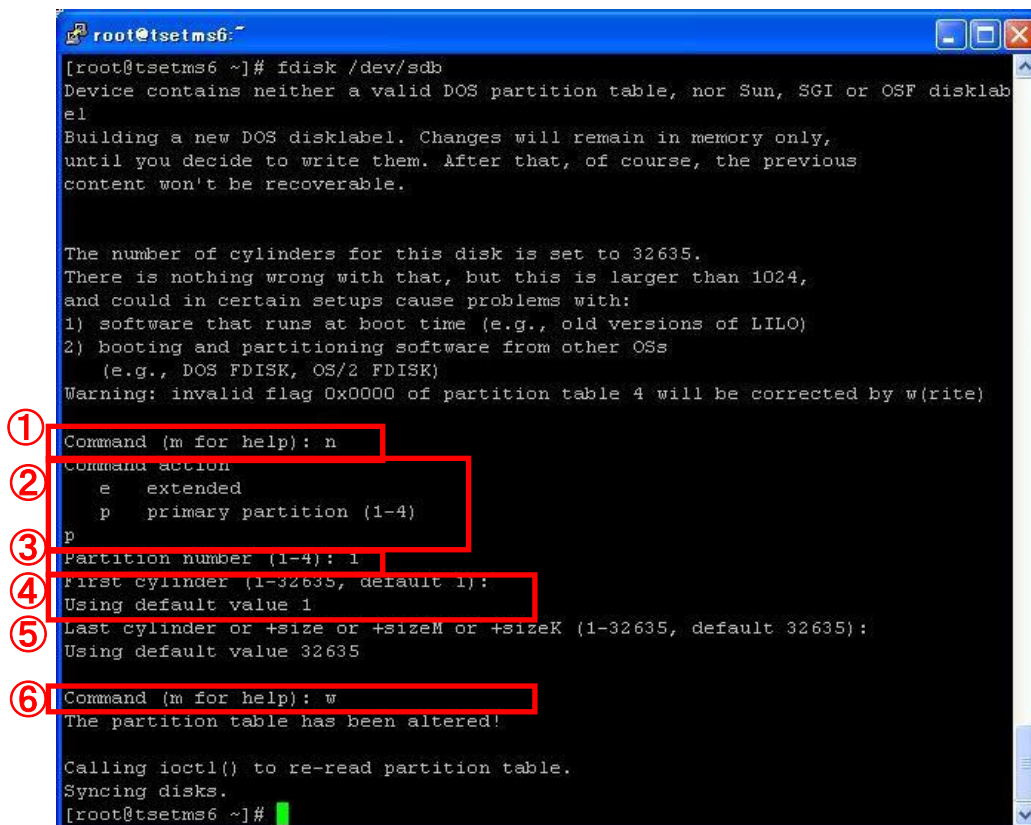
Disk /dev/sdb doesn't contain a valid partition table

Disk /dev/sdc: 10.7 GB, 10737418240 bytes
255 heads, 63 sectors/track, 1305 cylinders
Units = cylinders of 16065 * 512 = 8225280 bytes

Disk /dev/sdc doesn't contain a valid partition table
[root@tsetms6 ~]#
[root@tsetms6 ~]#
```


3. パーティションを作成するために、fdisk コマンドを起動します。

```
# fdisk /dev/sdb
```



- ①n コマンドで新しいパーティションを作成します。
- ②基本パーティションならば p、拡張パーティションならば e を入力します。ここでは p を入力します。
- ③パーティションナンバーの入力要求です。ここでは 1 を入力します。
- ④開始シリンダの入力要求です。デフォルトで空き領域の先頭シリンダ番号が指定されますので、通常はそのまま Enter を押します。
- ⑤終了シリンダの入力要求です。デフォルトで割り当て可能な最大シリンダ番号が指定されますので、通常はそのまま Enter を押します。
- ⑥w コマンドでパーティション情報を書き込み、終了します。

d	パーティションを削除する
m	利用可能なコマンドを一覧する
n	新しいパーティションを作成する
p	パーティション情報を表示する
q	パーティション情報を保存せずに終了する
w	パーティション情報を書き込んで、終了する

表1 主な fdisk コマンド一覧

4. 作成したパーティションをシステムに認識させるためサーバの再起動を行います。

5. パーティション上にファイルシステムを作成します。ファイルシステムはお客様で選択していただけます(ext4、ext3、xfs 等)。この例では ext3 形式で作成します。

```
# mkfs -t ext3 /dev/sdb1
```

```

root@tsetms6:~# mkfs -t ext3 /dev/sdb1
mke2fs 1.39 (29-May-2006)
Filesystem label=
OS type: Linux
Block size=4096 (log=2)
Fragment size=4096 (log=2)
32768000 inodes, 65535151 blocks
3276757 blocks (5.00%) reserved for the super user
First data block=0
Maximum filesystem blocks=4294967296
2000 block groups
32768 blocks per group, 32768 fragments per group
16384 inodes per group
Superblock backups stored on blocks:
    32768, 98304, 163840, 229376, 294912, 819200, 884736, 1605632, 2654208,
    4096000, 7962624, 11239424, 20480000, 23887872

Writing inode tables: done
Creating journal (32768 blocks): done
Writing superblocks and filesystem accounting information: done
This filesystem will be automatically checked every 21 mounts or
180 days, whichever comes first. Use tune2fs -c or -i to override.
root@tsetms6:~#
    
```

※ディスク容量によりフォーマットに時間がかかる場合があります。

6. ファイルシステムのマウントポイントを作成します。この例では「/mnt/disk1」を作成します。

```
# mkdir /mnt/disk1
```

7. ファイルシステムがシステム起動時に自動マウントされるよう設定を行います。

```
# vi /etc/fstab
```

以下の通り、/etc/fstab にパーティション情報を追加します。

```

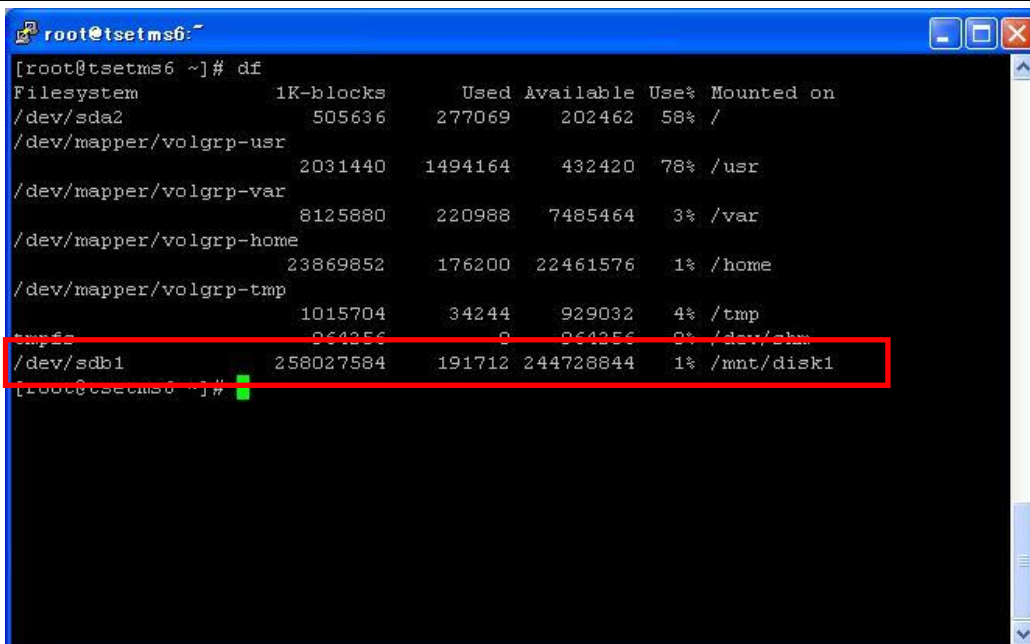
root@tsetms6:~# cat /etc/fstab
LABEL=/          /              ext3            defaults        1 1
/dev/volgrp/usr  /usr           ext3            defaults        1 2
/dev/volgrp/var  /var           ext3            defaults        1 2
/dev/volgrp/home /home          ext3            defaults        1 2
/dev/volgrp/tmp  /tmp           ext3            defaults        1 2
tmpfs            /dev/shm      tmpfs          defaults        0 0
devpts           /dev/pts      devpts         gid=5,mode=620 0 0
sysfs            /sys          sysfs          defaults        0 0
proc             /proc         proc           defaults        0 0
/dev/volgrp/swap /swap         swap           defaults        0 0
/dev/sdb1        /mnt/disk1    ext3           defaults        1 2
~
~
~
~
~
~
~
~
-- INSERT --
    
```

8. /etc/fstab に追加したファイルシステムを手動でマウントします。

```
# mount -a
```

9. df コマンドで正しくマウントされているか確認します。

```
# df
```



```
root@tsetms6:~# df
Filesystem      1K-blocks    Used Available Use% Mounted on
/dev/sda2        505636      277069   202462   58% /
/dev/mapper/volgrp-usr
/dev/mapper/volgrp-var
/dev/mapper/volgrp-home
/dev/mapper/volgrp-tmp
tmpfs            1015704      34244    929032    4% /tmp
/dev/sdb1       258027584   191712  244728844  1% /mnt/disk1
root@tsetms6:~#
```

【ご注意】

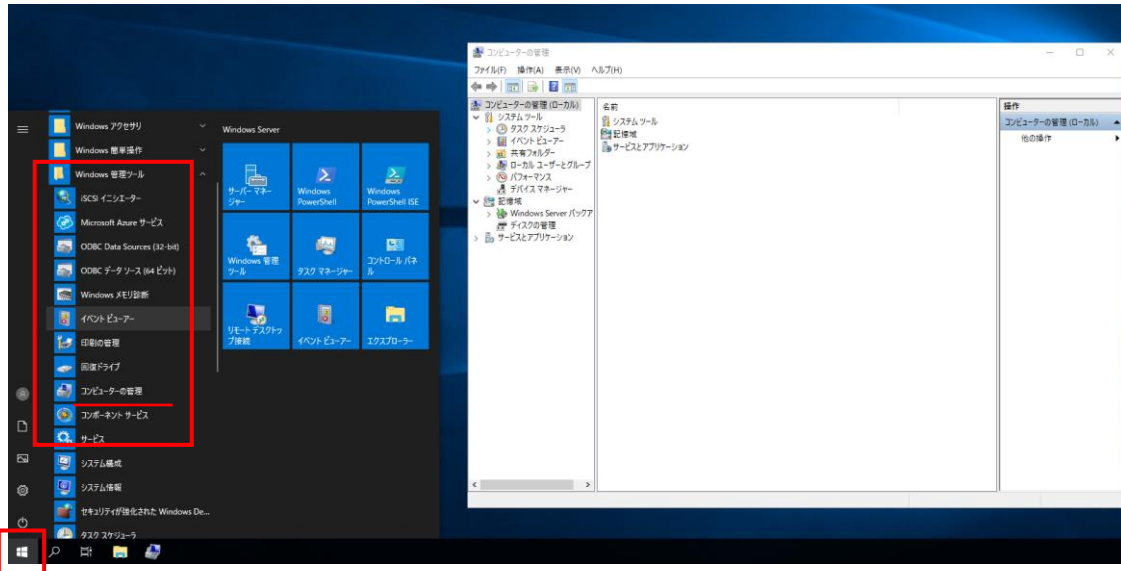
コントロールパネルからディスクの削除を実施する場合、事前に/etc/fstab からディスクのパーティション情報(手順 7 で追加した情報)を削除し、自動マウントを解除してください。

また、削除に伴いデバイスファイル名(/dev/sdb など)が変更される場合があります。必要に応じて他のディスクのパーティション情報の変更を行ってください。

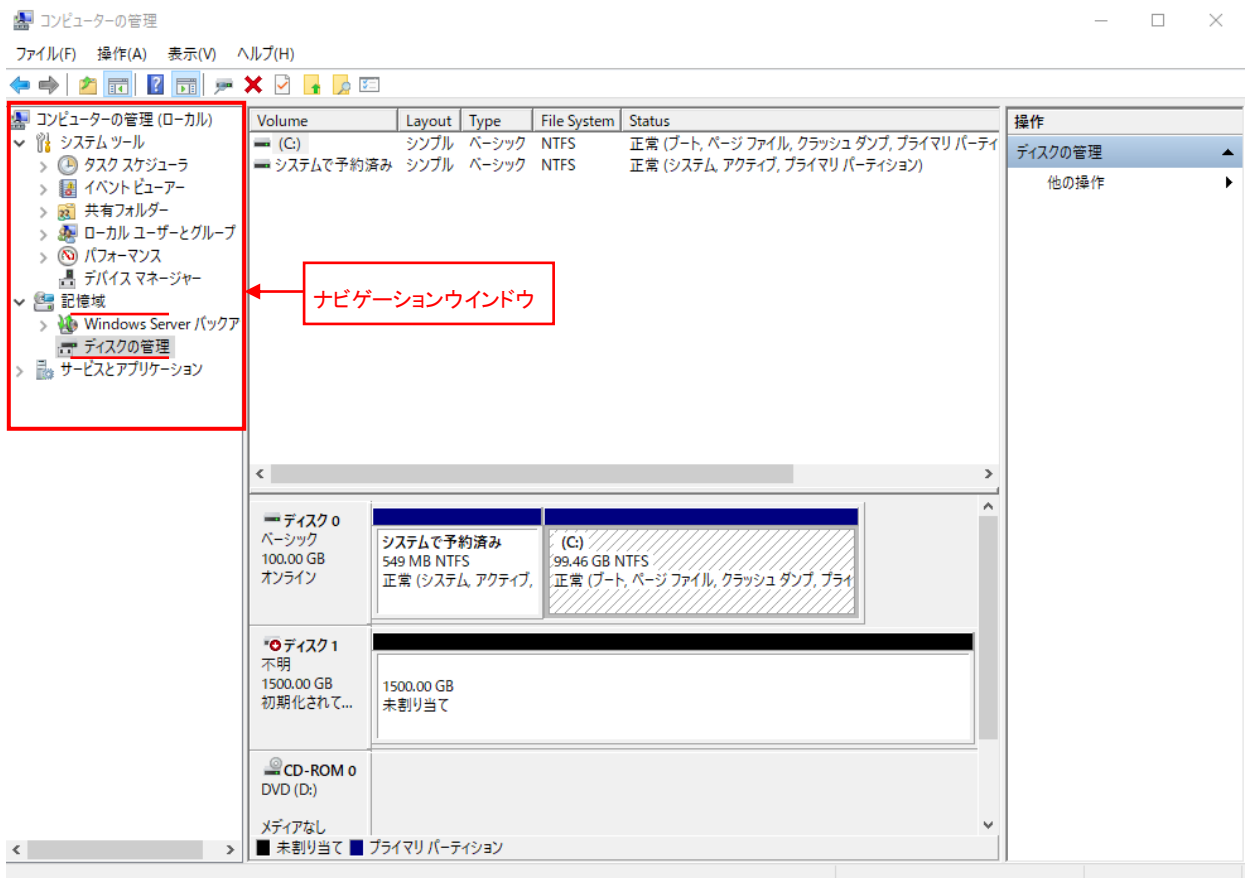
自動マウントの解除、変更前にコントロールパネルからディスクの削除を実施した場合、サーバにアクセスできなくなります。

② Windows の場合

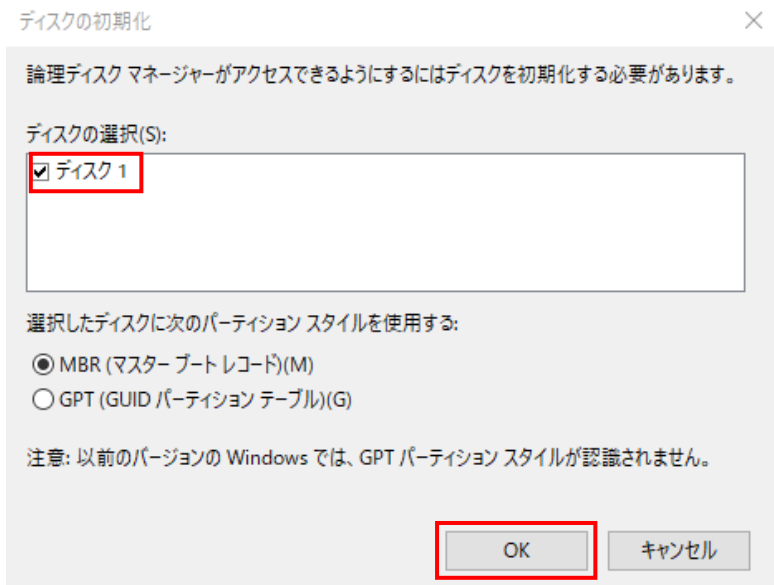
1. ディスクを追加したサーバを起動し、ログインします。
2. 「スタートメニュー」→「Windows 管理ツール」→「コンピューターの管理」をクリックします。



3. 追加したディスクを確認します。ナビゲーションウィンドウの「記憶域」の下にある「ディスクの管理」を開きます。

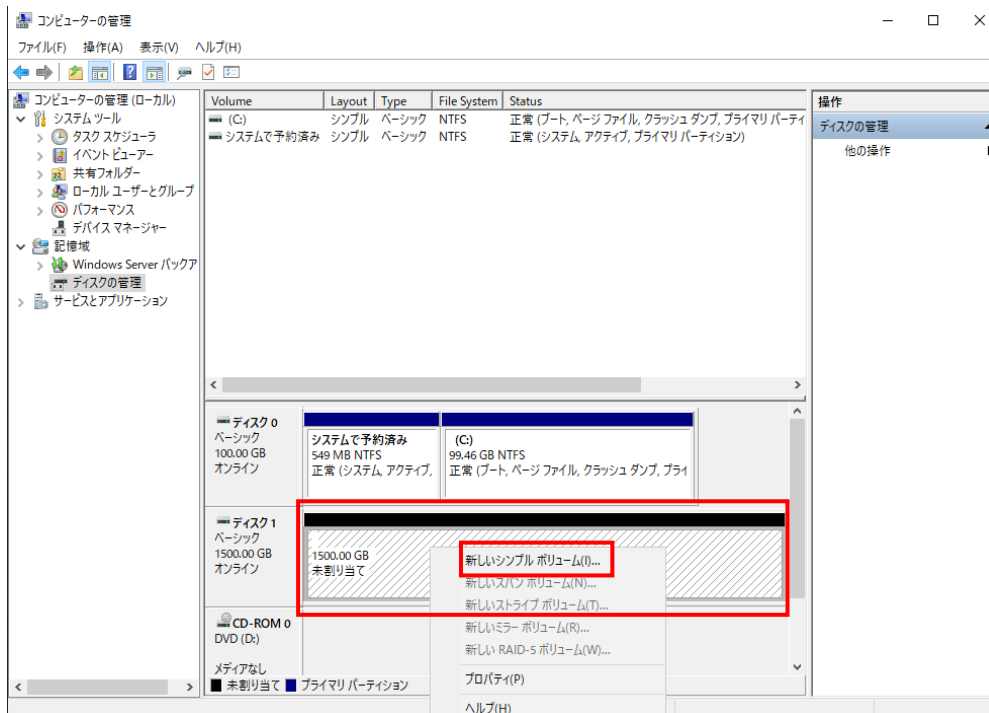


4.ディスクの初期化画面が自動で表示されます。初期化するディスクにチェックが入っていることを確認し、OK をクリックします。
パーティションスタイルはここでは MBR を選択します。

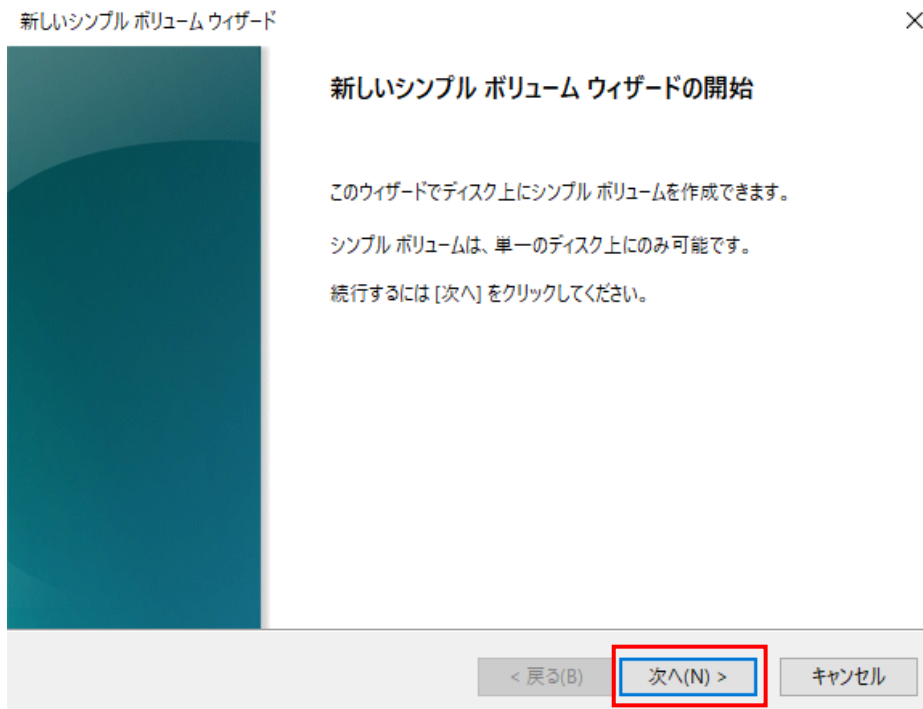


※自動でディスクの初期化画面が出てこない場合、サーバーマネージャー画面から初期化するディスクを右クリックしオンラインにしてください。その後、再度ディスクを右クリックしディスクの初期化を選択してください。

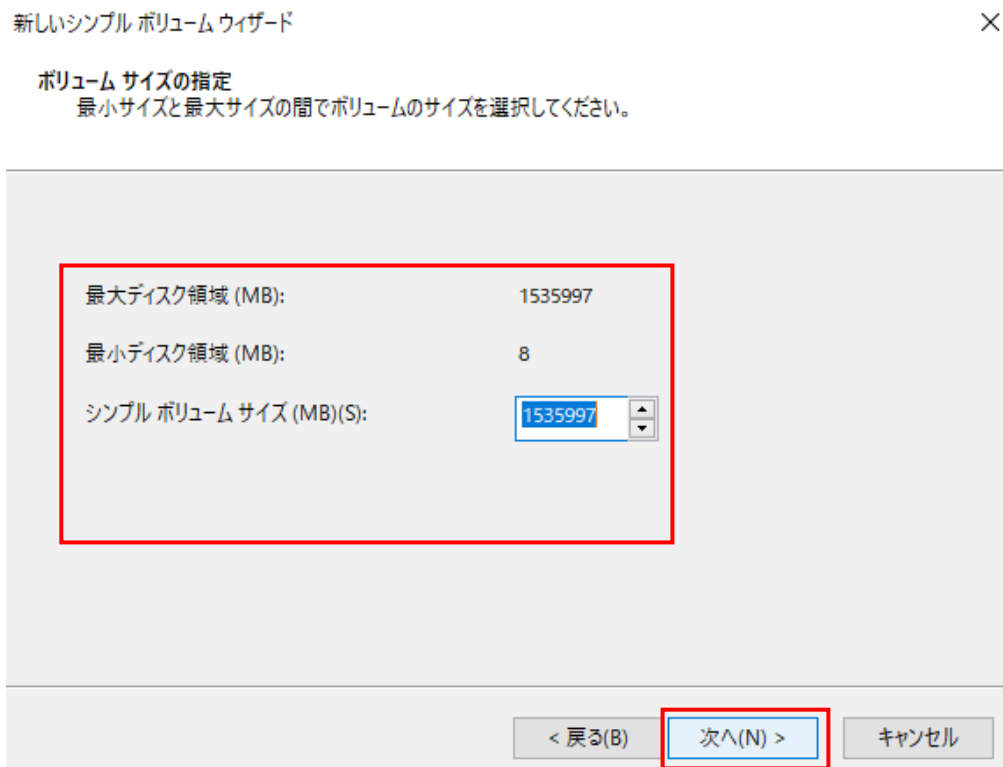
5.未割り当ての領域内で右クリックし、新しいシンプルボリュームを選択します。



6.ウィザードが開始されますので、「次へ(N) >」をクリックします。



7.ボリュームサイズを設定し、「次へ(N) >」をクリックします。



8.ドライブ文字またはパスの割り当てを行い、「次へ(N) >」をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード ×

ドライブ文字またはパスの割り当て
アクセスを簡単にするために、ドライブ文字またはドライブ パスをパーティションに割り当てることができます。

次のドライブ文字を割り当てる(A): E ▼

次の空の NTFS フォルダーにマウントする(M):
 参照(R)...

ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない(D)

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

9.パーティションのフォーマット設定を確認し、「次へ(N) >」をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード ×

パーティションのフォーマット
このパーティションにデータを格納するには、最初にパーティションをフォーマットする必要があります。

このボリュームをフォーマットするかどうかを選択してください。フォーマットする場合は、使用する設定を選択してください。

このボリュームをフォーマットしない(D)

このボリュームを次の設定でフォーマットする(O):

ファイル システム(F): NTFS ▼

アロケーション ユニット サイズ(A): 既定値 ▼

ボリューム ラベル(V): ボリューム

クイック フォーマットする(P)

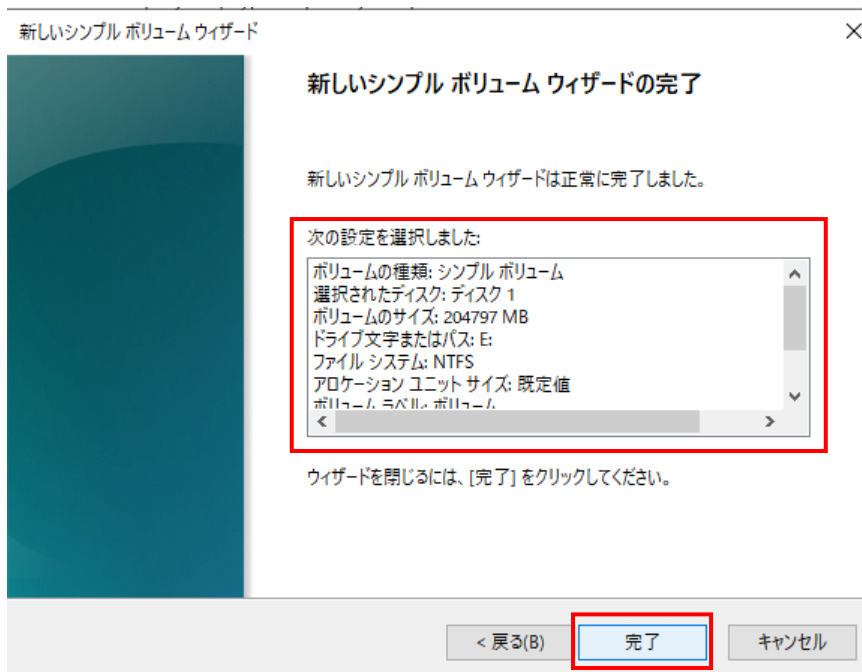
ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする(E)

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

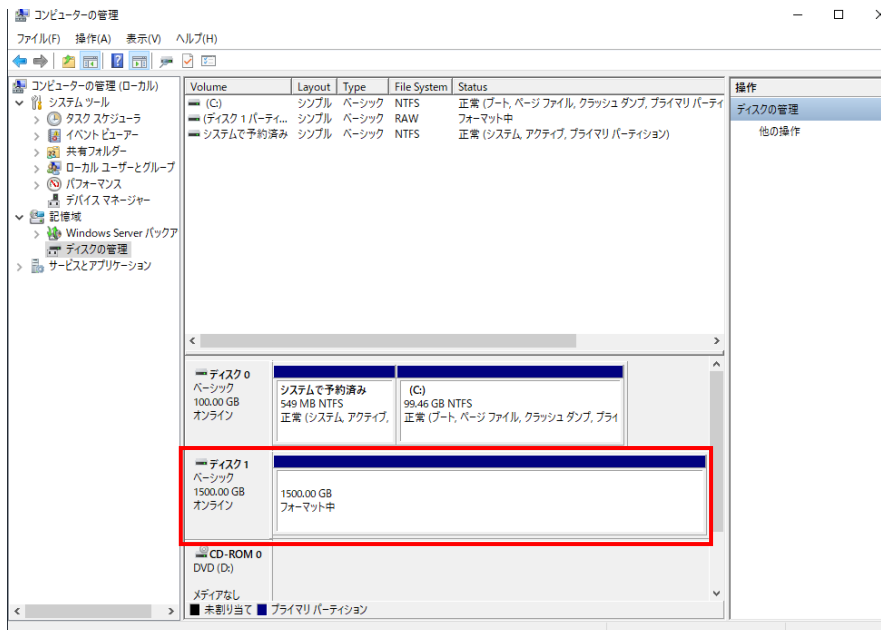
【ご注意】

- パーティションのフォーマットの際は必ず「クイック フォーマットする(P)」にチェックをつけて行ってください。クイック フォーマットを選択しないと、ディスク領域が適正に割り当てられない場合があります。

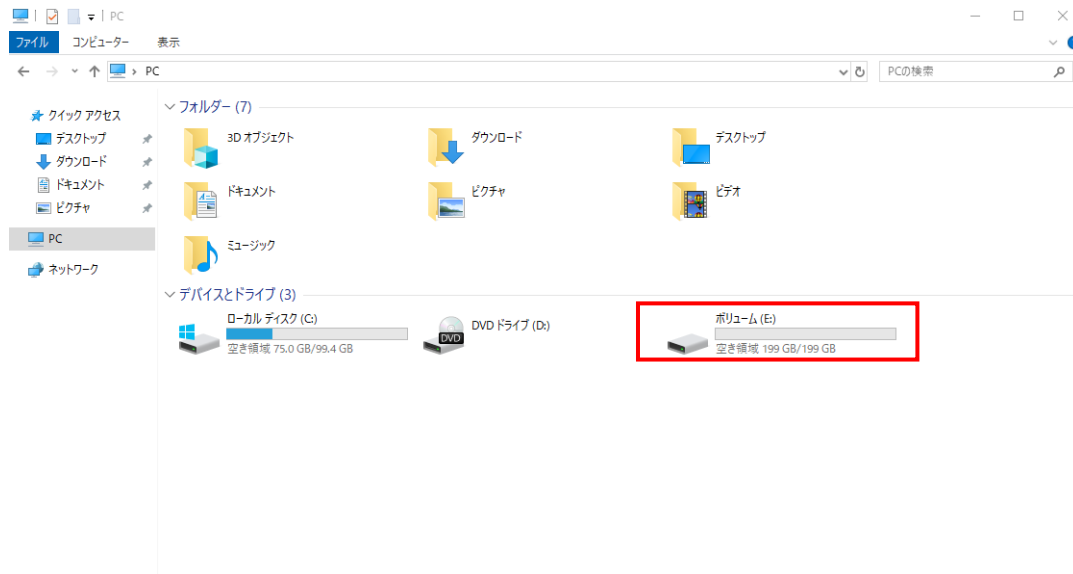
10.設定内容を確認し、「完了」をクリックします。



11.フォーマットが始まりますので完了すれば作業終了です。



12. コンピューターを開き、追加したディスクを確認します。



3.2.2. 追加ディスクのアンマウント手順

コントロールパネルから、追加ディスクの切断を行う場合、自動マウント設定を解除しておく必要があります。以下手順を参考の上、設定作業を行って下さい。

- 1.追加ディスクを切断したいサーバを起動し、ログインします。
- 2.ディスクのマウント状況を確認します。この例では/dev/sdb1 がマウントされている追加ディスクです。

```
# df
```

```

[root@testsv ~]# df
Filesystem            1K-blocks      Used Available Use% Mounted on
/dev/mapper/VolGroup00-LogVol100
36439624      2442668   32116076    8% /
/dev/sda1            101086       17654    78213   19% /boot
tmpfs               447524         0    447524    0% /dev/shm
/dev/sdb1           10317828    154236   9639476    2% /mnt/disk1
  
```

- 3.現在のマウント設定を確認します。

※ここで追加ディスクが自動でマウントするように設定されていない場合は以降の手順は不要です。

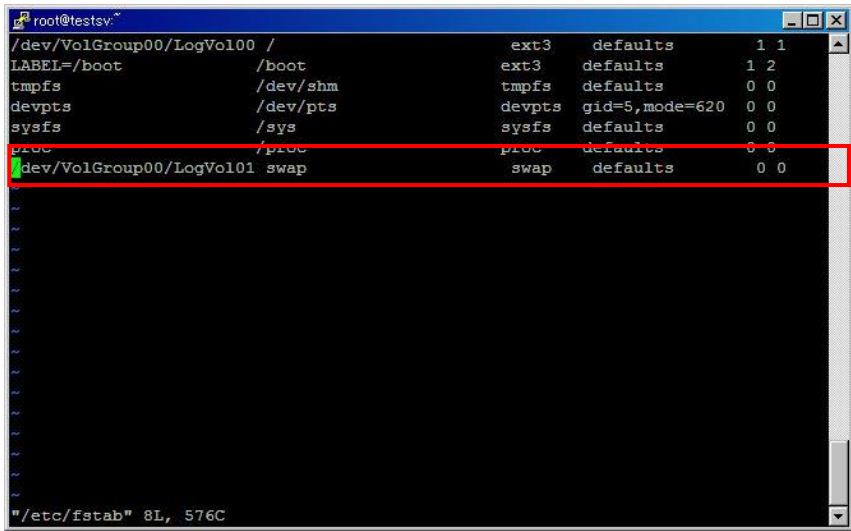
```
# cat /etc/fstab
```

```

[root@testsv ~]# cat /etc/fstab
/dev/VolGroup00/LogVol100 / ext3 defaults 1 1
LABEL=/boot /boot ext3 defaults 1 2
tmpfs /dev/shm tmpfs defaults 0 0
devpts /dev/pts devpts gid=5,mode=620 0 0
sysfs /sys sysfs defaults 0 0
proc /proc proc defaults 0 0
/dev/VolGroup00/LogVol101 swap swap defaults 0 0
/dev/sdb1 /mnt/disk1 ext3 defaults 0
0
  
```

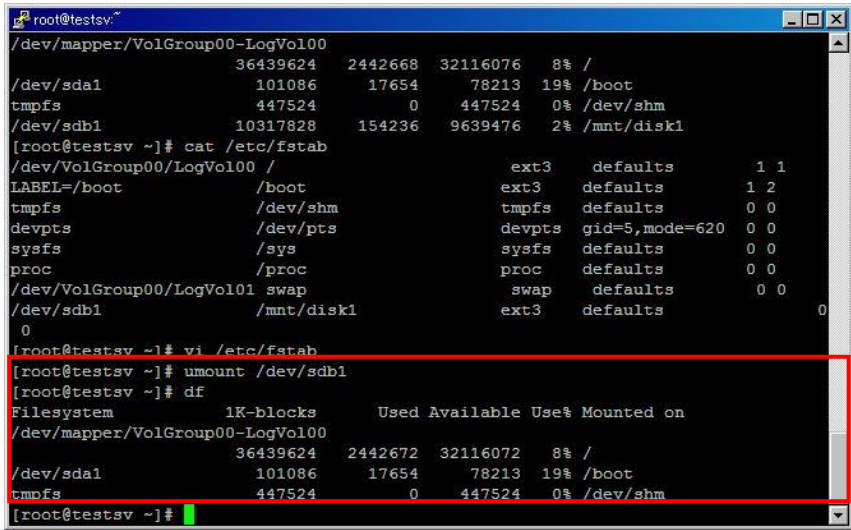
4. 切断するディスクのマウント設定を vi コマンドなどを使用して削除またはコメントアウトし自動でマウントしないように設定します。

```
# vi /etc/fstab
```



5. マウント中の追加ディスクをアンマウントします。

```
# umount /dev/sdb1
```



-
- 【ご注意】**
- 切断したディスク以外に追加ディスクがある場合、デバイス名がずれることがあります。自動マウント設定されているディスクのデバイス名がずれた場合、正常にサーバを起動することができなくなりますので必要に応じて自動マウント設定を見直してください。
 - Windows の場合は、マウント設定の解除は不要です。
-

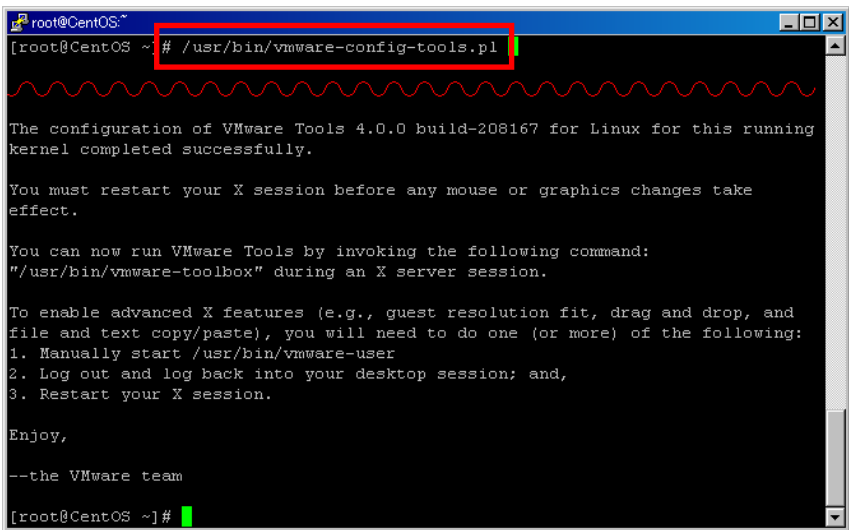
3.3. ゲスト OS カーネルアップデート

CentOS5 及び RHEL5 のゲスト OS カーネルアップデートを実施した場合、以下のコマンドを実行してください。なおコマンド実行後はサーバ再起動を実施してください。本操作を行わなかった場合、コントロールパネルから制御できなくなる場合があります。※CentOS6、RHEL6、CentOS7、RHEL7、AlmaLinux8、RHEL8 の場合、本操作は不要になります。

① CentOS5 及び Red Hat Enterprise Linux5 の場合

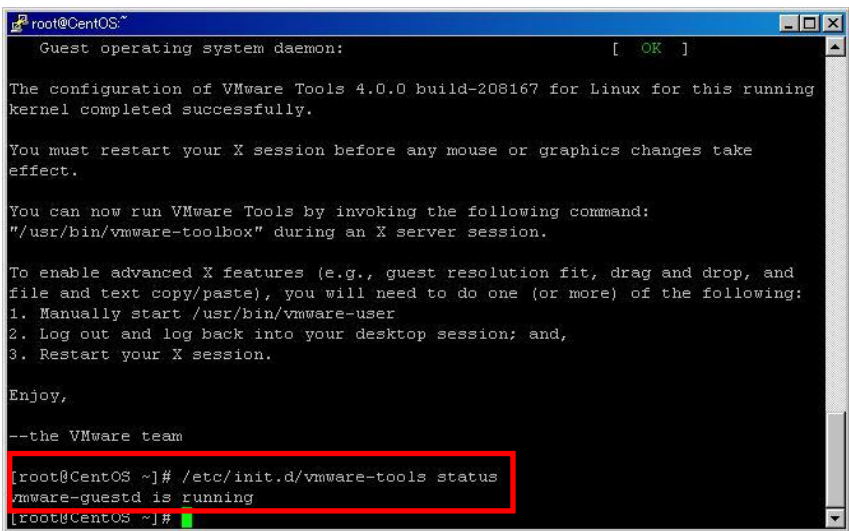
1. VMware Tools 設定コマンドの実行

```
# /usr/bin/vmware-config-tools.pl
```



2. VMware Tools 実行状況の確認

```
# /etc/init.d/vmware-tools status
vmware-guestd is running
```



3.4. VMwareTools の再インストール手順

CentOS、AlmaLinux 及び RHEL のゲスト OS の VMwareTools を誤って削除してしまった場合、VMwareTools の再インストールを行ってください。本操作を行わなかった場合、コントロールパネルから制御できなくなる場合があります。※CentOS、AlmaLinux 及び RHEL のメジャーバージョン 5、6、7、8 によってコマンド操作が異なります。

Windows Server の VMware Tools を誤って削除してしまった場合、ネットワーク設定が変更されてしまう可能性があります。ネットワーク設定が変更されてしまった場合は、コンソール接続を利用し VMware Tools の再インストールを行った後、ネットワーク設定を行ってください。

VMwareTools のインストール手順については、コントロールパネルのヘルプに掲載しております下記をご覧ください。

- [VMware Tools バージョンアップ手順書 \(Linux 版\)](#)
- [VMware Tools バージョンアップ手順書 \(Windows 版\)](#)

3.5. Microsoft 製品ライセンス認証手順

クラウドホスティングより提供されている Microsoft 製品のライセンスは Microsoft 社の SPLA 契約にて提供しておりますが Microsoft 製品が正規に入手されたものであることを確認する目的で、ご利用開始時に「ライセンス認証(プロダクト アクティベーション)」を行う必要がある場合があります。ライセンス認証画面が表示された場合は、以下の手順に従いご対応をお願いいたします。

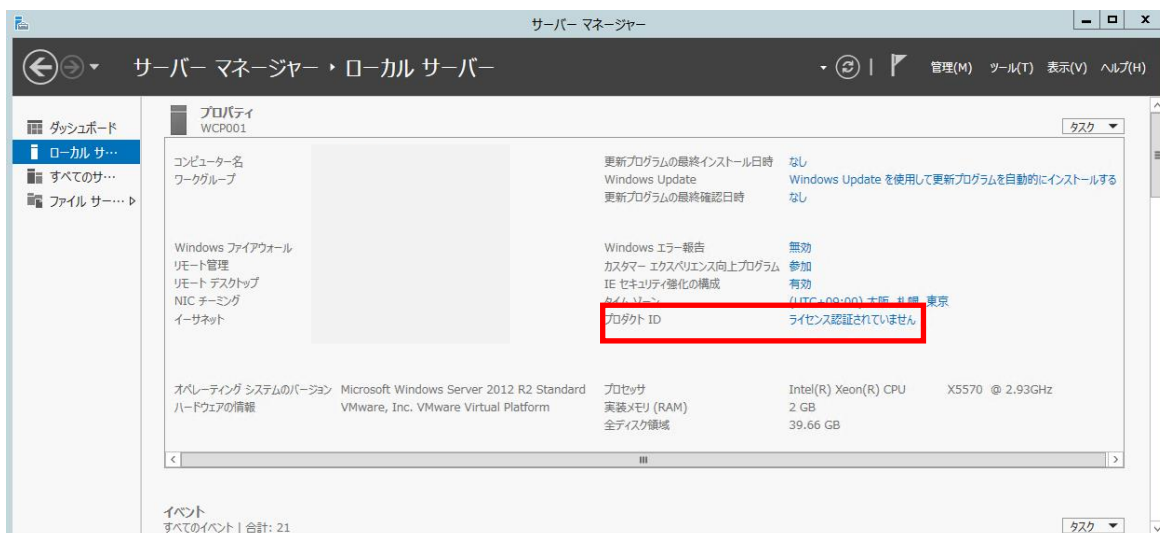
3.5.1. Windows Server の場合

グローバル IP アドレスなしの Windows サーバをサーバ複製機能または、イメージからのサーバ作成機能を使用して作成した場合、Windows ライセンスの自動認証が行われません。そのため、下記手順を参考にライセンス認証を実施ください。

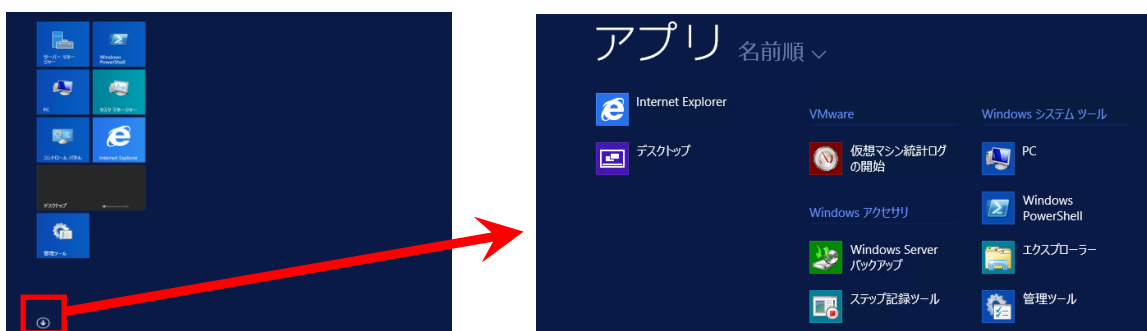
① Windows Server 2012 R2 (64bit) 以降の場合

※画面は Windows Server 2012 R2 のものになります。

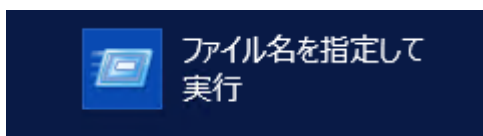
1. サーバーマネージャーを開き、ローカルサーバの構成からプロダクト ID の状況を確認します。
「ライセンス認証されていません」と表示される場合は、「2.」以降の手順を実施してください。



2. スタート画面の左下にある下矢印ボタンを押して、アプリ画面を表示します。

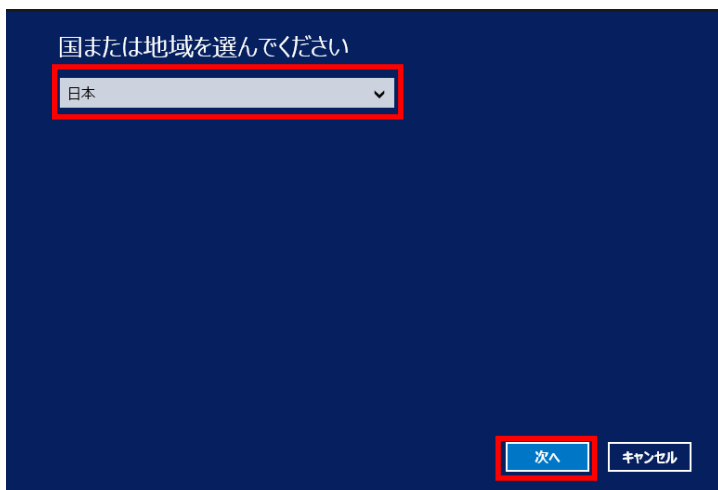


3. アプリの中から「ファイル名を指定して実行」を選択します。



4.ファイル名を指定して実行画面が表示されるので、「SLUI 04」と入力して実行します。

5.国または地域を選択する画面が表示されるので、ドロップダウンリストより「日本」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



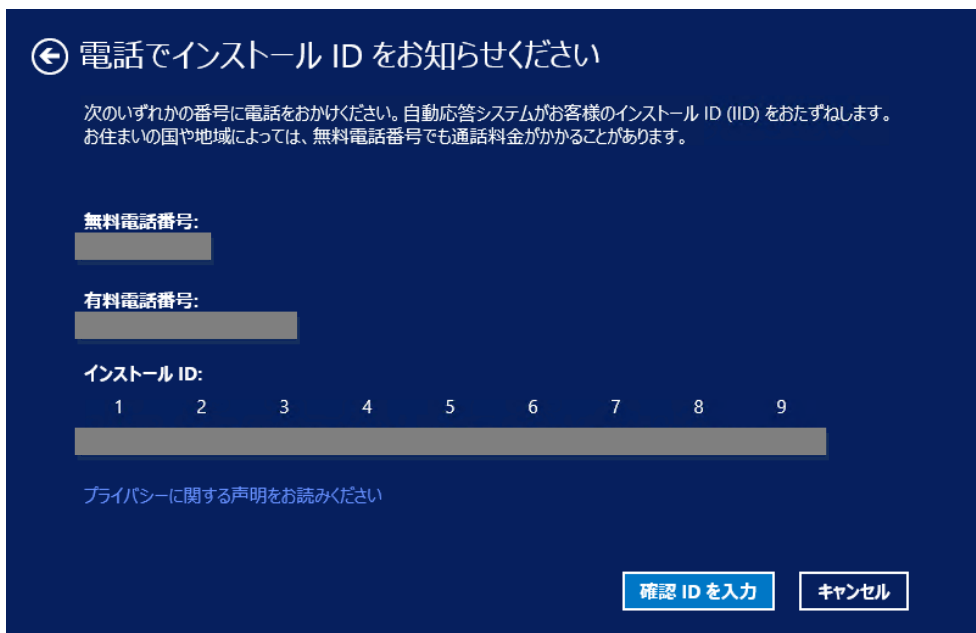
6.画面の指示に従い確認 ID を入力し、ライセンス認証します。

<ライセンス認証の流れ>

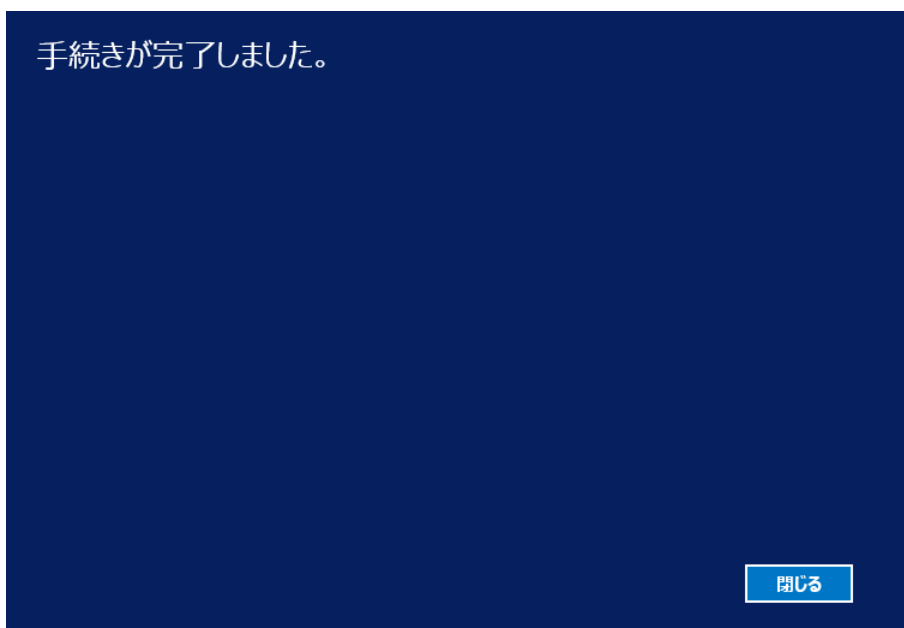
ステップ1:ライセンス認証窓口に電話します。※自動応答システムで繋がります。

ステップ2:電話の指示に従い、表示されたインストール ID をダイヤルプッシュします。

ステップ3:「確認 ID を入力」ボタンを選択後に表示される画面で、通話先より案内された確認 ID を入力、「Windows のライセンス認証」ボタンを選択します。



7 ライセンス認証に成功すると、下記の画面が表示されますので「閉じる」をクリックします。



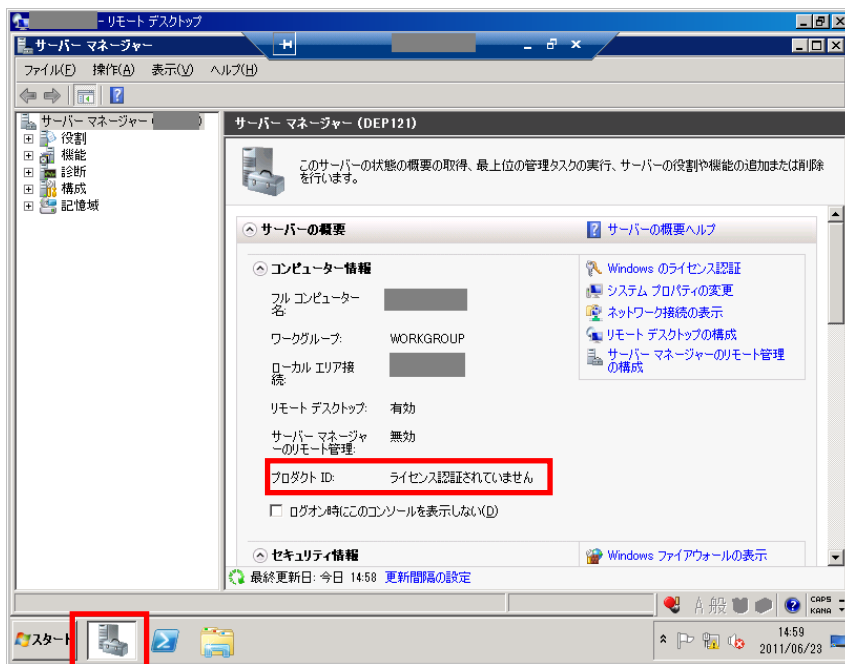
8. サーバーマネージャー画面のプロダクト ID 欄に、「ライセンス認証済み」と表示されていることを確認できれば完了です。



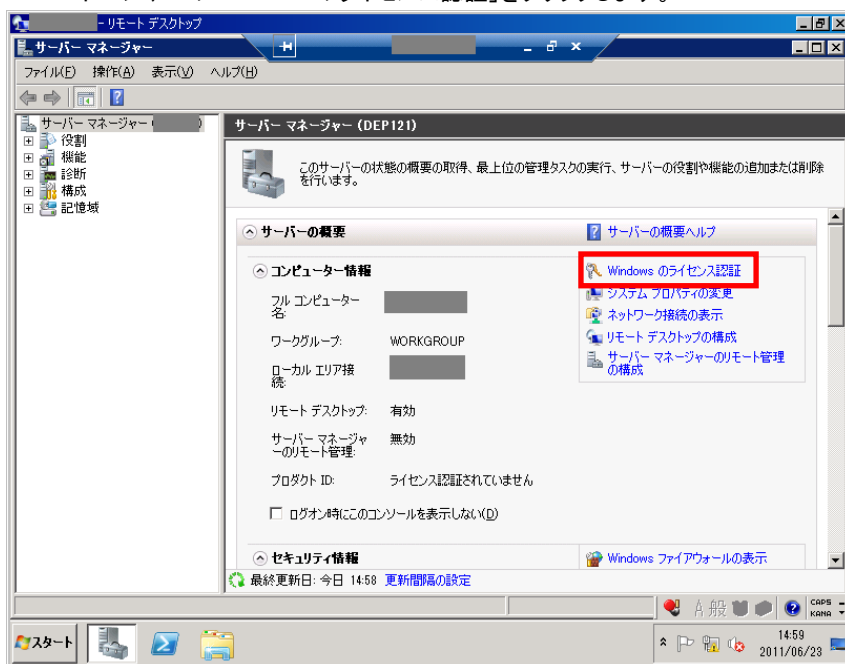
② Windows Server 2008 R2 (64bit) の場合

1. サーバーマネージャーを開き、現在のプロダクト ID の状況を確認します。

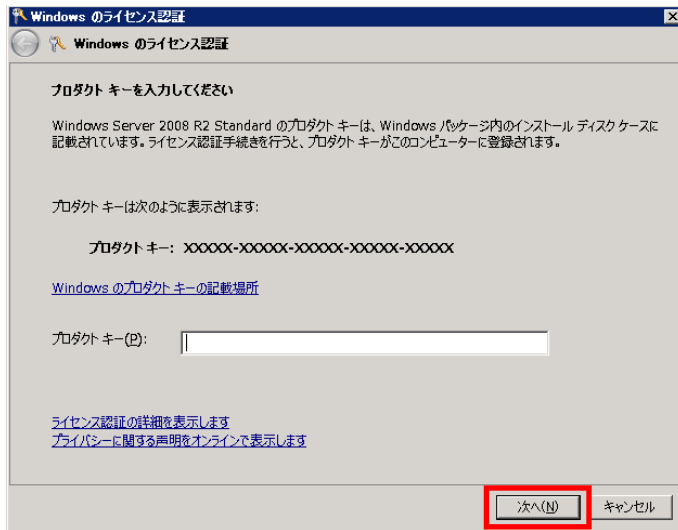
「ライセンス認証されていません」と表示される場合は、「2.」以降の手順を実施してください。



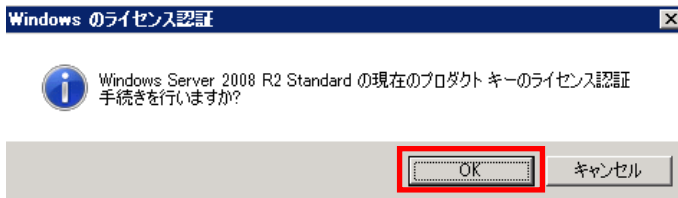
2. サーバーマネージャーの「Windows のライセンス認証」をクリックします。



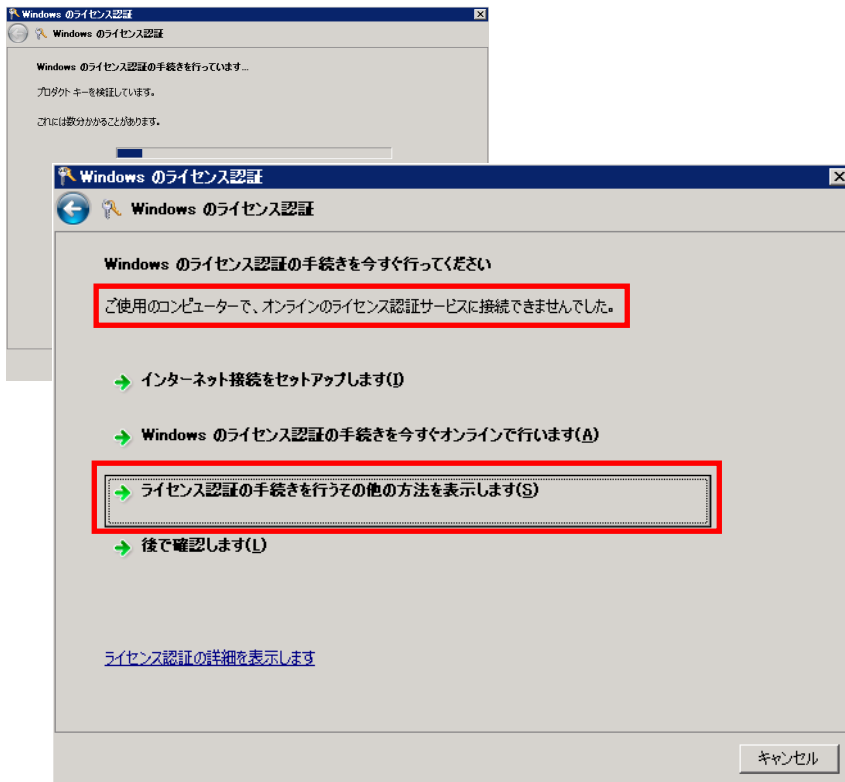
3.プロダクトキーは入力せず、「次へ(N)」をクリックします。



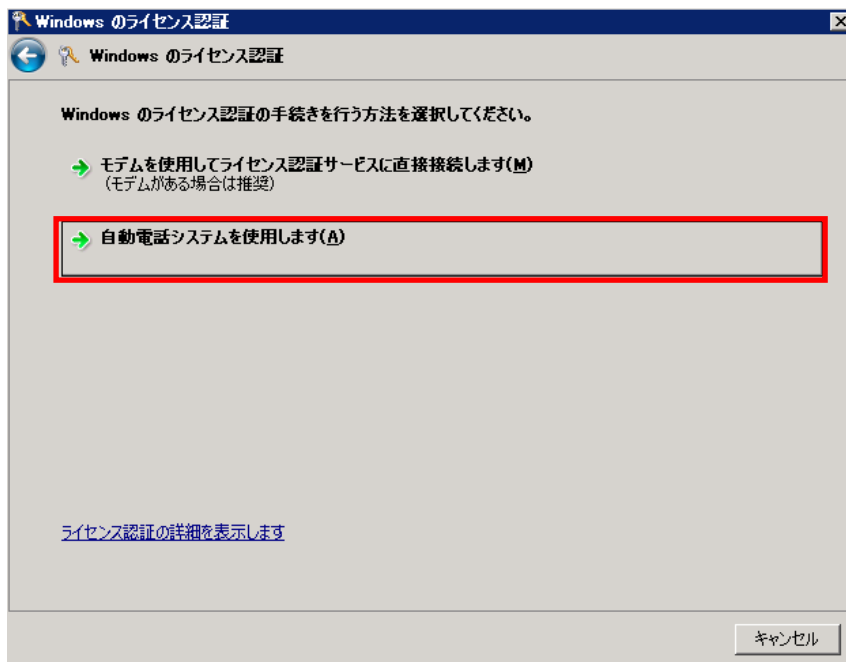
4.認証手続きを継続するか確認画面が出ますので、「OK」をクリックします。



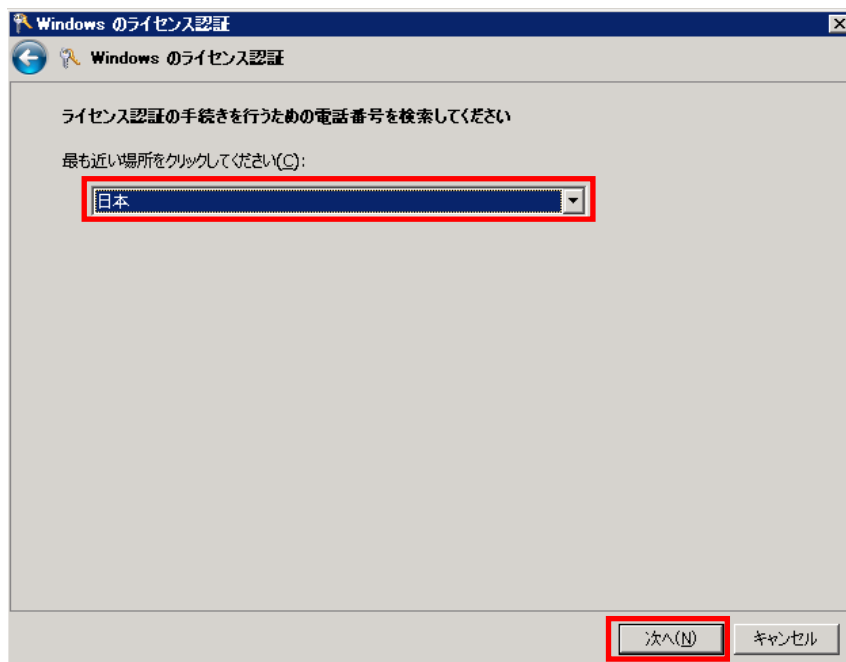
5.自動での認証はインターネットに接続できないため失敗し、認証手続き選択画面が表示されます。ここでは、「ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します(A)」を選択します。



6.Windows のライセンス認証の手続きを行う方法のうち、「自動電話システムを使用します(A)」を選択します。



7.「日本」が選択されていることを確認して、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



8.画面の指示に従い確認 ID を入力し、「次へ(N)」をクリックします。

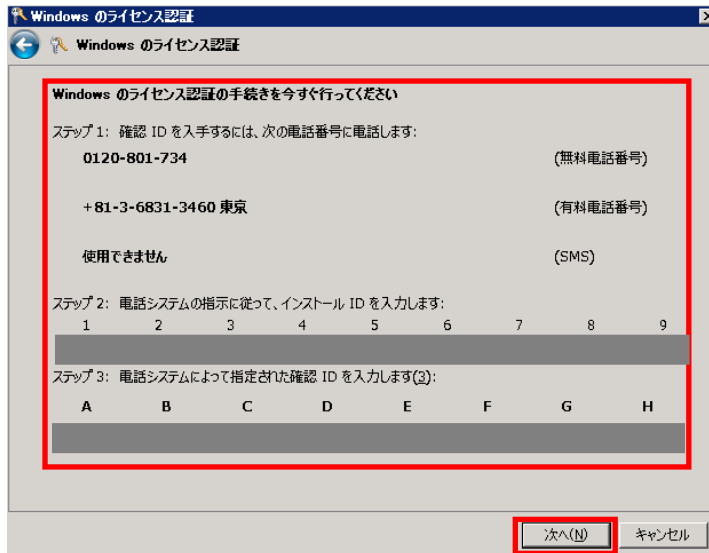
<ライセンス認証の流れ>

ステップ1:ライセンス認証窓口に電話します。※自動応答で繋がります。

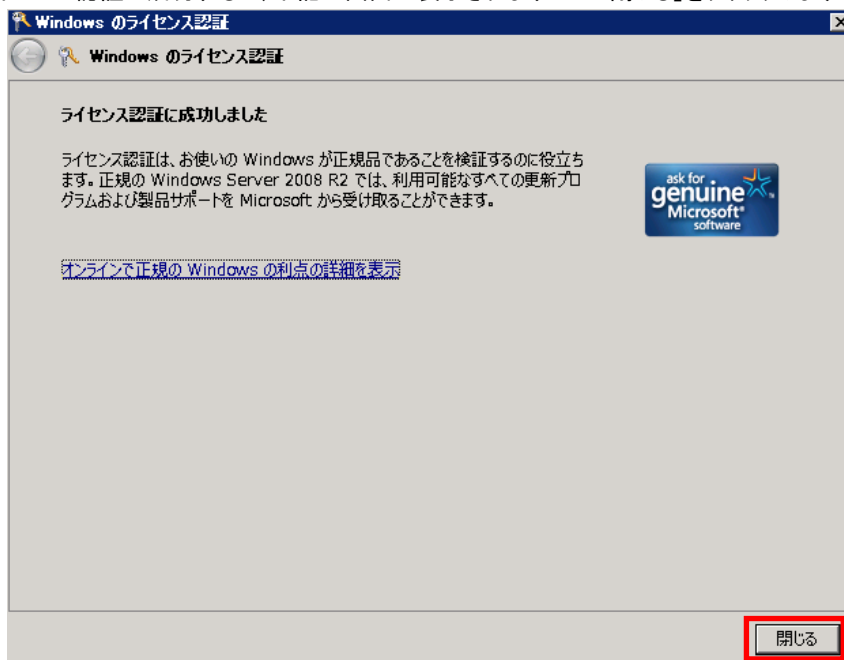
ステップ2:電話の指示に従い、表示されたインストール ID をダイヤルプッシュします。

ステップ3:通話先より案内された確認 ID をウィザード内のボックスに入力します。

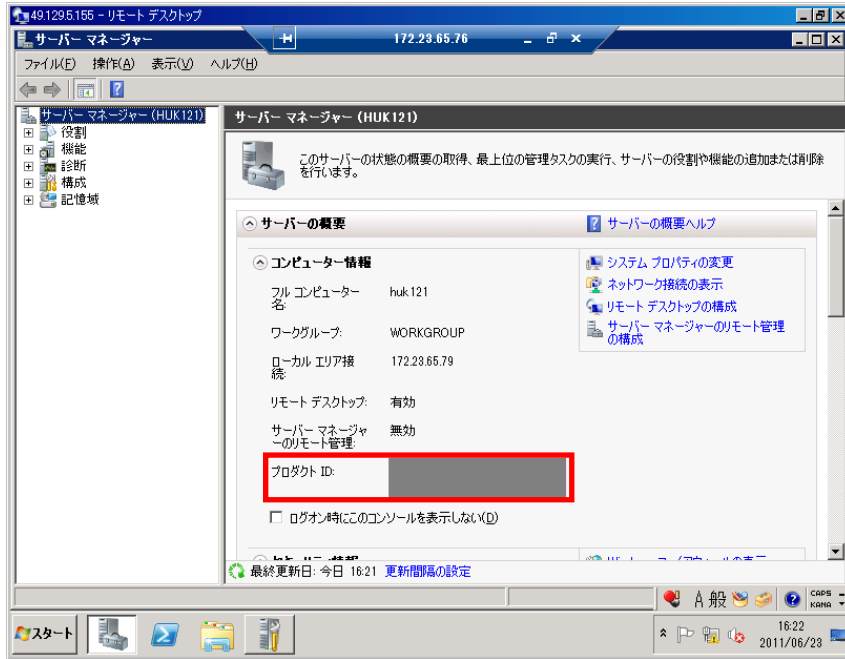
※画面のインストール ID、確認 ID はあくまでも例です、実際に表示されている ID を確認してください。



9. ライセンス認証に成功すると、下記の画面が表示されますので「閉じる」をクリックします。



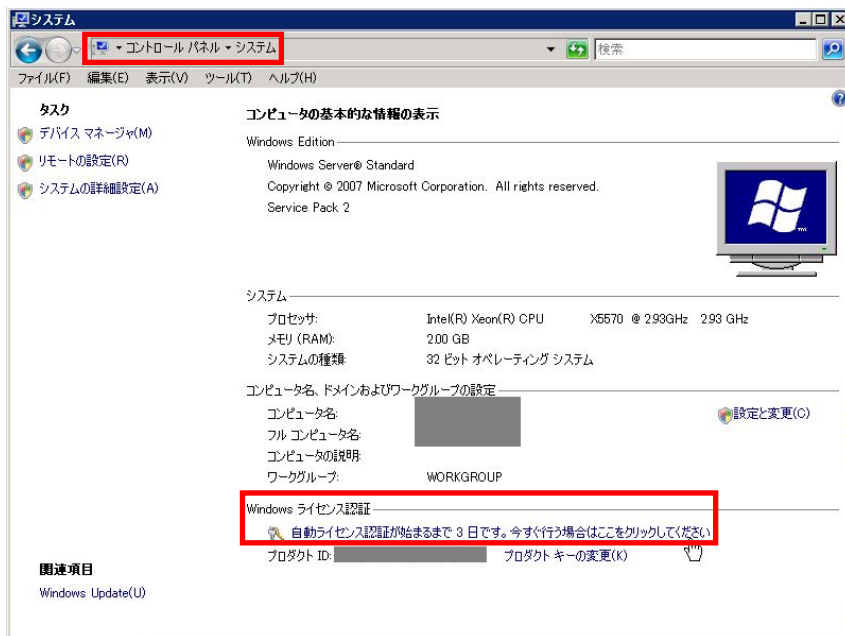
10. サーバーマネージャー画面のプロダクト ID 欄に、「ライセンス認証済み」と表示されていることを確認できれば完了です。



③ Windows Server 2008(32bit)の場合

1. コントロールパネルからシステムを開き Windows ライセンス認証の欄を確認します。

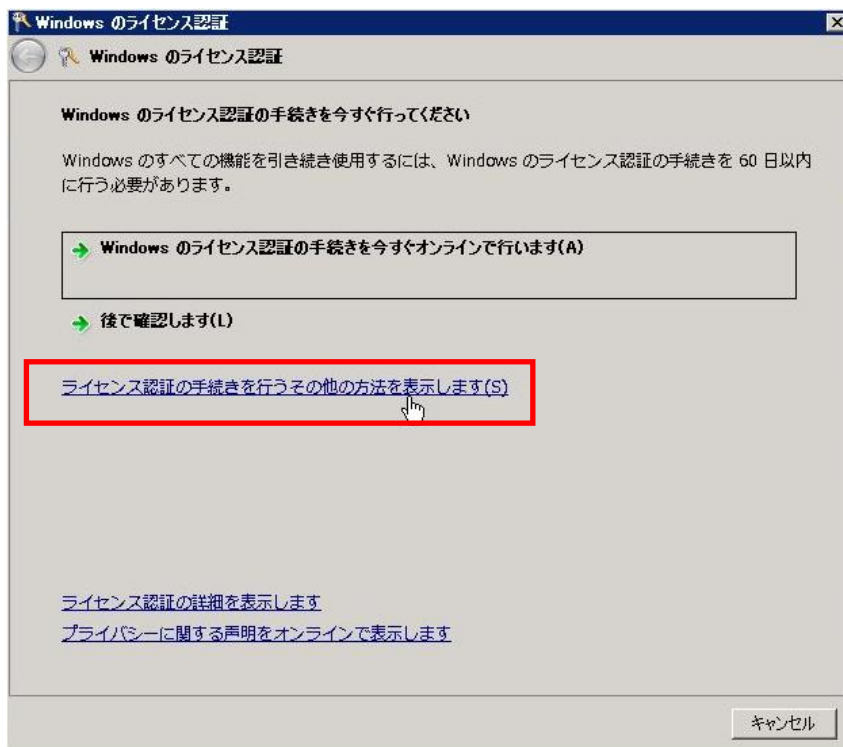
「自動ライセンス認証が始まるまで〇日です。今すぐ行う場合はここをクリックしてください」と表示される場合は、「2.」以降の手順を実施してください。



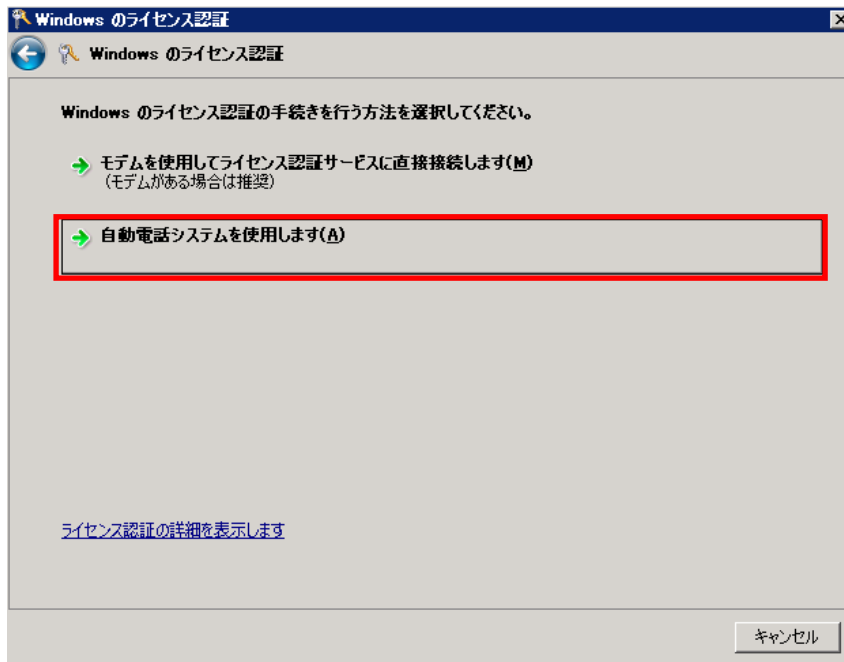
2. システムの「自動ライセンス認証が始まるまで〇日です。今すぐ行う場合はここをクリックしてください」をクリックします。



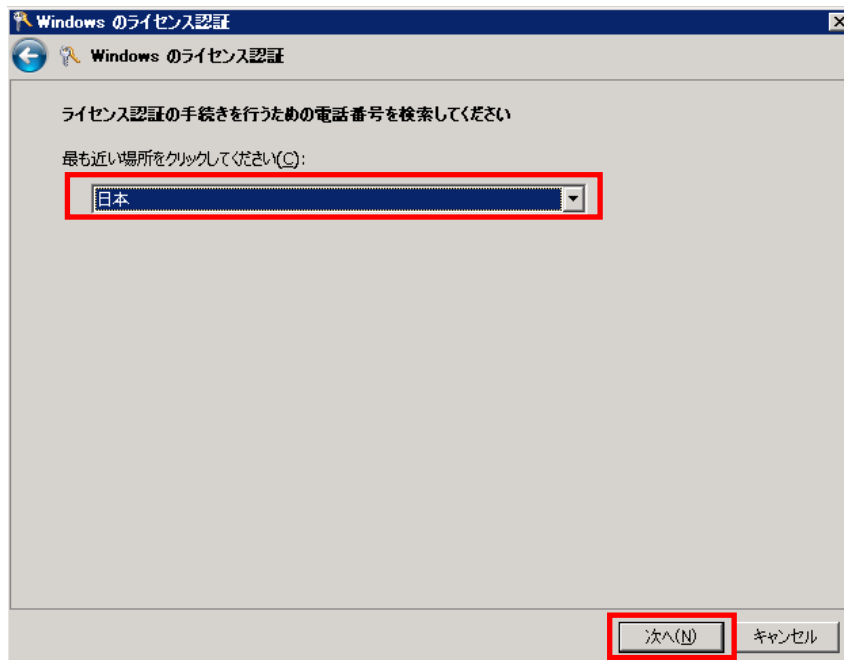
3. 認証手続き選択画面が表示されますので、「ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します(S)」を選択します。



4. Windows のライセンス認証の手続きを行う方法のうち、「自動電話システムを使用します(A)」を選択します。



5. 「日本」が選択されていることを確認して、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



6. 画面の指示に従い確認 ID を入力し、「次へ(N)」をクリックします。

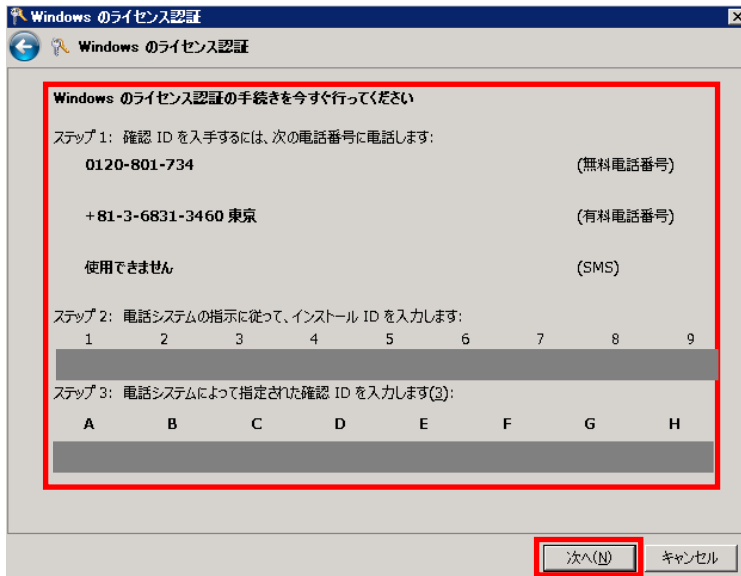
<ライセンス認証の流れ>

ステップ1: ライセンス認証窓口に電話します。※自動応答で繋がります。

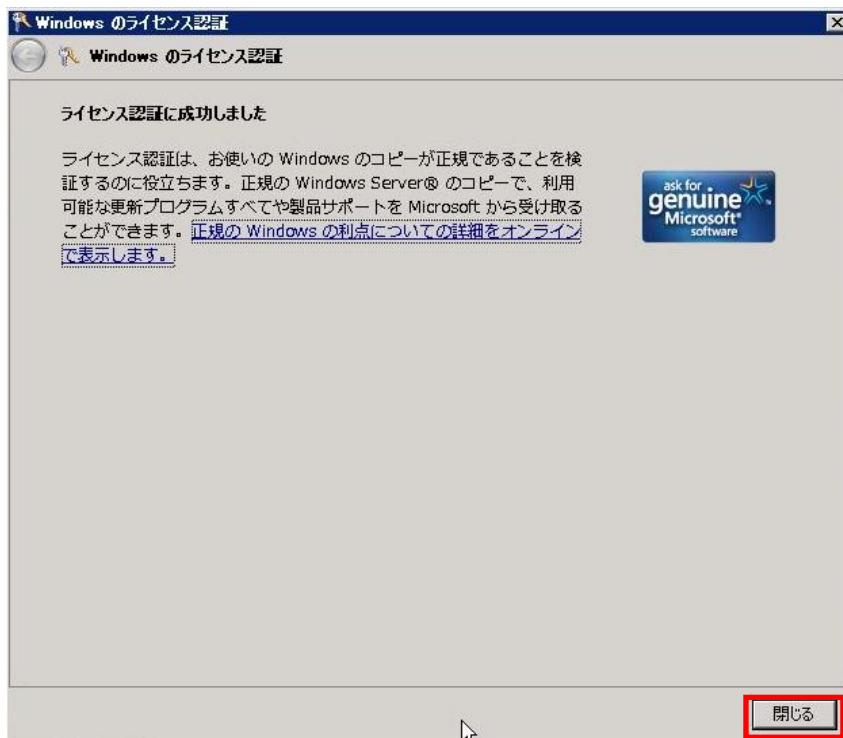
ステップ2: 電話の指示に従い、表示されたインストール ID をダイヤルプッシュします。

ステップ3: 通話先より案内された確認 ID をウィザード内のボックスに入力します。

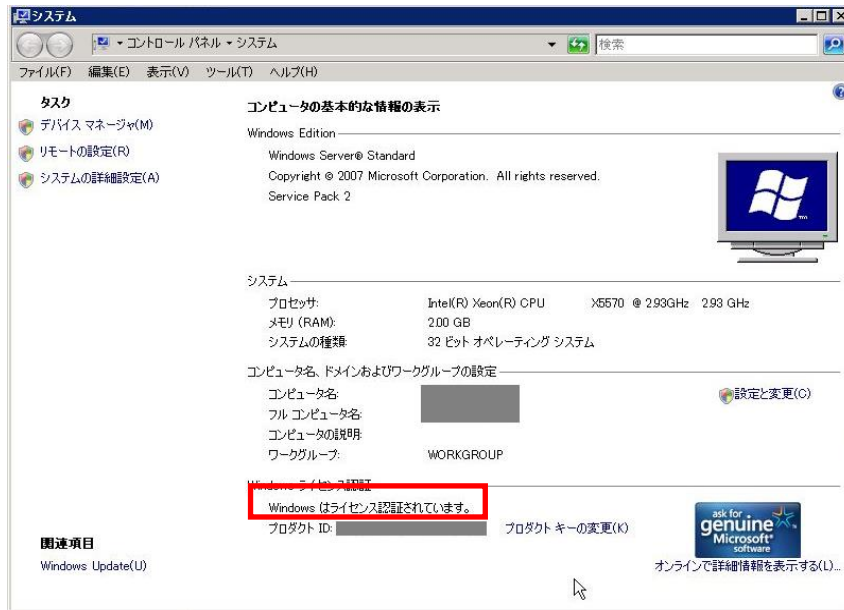
※画面のインストール ID、確認 ID はあくまでも例です、実際に表示されている ID を確認してください。



7. ライセンス認証に成功すると、下記の画面が表示されますので「閉じる」をクリックします。



8.コントロールパネルのシステムを開き Windows ライセンス認証欄に、「Windows はライセンス認証されています。」と表示されていることを確認できれば完了です。



3.5.2. Microsoft Office の場合

Microsoft Office を同梱している Windows サーバを購入した場合、Microsoft Office の認証を行う必要があります。

グローバル IP アドレスありの Windows サーバの場合は、インターネット経由で

グローバル IP アドレスなしの Windows サーバの場合は、電話認証でそれぞれ画面の案内に従いライセンス認証を実施ください。

3.6. イメージ共有にて作成したサーバのルーティング情報の修正手順

【Windows の場合】

共有イメージから作成した Windows サーバは共有元と共有先のご契約時期の組み合わせによって、ルーティング情報の修正が必要となります。

以下の表を参照し、必要に応じて修正を行ってください。

共有元 \ 共有先	2012年3月14日以前にお申し込みの契約 ID	2012年3月15日～2017年7月25日までにお申し込みの契約 ID	2017年7月26日以降にお申し込みの契約 ID
2012年3月14日以前にお申し込みの契約 ID	修正不要	要修正（手順1参照）	イメージ共有はできません
2012年3月15日～2017年7月25日までにお申し込みの契約 ID	要修正（手順2参照）	修正不要	イメージ共有はできません
2017年7月26日以降にお申し込みの契約 ID	イメージ共有はできません	イメージ共有はできません	修正不要

【手順1】

1. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを実行します。

```
route delete 10.0.0.0
route delete 172.16.0.0
route delete 192.168.0.0
```

2. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを実行します。

```
route -p add 10.0.0.0 mask 255.0.0.0 172.28.255.254
route -p add 172.16.0.0 mask 255.240.0.0 172.28.255.254
route -p add 192.168.0.0 mask 255.255.0.0 172.28.255.254
```

【手順2】

1. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを実行します。

```
route delete 10.0.0.0
route delete 172.16.0.0
route delete 192.168.0.0
```

2. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを実行します。

```
route -p add 10.0.0.0 mask 255.0.0.0 172.23.123.254
route -p add 172.16.0.0 mask 255.240.0.0 172.23.123.254
route -p add 192.168.0.0 mask 255.255.0.0 172.23.123.254
```

【Linux の場合】

共有イメージから作成した Linux サーバは、ネットワーク設定が必要となります。

以下の URL を参照し、設定を行ってください。 ※コントロールパネルにログインする必要があります。

- ・ サーバイメージ持込ご利用マニュアル

https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/imageimport_manual.pdf

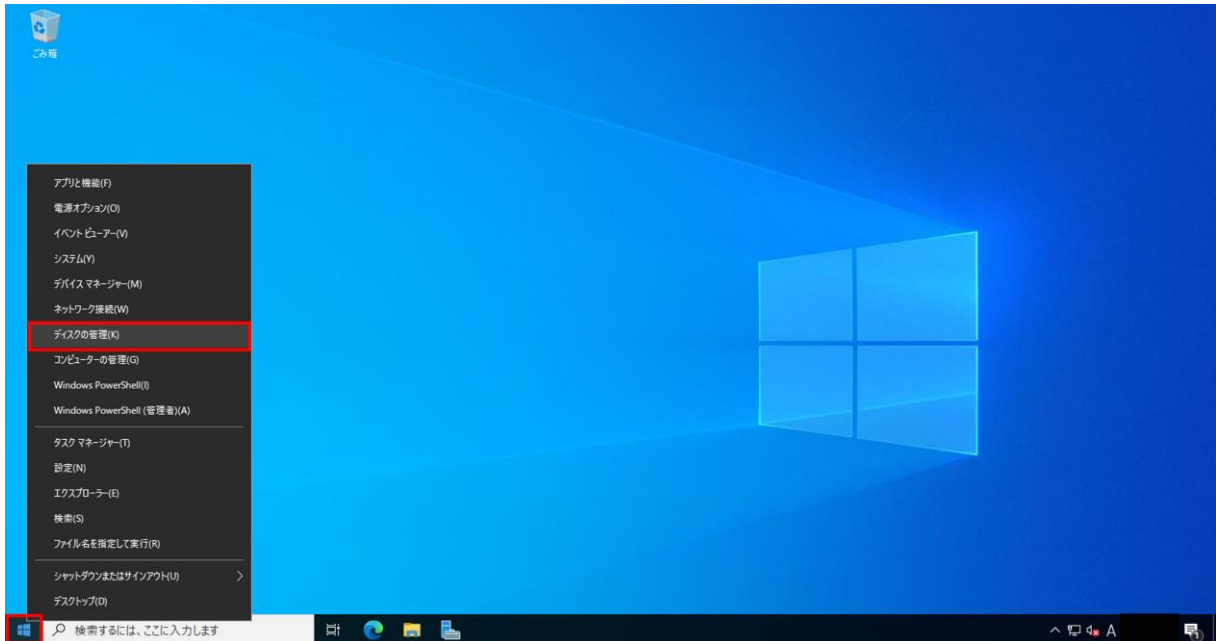
※7. ネットワーク設定手順を参照

3.7. 基本ディスク拡張後のパーティション設定について

基本ディスク拡張により拡張した領域を利用するためには、OS 上にて設定を行う必要があります。ここでは基本ディスク(Cドライブ)を 100GB に拡張する手順を記載します。

1. ディスクの管理を実行

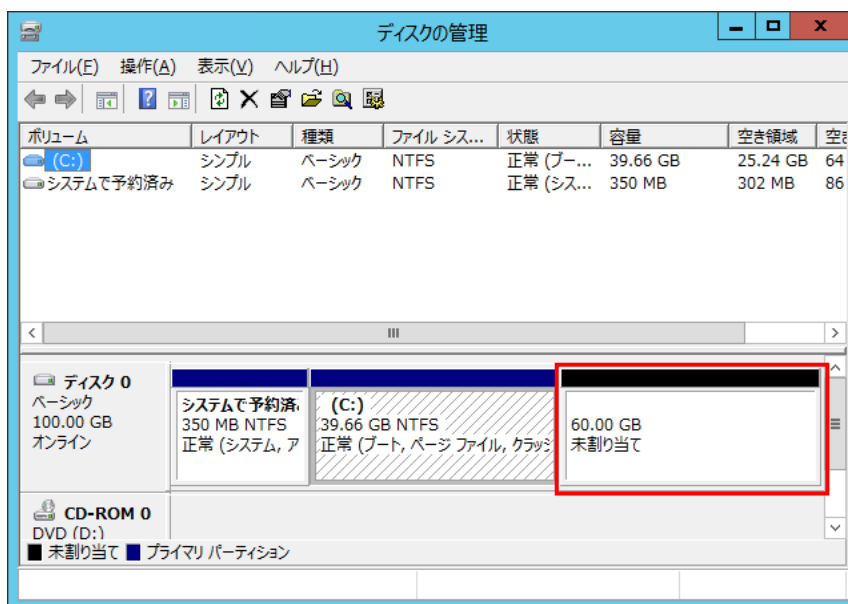
スタートメニューを右クリックし、ディスクの管理を実行します。



2. 未割り当ての領域確認

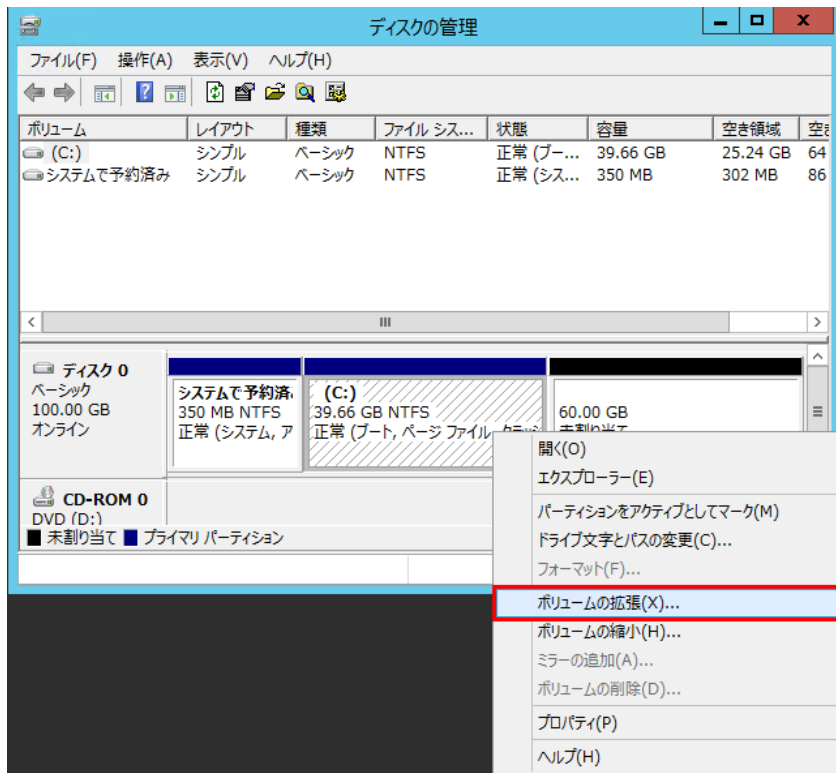
ディスク管理の下部に表示されている、ディスク 0 に拡張した未割り当ての領域 (60GB) があることを確認してください。

※未割り当ての領域が表示されない場合は、操作メニューからディスクの再スキャンを実施するかサーバの再起動を実施してください。

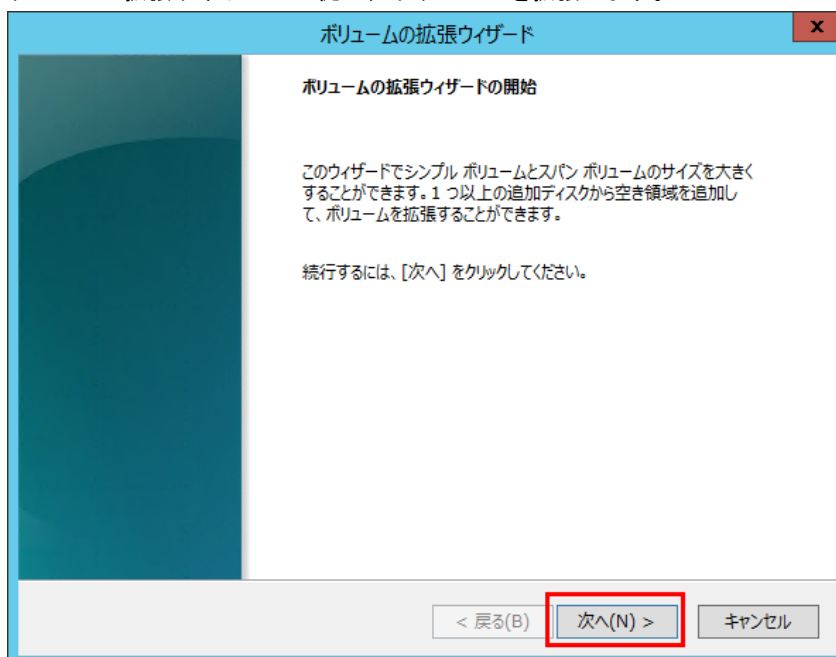


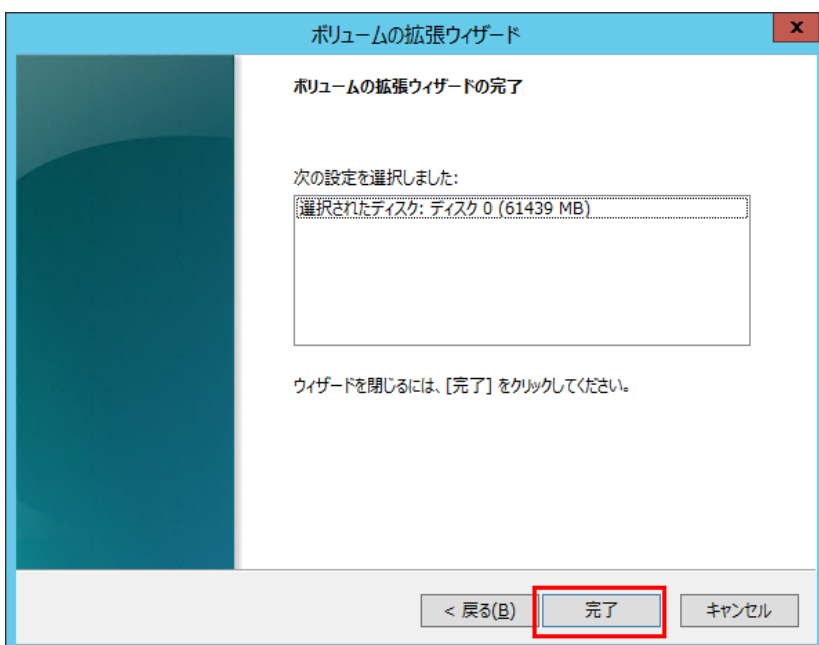
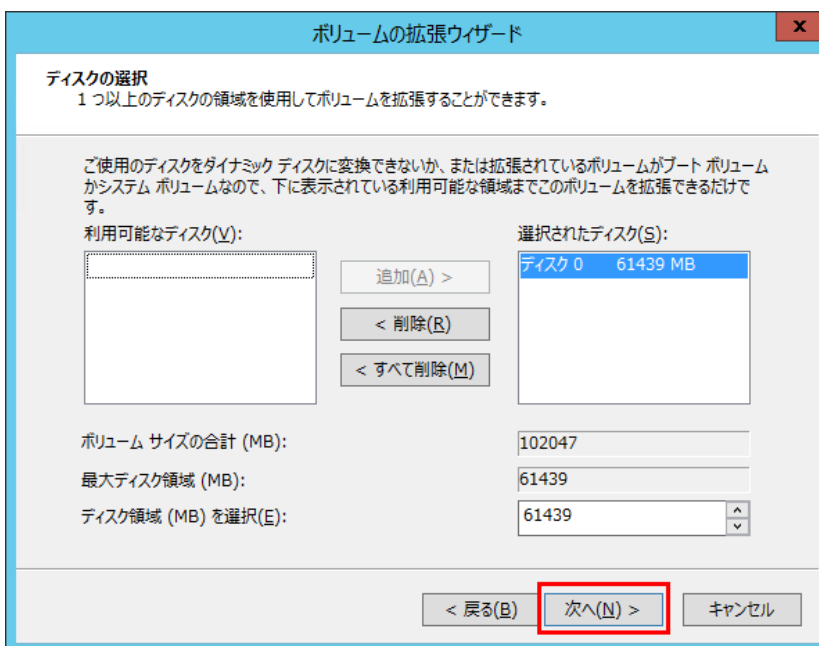
3. ボリュームの拡張

Cドライブを右クリックし、ボリュームの拡張を実行します。

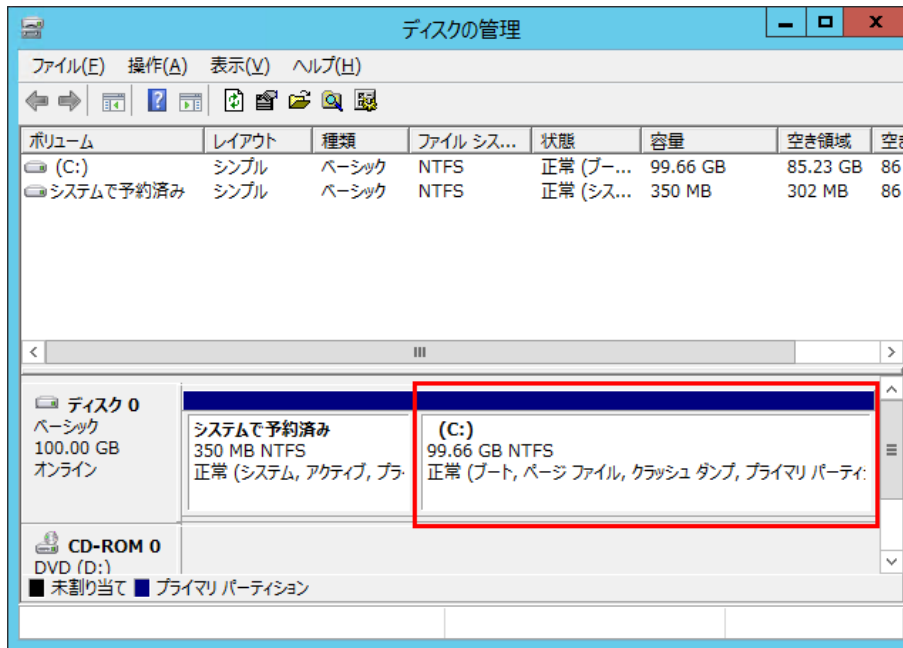


ボリュームの拡張ウィザードに従い、ボリュームを拡張します。





ディスクの管理画面で、Cドライブが拡張されていることを確認します。



ご注意

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへご連絡ください。

商標について

- ✓ VMware, vSphere は VMware, Inc. の米国および各国での商標または登録商標です。
- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ✓ Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。
- ✓ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ Apache、Tomcat は、Apache Software Foundation の商標または登録商標です。
- ✓ MySQL は MySQL AB の商標または登録商標です。
- ✓ Oracle は米国 Oracle Corporation の登録商標です。
- ✓ InfoCage、SiteShell は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ その他、本マニュアルに掲載された各社名、各製品名、各ロゴは、各社の登録商標または商標です。

BIGLOBE クラウドホスティング

ユーザマニュアル

9.5 版 2024 年 1 月

ビッグロブ株式会社

9.5